









養子 忠博 明三〇、一一生、先代忠文五男、從五位、商學士

婦 小松 明三九、一一生、養子忠博妻、男爵當家は右中將藤原實方の長男陸奥守朝元の後胤伊賀守重政の後なり重政初めて鳥居氏と稱し數世を経て伊賀守衛門元忠に至る元忠徳川家康に仕へ關ヶ原の役伏見に忠死す故を以て其子忠政羽州最上二十四萬石に封ぜられしも其子忠恒に至り嗣なく後絶ふ更に其弟主膳正忠春に信州高遠三萬三千石を賜ひ後野州壬生に移封せらる夫より十一代を経て先代忠文に至り明治十七年子爵を授けらる外務省御用掛副領事公使館書記官外務省書記官等に歴任し貴族院議員に選ばれる君は其長男にして明治十四年七月を以て生れ大正三年養子明三十四年東京農學大學を卒業し現時三井合名會社山林課に勤務し戸越農園主任たり家族は尙孫泰子(大一四、一一生、養子忠博長女)あり弟忠強(明一六、六生)は故子爵三宅康長女養子の入夫となり養子同忠治(同二五、四生)は分家せり(東京、麹町、中六番町一電九段三六八)

參照 子爵三宅忠強、子爵養篤齋、男爵本田不二磨男爵三井壽太郎、子爵錦織保親、子爵牧野忠良、男爵三井高精、三井高規、三井高次郎、三井高壽、三井高之助の項

鳥居 百三 從四位勳二等、陸軍軍醫總監、朝野軍醫總監、岐阜縣士族

妻 ツル 明二〇、一一生、岐阜、江馬春齡長女

男 貞吉 明三三、八生

女 タカ 明四五、四生

君は岐阜縣士族鳥居三郎の庶子にして明治六年五月を以て生れ同十四年家督を相続す同三十六年東京帝國大學醫學科大學を卒業し同年陸軍二等軍醫に任じ昭和三年陸軍軍醫總監に累進す其間臨時陸軍軍醫所所長、陸軍軍醫學校教官、久留米廣島各衛戍病院院長、朝鮮軍醫總監、長東京第一衛戍病院院長等に歴任し現時朝鮮軍醫總監たり家族は尙二女カズ(六七、八生、三女トミ(同三一、七生)あり弟隆三(明一六、一一生)は分家せり(朝鮮、龍山、朝鮮軍司令部)

鳥居安治郎 鳥居運送(株)取締役、運送業

男 泰善 明二五、一一生

君は大阪府人先代安兵衛の長男にして慶應三年三月を以て生れ明治十七年家督を相続す運送業を營み鳥居運送會社取締役たり家族は尙孫勝夫(大二、八生、長男泰善長男)同悦子(同五、九生、同長女)同愛子(同二、七生、同二女)あり母ツル(弘化元、四生、大阪、津田清兵衛長女)は大阪府人鳥居三郎の死跡を相続し三男彦次郎(明二七、六生)四男康夫(同二九、七生)は各分家せり(大阪、北、曾根崎上町四ノ二七四電北三五九三)

鳥居 龍藏 文學博士、萬國聯盟人類學院會員、鳥居人類學研究所所長、東京府在籍

妻 キミ 明一四、二生、徳島、市原弘之姉

男 龍次郎 大五、七生

女 幸子 明四〇、三生

女 綾子 明四三、五生

君は東京府人鳥居新次郎の二男にして明治三年四月を以て生れ同三十六年家督を相続す夙に人類學の研究に没頭し斯學の權威として知られ東京帝國大學助教授に任じ同校文學部及理學部に人類學講義を擔當す大正十年文學博士の學位を授けらる現時退官して鳥居人類學研究所を設立し萬國聯盟人類學院會員たり長女初音(明三七、一〇生)は神奈川縣人鳥居彌平の養子となり(東京、麻布、霞町二電青山二七三三)

鳥飼 銀藏 相模屋、材木商

妻 壽衛 明二五、八生、高知、堀内壽太郎

君は東京府人先代銀藏の二男にして明治二十四年四月を以て生れ大正九年家督を相続し後襲名して前名武藏を改む相模屋と稱し材木商を營む家族は尙長女八重子(大一〇、四生)二男誠之助(同三一、一〇生)三男虎三(昭二、五生)の外姉ます(明八、一一生)及び其一子あり(東京、本所、柳原町三ノ二〇電本所五〇二)

鳥養利三郎 正五位勳四等、工學博士、京都帝國大學教授、工學部勤務

妻 昭 明三三、一一生、工學博士小倉公平長女

君は徳島縣人鳥養八郎の長男にして明治二十年二月を以て生れ大正十三年家督を相続す同元年京都帝國大學理工科大學電氣工學科を卒業し同大學助教授に任じ同九年電氣學研究の爲め獨逸米佛各國に留學し歸朝後同大學教授に任じ工學博士の學位を受く家族は尙妹リキ(明二五、九生)及其三男一女あり姉イワ(同二六、三生)は徳島縣人齊藤清五郎に嫁せり(京都、上京、一條通新町西入)

鳥瀉 隆三 正五位勳四等、醫學博士、京都帝國大學教授、醫學部勤務

妻 エイ 明一七、三生、和歌山、松木甚之助二女

男 高城 明四〇、一〇生

女 靜 明四一、一〇生

女 愛美 大二、六生

君は福井縣士族鳥瀉吉の弟にして明治六年八月を以て生れ同十七年家督を相続す同二十八年國學院大學を卒業し學習院教授となり教鞭を執ること多年後宮内省御歌所寄人仰られ今日に至る家族は尙四女三枝子(大三、一一生)亡兄龜吉妻ゆき(嘉永五、七生、福井、土、岩佐養妹)あり姉とし(嘉永六、八生)は福井縣士族西岡善吉に嫁せり(神奈川、中、大磯町)

鳥羽 總治 三機工業(株)取締役會長、湯淺蓄電池(株)取締役、三井物産(株)機

妻 重子 明二、八生、三重、後藤忠治長女

女 公子 明四四、一一生

君は三重縣士族伊藤秀實の二男にして明治十年四月を以て生れ後先代重子の二男にして昭和二年家督を相続す明治三十一年市立大坂高等商業學校を卒業し同年三井物産社に入社し大阪横濱青森各支店に勤務し後名古屋支店長を命ぜられ現に同會社機械部長たる外三機工業會社取締役會長湯淺蓄電池會社取締役たり養に名古屋商業會社特別議員たりし事あり家族は尙二女正(大四、六生)三女宮(同九、五生)養弟治(明三一、五生)同三郎(同三四、三生)同四郎(同四三、三生)養妹かず(同三九、一一生)あり(東京市外入新井町新井宿一七八〇電大森四七九)

鳥海 榮助 上總屋、呉服商

妻 てる 文久三、七生、鳥海清七長女

君は東京府人先代榮助の長男にして明治二十五年十二月を以て生れ大正二年家督を相続し前名清太郎を改む上總屋と稱し呉服商を營む家族は尙長女靜榮(大六、八生)二女輝榮(同二〇、一一生)三女榮子(同二二、五生)妹千代(明三六、七生)、三輪田高等女學校出身あり養子忠三郎(同二七、六生)、三重、中村作藏三男は其二女

鳥居 幸次 從四位勳五等、御歌所寄人

妻 久壽 明三一、一一生、二男爲三郎妻、香川縣在籍

君は香川縣人鳥居爲三郎の長男にして嘉永六年四月を以て生れ明治十九年家督を相続す農業を營み香川縣多額納税者たり家族は尙孫マサ(大三、四生、二男爲三郎長女)同アキ(同六、一〇生、同二女)同綱太郎(同八、一一生、同長男)同ミチ(同二〇、一一生、同三女)同滋治郎(同二二、二生、同二男)同ノブ(同二五、二生、同四女)あり長女マサ(明一〇、九生)は香川縣人浪越慶太郎に三女アサ(同二七、一一生)は愛媛縣人鈴木澤之助長男富士太郎に養子ヨシ(同二四、一一生、香川、長尾節(二女)は香川縣人萩田延治郎に四女マツ(同三一、一一生)は同縣人森光に嫁せり(香川、三豊、笠田村)參照 浪越慶太郎、萩田延治郎の項

鳥取治郎 香川縣在籍

妻 久壽 明三一、一一生、二男爲三郎妻、香川縣在籍

君は香川縣人鳥取爲三郎の長男にして明治十年十二月を以て生れ後家督を相続す同三十年海軍兵學校を卒業し同三十二年海軍少尉に任じ大正十四年海軍中將に累進す其間英國に出張を命ぜられ同四十二年海軍大學校を卒業す爾來海軍省出仕兼海軍大學校教官第一艦隊參謀兼海軍省人事局第一課長兼海軍省參謀長英國大使館附武官兼造船監督長軍令部參謀兼海軍大學校教官兼海軍省本部技術會議々員軍令部御用掛第五艦隊司令官兼海軍省本部出仕等に歴任し現時海軍兵學校長を仰付けらる明治三十七八年戰役に春日丸航海隊第一艦隊參謀として出征し功五級金鷲勳章を賜ふ家族は尙養子ミヨ(大三、一一生、佐賀、小柳亮一に同養女)妹沖見(明二〇、一一生)は佐賀縣人小柳亮一に同養女(同二八、一一生)は同縣士族伊東祐輔に嫁せり(東京市外代々木町代々木初臺四七六電四谷三三二)

鳥越密三郎 從四位勳、浮羽水力電氣各(株)取締役、吉井銀行(株)取締役、福岡縣在籍

妻 マキノ 元治元、六生、福岡、鳥越貞敏姉

男 和夫 明二〇、六生

女 テルヨ 高橋正照長女

君は福岡縣士族田代排吾の三男にして文久三年一月を以て生れ後鳥越貞敏の養子となり明治十三年分家して一家を創立す現時銀行會社の重役にして養に九州電氣鐵道製糖各會社重役たり家族は尙孫貞夫(大二三、二生、三男和夫長男)同凡夫(同六、一一生、同二男)同和代(同八、一一生、同三女)同都夫(同二、九生、同四男)同康夫(同二〇、七生、同三男)亡長男誠之助養子あり長女貞(明二六、七生)は福岡縣士族尾關定四男孝に二女美喜乃(同三一、一〇生)は同縣人犬野良藏に養子ウノ(同八、一〇生、福岡、野田甚七長女)は同縣人石井仲次郎長男仲市に嫁し五男哲五郎(同二九、七生)は同縣人古賀實藏に六男英(同三四、九生)は同縣人鳥越貞敏に各養子となり庶子清一(同四五、一一生)は分家せり(福岡、浮羽、吉井町)

鳥巢 玉樹 從四位勳二等功五級、海軍中將、海軍兵學校校長、佐賀縣士族

妻 和夫 明二〇、六生

君は福岡縣士族田代排吾の三男にして文久三年一月を以て生れ後鳥越貞敏の養子となり明治十三年分家して一家を創立す現時銀行會社の重役にして養に九州電氣鐵道製糖各會社重役たり家族は尙孫貞夫(大二三、二生、三男和夫長男)同凡夫(同六、一一生、同二男)同和代(同八、一一生、同三女)同都夫(同二、九生、同四男)同康夫(同二〇、七生、同三男)亡長男誠之助養子あり長女貞(明二六、七生)は福岡縣士族尾關定四男孝に二女美喜乃(同三一、一〇生)は同縣人犬野良藏に養子ウノ(同八、一〇生、福岡、野田甚七長女)は同縣人石井仲次郎長男仲市に嫁し五男哲五郎(同二九、七生)は同縣人古賀實藏に六男英(同三四、九生)は同縣人鳥越貞敏に各養子となり庶子清一(同四五、一一生)は分家せり(福岡、浮羽、吉井町)

鳥取治郎 香川縣在籍

妻 久壽 明三一、一一生、二男爲三郎妻、香川縣在籍

君は香川縣人鳥取爲三郎の長男にして嘉永六年四月を以て生れ明治十九年家督を相続す農業を營み香川縣多額納税者たり家族は尙孫マサ(大三、四生、二男爲三郎長女)同アキ(同六、一〇生、同二女)同綱太郎(同八、一一生、同長男)同ミチ(同二〇、一一生、同三女)同滋治郎(同二二、二生、同二男)同ノブ(同二五、二生、同四女)あり長女マサ(明一〇、九生)は香川縣人浪越慶太郎に三女アサ(同二七、一一生)は愛媛縣人鈴木澤之助長男富士太郎に養子ヨシ(同二四、一一生、香川、長尾節(二女)は香川縣人萩田延治郎に四女マツ(同三一、一一生)は同縣人森光に嫁せり(香川、三豊、笠田村)參照 浪越慶太郎、萩田延治郎の項

鳥野 幸次 從四位勳五等、御歌所寄人

妻 久壽 明三一、一一生、二男爲三郎妻、香川縣在籍

君は香川縣人鳥取爲三郎の長男にして嘉永六年四月を以て生れ明治十九年家督を相続す農業を營み香川縣多額納税者たり家族は尙孫マサ(大三、四生、二男爲三郎長女)同アキ(同六、一〇生、同二女)同綱太郎(同八、一一生、同長男)同ミチ(同二〇、一一生、同三女)同滋治郎(同二二、二生、同二男)同ノブ(同二五、二生、同四女)あり長女マサ(明一〇、九生)は香川縣人浪越慶太郎に三女アサ(同二七、一一生)は愛媛縣人鈴木澤之助長男富士太郎に養子ヨシ(同二四、一一生、香川、長尾節(二女)は香川縣人萩田延治郎に四女マツ(同三一、一一生)は同縣人森光に嫁せり(香川、三豊、笠田村)參照 浪越慶太郎、萩田延治郎の項

鳥居 幸次 從四位勳五等、御歌所寄人

妻 久壽 明三一、一一生、二男爲三郎妻、香川縣在籍

君は香川縣人鳥取爲三郎の長男にして嘉永六年四月を以て生れ明治十九年家督を相続す農業を營み香川縣多額納税者たり家族は尙孫マサ(大三、四生、二男爲三郎長女)同アキ(同六、一〇生、同二女)同綱太郎(同八、一一生、同長男)同ミチ(同二〇、一一生、同三女)同滋治郎(同二二、二生、同二男)同ノブ(同二五、二生、同四女)あり長女マサ(明一〇、九生)は香川縣人浪越慶太郎に三女アサ(同二七、一一生)は愛媛縣人鈴木澤之助長男富士太郎に養子ヨシ(同二四、一一生、香川、長尾節(二女)は香川縣人萩田延治郎に四女マツ(同三一、一一生)は同縣人森光に嫁せり(香川、三豊、笠田村)參照 浪越慶太郎、萩田延治郎の項







ナ之部

名方坦一

廣島縣多額納稅者、制茶業  
廣島縣在籍  
父 澁比古 弘化四、三生  
妻 リウ ヲ 明一、七生、山口、血田竹太郎妹

名川卯之介

白米商  
兵庫縣在籍  
妻 吉 明一、七生、兵庫、山口德藏長女  
女 榮美子 明三、一〇生

名川侃市

正六位、衆議院議員(廣島縣選出)、  
辯護士、廣島縣在籍  
母 ミヨ 安政元、三生、名川廣平二女  
妻 シヅ 明二六、一、生、神奈川、鈴木易三  
長女  
男 敬太郎 大三、八生

君は廣島縣人名川次郎平の長男にして明治十六年六月を以て生れ大正七年家督を相続す明治三十六年明治大學法科を同三十九年法政大學を各卒業し辯護士を開業

し現在に至る昭和二年衆議院議員に當選し同三年再選する家族は尙二男順次郎(大五、六生)三男良三(同七、九生)長女田鶴子(同一〇、三生)五男眞六郎(同一五、一一生)あり四男正五(同一二、四生)は神奈川縣人鈴木ミツの養子となり弟保男(明二九、三生)は分家せり(東京、京橋、丸屋町四電回線座二五〇)

名川

高維建築購買信用組合専務理事、  
高維劇場(株)監査役、藤相互不動  
(株)代表社員、高維市協議員、煙  
草度量衡器商、銃砲火藥販賣業、  
地主、三重縣士族  
妻 ヒチ 明二五、九生、佐賀、諸隈壽吉長女

名倉

有隣社(名代表社員、接骨醫師)  
東京府在籍  
妻 あい 明六、一、生、東京、横山佐助二女  
男 重雄 明二七、二生、醫學博士  
女 恭 明三五、九生、長男重雄妻東京、  
高橋是福長女  
男 英二 明二九、五生、醫學博士  
女 みを子 明四二、四生、二男英二妻、石川、  
小原喜三郎長女  
男 厚 明三六、八生  
女 たよ 明四一、六生

君は東京府人名倉彌一の長男にして慶應二年七月を以て生れ明治十六年家督を相続す東京醫科大學別科出身にして現に醫術を開業し接骨の名手として知らる又有隣社代表社員たり家族は前記の外孫靜(大一四、七生、長男重雄長女)あり長女ケイ(明二二、八生、東京女學館出身)は熊本縣人中唯雄に二女子、同二五、二生)は埼玉縣人野口秀に三女道(同三一、一〇生)は

東京府人法學士磯貝惟一に嫁し三男順三(同三四、六生)は東京府人松原カクに五男正(同四〇、六生)は同府人大村リキに各養子となれり(東京市外千住町五ノ七二九號淺草二六六)  
參照 小原喜三郎、高橋是福、野口秀、公爵伊藤博邦  
邦子子爵高橋是實、大久保利賢の項

名兒耶梅三郎

從五位勳四等、判事、大審院判事  
新潟縣士族  
妻 ろく 明一、四生、養父六都長女  
養子 國 明四三、八生、新潟、村井洋一郎  
三女

名越

中央電氣、關川電力各(株)取締役  
長野縣士族  
妻 なみ 明元、一、生、長野、澤澤正雄母  
男 重金 明六、二生  
孫 しん 明一三、一〇生、長男重金妻、長  
野、小出秀太郎妹  
孫 信重 明三五、九生、長男重金長男  
孫 金代 明三七、六生、長男重金長女

君は長野縣士族名越古傘の長男にして嘉永六年六月を以て生れ明治三年家督を相続す現時前記各會社の重役たり曾て松本電燈會社取締役に推される家族は尙孫重(明四二、一、生、長男重金三男、同重公(大五、一〇生、同五男)同登志雄(同一〇、七生、同七男)同道(同一四、三生、同四女)及姉いゑ、嘉永五、七生)あり二男、松村義造長女)及其一男三女を伴ひ分家し孫鐵夫(同二二、九生、長男重金養子、長野、赤羽周藏甥)も亦分家し同八重子(大元、九生、同三女)は長野縣人相浦ます代の養子となれり(松本、北深志)

名越 正吉

日華興業(株)社長、繁榮洋行、内  
外機械電氣其他一般貿易商  
茨城縣在籍







**名波義三郎** 相良銀行(株)頭取、藤相鐵道(株)取締役、静岡縣在籍  
 妻 けん 慶應二、一〇生、養父佐一郎長女  
 養子 登 明二〇、一〇生、養子千代夫、静岡、水野春雄叔父  
 養子 千代 明二八、九生、養子登妻、静岡、名波修二養妹  
 君は静岡縣人板倉市十郎の弟にして安政五年七月を以て生れ後先代佐一郎の養子となり明治十四年家督を相繼す現に相良銀行頭取たる外前記會社の重役を兼ねる家は尙孫義篤(大六、六生、養子登長男)同佐智夫(同八、八生、同二男)同笑子(同一、五生、同長女)同登雄(同一四、九生、同三男)あり(静岡、榛原、相良町)

参照 板倉市十郎、名波修二の項

**名波 修二** 相良銀行(株)支配人  
 妻 波次郎 嘉永六、四生  
 養母 しま 安政四、四生、静岡、矢部與左衛門姉  
 妻 まち 明一、一〇生、養父筆次郎三女  
 男 孝一 明三、一〇生  
 女 ウメ 竹内竹次郎七女  
 女 久子 明四〇、六生  
 女 二子 明四五、七生

君は静岡縣人伊藤敬三の弟にして明治十二年十月を以て生れ同三十一年先代筆次郎の養子となり大正四年家督を相繼す現時相良銀行支配人たり家は尙孫義篤(大六、二生、長男孝一)弟謙司(明三二、一〇生)あり長女節(同三四、一〇生)は静岡縣人萩原伊太郎二男貞司に養妹千代(同二八、九生)は同縣人名波義三郎に同し(同二四、一〇生)は同縣人松林健策に嫁せり(静岡、榛原、相良町)

参照 名波義三郎、矢部與左衛門小澤五六浜田知結志の項

**名村源之助** 造船業  
 妻 きさ 明二〇、九生、大阪、山本松太郎三女

**名村 泰一** 資産家  
 妻 とも 嘉永四、一〇生、長崎、北村元助長女  
 母 くま 明二四、五生、祖父泰藏長女、學智院女學部出身  
 君は東京府人名村壬午郎の長男にして子爵小笠原長生の甥なり明治四十二年一月を以て生れ同四十二年家督を相繼す資産家たり祖父泰藏は貴族院議員にして大審院檢察長たり(東京、麹町、富士見町四ノ八電九段八二)

参照 子爵小笠原長生子爵藤堂高寛子爵本莊宗久宗佐藤鐵太郎の項

**名村 豊太郎** 住友銀行(株)外國課長  
 妻 静子 明二五、二生、兵庫、土、眞野鷹一長女  
 男 洋一 明四四、五生

君は兵庫縣人名村仲兵衛の長男にして明治十九年三月を以て生れ同四十四年家督を相繼す同四十四年神戸高等商業學校を卒業し住友銀行に入社し神戸市漢口各支店に勤務し義に住友銀行上海支店支配人を經て現時外國課長たり家は尙二男富三夫(明四五、五生)長女郁子(大三、二生)二女美英子(同四、六生)あり姉こふ(明九、四生)は同夫夫太郎(同七、一〇生、兵庫、大藤宗左衛門二男)と共に其子女を伴ひ分家せり(大阪、東、空堀通二ノ六八電東三三七八)

**名和 助市** 京都府多額納稅者、京都取引所取引員、京都府在籍  
 妻 やま 明一六、八生、滋賀、井上文治郎妹

**名和 長憲** 正三位勳三等功四級、男爵、豫備陸軍少將、大井町長、東京府華族  
 妻 隆子 明三四、二生  
 男 長元 明二二、九生、正五位  
 女 隆子 明四四、一〇生  
 當家は南朝の忠臣名和長年の後胤なり十數世を経て顯興に至り柳川藩主立花宗茂に仕へそれより世々同家々司として先代長泰に至る長泰明治十一年名和神社の宮司となり同十六年華族に列し同十七年男爵を授けらる君實は同藩士友清貞治の二男にして元海軍教授田中西熊の實兄なり元治元年二月を以て生れ先代長泰の養子となり明治三十一年家督を相繼し襲爵仰付けらる同二十一年陸軍士官學校を卒業し騎兵少尉に任じ大正三年陸軍少將に果進す其間東宮武官軍官御用掛陸軍士官學校騎兵實施學校各教官騎兵第一聯隊長近衛騎兵聯隊長等に歴補し豫備役に入る日露役に騎兵第一聯隊長として各地に轉戦し勳三等功四級を賜ふ大正六年以來貴族院議員に當選すること二回現時東京府在籍郡大井町長たり家は尙庶子(大一一、一〇生、生母、東京、江口部)あり長女露子(明二九、八生、學智院女學部出身)は男爵徳川誠二男長光(同三一、三〇生)は同妻盛子(同三七、一〇生、貴族院議員徳富猪一郎五女)を伴ひ分家し五男長敏(同三七、二〇生)は鳥取縣人米村敏郎に六男長明(同三九、一〇生)は佐賀縣人安住省一に七男長博(同四一、九生)は東京府人山田田普照に各養子となれり(東京市外大井町一三三五電大森一〇〇一)参照 男爵徳川誠、徳富猪一郎の項

**名和 陽一** 森田製作所(株)社長、プラオン製井水道(株)取締役、兵庫縣在籍  
 妻 ムラ 明二二、五生、廣島、山崎理藤次二女

君は兵庫縣人名和暢の二男にして明治六年三月を以て生れ同十七年家督を相繼す現時森田製作所社長にしてプラオン製井水道取締役たり(兵庫、武庫、御影町御影沼場一七五ノ三電御影四五)

**那須吉兵衛** 福井縣多額納稅者、教養商工會議所會頭、教養銀行、教養港倉庫(株)取締役、酒造業、福井縣在籍  
 妻 たね 明一三、六生、福井、萩原ひさ姉  
 男 伸一郎 明四、八生  
 女 悦 明三七、一〇生  
 女 文 明四二、八生  
 女 和 大元、八生

君は福井縣人伊東吉兵衛の二男にして明治八年十月を以て生れ同三十一年先代英の入夫となり家督相繼と共に前名謙次郎を改む酒造業を營み尙前記會社の重役にして福井縣多額納稅者に列し教養商工會議所會頭たり二女精(明三五、五生)は福井縣人尾中竹三郎に嫁せり(福井、教養、教養町)

**那須 省吾** 從五位、仙臺高等工業學校教授、生徒監、山形縣士族  
 妻 てい 明二、一〇生、山形、山下千代雄長女  
 男 秀夫 大三、一〇生  
 女 清子 明四一、七生  
 女 美佐子 明四四、四生

君は山形縣士族那須玄東の二男にして明治十三年八月を以て生れ同三十九年東京帝國大學文科大學倫理科を卒業し同四十年清國湖南省西路優級師範學校に赴任し後市立仙臺商業學校教授となり大正九年東北帝國大學附屬工學專門部教授に任ぜられ同十年仙臺高等工業學校教授となり現在に及び同校生徒監を兼ねる家は尙兄周太郎(慶應元、二生、現戸主)同妻つね(明三、二生)山形、井上悌長女)及其子女あり姉つね(同二六、八生)は岩手縣人二村成雄に同し(同三二、六生)は東京府人橋爪靜男に嫁し大祖母のふ(天保三、一〇生)は分家せり(仙臺、角五郎丁一)

**那須 又三** 那須商店(名)代表社員、大阪府在籍  
 妻 かじ 明二九、六生、岡山、那須藤助養子  
 男 彰 明三六、三〇生、長男藤藏妻、岡山、西島勲太郎長女  
 男 信治 明三二、一〇生

君は岡山縣人駒平助次郎の弟にして元治元年四月を以て生れ明治二十九年那須かじの入夫となり家督を相繼す現時那須商店代表社員たり家は尙孫さだ子(大一四、二生、長男藤藏長女)同恒子(同一五、七生、同二女)あり長女綾(明三五、七生)は分家し二女萬(同三八、九生)は大阪府人那須よねの養子となれり(大阪、備後町五ノ二三電本町一九一九)

**那波 三郎右衛門** 秋田縣多額納稅者、那波商店(株)取締役、酒造業、秋田縣在籍  
 妻 アイ 明一四、二生、秋田、石田貞之輔長女  
 男 祐太郎 大六、一〇生

君は秋田縣人那波亥之助の二男にして明治二十二年二月を以て生れ先代マツの入夫となり同三十七年家督相繼と共に前名慎治を改む酒造業を營み現に那波商店取締役にして縣下の多額納稅者たり家は尙二男慎二郎(大八、一〇生)長女伸(同一四、六生)あり(秋田市川反田三ノ一)

参照 萩原重信高久多吉の項

**那波 齊治** 朝日信託(株)取締役、岐阜縣士族  
 妻 くら 明二八、八生、東京、荒井智源長女  
 女 登美子 明四四、八生

君は岐阜縣士族那波光儀の二男にして現戸主光雄の弟なり明治七年九月を以て生れ同三十年東京高等商業學校を卒業し三十四銀行に勤務すること二十年同行東京支店を開設するに方り同支店長となる現時朝日信託會社取締役たり長女登貴(明三三、四生)は熊本縣人農學士橋本讓一に二女美代(同三六、九生)は佐賀縣人谷口清八に嫁せり(東京市外中野町打越二一五)

参照 那波光雄坂本助太郎の項

**那波 光雄** 從三位勳三等、工學博士、東京帝國大學工學部講師、岐阜縣士族  
 妻 かつ 明一二、四生、男爵岩村博叔母、京都府立第一高等女學校出身  
 男 光正 明三二、一〇生、京都帝國大學出身  
 女 宣子 明三九、一〇生、長男光正妻、東京、士、有吉忠二女

君は舊美濃國大垣藩士那波光儀の長男にして同齊治の兄なり明治二年八月を以て生れ大正九年家督を相繼す明治二十六年東京帝國大學工學部工學科を卒業し同年關西鐵道會社技師となり同三十二年京都帝國大學助教授に任じ翌三十三年土木工學研究の爲歐米各國に留學す同三十五年歸朝し京都帝國大學理工科大學教

**那須 善治** 資産家、兵庫縣在籍  
 妻 カメノ 元治元、六生、愛媛、酒井吉吉妹  
 庶子 重治 明四四、一〇生、生母、兵庫、柴谷マサ

君は同十七年家督を相繼す現時森田製作所社長にしてプラオン製井水道取締役たり(兵庫、武庫、御影町御影沼場一七五ノ三電御影四五)







二郎宗長岡外史西村總太郎宗原田繼之助の

内藤 章 從五位、東京商科大学教授兼東京商科大学附屬專門部教授

内藤 宇三郎 山梨縣多額納稅者、狭西銀行(株)頭取、農業、山梨縣在籍

内藤 克家 伯爵久松家々令、五十二銀行(株)監査役、愛媛縣在籍

梨、中江摩、明穂村) 參照長谷川苗實の項

内藤 馬藏 正四位勳三等、高知高等學校長

内藤 確介 從三位勳三等、鴨綠江探木公司理事長、廣島縣在籍

内藤 勝造 從五位勳三等、通信事務官、東京中央郵便局長、兵庫縣在籍

安 明二五、四生、中央大學商科出身

内藤 勝造 從五位勳三等、通信事務官、東京中央郵便局長、兵庫縣在籍

内藤 勝太郎 駿富製紙(株)代表取締役

内藤 小四郎 京洛土地(株)專務取締役

富江 大元、一一生、長男光治長女 房江 大二、七生

内藤 金一 共同商事、日本蘭土金山各(株)取締役、山口縣在籍

内藤 齋平 愛知縣多額納稅者、豐橋魚市場(株)取締役、豊橋電氣軌道(株)監査役、味噌製菓製造業、愛知縣在籍



は尚二男二郎(大元、一〇生)三男良造(同七、三生)三女と(同二、一〇生)あり(豊橋、新銭町三一)

内藤 障義 肥後農工銀行(株)取締役 熊本縣士族

父 正義 文久三、一〇生、現戸主 妻 正義 明二七、一〇生、熊本、徳富登也妹

君は熊本縣士族内藤正義の長男にして明治十八年九月を以て生る現時肥後農工銀行取締役たり家族は尚二男陸義(大三、三生)三男治義(同五、七生)四男守義(同八、三生)長女みよ(同二、一〇生)五男和義(同二、一〇生)二女みち(昭二、八生)あり(熊本市紺屋町)

内藤 慎二 新潟縣多額納税者、農業 新潟縣在籍

妻 喜久榮 明四三、一〇生、新潟、市川治郎 女 正義 明四三、一〇生、新潟、市川治郎

君は新潟縣人山崎多次郎の二男にして明治十五年八月を以て生れ後先代正氣の養子となり大正十一年家督を相續す明治四十年東京高等工業學校機械科を卒業し農業を營み現に新潟縣多額納税者たり家族は尚二男雄雄(大五、九生)三男靖三(同四、一〇生)四男秀雄(昭二、七生)あり(新潟、中頸城、下黒川村)

内藤 宗七 埼玉縣多額納税者、砂糖商 埼玉縣在籍

妻 トヨ 明七、八生、愛媛、樋口林八長女 養子 文作 山本梅作弟

君は埼玉縣人山崎宗七の弟にして文久三年十二月を以て生れ後先代宗右衛門の養子となり同十六年家督を相續し前名萬吉を改む砂糖商を營み同縣多額納税者たり家族は尚孫洋(大一、一〇生、養子文作長男)同茂

内藤 宗七 埼玉縣多額納税者、砂糖商 埼玉縣在籍

妻 トヨ 明七、八生、愛媛、樋口林八長女 養子 文作 山本梅作弟

君は埼玉縣人山崎宗七の弟にして文久三年十二月を以て生れ後先代宗右衛門の養子となり同十六年家督を相續し前名萬吉を改む砂糖商を營み同縣多額納税者たり家族は尚孫洋(大一、一〇生、養子文作長男)同茂

は尚孫洋(大一、一〇生、養子文作長男)同茂

内藤 虎次郎 正四位勳三等、文學博士、帝國學士院會員、秋田縣士族

妻 イク 明二、九生、秋田、田口太郎妹 男 乾吉 明三二、四生

君は秋田縣士族内藤調一の二男にして慶應二年五月を以て生れ明治四十一年家督を相續す同十八年秋田縣師範學校高等師範科を卒業し更に英人スミス、サンマー、ス米人イーストレーキ等に就き語學を學ぶ湖南と號し三河新聞日本人及亞細亞大阪朝日新聞臺灣日報萬朝報各記者外務省嘱托等を経て同四十年京都帝國大學講師に擧げられ同四十二年同文科大学教授に任ぜられそのに歴遊し又差遣せられし事後九回又歐洲に差遣されし事あり同四十二年文學博士の學位を受く本邦支那學者の重鎮にして帝國學士院會員に推される家族は尚四男義彦(明四三、七生)五男夏五(大二、五生)四女祥子(同九、一〇生)あり長女百合子(明三六、一〇生)は大坂外國語學校教授爲淵一に嫁し妹フサ(同八、一〇生)は分家せり(京都、相樂、瓶原村電上三三三〇)

内藤 信利 從五位勳五等、子爵、海軍主計大尉、舊越後村上藩

妻 瑠子 明九、七生、伯爵酒井忠良大尉妹 養子 彌榮子 明三三、三生、養父信任長女

當家は藤原秀朝の後胤内藤右京進義清の男彌次右衛門清長の二男豐前守信成の後なり信成徳川家康に仕へ軍功あり相州蕪山に封ぜらる後江州長濱五萬石を領し更に陸奥棚倉に移り又越後村上に轉ずそれより十六世を経て先代信任に至り明治十七年子爵を授けらる君其後を承く君實は從二位前田利輝の男にして男爵前田利功

内藤 彦一 東京染織、日本化工(株)各(株)社長、松屋呉服店(株)常務取締役

妻 しん 明五、一〇生、神奈川、古屋徳兵衛姉 養子 長一 明三三、一〇生、神奈川、神谷金助三男

君は山梨縣人内藤熊蔵の長男にして明治六年五月を以て生れ同四十年家督を相續す建築設計請負業を營み山梨縣多額納税者たり家族は尚長女芳子(大二、一〇生)あり弟松次郎(明九、一〇生)は同妻やす(同五、一〇生)山梨、松本徳太郎妹)及其二子と共に同徳二郎(同二、三三)は同妻はな(同二、一〇生)山梨、土屋角藏姉)及其一男三女を伴ひ各分家し同平次郎(同七、三三)同清作(同二五、一〇生)も亦各分家せり(甲府、深町電報五三七)

内藤 半二郎 勳七等、山梨縣多額納税者、内藤山梨縣在籍

妻 うめ 明二、一〇生、静岡、金田宗七妹、日本女子大學家政科出身

君は山梨縣人内藤熊蔵の長男にして明治六年五月を以て生れ同四十年家督を相續す建築設計請負業を營み山梨縣多額納税者たり家族は尚長女芳子(大二、一〇生)あり弟松次郎(明九、一〇生)は同妻やす(同五、一〇生)山梨、松本徳太郎妹)及其二子と共に同徳二郎(同二、三三)は同妻はな(同二、一〇生)山梨、土屋角藏姉)及其一男三女を伴ひ各分家し同平次郎(同七、三三)同清作(同二五、一〇生)も亦各分家せり(甲府、深町電報五三七)

内藤 三郎 從五位、子爵 舊信州岩村藩

妻 富子 明二四、一〇生、東京、菅野秀磨妹 養子 三郎 明三〇、一〇生、養子三郎妻、海軍大將内曾次郎二女、東京府立第三高等女學校出身

内藤 太一郎 正五位勳四等、陸軍技師、近衛師團經理部附、京都府士族

妻 新一郎 安政四、四生、現戸主 繼母 八百枝 明七、五生、岐阜、安部豊次郎二女

君は京都府士族内藤新一郎の長男にして明治十六年三月を以て生る同四十四年東京帝國大學工科大学建築科を卒業し陸軍技師に任じ現時近衛師團經理部附たり家族は尚二男康(大一、七生)二女壽子(同三、二〇生)の外第五郎(明三五、一〇生)あり同次郎(同二七、二〇生)は同妻はな(同三八、六生)山形、井上信次郎長女を伴ひ分家し同三郎(同三三、一〇生)は滋賀縣人小森千代の入夫となれり(東京市外西果町新田七四三)

内藤 濯 從五位勳六等、東京商科大学教授 東京府在籍

妻 優子 明三〇、五生、熊本、澤村正堅姪 男 初穂 大一、一〇生

君は熊本縣人内藤濯の弟にして明治十六年七月を以て生る同四十四年東京帝國大學文科大学佛蘭西文学科を卒業し陸軍教授に任じ大正九年第一高等學校教授に轉じ同十一年佛國に留學を命ぜられ同十三年歸國し昭和三年現職東京商科大学教授に任じ東京商科大学助教授を兼ねる家族は尚長女彌生(大一一、三三)三男幸徳(同二一、一〇生)の外見遊(明三三、八生、現戸主)同妻榮(同二二、一〇生)岡山、小山善太郎長女)との間に子女亡兒妻とし(同二三、八生、千葉、土、手島精一三女)及其子女あり(東京市外入新井町不入斗二六七)

内藤 爲三郎 大阪鐵道、安住大藥房、大軌土地各(株)取締役、大阪府在籍

妻 ウメ 慶應元、一〇生、兵庫、西木龜助長女 孫 宗清 大四、三生、亡長男宗之助長男

君は大阪府人内藤爲三郎の長男にして明治二十五年一月を以て生れ先代信任の養子となり大正十四年家督を相續し親傳仰付けられ前名春原を改む軍籍に入り現時海軍主計大尉たり(東京市外戸塚町諏訪二二電報三三三三)

伯爵酒井忠良、伯爵前田利男、男爵前田利功

君は山梨縣人内藤熊蔵の長男にして明治六年五月を以て生れ同四十年家督を相續す建築設計請負業を營み山梨縣多額納税者たり家族は尚長女芳子(大二、一〇生)あり弟松次郎(明九、一〇生)は同妻やす(同五、一〇生)山梨、松本徳太郎妹)及其二子と共に同徳二郎(同二、三三)は同妻はな(同二、一〇生)山梨、土屋角藏姉)及其一男三女を伴ひ各分家し同平次郎(同七、三三)同清作(同二五、一〇生)も亦各分家せり(甲府、深町電報五三七)

内藤 正陽 從五位、子爵 舊信州岩村藩

妻 富子 明二四、一〇生、東京、菅野秀磨妹 養子 三郎 明三〇、一〇生、養子三郎妻、海軍大將内曾次郎二女、東京府立第三高等女學校出身

當家は内藤右京進義清の孫仁衛忠政の四男式部少輔正次の後なり正次將軍秀忠に仕へ別に封ぜられて一家をなす夫より九世を経て先代正意に至る代々信州岩村田一萬五千石を領す正意實は子爵山内豊英の兄にして先々代銀子の入夫となり明治十七年子爵を授けらる君は正意の男にして明治三十三年八月を以て生れ大正十一年家督を相續し親傳仰付けらる家族は尚妹綾子(明三三、七生)弟正輝(同四一、五生)あり姉恒(同三一、四生)は熊本縣人友添保に嫁せり(東京市外渋谷町竹下二七)

内藤 正太郎 山下汽船(株)常務取締役 山口縣士族

妻 せい 明二四、一〇生、東京、菅野秀磨妹 養子 三郎 明三〇、一〇生、養子三郎妻、海軍大將内曾次郎二女、東京府立第三高等女學校出身

君は故陸軍中將内藤正明の長男にして明治十六年十二月を以て生れ大正二年家督を相續す明治四十五年京都帝國大學法科大学政治科を卒業し現時山下汽船會社常務取締役たり家族は尚孫正之助(大一、一〇生)養子三郎長男)同曾吉(同二、八生)同二男(同二、一〇生)同三男(同二、一〇生)あり(東京、芝、白金臺町一ノ七電報高輪四三三六)

内藤 恒吉 東京渡邊銀行(株)常務取締役、朝鮮産業(株)取締役、伊豆相互貯蓄銀行(株)監査役、東京府士族

妻 カツ 明二六、四生、東京、能地柳八三女 養子 謙 大六、一〇生、東京、川島善六二男

君は舊幕臣駒塚正誼の二男にして明治十五年九月を以て生れ同二十三年舊幕臣先代長次郎の養子となり後家督を相續す同三十八年専修大學理財科を卒業し第百銀行に入り大正三年あか貯蓄銀行に轉じ検査課長となり翌年支配人に陞る後東京渡邊銀行に轉じ其支配人となり同十四年一月常務取締役となり社務を執掌する傍ら前記銀行會社の重役として知らる(神奈川、三浦、葉山町電五六)

内藤 傳祿 中央製絲、名古屋鮮魚市場各(株)取締役、東京府在籍

妻 しげ 明二二、六生、愛知、山田太藏長女 男 彦 大二、五生

君は愛知縣人内藤彦次郎の長男にして明治十六年八月を以て生れ大正十年家督を相續す現時中央製絲會社取締役たる外前記會社の重役に任じ尾三農工銀行尾三銀行愛知實業銀行各頭取たり又推されて愛知縣會議員衆議院議員名古屋商會會議所議員等に擧げらる家族

勝之助 明二八、一〇生、三女おちえ夫、大阪、末野齊兵衛弟

おちえ 明三五、五生、養子勝之助妻

一老 明三三、三男、四女壽惠夫、大阪、山谷吉藏三男

壽惠 明四二、二生、養子一老妻

明二八、一〇生、三女おちえ夫、大阪、末野齊兵衛弟

明三五、五生、養子勝之助妻

明三三、三男、四女壽惠夫、大阪、山谷吉藏三男

明四二、二生、養子一老妻

明二八、六生、亡長男宗之助妻、大阪、中島安兵衛二女

君は大阪府人木村豊吉の弟にして安政五年五月を以て生れ明治十六年先代宗七の養子となり同二十年家督を相續す同百三十五銀行頭取たりしが現時大阪鐵道會社取締役の他前掲各會社の重役たり家族は尚孫泰子(大一一、八生)養子勝之助長女)あり長女光(明二五、八生)は大坂府人木村信次郎に二女タメ(同三一、六生)は兵庫縣人西本虎仁に嫁せり(大阪、北、老松町二ノ一五電北三三九六)

内藤 恒吉 東京渡邊銀行(株)常務取締役、朝鮮産業(株)取締役、伊豆相互貯蓄銀行(株)監査役、東京府士族

妻 カツ 明二六、四生、東京、能地柳八三女 養子 謙 大六、一〇生、東京、川島善六二男

君は舊幕臣駒塚正誼の二男にして明治十五年九月を以て生れ同二十三年舊幕臣先代長次郎の養子となり後家督を相續す同三十八年専修大學理財科を卒業し第百銀行に入り大正三年あか貯蓄銀行に轉じ検査課長となり翌年支配人に陞る後東京渡邊銀行に轉じ其支配人となり同十四年一月常務取締役となり社務を執掌する傍ら前記銀行會社の重役として知らる(神奈川、三浦、葉山町電五六)

内藤 傳祿 中央製絲、名古屋鮮魚市場各(株)取締役、東京府在籍

妻 しげ 明二二、六生、愛知、山田太藏長女 男 彦 大二、五生

君は愛知縣人内藤彦次郎の長男にして明治十六年八月を以て生れ大正十年家督を相續す現時中央製絲會社取締役たる外前記會社の重役に任じ尾三農工銀行尾三銀行愛知實業銀行各頭取たり又推されて愛知縣會議員衆議院議員名古屋商會會議所議員等に擧げらる家族

勝之助 明二八、一〇生、三女おちえ夫、大阪、末野齊兵衛弟

おちえ 明三五、五生、養子勝之助妻

一老 明三三、三男、四女壽惠夫、大阪、山谷吉藏三男

壽惠 明四二、二生、養子一老妻

明二八、六生、亡長男宗之助妻、大阪、中島安兵衛二女

君は大阪府人木村豊吉の弟にして安政五年五月を以て生れ明治十六年先代宗七の養子となり同二十年家督を相續す同百三十五銀行頭取たりしが現時大阪鐵道會社取締役の他前掲各會社の重役たり家族は尚孫泰子(大一一、八生)養子勝之助長女)あり長女光(明二五、八生)は大坂府人木村信次郎に二女タメ(同三一、六生)は兵庫縣人西本虎仁に嫁せり(大阪、北、老松町二ノ一五電北三三九六)

内藤 恒吉 東京渡邊銀行(株)常務取締役、朝鮮産業(株)取締役、伊豆相互貯蓄銀行(株)監査役、東京府士族

妻 カツ 明二六、四生、東京、能地柳八三女 養子 謙 大六、一〇生、東京、川島善六二男

君は舊幕臣駒塚正誼の二男にして明治十五年九月を以て生れ同二十三年舊幕臣先代長次郎の養子となり後家督を相續す同三十八年専修大學理財科を卒業し第百銀行に入り大正三年あか貯蓄銀行に轉じ検査課長となり翌年支配人に陞る後東京渡邊銀行に轉じ其支配人となり同十四年一月常務取締役となり社務を執掌する傍ら前記銀行會社の重役として知らる(神奈川、三浦、葉山町電五六)

内藤 傳祿 中央製絲、名古屋鮮魚市場各(株)取締役、東京府在籍

妻 しげ 明二二、六生、愛知、山田太藏長女 男 彦 大二、五生

君は愛知縣人内藤彦次郎の長男にして明治十六年八月を以て生れ大正十年家督を相續す現時中央製絲會社取締役たる外前記會社の重役に任じ尾三農工銀行尾三銀行愛知實業銀行各頭取たり又推されて愛知縣會議員衆議院議員名古屋商會會議所議員等に擧げらる家族

勝之助 明二八、一〇生、三女おちえ夫、大阪、末野齊兵衛弟

おちえ 明三五、五生、養子勝之助妻

一老 明三三、三男、四女壽惠夫、大阪、山谷吉藏三男

壽惠 明四二、二生、養子一老妻



内藤 正義

熊本縣多額納税者、熊本銀行(株)頭取、帝國セメント(株)取締役、農業、熊本士族、熊本、士、友枝

内藤 政道

從五位、子爵、舊日向延岡藩、當家は鎮守府將軍藤原秀郷より出づ八世の孫行俊初め

内藤 政光

從四位、子爵、舊三州舉母藩、當家は内藤彌次右衛門家長の男左馬助政長の次男兵部

内藤 政三郎

モスリン商、大阪府在籍、君は徳島縣人内藤重三郎の二男にして明治十七年十一月

内藤 政道

從五位、子爵、舊日向延岡藩、當家は鎮守府將軍藤原秀郷より出づ八世の孫行俊初め

内藤 彌五左衛門

愛知縣多額納税者、酒造業、君は神奈川縣人内藤増右衛門の長男にして明治三十六

内藤 政潔

正三位、子爵、舊磐城湯長谷藩、祖母 杰子 前正備八女、子爵本多忠見姉

内藤 政光

從四位、子爵、舊三州舉母藩、當家は内藤彌次右衛門家長の男左馬助政長の次男兵部

内藤 頼輔

正四位、子爵、舊信州高遠藩、當家は内藤彌次右衛門家長の孫彌次忠興の三男主殿頭

内藤 諒太郎

正五位勳四等、判事、福井地方裁判所長、福島縣在籍、君は福島縣人内藤東三郎の長男にして明治七年二月を以て

直井 惣兵衛

伊豆銀行、堺屋商店各(株)監査役、靜岡縣在籍、君は靜岡縣人福場久兵衛の長男にして明治元年九月を

直江 新太郎

今井商店、藤武良商店各(株)取締役、新設、吳服モスリン商、君は新潟縣人星野昭太の長男にして明治十五年四月を

苗村 又右衛門

苗村商事(株)取締役、歌舞伎座(株)相談役、東京府在籍、妻 清 明三、六生、瑞玉、諸星新助叔母

直井 藤左衛門

須磨信託(株)取締役、兵衛縣在籍、妻 ツル 明六、二生、兵衛、藤田芳次郎長女

直川 安次郎

九今布(株)取締役、綿布製造業、大阪府在籍、妻 リウ 明八、五生、滋賀、土、小島宗次



君は大阪府人直川庄七の長男にして慶應元年十月を以て生れ明治二十四年分家して一家を創立す綿布製造業を營み現に丸今綿布會社取締役たり創て關西紡績會社々長共立紡績會社常務取締役東洋製鋼會社監査役たりしことあり家族は尙孫悦子(大八、二生、長男秀次郎長女)同好(同九、一生、同長男)同廣子(同二、一生、同二女)同隆次(同四、七生、同二男)あり二男健一(明三〇、一〇生)は分家し長女百世(同四〇、九生)は大坂府人文簡郡次郎長男英俊に嫁せり(大阪、東、北久太郎町一ノ三〇電報場二二六)

直木久兵衛

兵庫縣多額納稅者、帝國油、日本米穀、合同土地各(株)取締役、米穀肥料商、兵庫縣在籍

妻 あい 明三、八生、兵庫、渡邊源三郎長女  
男 富二郎 明四〇、二生

君は兵庫縣人福壽之助の弟にして同久次郎の叔父に當る明治四年九月を以て生れ後先代久兵衛の養子となり同二十八年家督を相続し前名由三郎を改め署名す米穀肥料商を營み尙前記會社の重役にして縣下の多額納稅者たり長女きみ(明三四、九生)は其夫一二三(同二九、二生、兵庫、今井善右衛門三男)と共に分家し二女かね(同三七、九生)は兵庫縣人多木千吉四男文爾に嫁せり(神戸、島上町一電報場四七〇)

直木三郎

神戸電機製作所(株)専務取締役、日本機寸製造(株)取締役、小呂井製鐵所(株)取締役、清生信託(株)監査役、兵庫縣在籍

父 政之介 嘉永四、一生、現戶主  
妻 きぬ 明一八、七生、兵庫、土、堀江金  
男 潤一 明三五、四生  
女 茂子 明三七、一生  
男 修 明四一、八生  
女 正子 明四三、六生

養弟にして明治十四年六月を以て生る夙に神戸高等商業學校を卒業し現時前記諸會社の重役たり家族は尙三男三雄(大二、三生)四女典子(同四、六生)四男和同七(三生)五女三枝子(同八、九生)六女英子(同四、六生)あり二女悦子(明三八、一生)は兵庫縣人重名信子の養子となれり(神戸、中山手通七ノ三二電元町一五七) 參照 直木政之介、直木倫太郎、堀江金二郎(谷口茂雄、錦織宗の項)

直木太一郎

向島土地、神戸米肥市場日報各(株)取締役、直木商店(資)代表社員、兵庫縣在籍

妻 久兵衛 明四、九生  
男 久兵衛 明三六、五生、兵庫、大江市松二女

直木政之介

君は兵庫縣人神田勝次郎の長男にして嘉永四年一月を以て生れ明治十一年先代かうの入夫として現家督を相続す同二十年初めて機織製造業を開始し現時前記諸會社の重役として名あり養子に町會議員兵庫縣會議員同常置委員神戸市參事會議員神戸商會會議員同種々の名譽職に擧げらるる同四十二年勲六等に叙せられ大正十年紺綬褒章を賜ふ三女協(明一九、九生)は兵庫縣人谷口茂雄に四女信(同二三、三生)は島根縣人錦織宗に五女靜枝(同三〇、一生)は東京府人濱田保光に嫁し二男福三(同三六、七生)は兵庫縣人柴田保造に六男準(同三五、一生)は右柴田保造養子に成り(同四一、一〇生、生母、兵庫、横山五三)は同縣人澤田吉太郎に各養子となり三男憲一(同二二、一生)は同妻と(同二七、一生、兵庫、松下豊吉二女)及其一子を伴ひ五男榮同三三、三生)は同妻と(同三七、一生、兵庫、大江市松、直木久兵衛、多木千吉の項)

車、大庭竹四郎五女)を伴ひ養子倫太郎(同九、二生)は其妻を伴ひ各分家せり(神戸、中山手通七ノ三一電元町二三四) 參照 谷口茂雄、直木三郎、直木倫太郎、錦織宗の項

直木倫太郎

正五位、工學博士、大林組(株)常務取締役、特別都市計畫委員會臨時委員、兵庫縣在籍

妻 りう 明一三、八生、養父政之介長女  
男 明三三、三生  
女 明三七、一生、長男茂妻、大阪、加輪上勢七二女、プール高等女學校出身

直村盛之助

北九州鐵道(株)常務取締役、福岡縣士族

妻 トミ 明一九、二生、山口、土、來島信  
男 啓治 明四〇、二生  
女 貞子 明四四、九生

中 太郎兵衛

魚類商、大阪府在籍

母 百枝 明一六、四生、兵庫、石橋加彌二女  
君は大坂府人先代太郎兵衛の長男にして大正四年九月を以て生れ同十年家督を相続し現時前記諸會社の重役たり魚類商を營む家族は尙孫英子(明三五、六生)妹千代子(大六、一生)あり(大阪、此花、玉川町三ノ三七七電元土佐堀二二九七)

中 辰之助

和泉紡績(株)取締役、大阪農工銀行、岸和田銀行、岸和田貯蓄銀行、大阪製糖、大阪製粉、大瀧土地各(株)監査役、大阪府在籍

妻 スミ 明三、一〇生、養父克己長女  
孫 克人 大六、一生、亡長男左近長男  
婦 シン 明二、一〇生、亡長男左近妻、大阪、好田吉右衛門妹

中 彌兵衛

大島織布(株)監査役、大阪金網(名)代表社員、大阪府在籍

參照 川口平三郎、原文平、宇野亮一の項

中 永一

東京中野銀行(株)頭取、東京府在籍

妻 ヒサ 明二、一生、東京、須田鐵次郎長女  
君は東京府人中井新右衛門の叔父にして明治十四年四月を以て生れ同三十五年分家して一家を創立す現時東京中野銀行頭取たり家族は尙長女登志子(大一一、二生)あり(東京、神田、鎌倉町一七電報場二二七五)

中 嘉市

京都府在籍

妻 すゑ 明一五、二生、東京、布施要藏  
男 千代太郎 明三七、二生  
君は京都府人中井政之助の長男にして明治七年十一月を以て生れ同十四年家督を相続す同二十九年關西大學法科を同三十一年明治大學法科を卒業し千代田生命保險會社に入り現時同社廣島支部長たり長女淑子(明三五、二生)は京都府人關目成通に嫁せり(廣島市大手町二千代田生命保險會社支店内)

中 一夫

從七位、衆議院議員(兵庫縣選出)、辯護士、大阪府在籍

妻 隆 明三三、九生、兵庫、富永恒太郎長女  
男 國政 大一一、一生  
君は大坂府人中井一馬の五男にして明治二十二年十一月を以て生る大正六年東京帝國大學法科大學英法科を

中 一馬

賣藥商、大阪府在籍

妻 喜美 明一四、一〇生、長男一郎妻、兵庫、本城眞治妹  
男 一夫 明二二、一生  
當家は代々大阪に住し家傳指染膏藥を以て知られたる老舖なり君は先代好馬の長男にして嘉永六年四月を以て生れ明治八年家督を相続す祖業を繼ぎ藥種商を營むに大阪府會議員に推され家族は尙孫英子(大八、九生、長男一郎長女)あり三男一三郎(明一三、一生)は其の一子を伴ひ四男義道(同四、七生)養子四郎(同三、一〇生、大阪、土、杉田宣喜四男)は其二男五女を伴ひ各分家せり(大阪、東、瓦町二ノ五八電本局四九一) 參照 中井一夫、中井四郎の項

中 國太郎

滿洲製粉(株)取締役、朝鮮製粉(株)取締役、鐵道取引信託、朝鮮製粉、東京府在籍

妻 重代 明一九、四生、高橋有方長女  
君は愛媛縣人中井長作の二男にして明治九年六月を以て生れ同四十一年分家して一家を創立す同三十四年水産講習所を卒業し現時滿洲製粉會社專務取締役たる外前記會社の重役を兼ねるに農商務省海外貿易研究會として清國に派遣せらる(東京、麻布、櫻田町四四電報山六二八)

中 源左衛門

生絲商、滋賀縣在籍

妻 ちへ 明一九、二生、京都、柳澤平五長女  
女 みね 明四〇、三生、第一高等女學校出身  
中井家は滋賀縣日野町に於ける草分けにして明治維新







中居篤次郎

日本組(株)取締役、日本土地商... 養子 經太郎 明三〇、六生、長女美代夫、滋賀...

中居豊三郎

伊豫陶器(株)取締役、池田商店... 妻 シュン 明九、五生、徳島、澤田初次郎養子...

中内爲樹

高知縣多額納税者、農業... 高知縣在籍、松本留吉の項...

中泉三郎

金澤電氣軌道、金石電氣鐵道各... 妻 葉月 明二、八生、石川、士、原種道...

中右重三郎

東京府在籍... 妻 武一郎 明三七、八生...

中内鉦一郎

藤倉工業(株)取締役兼商務課長... 妻 さだ 明四、四生、東京、士、矢澤長次長女...

中移大作

西海製紙(株)代表取締役、第一合... 妻 アヤ 明二二、四生、佐賀、養父利三四女...

中江種一

中江産業(資)社員... 妻 幸子 明三九、一〇生、滋賀、河井榮治...

中江種二

日高紡織、高砂香料各(株)取締役... 妻 龍夫 明二七、八生、子爵京極高徳六女...

中江種造

寶林銀行(資)頭取、中江産業(資)... 妻 ハル 明七、二生、京都、二本芳春長女...

中江忠兵衛

大神土地建物、帝國信託各(株)取... 妻 ヌン 明一七、六生、大阪、細井與三郎姪...

中江龍二

馬場親宗子爵池田時宗子爵入江爲守宗子爵... 妻 富子 明二七、八生、子爵京極高徳六女...

中尾一良

横濱正金銀行(株)社員... 妻 ミカ 安政二、七生、長崎、内田多喜間...

中尾卯作

福岡縣多額納税者、酒造業... 妻 キクエ 明三二、一〇生、福岡、平島覺之...



太郎に妹ツヨ(同二九、一三)は同縣人石井眞雄に叔母...

中尾榮太郎

君は東京府人中尾金八の長男にして明治十六年十二月...

中尾信

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾包時

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾十三郎

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾十郎

君は愛知縣人竹内傳八郎の三男にして明治十四年七月...

中尾松濤

君は長崎縣土族中尾源三の長男にして元治元年三月...

中尾直太郎

君は大阪府人中尾治三郎の三男にして慶應元年五月...

中尾眞吉

君は神奈川縣人前川文平の長男にして明治十二年八月...

中尾拾一

君は大阪府人中尾治三郎の三男にして慶應元年五月...

中尾眞吉

君は神奈川縣人前川文平の長男にして明治十二年八月...

中尾眞吉

君は神奈川縣人前川文平の長男にして明治十二年八月...

中尾眞吉

君は神奈川縣人前川文平の長男にして明治十二年八月...

中尾眞吉

君は神奈川縣人前川文平の長男にして明治十二年八月...

中尾眞吉

君は神奈川縣人前川文平の長男にして明治十二年八月...

中尾眞吉

君は神奈川縣人前川文平の長男にして明治十二年八月...

中尾眞吉

君は神奈川縣人前川文平の長男にして明治十二年八月...

中尾眞吉

君は神奈川縣人前川文平の長男にして明治十二年八月...

君は廣島縣土族中尾和貞の二男にして明治五年七月を...

中尾義三郎

君は大分縣人幸島友八郎の長男にして嘉永六年七月を...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

君は長崎縣土族中尾静摩の三男にして慶應元年五月を...

中尾藏之助

君は長崎縣土族中尾静摩の三男にして慶應元年五月を...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...

中尾眞吉

君は鳥取縣人中尾徳雄の二男にして明治二十二年十月...











に入り臨時鐵道國有準備局書記官選信書記官鐵道院參事中部鐵道管理局運轉課長選信大臣秘書官鐵道院總裁秘書鐵道省運轉局長鐵道次官等に歴任せり義に鐵道事業研究の爲歐米各國に留學し歸朝後東京帝國大學經濟學部講師として鐵道論の講義を擔任しつゝあり退官後東京地下鐵道會社の副社長たりしが現時帝國鐵道協會副會長及前記の職にあり家族は尙二男二女(大、二、三)生(二女温子(同八、九)生)三女道子(同二、三)生(一、二)生(東京、牛込、中町三三電牛込二〇〇)あり

參照 男爵中村雄次郎(男爵兒玉秀雄(佐々木清齋)參成瀬正泰の項)

中川 信

從五位勳六等、商工技術師兼鐵道山監督局長、鐵道局長、東京、辻信復長女

母 慶應三、五生、東京、辻信復長女

妻 ヤエコ 明二六、二生、廣島、柏木秀助四女

男 昭 大三、四生

君は東京府人、中川佐兵衛の長男にして明治十八年六月を以て生れ大正九年家督を相続す明治四十三年東京帝國大學工科大学冶金科を卒業し鐵道山監督局長兼農商務省技術師兼鐵道山監督局長兼農商務省技術師兼鐵道山監督局長に任じ鐵道局長を命ぜらる大正四年英米佛に留學を命ぜられ同八年シベリヤに同十年支那に出張を命ぜらるる家族は尙二男一(大、一〇)生(長女佐恵(同八、一)生)三男弘(同二、一)生(あり)妹繁那(明二〇、一)生(東京、女學館出身)は神奈川縣人岡田正三に同美亞(同二二、一)生(出身校同上)は日本製水會社取締役加藤重治に同喜美(同二八、一)生(出身校同上)は千葉縣人香取修平に同美知(同三二、一)生(出身校同上)は東京府人小林大三郎に嫁せり(東京、牛込、納戸町二六電牛込五九〇)

參照 加藤重治(下田圭一)の項

中川 末吉

古河電氣工業、横濱製鋼製造各(株)社長、古河銀行、日本電線製造各(株)取締役、江若鐵道(株)相談役

東京府在籍

妻 とみ 明九、一〇生、男爵古河虎之助妻

養子 勝 富 明二五、二生、長女すみ夫、子爵板倉勝家叔父

女 すみ 明三四、三生、養子勝富妻

女 文子 明四二、七生

君は滋賀縣人赤塚又三郎の弟にして明治七年十一月を以て生れ先代石松の養子となり同十二年家督を相続す夙に米國に渡りエール大學を卒業後實業界に入り現時古河電氣工業會社社長たる外前記各銀行會社の重役にして名あり(東京、芝、高輪南町四六電高輪四三三)

參照 子爵板倉勝家、男爵古河虎之助(小田川全之)參吉村萬治郎の項

中川 銑三郎

大北火災海上運送(株)取締役、帝國海上火災保險(株)監査役

新潟縣在籍

妻 ナラエ 八一、八生、生母、茨城、郡司

中川 銓吉

正四位勳三等、理學博士、東京帝國大學教授、理學部部長

石川縣在籍

妻 きく 安政二、七生、祖父全爲長女

中川 善右衛門

岩手縣多額納稅者、金融業

岩手縣在籍

妻 ハマエ 慶應三、四生、岩手、鈴木文之助

女 キヨエ 明二〇、三生、岩手、鶴浦喜代治

養子 信三郎 明三一、二生、長女ハル夫、岩手、鶴浦喜代治三男

女 ハル 明三八、五生、養子信三郎妻

君は岩手縣人先代善右衛門の長男にして明治十六年十二月を以て生れ大正十三年家督を相続し前名政兵衛を改め養子金藏業を營み岩手縣多額納稅者たり家族は尙孫政人(大、一四)生、養子信三郎(長男)同務喜子(昭二、六)生、同長女(妹カツ(明三二、一〇)生)養弟七郎(同四四、三)生、母ハマエ養子、岩手、金藏之助五男(あり)岩手、東磐井、大原町)

中川 武夫

鴻池ビルデング(株)取締役、鴻池銀行(株)庶務部長、奈良縣在籍

妻 ノアエ 明一、二生、奈良、吉田庄七三女

男 俊夫 明三一、二生

男 ハル 明三七、三生、二男俊夫妻、奈良

男 道夫 明三三、二生

男 さかへ 明三五、五生、三男道夫妻、奈良

女 信子 明三七、八生

女 文子 明三九、九生

女 久子 明四〇、二生

女 清子 明四二、二生

中川 辰治郎

岩手縣在籍

妻 トハ 明一四、一、廣島、板谷清八四女

男 澤三郎 明三三、二生

男 興雄 明三五、六生

女 時一 明四二、一〇生

君は廣島縣人中川清吉の長男にして明治十三年四月を以て生れ後先代其兵衛の養子となり同三十七年家督を相続す醬油商を營む家族は尙五男五女(大元、一〇)生(六男駒吉(同四、一)生)八男貞治郎(同七、八)生(九男修一(同二、一)生)あり(大阪、西、南堀江二番丁三〇電櫻川六三三)

中川 種藏

大日本自轉車(株)常務取締役

大阪府在籍

母 すみ 慶應三、三生、大阪、加藤駒三郎妹

君は大阪府人中川忠右衛門の二男にして明治三十一年五月を以て生れ大正十年家督を相続す同十三年東京帝國大學法學部獨逸法律科を卒業し現時律師たり家族は尙姉ワノ(明二四、三)生(あり)大阪、北、天神橋筋二六一)

中川 常藏

大日本自轉車(株)常務取締役

東京府在籍

妻 萬壽子 貞四九、一一生、岡山、土、林利

男 一 郎 大二、一一生

君は山形縣人中川定藏の弟にして明治十年十月を以て生れ大正十年分家して一家を創立す明治三十三年東京高等工業學校機械科を卒業し現時大日本自轉車會社常務取締役たり家族は尙二男二女(大六、五)生(二女英子(同二、一)生)三女慶子(同四、一)生(あり)東京、市外東調布町田園調布一七二號)

中川 禎輔

果物商

山口縣在籍

妻 カム 明一三、六生、山口、仲藤助左衛門二女

男 隆 一 明三三、一一生

男 隆 二 明三八、一一生、長男隆一妻、山口、シヅ子 濱邊勝藏孫

君は山口縣人中川武兵衛の長男にして明治十一年九月を以て生れ同二十五年家督を相続す果物商を營む家族は尙孫正輔(大、二)生、長男隆一(長男)あり(門司、大字門司)

中川 藤右衛門

三重縣多額納稅者、津農商銀行(株)取締役、洋反物商

三重縣在籍

妻 いと 元治元、一一生、養父藤左衛門長女

養子 清 錦 明二四、七生、長女いく夫、三重、白米清芳弟

女 いく 明二二、一一生、養子清錦妻

女 とみ 明三五、二生

女 とく 明三七、三生

君は三重縣人鈴木平兵衛の弟にして慶應元年三月を以て生れ先代左衛門の養子となり明治三十二年家督を相続し前名種藏を改む洋反物商を營み傍ら前記銀行の重役を兼ね縣下の多額納稅者たり家族は尙孫清一(大、一)生、養子清錦(長男)あり二女(明三一、六)生(三女重子(同四、一)生)あり(津、宿屋町六八二)

中川 徳右衛門

京都府多額納稅者、京都府參事會

京都府在籍

妻 多 満 明二二、一〇生、大阪、木村弘

女 英二郎 明四二、四生

女 菊 明三九、八生

女 秀 明四五、七生

女 貞 大、一一生

中川 友次郎

從三位勳二等、前田侯爵家總務

東京府在籍

妻 て 明一三、三生、亡養父長吉長女

女 長 計局統計官、明三三、五生、經濟學士、内閣統計局統計官

男 君代 明三八、八生、長男友長妻、理學博士齋藤賢道長女

男 重 雄 明三九、八生

男 泰 四郎 明四一、一一生

君は石川縣人井關好直の弟にして明治六年四月を以て生れ中川長吉の養子となり後分家して一家を創立す同三十年東京帝國大學法科大學英法科を卒業し官に奉じ内務書記官同參事官高知縣書記官農商務省參事官山林局長法制局參事官臺灣總督府財務局長等に歴補し大正六年群馬縣知事に任ぜられ同八年原内閣成立する

製鐵所次長に擧げられ次で農商務省特許局長官に任ぜらる後之を辭し現時前田侯爵家總務たり家族は前記の外五男(明四三、三)生(あり)二男貞二(同三六、一)生(は石川縣人石崎桃枝の死跡を相続せり(東京、四谷、三光町二〇電四谷四〇六一)

中川 豊吉

服部時計店(株)取締役、服部貿易

東京府在籍

妻 タマ 明一九四、生、東京、中島ツル養母

男 久 造 明三七、六生

男 千代 明四三、六生

女 糸子 明四四、四生

中川 豊治

染炭服商

京都府在籍

君は京都府人中川辰次郎の二男にして明治四十年九月を以て生れ大正九年家督を相続す染炭服商たり家族は尙孫以(明三八、一〇)生(妹君子(同四三、八)生)同駒(大、二)生(あり)京都、室町通松原上(電下六六九)

中川 虎太郎

從五位勳四等、朝鮮總督府中央試驗所技術師兼朝鮮總督府技術師

福岡縣在籍

妻 フサ 明一五、三生、福岡、入江五郎姉

男 實 枝子 明四二、二生

君は福岡縣人平分眉山の二男にして明治九年七月を以て生れ先代ワキの養子となり同十三年家督を相続す同三十二年東京工業學校窯業科を卒業し農商務省技手となり同三十九年韓國政府の聘に應じ同四十二年朝鮮總督府技手に任じ次で同技師となり前記の職に在り家族は尙四女清子(大、四)生(三)あり長女千枝子(明三九、一)生(は山口縣人豊永辰大に嫁せり(京城、東崇洞中央試驗所官舎)







子同九、四生)叔父雅夫(明元、九生)同妻つね(同一四、九生、内山五美養子)及其四男同友吉(同一二、八生)同妻まさ(同一三、五、三、生、岐阜、桂川幸太郎四女)及其二女あり姪佐(同一三、九、一、生、亡兄純一長女)は岐阜縣人吉島休兵衛長男重平に從妹キミ子(同一三、六、一、二、生、叔父雅夫長女)は同縣人渡邊春雄に嫁せり(岐阜、益田、下呂村)

參照 吉島休兵衛の項

中川與兵衛 實商

大坂府在籍  
 養孫 留次 明三三、七生、孫孝子夫、大坂、林善作弟  
 孫 孝子 明三七、七生、養孫留次妻、亡二男増次郎二女  
 婦 ミツ 明一五、六生、二男増次郎妻、大内七兵衛長女

君は大坂府人中川與右衛門の長男にして安政三年九月を以て生れ明治十年家督を相續す實商を營む家族は尙曾孫久子(六一五、八生、養孫留次長女)あり(大坂、南高津町十番丁七電南二五)

中川芳太郎 正五位勳五等、第八高等學校教授

愛知縣土族  
 妻 つき 明二二、一、生、福井、藤野坦宅女  
 男 醇一 明四二、三、生  
 女 敏 明四五、七、生

君は愛知縣土族中川親の長男にして明治十五年五月を以て生れ大正七年家督を相續す明治三十九年東京帝國大學文科大學英文學科を卒業し同四十二年第八高等學校教授に任じ大正五年英語及英文學研究の爲米國に留学す現時第八高等學校教授の職にあり家族は尙三男芳郎(六七、一〇生)二女久(同一〇、七生)三女壽美(同一四、一、二生)あり妹は女(同一三、一〇生)は分家せり(名古屋、中、西瓦町三八)

中川良長 從四位、男爵

舊公卿家  
 男 浩長 明四一、六、生

當家は先代興長の立つる所なり興長は權中納言甘露寺愛長の七男にして得度して興福寺中大院の住持たりしが明治元年復歸して同二年堂上の格を賜ひ家號を中引と稱す同八年華族に列し同十七年男爵を授けらる石

中北伊助 愛知縣多額納稅者、東海製藥(株)取締役、藥種商、愛知縣在籍

妻 すす 安政五、三、生、愛知、八神三津右衛門三女  
 男 増太郎 明四〇、一、二、生

君は愛知縣人八神幸助の養弟にして明治十年十月を以て生れ先代伊助の養子となり同四十二年家督を相續す藥種商を營み前記會社の重役にして愛知縣多額納稅者たり家族は尙二男銀治郎(明四三、七、生)三女とき(明三四、五、生)四女すみ(同九、七、生)あり長女ゆき(明三五、六、生)は養兄八神幸助長男淺治郎に二女琴(同三九、八、生)は同縣人八神秀治二男精一に嫁せり(名古屋、東、京町九〇電東一六六一)

參照 八神幸助の項

中桐彦太郎 鐵工業

大坂府在籍  
 妻 トメ 萬延元、五、生、大坂、大熊クニ長女  
 養子 徳三郎 明一六、三、生、養子玉枝夫、奈良、高塚藤次郎長男  
 養子 玉枝 明二六、一、生、養子徳三郎妻、大坂、大熊鶴太二女

君は岡山縣人中桐壽一郎の長男にして萬延元年二月を以て生れ明治二十一年分家して一家を創立す鐵工業を營む家族は尙孫雄(大六、九、生、養子徳三郎長男)同淳(同九、一、一、生、同二男)同幸子(同一四、三、生、同長女)あり(大坂、住吉、平野政所町八電戎四七〇)

中桐政太郎 日本モロロン眞田(株)取締役、眞田貿易商、岡山縣在籍

妻 鹿 文久二、八、生、岡山、横溝品吉長女  
 長女 明一八、六、生、岡山、中桐惣十郎

君は岡山縣人中桐貞太郎の長男にして明治十四年三月を以て生れ後家督を相續す眞田貿易商を營み現に前記會社取締役たり弟朝次郎(明二〇、四、生)は同妻ツミカ(同一五、一、一、生、岡山、濱田房五郎長女)を伴ひ分家せり(神戸、加納町六ノ二五電三宮一五五二)

中隈伊勢吉 從五位勳五等、地方技師、大分縣

父 利平 嘉永元、一〇、生、現戶主  
 母 ナツ 嘉永三、四、生、福岡、柴田久平三女

君は長崎縣人中隈海平の長男にして嘉永二年十二月を以て生れ長崎縣會議員同議長同參事會同當置委員長崎縣農工銀行頭取等に擧げられ衆議院議員に當選

上大神廣瀨社各少宮司殿等に歴任し同二十三年以來貴族院議員に擧げらるること數回に及ぶ君は其二男にして伯爵甘露寺受長の從弟に方り明治九年十月を以て生れ大正九年興發寺に東京電燈會社監査役に推され同十年貴族院議員に當選し現時閑地に在るも華界の新人を以て稱せらるる家族は尙二男泰長(大四、九、生)庶子芳子(同一二、四、生、生母同上)弟資長(明一五、九、生)子(同一三、一、二、生、生母同上)弟資長(明一五、九、生)妹秀峯(同一七、一、一、生、弟喜一(大六、九、生)あり妹榮子(明二六、七、生)は鹿兒島縣土族山之内輝治二男種助に嫁し同貞子(同一九、一、一、生)は伯爵林博太郎弟莊次郎の未亡人にして弟興功(同一四、一、二、生)は子爵増山正治の養子となり正興と改名して當主たり(東京、麻布、本村町一六電高輪四八四〇)

參照 伯爵甘露寺受長、伯爵林博太郎、子爵増山正興、伯爵興保榮子子爵増山長男爵島津忠彦の項

中川原貞機 衆議院議員、青森縣選出、青森縣

妻 ツル 明三〇、一〇、生、岩手、米澤雄一  
 男 貞次 明三八、三、生  
 女 貞子 明四〇、一、生、長男貞次妻、青森、子爵宮太長女  
 養子 兼藏 明三六、四、生、養子いと夫、青森、明川平次郎五男  
 養子 いと 明四一、八、生、養子兼藏妻、青森、中川原伊四長女

君は青森縣人中川原貞之助の長男にして明治九年七月を以て生れ大正五年家督を相續す先是明治三十三年東京法學院を卒業し爾來祖業を繼ぐ現時縣下の多額納稅者にして前記銀行會社の重役たり昭和三年衆議院議員に當選す家族は尙三男博治(明四四、六、生)三女あい(大三、一、一、生)四女とし(同六、六、生)孫淳平(同一四、一〇、生)長男貞次(同二、八、生)同二男、ありの外妹も(明一三、九、生)同夫半三郎(同一、一、一、生)同妻こ青森、姥名半七三男、弟昌(同二、二、一、一、生)同妻こ上同二六、一〇、生、青森、工藤徳三郎長女、養妹とめ(同二九、二、生、青森、中川原儀助妹)同夫清吉(同二

君は福岡縣人中隈利平の長男にして明治九年一月を以て生れる同三十四年第五高等學校工學部土木工學科を卒業し同年愛媛縣工手となり次で技師に進み後官を辭し松山電氣軌道會社土木課長となる同四十二年群馬縣技師となり香川秋田福島各縣技師を経て大正十三年地方技師となり大分縣に在勤す(大分市縣内務部内)

中倉宗作 長崎縣多額納稅者

妻 ミノ 明七、四、生、長崎、北島長平姉  
 男 武一 明三二、三、生  
 女 須磨 明三六、二、生、長男武一妻、長崎、中島嘉市長女  
 男 顯一 明三六、三、生  
 女 顯二 明三九、九、生、三男顯一妻、長崎、森田祐一姉  
 女 八重 明四〇、九、生

君は長崎縣人中倉圓作の二男にして明治六年十月を以て生れ同二十七年分家して一家を創立す豪商にして長崎縣多額納稅者たり家族は尙四男友一郎(明四二、四、生)庶子延太郎(大四、一、一、生、生母、長崎、草場ナヲ)孫哲夫(昭二、三、生)三男顯一長男あり二男増太郎(明三三、一、一、生)は長崎縣人中倉平吉に庶子キク(大七、一、一、生、生母、長崎、草場ナヲ)は同縣人津上惠三郎に各養子となれり(長崎、北松浦、南田平村)

中倉萬次郎 勳三等、佐世保鐵道(株)社長

孫 ヌウ 明三七、一、生、孫一妻、長崎、坂本復三長女  
 孫 タツ 明一四、五、生、亡長男豊太郎妻、長崎、士、大曲千代馬妹

君は長崎縣人中倉滿海の長男にして嘉永二年十二月を以て生れる長崎縣會議員同議長同參事會同當置委員長崎縣農工銀行頭取等に擧げられ衆議院議員に當選

二、二生、青森、村井孫太郎三男、養叔父仁太郎(同一二、三、生、青森、石波伊之松二男)同妻つる(同一二、八、生、青森、中川原長太郎妻)との間に各子女並に養叔父岩吉(嘉永五、一、一、生、青森、中川原三平二男)同妻まさ(安政六、三、生、青森、石波九兵衛二女)あり二女せつ(明三九、二、生)は青森縣人菊池萬三郎弟良助に嫁はつる(同三三、二、生)は同縣人泉山豊田長男政知に同とみ(同三九、二、生)は同縣人泉山哲司に從妹は(同四一、一、生)は同縣人小泉福松に嫁し養妹かん(同一、一、一、生、青森、中川原勳藏二女)は同夫忠之丞(同一九、八、生、青森、中川原辰之助三男)と共に其子女を伴ひ分家せり(青森、三戸、淺田村)

參照 菊池萬三郎の項

中木伊三郎 北都運送(株)取締役

妻 平三郎 明二四、一、生、北海道、畑久平長女  
 女 いく子 大元、七、生

君は石川縣人中木伊平の長男にして明治十六年一月を以て生れ同四十三年家督を相續す大正元年小樽西谷庄八經營の運送業北都組を繼承し始めて獨立營業に従事し漸次北海道運送業界の重鎮たるに至れり現時北都運送會社取締役たり家族は尙二女宮子(大七、一、一、生)二男常豊(同九、三、生)妹しず(明三七、九、生)あり(小樽、稻穂町東七ノ九)

君は福岡縣人中木直右衛門の五男にして明治十八年二月を以て生れ大正二年家督を相續し後前名幹雄を改む農業を營み傍ら第一銀行取締役にして現に福岡縣多額納稅者たり家族は尙四男勇(大四、四、生)二女ユリ(同一六、三、生)三女まり(同九、一〇、生)四女ミヤ(同一二、三、生)五女ユウ(同一四、七、生)六女昭子(昭二、三、生)あり(福岡、伊達、築川町)

中木直右衛門 福岡縣多額納稅者、第百一銀行

妻 カナ 安政三、九、生、先々代直右衛門四女  
 男 壯策 明四三、三、生  
 女 茂 明四三、三、生

君は福岡縣人中木直右衛門の五男にして明治十八年二月を以て生れ大正二年家督を相續し後前名幹雄を改む農業を營み傍ら第一銀行取締役にして現に福岡縣多額納稅者たり家族は尙四男勇(大四、四、生)二女ユリ(同一六、三、生)三女まり(同九、一〇、生)四女ミヤ(同一二、三、生)五女ユウ(同一四、七、生)六女昭子(昭二、三、生)あり(福岡、伊達、築川町)

中小路久太郎 吳服商

妻 はる 明六、九、生、京都、小林伊兵衛長女  
 男 正治郎 明二四、一、二、生、長男正治郎妻、京都、西村信太郎長女  
 男 恒二郎 明二七、三、生  
 女 恒三郎 明三三、一、二、生、二男恒二郎妻、京都、渡邊清次郎長女

君は京都府人中小路久兵衛の長男にして安政六年五月を以て生れ明治十一年祖母ののちの後に承けて家督を相續す吳服商を營む家族は尙孫正造(大四、二、生、長男)正治郎長男(同久雄(同六、一、一、生、同二男)同秀三(同九、一、一、生、同三男)同幸子(同一三、三、生、同長女)同悦子(同二女)同恒雄(同一二、三、生、二男恒二郎長男)同都子(同一三、二、生、同長女)同茂次(昭二、六、生)同徳次郎に嫁せり(京都、上京、間ノ町通御池下ル綿屋町五一七電中五一五〇)

中小路與平治 勳四等、浦生銀行(株)相談役

妻 てつ 明元、三、生、滋賀、村井文藏妹  
 孫 健一郎 明四四、四、生、滋賀、村井文藏長男  
 孫 健二郎 明二一、三、生  
 孫 健三郎 明二二、六、生、滋賀、養子徳治郎長女

君は滋賀縣人先代與平治の長男にして明治元年八月を以て生れ同二十九年家督を相續し前名貞治郎を改む夙に京都府立龜岡中學校及滋賀縣立商業學校等に學び郡會議員同議長衆議院議員等に擧げられ現時浦生銀行相談役たり又曾て大津商業會議所會頭滋賀縣農工銀行頭取八幡物合資會社社長たりしことあり家族は尙孫よし(大四、一、一、生、滋賀、養子徳治郎二女)同啓治(同五、一、一、生、同二男)同昇(同一、一、一、生、同三男)同志士男(同一二、七、生、同四男)あり妹は(明一三、九、生)は大坂府人山本藤治郎に嫁せり(滋賀、蒲生、金田村)







**中澤鏡太郎** 中澤商店、莫大小商  
 母 イシ 慶應元、一、三、三、杉田忠太郎妹  
 妻 キヨ 明二五、一〇生、兵庫、末永幾次  
 男 國太郎 大、一〇、六生  
 君は大阪府人中澤新七の長男にして明治二十年八月を以て生れ大正十一年家督を相続す莫大小商を営み中澤商店として知らるる家族は尙長女芳子(大六、一、一)二女つや子(同八、七、七)の他弟高之助(明二九、一、一)同詮雄(同三六、八、八)同眞吉(同四一、五、五)あり(大阪、西、土佐堀船町二電園土佐堀二七五)

**中澤義一** 中澤銀行(株)頭取、金線飲料(株)社長、札幌木材、臺灣拓殖各(株)事務取締役、文化工業、東神護謨工業、中澤商店各(株)監査役、中澤保全(名)代表社員、東京府在籍  
 妻 ふき 明二八、七、七、長野、飯島正一養妹、跡見女學校出身  
 男 清 大、四、三、九生  
 女 千佳 大、四、九生  
 君は長野縣人山本喜作の長男にして同慎平の従弟なり明治十九年十一月を以て生れ同四十五年先代ふきの入夫となり家督を相続す現時中澤銀行頭取たる外前記各會社の重役たり家族は尙二女三和子(大五、九、九)二男延夫(同七、七、七)あり(東京市外大久保町西大久保一三五電四谷五三三六)

**中澤五三郎** 寶珠貿易商  
 妻 しずを 明一一、九、九、山梨、志村政治二女  
 養子 清 梨、飯島壽夫叔父  
 女 みしの 明三一、一〇生、養子清妻  
 君は山梨縣人中澤民藏の長男にして明治五年五月を以て生れ同二十九年家督を相続す寶珠貿易商を営む家族は尙弟杉一(明一五、一、一)あり同義太郎(同八、三、三)は其妻なを(同四、一、一)生、群馬、小河善就姉)と共に同九一(同三、二、二)は其妻なよ(同九、一、一)生、山梨、竹川房治郎妹)と共に同復(同二四、一、二)は其妻きよ(同三〇、一、一)生、山梨、櫻田順三

**中澤清八** 茨城縣多額納税者、茨城縣農工銀行(株)取締役、常磐銀行(株)監査役、米穀商、茨城縣在籍  
 妻 とみ 明一六、一、二、長男清八郎妻、茨城、間々田惣助妹  
 男 孝三 明三六、五、五、長男清八郎二女、跡見女學校出身  
 孫 宇多 明四〇、二、二、長男清八郎三女、跡見女學校出身  
 孫 さか江 明四四、一、一、二、長男清八郎三女を以て生れ中澤清八の養子となり明治二十二年家督を相続す農業を営み茨城縣農工銀行取締役の外前記銀行の重役にして縣下の多額納税者たり家族は尙孫静枝(大三、四、四)長男清八郎(同四、一、一)同賢一(同八、三、三)同長男同賢一(同二、一、一)同二男あり二女つね(明一八、七、七)同縣人馬場治平に嫁し三女すい(同二二、四、四)は同夫耕造(同二七、七、七)生、木、田中勝次郎二男)と共に同分家し三男男男(同三三、七、七)生前記耕造の死跡を相続せり(茨城、結城、結城町)  
 參照 田中勝次郎、馬場治平、間々田惣助、田中利三郎、同田中忠平の項

**中澤泰三郎** 宮城縣多額納税者、酒造業  
 妻 よし 明三、九、九、宮城、富士東七姉  
 孫 新式 大六、四、四、亡長男圭吾長男  
 孫 こと 明二七、五、五、亡長男圭吾妻、宮城、鈴木甚吉三女  
 養子 謙吉 明三三、三、三、七女とく夫、宮城、千葉謙助弟  
 女 とく 明三五、一、一、養子謙吉妻  
 男 勝夫 明三七、七、七  
 女 えい 明四〇、一、一  
 男 好夫 明四一、五、五  
 女 みつ 明四五、三、三  
 君は宮城縣人中澤新四郎の長男にして明治元年十二月を以て生れ後家督を相続す酒造業を営み宮城縣多額納税者たり家族は尙五男文雄(明四四、三、三)六男重次(大五、一、一)孫圭三(同二〇、一、一)三、亡長男圭吾(同二一、一、一)同長男あり一、一、一、養子謙吉長女)同國夫(同二五、九、九)同長男あり二女よし(明二六、六、六)一(生)は宮城縣人榎塚隆安長男隆成に同四三(同二、二、二)一(生)は同縣人飯塚千尋に同五五(同四、四、四)一(生)は同縣人千葉甲一郎に同六二(同三、三、三)一(生)は同縣人千原英男に嫁し妹とみ(同五、四、四)は同夫直之助(同二、三、三)及子女と共に同分家せり(宮城、遠田、田尻町)  
 參照 鈴木甚吉、富士東七の項

**中澤定治郎** 東京株式取引所取引員  
 妻 ハツ 明二一、五、五、東京、石井榮次郎長女  
 君は東京府人中澤清七の長男にして明治二年一月を以て生れ同三十三年母きよの後を受けて家督を相続す現時東京株式取引所取引員たり家族は尙長女清(大七、六、六)あり(東京、四谷、鹽町一ノ一六電四谷三三四五)  
 參照 茨橋順誓の項

**中澤宗治郎** 室蘭市會議員、登別温泉軌道、栗林商船、栗林商會各(株)取締役、登別製鐵所、室蘭土地埋立各(株)監査役、運送業、北海道在籍  
 妻 ふさ 明八、二、二、新潟、桶原久次郎長女  
 男 勝平 明三九、二、二  
 君は新潟縣人中澤喜平治の長男にして文久三年十月を以て生れ明治二十二年分家して一家を創立す運送業を営み現に前記各會社の重役にして室蘭市會議員に推さる(室蘭、常盤町七五)

**中澤豊七** 伊勢崎銀行、群馬精糖、上毛織物、伊勢崎運送倉庫、上毛電氣鐵道各(株)取締役、群馬縣在籍  
 妻 ツネ 安政五、一、二、群馬、高草木三郎姉  
 男 一 明五、二、二、養父豊七長女  
 妻 美哉 明二七、一、一、生  
 男 幸次郎 明二九、一、一、生  
 男 三郎 明三六、二、二、生  
 女 光子 明四〇、七、七、生  
 女 福子 明四三、一〇、一〇、生  
 君は群馬縣人正田房五郎の三男にして明治元年六月を以て生れ後先代豊七の養子となり同四十年家督を相続し前名利三郎を改む現時前記銀行會社の重役たり家族は尙五男董夫(大三、六、六)孫敏郎(同七、一、一)長男一郎長男(同二、一、一)同二男(同二、一、一)同三男(同四、一、一)同三男(同三、一、一)一〇生、同長女あり長女さわ(明三一、一〇生)は千葉縣人宮本清利に嫁せり(群馬、佐渡、伊勢崎町)  
 參照 茨書上庸藏の項

**中澤彦七** 奴利屋本店、酒類問屋  
 妻 ろく 明一八、八、八、養父彦七三女  
 男 彦一 明四一、二、二、生  
 君は兵庫縣人泉利平治の二男にして中澤要輔の養男なり明治十七年八月を以て生れ明治四十一年先代彦七の養子となり大正十四年家督を相続し前名佐市を改む酒類問屋を営み奴利屋本店と號す家族は尙長女由子(大四、一、一)生、あり(東京、京橋、松川町九電京橋二)參照 中澤要輔の項

**中澤利介** 釐製業  
 妻 こんめ 明四、四、四、兵庫、正井龜吉妹  
 養子 慶次郎 明二五、一、一、生、兵庫、田中梅次郎弟  
 女 こひさ 明二四、二、二、養子慶次郎妻、兵庫、正井直兵衛妹  
 君は兵庫縣人先代利介の長男にして明治元年八月を以て生れ同三十六年家督を相続し前名福松を改め製糖業を営む家族は尙孫みち子(大三、八、八)養子慶次郎長女)同とみ子(同八、一〇、一〇)同二女(同二、二、二)同長男あり弟廣吉(明七、八、八)は兵庫縣人森田常介の養子となり同德藏(同二、四、四)は其妻アヤノ(同二〇、二、二)生、兵庫、櫻井仙吉三女)を伴ひ分家し妹(同二〇、三、三)は兵庫縣人松田範房に嫁せり(神戸、南灘瀬川町一ノ一六九電兵庫一五八〇)  
 參照 森田常介の項

**中澤彦雄** 奴利屋、酒類商  
 母 きん 明一三、七、七、祖父彦吉庶子  
 君は東京府人中澤彦吉の長男にして白井博之同五郎近藤利兵衛の甥なり明治四十三年六月を以て生れ大正十

**中澤要輔** 丸榮回送店(株)取締役、兼支配人、東京府在籍  
 妻 なを 明三、四、四、東京、中澤彦七養叔母  
 養子 たま 明三五、二、二、東京、大澤利平三女  
 君は東京府人中澤宗五郎の長男にして慶應三年三月を以て生れ明治四十一年家督を相続す現時第一銀行營業部計算方にして本店證券掛長兼株式掛長たり長女富喜子(明二八、三、三)は東京府人伊藤虎に二女仲(同三〇、一、一)は同府人正村貞之祐に嫁し弟徳三郎(同六、四、四)生、あり(東京、本山七郎兵衛四女)及其子女を伴ひ分家せり(東京市外代々木町代々木四七四電四谷八七五)

**中澤利八** 京都商事(株)取締役、西陣織物商、京都府在籍  
 君は京都府人中澤利八の長男にして中澤彦七の養叔父なり慶應二年十二月を以て生れ先々代中澤彦七の養子となり明治四十年分れて一家を創立す現時八十四銀行取締役兼支配人たる外前記會社の重役たり(東京、小石川、丸山町五電大塚一六五三)  
 參照 中澤彦七の項



**妻** ツヤ 明二、一〇生、京都、今井辨次郎二女  
**男** リツ子 明四三、九生  
 君は京都府人先代利八の長男にして明治十七年八月を以て生れ同四十年家督を相続す西陣織物帶地商を営み傍ら京都商會社の取締役たり家族は尙二男邦治(大七、一七)三男光雄(同五、七)二女富久子(同四、一〇)七生あり妹トキ(明二四、二生)は兵庫縣人辰馬半左衛門に嫁せり(京都、下京、五條通富小路角電下八三)

**中澤 亮治** 正五位勳五等 農學博士、臺灣總督府中央研究所技師兼臺灣總督府專賣局技師、工業部醸造科長、岡山縣土族  
**妻** シナ 明二四、五生、佐賀、土、古川豊太郎長女  
**男** 郁子 明四五、三生  
**女** 明四三、九生  
 君は岡山縣土族中澤廣江の二男にして明治十一年十二月を以て生れ同三十八年東京帝國大學農科大學農藝化學科選科を卒業し醸造試驗所技師同技師を経て同四十年農商務省海外實業練習生として獨逸ライオン、ガイセン、ハイム王立醸造園藝學校バイエル、ミュンヘン醸造試驗所ハンノーバー高等工業學校に於て細菌學を研究し歸朝後稅務署技師兼稅務監督局技師醸造試驗所技師臺灣總督府研究所技師に歴任し大正十年農學博士學位を受け現時臺灣總督府中央研究所技師に任じ工業部醸造科長にして同專賣局技師兼家族は尙二男次郎(大五、四生)二女文子(同八、二生)三男文三(同二〇、九生)三女あや(同二〇、九生)の外兄澄男(明元、四生、現戶主)同妻まつ(同二〇、一〇生、福井、土、奥村順四郎妹)及其二子あり姉暢(同七、一〇生)は山口縣土族岡本高介に同愛(同二一、二生)は東京府人佐竹元二に嫁清子(同三六、二生、兄澄男長女)は福島縣人高木君平に嫁し弟欽三(同二七、一〇生)は岡山縣人山上兼善の養子となれり(臺北、大正町二ノ四八)

**中島 愛策** 横濱正金銀行(株)パタビヤ支店支配人、東京府在籍  
**妻** ヲウ 明一七、一〇生、大阪、石川宗七長女  
**男** 幸治郎 明三七、一〇生

**中島 伊平** 日清紡績、東神火災保險、北海道瓦斯(株)監査役、中伊(名)代表社員、小穴製作所(株)取締役、福田屋、絹織物問屋、群馬縣在籍  
**妻** ヲウ 明一〇、四生、養父茂七長女  
**男** 雷二 大元、九生、生母、群馬、上和田三太郎長女  
**女** 貞子 明三九、六生、生母、群馬、上和田三太郎長女  
**女** 弘子 明四三、四生、生母、群馬、上和田三太郎長女  
 中島家は代々高崎市に於て絹織物商を營み福田屋と號して先代伊平に至る君は埼玉縣人向山小平次郎の弟にして慶應元年九月を以て生れ後中島茂七の養子となり明治二十四年養父伊平の後を襲ひ家督を相続し前名米次郎を改む幼少より家業に精勵したる外前記各會社の重役として知られ義に關セルロイド千代田工業各開基畫に趣味を有す妹三(明一九、三三、群馬、上和田喜助長女)は分家せり(東京、小石川、小日向臺町二ノ八電小石川一四〇三)  
 參照 小澤太平三木六三郎の項

**中島 幾三郎** 大阪鐵工業會館(株)取締役、印刷機械製造業、自動車販賣業、大阪府在籍  
**妻** スエ 文久三、三生、大阪、川上海造長女  
**男** 富三郎 明四〇、一〇生  
**女** 新三郎 明四一、九生  
 君は滋賀縣人中島市右衛門の長男にして明治八年八月を以て生れ後家督を相続す吳服商を營む家族は尙長女春子(大三、三三)二女豐子(同九、五五)四女久仁子(同五、三三)三女豐子(同九、五五)四女久仁子(同五、三三)あり叔母とみ(安政三、六生)は滋賀縣人辻惣兵衛の養子となれり(大阪、北、大町三三四電北三八九九)

**中島 一治** 大阪港土地、市岡土地、大軌土地各(株)取締役、大阪府在籍  
**妻** 長女 明一〇、一〇生、兵庫、上田茂兵衛長女  
**男** 章一 明三三、一一生  
**女** か子子 明三一、一〇生  
**女** 治子 明三六、七生  
 君は大阪府人先代一治の長男にして明治五年十月を以て生れ大正五年家督を相続し前名政二郎を改む現時前記會社の重役として知られ妹ケン(明八、九生)は大阪府多額納稅者中島市右衛門の母たり(大阪、港、九條通二ノ六七電西四七八)  
 參照 中島市右衛門の項

**中島市右衛門** 大阪府多額納稅者、中島製作所(株)取締役、大阪府在籍  
**妻** キン 明八、九生、大阪、中島一治妹  
**男** 正枝 明三四、二生、大阪、反保覺二郎  
**女** 停 大一一、一〇生  
 當家は元大阪府下西成郡九條村に住し其祖業を以て業として代々市右衛門を繼承す明治維新前まで庄屋を勤め大地主たり君は先代市右衛門の長男にして明治二十六年四月を以て生れ大正十三年家督を相続し共に前名英一郎を改む現時早稲田大學理工科を卒業し現に中島製作所取締役にして同府多額納稅者たり家族は尙長女惣子(大一一、八生)二女靖子(同二三、四生)弟市三(明四四、一二生)あり妹トキ(同三〇、四生、夕陽丘高等女學校出身)は大阪府人井上七郎兵衛養子元之助に嫁し叔父眞次郎(同八、五生)は同府人芽木ハナの養子となれり同市二郎(同二二、四生)は分家せり(大阪、港、九條南通一ノ二八電西四五八)  
 參照 中島一治、中島市二郎、芽木眞次郎の項

**中島 宇三郎** 大間々銀行(株)頭取、兩毛整絨(株)監査役、群馬縣在籍  
**妻** テイ 明四、一〇生、群馬、稻村嘉平養子  
**女** エイ 明三六、一〇生  
**女** 光子 明四二、一〇生  
 君は群馬縣人小林徳次郎の弟にして明治元年十月を以て生れ後先代利三郎の養子となり同三十七年家督を相続す現時大間々銀行頭取の外前記會社の重役たり家族は尙五女昌子(大四、二生)あり長男彌一郎(明二三、一〇生)は同妻あさ(同二三、四生、愛知、日比野萬藏妹)を伴ひ分家し二男英之助(同二九、二生)も亦分家し長女キキ(同二五、一〇生)は東京府人曾根登三に嫁せり(群馬、山田、大間々町)  
 參照 中島市右衛門の項

**中島 榮三** 長崎商工會議所常議員、長崎實業(株)取締役、長崎海運、長崎株式取引所各(株)監査役、山口縣在籍  
**妻** フキ 明一〇、五生、山口、辻野武太郎妹  
**男** 善六 明二四、五生、養弟徳松長男、山口、辻野英一姉  
**女** イト 明二六、二生、養子善六妻、山口、辻野英一姉  
 君は山口縣人中島友藏の長男にして元治元年正月を以て生れ後先代東伍の養子となり明治二十年家督を相続す現時前記會社の重役にして長崎商工會議所常議員たり家族は尙孫キヨ子(大五、六生、養子善六長女)同住子(同七、六生、同二女)あり亡妹夫徳松(文久二、一〇生)は其一子を生ひ分家せり(長崎市西濱町)

**中島市二** 中島製作所(株)社長、鐵工業、大阪府在籍  
**妻** コノ 明一六、八生、大阪、前島七郎左衛門二女  
**男** 公市 大一一、八生  
 君は大阪府人中島市右衛門の叔父にして芽木眞次郎の兄なり明治十二年四月を以て生れ同三十八年分家して一家を創立す同三十五年東京高等工業學校機械科を卒業し鐵工業を營み現時中島製作所社長たり(大阪、港、九條南通一ノ二六電西三五七)  
 參照 中島市右衛門、芽木眞次郎の項

**中島 牛五郎** 北海道多額納稅者、割産業、北海道在籍  
**妻** タカ 慶應三、一〇生、北海道、小松久藏二女  
**養子** 親三 明一四、九生、長女ケン夫、徳島、土、廣岡榮住叔父  
**女** キン 明二二、一〇生、養子親三妻  
 君は東京府人中島治助の長男にして安政六年九月を以て生れ明治十二年家督を相続す割産業を營み北海道多額納稅者たり家族は尙孫廣(大九、五五)養子親三長男(あり二女カネ(明二四、一〇生)は分家し養子つゝ系(同二六、二生、青森、石戸谷重次郎四女)は石川縣人茶谷保三郎に嫁せり(小樽市)  
 參照 茶谷保三郎、茶谷野亮の項

**中島 悦郎** 從四位勳三等、海軍少將、市立横須賀病院院長、愛知縣在籍  
**妻** マス 明一七、三三、山口、貞永知介二女  
**男** 保正 明三六、一〇生  
 君は愛媛縣人江崎理左衛門の三男にして明治七年五月を以て生れ先代童齋の養子となり同二十五年家督を相続す現に醫學を修め海軍少將となり累進して海軍少將少將に陞る其間海軍病院第二部長看護婦所長第三艦隊軍醫長に歴補す現に市立横須賀病院院長たり家族は

**中島 市松** 吳服商、滋賀縣在籍  
**妻** コウ 明一七、一〇生、大阪、石川宗七長女  
**男** 市太郎 明三六、三三  
**男** 幸治郎 明三七、一〇生

**中島 榮吉** 荻生銀行(株)頭取、富山縣在籍  
**妻** ヲウ 明一七、一〇生、大阪、石川宗七長女  
**男** 幸治郎 明三七、一〇生

**中島 榮吉** 荻生銀行(株)頭取、富山縣在籍  
**妻** ヲウ 明一七、一〇生、大阪、石川宗七長女  
**男** 幸治郎 明三七、一〇生







て生れ同二十八年家督を相続し前名達郎を改め要名す
現時井波銀行頭取たり家族は尙孫勉大(一〇、二生、長男隆吉長男)同實(同一、九生、同二男同泉同一、四、九生、同三男)あり三男隆三郎(明三五、四生)は富山縣人菊野ますの養子となり弟喜三(同六、九生)は分家し四男銀平(同三八、三生)は其養子となり妹なを(同一、五、九生)は富山縣人叶山武藏長男榮作に同やす(同一、〇、二生)は同縣人川岸庄作長男正造に嫁せり(富山、東郷波、井波町)

中島 愿久

奈良縣多額納税者、奈良製菓同業組合副社長、製菓業、奈良縣在籍
養父 伊三郎 文久元、七生、大阪、榎田捨松弟
養母 カツ 元治元、二生、祖父伊六長女
妻 カメツル 明一六、八生、奈良、石原平市郎長女
男 伊太郎 明三六、八生、正八位、陸軍砲兵少尉
婦 ヒサ 明三六、二生、長男伊太郎妻、京都府立第一高等女學校出身
男 幸二郎 明三七、一〇生
婦 高枝 明三八、一〇生、二男幸二郎妻、奈良中津政太郎長女、櫻井高等女學校出身
女 久江 附屬高等女學校出身
君は三重縣人尾崎源左衛門の二男にして明治十七年二月を以て生れ先代伊三郎の養子となり大正十年家督を相続す製菓業を営み現に奈良縣多額納税者たり家族は尙孫基憲(大一一、二生、長男伊太郎長女)同節子(昭二、六生、二男幸二郎長女)あり(奈良市西御門町電五〇六)

中島 鋼平

蘇東銀行(株)取締役
岐阜縣在籍
妻 たづ 元治元、二生、岐阜、中島鐵平妹
君は岐阜縣人中山中島鋼平の父にして安政五年二月を以て生れ明治三十九年分家して一家を創立す現時蘇東銀行重役たり(岐阜、土岐、土岐村)

中島 惟孝

安田銀行(株)會津支店長
熊本縣士族
妻 カツ 明一七、五生、熊本、江藤勇二女
男 孝道 明四二、一〇生
女 アツ 明四四、二生
君は熊本縣士族中島忠の二男にして明治九年十月を以て生れ同四十二年家督を相続す現時安田銀行會津支店長たり家族は尙二男孝男(大一一、一〇生)三男猛夫(同五、三三)三女和子(同一、三、九生)弟幸(明一九、六生)同妻タカ(同二八、九生、熊本、中村計起姉)及其一男一女あり妹フサ(同二五、七生)は熊本縣人甲斐親男に嫁せり(福岡縣若松市大町安田銀行支店內)

中島 佐吉

福井縣多額納税者、敝報商
福井縣在籍
養母 つる 慶應元、四生、大阪、寺田彌平妹
妻 薫 福二八、一〇生、養父佐吉養子、福井、渡邊清右衛門孫
男 武 明一三、一〇生
君は福井縣人山崎伊三郎の二男にして明治二十五年六月を以て生れ先代佐吉の養子となり大正十二年家督を相続し前名伊三吉を改む敝報商を営み現に福井縣多額納税者たり家族は尙長女秀子(大一一、三三)あり(福井市矢町)

中島 佐助

東京銀行(株)頭取
東京府在籍
妻 タツ 安政六、三三、埼玉、町田作次郎長女
男 重兵衛 明一八、一〇生、現戸主、成木村長
婦 てう 明一九、二生、長男重兵衛妻、埼玉、本橋藤雄四女
孫 ミツ 明四三、二生、長男重兵衛三女
君は東京府人中山中島吉太郎の長男にして安政二年一月を以て生れ後家督を相続し大正十年退隱す現時成木銀行頭取たり家族は尙孫重郎(明四五、七生)長男重兵衛長男同寛(大一一、一〇生)同良平(同五、一〇生)同三男同好男(同八、九生)同四男同秀子(同一、二、九生)同四女同政子(昭二、五生)同五女あり同サダ(同三七、一〇生)同長女は埼玉縣人清水清次郎

中島 三郎

岡本商店、洋紙合同販賣、丸王商店各(株)取締役、群馬縣在籍
母 はつ 文久二、一〇生、群馬、中島仙助姉
妻 吟 明二二、一〇生、東京、岡本彌兵衛妹
男 泰助 大一一、一〇生
君は群馬縣人中山中島仙助の長男にして明治二十一年一月を以て生れ大正六年家督を相続す現時前記諸會社の重役たり家族は尙二男邦次(大一一、一〇生)長女隆子(同五、一〇生)五男愈郎(同一、三、二生)二女三千子(昭二、五生)あり弟義三郎(明二九、一〇生)は東京府人辻新三郎の養子となり(東京市外寺島町二二一〇電墨田二〇〇四)

中島 三郎

大阪三品商事(株)監査役、大阪三品取引所取引員、大分縣在籍
父 百藏 元治元、一〇生、大分、河野圓六
母 ヒサ 明三、三三、大分、藤村嘉三郎妹
妻 フミ 明三、三三、佐賀、伊丹誠一六女
男 豊 大九、二生
君は大分縣人中山中島百藏の長男にして明治二十二年八月を以て生れ大正三年慶應大學理財科を卒(父の業を継ぎ大阪三品取引所取引員にして大阪三品商事會社監査役たり家族は尙二男孝二(大一一、一〇生)三男幸雄(同一、一〇生)弟幸太(明二五、二生)同妻千榮(同三、一〇生)一男、安孫子守男(長女)及其一子同光雄(同三〇、三三)同孫(同三六、一〇生)同五郎(同四〇、四生)あり妹元(同二八、一〇生)は大分縣人伊與田市藏四男英二に同米(同三二、一〇生)は熊本縣士族緒方正亮弟正敏に嫁せり(大阪、東、南久太郎町二二八電船場一〇八四)

中島 四郎

手宮運送社(株)常務取締役
石川縣在籍
養父 菊松 安政六、八生、石川、眞木市次郎
君は石川縣人中山中島四郎の長男にして明治二十六年九月を以て生れ同二十七年中島菊松の養子となる大正六年東京帝國大學法政科を卒業し現時手宮運送社常務取締役たり家族は尙長女園子(大一一、七生)二女裕子(同一、四、八生)三女品子(昭二、三三)あり(石川、能美、小松町)

中島 滋太郎

信越電力(株)取締役
山梨縣在籍
妻 うた 明一四、六生、山梨、中島致恭長女
女 活子 明三七、三三、女子學藝院、女子英學塾出身、女子英學塾講師
君は山梨縣人中山中島致恭の甥にして明治三年六月を以て生れ同二十八年分家して一家を創立す同年東京帝國大學法政科を卒業し直に日本郵船會社に入り同社支店課長神戸支店長取締役等に歴任し大正十二年之を退き現に信越電力會社取締役たり俳句園藝等に趣味を有す家族は尙養子淑子(大七、四生、千葉、野田政吉孫)あり長女靜江(明三三、九生、神戸女學院、自由學院出身)は醫學博士末永敏事に従妹かほ(同二二、九生、前記致恭三女)は工學博士林桂一に嫁せり(東京市外中野町東中野一〇一電中野一三六)

中島 壽三郎

福岡縣多額納税者、農業
福岡縣在籍
妻 タツヨ 明一三、一〇生、福岡、士、中野英雄姉
男 五良 明三七、二生
婦 須磨子 明三七、七生、長男五良妻、福岡、カウエ 明一七、一〇生
君は福岡縣人中山中島壽平の二男にして文久三年四月を以て生れ先代壽平の養子となり明治十六年家督を相続す農業を営み福岡縣多額納税者たり家族は尙五女君子(大三、九生)孫(同一、四、八生、長男五良長男)あり二女アサエ(明二〇、一〇生)は福岡縣人森尾民治の養子となり三女キタエ(同二三、一〇生)は同縣人國武克己に嫁し四女サカエ(同二七、一〇生)は同夫眞(同二三、一〇生)

中島 集

福岡縣多額納税者、筑後電氣、筑後軌道各(株)取締役、田主丸銀行、興産銀行各(株)監査役、農業
福岡縣士族
妻 キン 明一九、一〇生、福岡、瀧井辰雄長女
男 浩一 明四三、六生
君は福岡縣士族中山中島集の長男にして明治十四年五月を以て生れ大正十一年家督を相続す農を業とし福岡縣多額納税者にして前記各銀行會社の重役たり家族は尙二男二郎(大一一、一〇生)四男思朗(同四、七生)五男恭三(同六、一〇生)三女セツ(同九、六生)六男慶太(同一、三、二生)七男和夫(昭二、二生)あり長女タツ(明三九、九生)は福岡縣人田中保藏養子幸夫に嫁せり(福岡、浮羽、田主丸町)

中島 重

同志社大學教授兼法學部長
岡山縣在籍
父 直治郎 安政三、六生、現戸主
母 喜代 重長二女
妻 リョウ 明二〇、一〇生、長野、水野功長女
男 元行 大一一、一〇生
君は岡山縣人中山中島直治郎の長男にして明治二十一年五月を以て生れ大正五年東京帝國大學法政科を卒業し同志社大學に職を奉じ現に同志社大學教授にして法學部長を兼ね家族は尙長女珠子(大八、三三)二女俊子(同一、一〇、一〇生)三女良子(同一、三、一〇生)の外叔母龜(明元、八生)あり(京都、上京、塔ノ段尾沙門町四五九)

中島 重治

銘酒の花釀造元、酒造業
京都府在籍
妻 さつ 明二五、一〇生、京都、中西孝次郎長女
男 芳太郎 大一一、九生
君は京都府人中山中島芳之助の長男にして明治二十年三月

中島 重平

栃木銀行(株)頭取
栃木縣在籍
妻 マン 明一五、八生、栃木、長澤宗助長女
男 重雄 明三九、八生
女 靜子 明二六、一〇生
君は栃木縣人中山中島重平の長男にして明治四年十一月を以て生れ同十六年家督を相続し前名重吉を改む現時栃木銀行頭取たり家族は尙二女歌子(大三、五生)三女佐木銀行頭取たり家族は尙二女歌子(大三、五生)三女佐和子(同五、一〇生)三子サヨ子(同八、一〇生)生母、和子(同五、一〇生)同重代(同一、三三)生母、同生、秋田、芳賀マツエ(同重代)同春代(昭二、四生)同英次(同一、三、八生)生母、同生、同生、同生、同生、七に妹ユウ(同一、七生)は同縣人櫻井源右衛門に嫁し弟重次郎(同一、九、一〇生)は同妻ユメ(同二四、一〇生)栃木、阿部榮三郎二女及其二子を併ひ分家し同平重郎(同二二、三三)は東京府人石井富吉の養子となり(栃木、下都賀、栃木町)

中島 從三郎

呉服太物商
大阪府在籍
養母 カウ 明八、一〇生、大阪、瀧山與姉
妻 貞子 明二〇、七生、大阪、瀧山與妹
男 清一 明四〇、三三
女 以久子 明四三、一〇生
君は大阪府人中山中島清太郎の弟にして明治十六年十二月を以て生れ同四十一年兄清太郎の養子となり家督を相続す呉服太物商を営む家族は尙三女時子(大七、二生)あり叔母ツツ(明二三、一〇生)は大阪府人中原常太郎に嫁せり(大阪、東、本町三ノ二六電本町一)



**中島 淳** 各務原鐵道(株)代表取締役、蘇原銀行、美濃電氣軌道各(株)監査役  
 養父 豊蔵 嘉永三、六生、現戸主  
 養母 つるよ 嘉永四、九生、養父源蔵長女  
 妻 うめ 明三、六生、養父源蔵長女  
 君は岐阜縣人横山吉右衛門の長男にして安政六年七月を以て生れ明治二十一年當主豊蔵の養子となる現時各務原鐵道會社代表取締役たる外前記銀行會社の重役たり家族は尙養弟又三郎(慶應元、九生、岐阜、横山吉次郎兄)及其二子あり養妹と(明一九、九生)は岐阜縣人安田久之助に嫁せり(岐阜、稻葉、北長森村)  
 參照 安田久之助の項

**中島 庄藏** 建築請負業  
 父 辰造 文久二、一生、現戸主  
 母 正 大、一〇、五生、生母、大阪、奥野

君は大阪府人中島辰造の長男にして明治二十四年十一月を以て生れ辰造と共に建築請負業を営み専ら東京支店の業務を擔當す家族は尙庶子圭子(大、一、一、生母、生母、大阪、奥野サツ)同明(同一四、一、一、生母、同上)あり(大阪、西淀川、傳法町北三ノ三八電土佐堀七六一、五五五)  
 參照 中島辰造の項

**中島 資朋** 正四位勳二等功四級、豫備海軍中將、東京府士族  
 母 まつ 保應長女  
 妻 まつ 明一七、九生、東京、土、久保勇妹  
 男 資忠 明三六、八生

君は静岡縣士族中島資成の長男にして明治四年十月を以て生れ同四十二年家督を相続す同二十五年海軍兵學校を卒業し海軍少尉に任じ海軍中將に果進す現時豫備役たり(東京市外代々木町幡ヶ谷一〇電四谷一九九六)  
 參照 久保勇妹天羽英二(滋井上正通)久保正助の項

男 英俊 大四、九生  
 女 ユキ 大二、一〇生  
 君は新潟縣人中島密藏の長男にして明治十六年一月を以て生れ大正十二年家督を相続す明治三十八年東京高等商業學校を卒業し三井物産會社に入大正十一年商務官に任ぜられ新加坡に在勤す同十四年總領事となり現に同任地に駐在す家族は尙二男正二(大六、二生)三男清(同七、七生)四男素善(同八、二生)弟吉太郎(明一九、二生)同妻トヲ(同二六、八生、新潟、伊部港長女)及其二男四女あり(英領新加坡、日本總領事館)  
**中島 清兵衛** 茨城縣多額納稅者、吳服商  
 妻 こう 明九、一二生、養父清兵衛二女  
 男 覺太郎 明三〇、九生、長男覺太郎妻、柳木、福井藩三郎三女  
 女 もん 明二六、九生  
 男 輝次 明三七、九生  
 君は茨城縣人中島久兵衛の長男にして慶應三年八月を以て生れ先代清兵衛の養子となり明治二十七年家督相続と共に前名彦次郎を改め襲名す吳服商を営み縣下の多額納稅者たり家族は尙孫義一郎(大八、七生、長男覺太郎長男)同妻二郎(同一五、二生)同信造(大四、二生、長女もん私生子)あり三男秋三郎(明三九、九生)は茨城縣人中島壽藏の養子となり(茨城、新治、土浦町)  
 參照 鈴木彌三郎の項

妻 きく 明九、一〇生、埼玉、原繁二女  
 男 純一郎 明三三、一一生  
 女 振二 明三六、三三  
 男 雅 明四一、九生  
 中島家は數代高崎市に住し初め古着商を營みしが先代仙助に至り染織太織商に轉せり先々代仙助大に家業を勵み以て同家今日の基を樹つ君は先代仙助の二男にして明治五年八月を以て生れ同二十七年家督を繼承す前名喜千次郎を改む祖業を繼承し又前記會社の重役にして群馬縣多額納稅者たり義に高崎商業會議所特別議員に推される家族は尙三男昌三(明四五、六生)あり長女米(同三一、三三)は群馬縣人小林彌重郎に二女俊(同三八、五生)は東京府人村林榮助長男榮一に妹たけ(同一四、九生)は埼玉縣人久米良作に嫁し弟順之助(同九、一〇)は同妻美代(同一〇、七生、埼玉、中原吉次郎)を伴ひ同敬次(同二五、一〇生)は同妻マサ(同二九、三三、群馬、森田壽次郎二女)を伴ひ各分家し姉ハツ(文久二、一生)は群馬縣人中島三郎の母たり(高崎、中野屋町二七)  
 參照 中島三郎、村林榮助、森田壽次郎(岩崎清七)の項

**中島 宗左衛門** 西宮榮酒(株)取締役、酒類商  
 妻 まつ 明二、一生、大阪、安藝嘉藏妹  
 養子 良帝 明三六、八生、養子良帝妻、神戸  
 女 智恵 明三九、九生、尼崎高等女學校出身  
 當家は西宮市に土着せる舊家にして往時は農を業とせしも後縮商に轉じ君に至る君は先代宗左衛門の長男にして明治十三年五月を以て生れ大正三年家督を相続し前名順三を改め襲名す遺業を營みしが後酒類商を創め傍ら同志と共に西宮榮酒會社を興し現に其取締役に擧げらるる家族は尙孫帝子(大、一五、四生、養子良帝長女)あり(西宮、本町六八電二六一)

**中島 惣次** 東洋火災保險(株)常務取締役、安田ビルディング(株)監査役  
 母 よし 天保一三、一二生  
 妻 やま 明一二、一生、東京、土、岡本誠

男 勝也 明三五、一二生  
 女 光 明三八、八生、東京府立第三高等女學校出身  
 女 輝 明四〇、四生、東京府立第三高等女學校出身  
 女 和 大二、二生、東京府立第三高等女學校在學

君は舊藩藩士中島代右衛門の二男にして慶應二年九月を以て生れ明治十八年家督を相続す同二十三年明治法律學校を卒業し爾來數年間官途にありしが同二十九年東京火災保險會社に入り理事として多年同社の業務に従事し大正九年東京火災海上再保險會社の創立せらるゝに當り入りて其取締役となり其常務取締役として今日及び傍ら安田ビルディング監査役たり家族は尙四女(大三、八生)二男健也(同五、九生)三男英夫(同一、三三)孫欽一郎(昭二、三三、長男勝也長男)あり(東京、赤坂、青山南町一ノ一八電青山七一〇)

**中島 太助** 大阪府多額納稅者、油類商  
 妻 クラ 明二一、九生、養父太助長女  
 男 利寛 大三、一生

君は愛知縣人櫻井勇八の二男にして明治十六年八月を以て生れ後先代太助の養子となり大正九年家督を相続し前名米太郎を改め襲名す油類商を營み大阪府多額納稅者として知らるる養子八尾製油會社社長たり(大阪、西、靑南通二ノ二九電國土佐堀一九三九)  
**中島 大** 東京鐵道(株)取締役、日本勸業銀行(株)監査役、東京府士族  
 妻 とく 明九、五生、東京、蒲生裕之助妹  
 養子 時雄 明三〇、四生、東京、服部讓五男  
 妻 美代子 明三六、一一生、養子時雄妻、東京、藤岡信一郎妹  
 君は舊藩藩士中島遠葉の四男にして文久元年六月を以て生れ明治二十六年家督を相続す現時東京鐵道會社取締役たる外日本勸業銀行監査役たり家族は尙孫昭(大、一四、四生、養子時雄長男)同弘(同一五、七生、同二男)あり姪壽代(明九、一一生)は栃木縣人久津隆造に嫁せり(東京、小石川、金富町四八電小石川二八〇)

男 大助 中大、石版印刷業  
 妻 ちよ 明四三、一生、愛知、吉金重次郎孫  
 君は愛知縣人先代大助の孫にして明治十四年九月を以て生れ同二十一年家督を相続し前名大三郎を改め襲名す中大と稱し石版印刷業を營む母せき(安政二、三三、愛知、伊藤清九郎三女)は繼父京次郎(萬延元、一一生、愛知、加藤善左衛門三男)及び妹ひで(明二八、六生)は共に分家せり(名古屋、東、關鐵道三ノ一〇電東一四六八)

**中島 猛矣** 從五位勳五等、朝鮮總督府技師、内務局勤務、長崎縣在籍  
 父 藤太郎 嘉永五、二生、現戸主  
 妻 信 明二四、二生、東京、鈴木領雄妹  
 男 保信 大一、一生  
 君は長崎縣人中島藤太郎の長男にして明治十五年十月を以て生れ同十四年東京帝國大學工學部を卒業し大正六年陸軍技師に任じ東京砲兵工廠朝鮮兵器製造所附を経て同十年朝鮮總督府技師に轉じ現に内務局勤務たり家族は尙長女千枝(大、一三、二生)の外弟同妻ハツコ(同三〇、三三、大分、上ノ土林造長女)及其一男一女同婚(同三二、八生)同後(同三六、五生)あり(京城、總督府内務局)  
 參照 鈴木領雄の項

**中島 辰一** 岡山縣多額納稅者、吳服商  
 母 いの 明二、一一生、岡山、中藤秀次郎

君は岡山縣人中島辨治郎の長男にして明治二十七年三月を以て生れ大正四年家督を相続す吳服商を營み現に岡山縣多額納稅者たり家族は尙弟純二(明二九、三三)同妻梅子(同三三、一一生、岡山、金田支市長女)及其三男二女あり妹美子(同三三、五生)は岡山縣人中藤右一に嫁せり(岡山、吉田、津山町)  
**中島 辰造** 土木建築請負業  
 妻 モト 元治元、九生、大阪、木村岩助三女  
 男 庄藏 明二四、一一生

男 正雄 明三四、九生  
 女 君 明三八、七生、三男正雄妻、兵庫、前田藩郎長女  
 女 タツ 明三二、七生

君は大阪府人植田甚藏の三男にして文久二年一月を以て生れ後先代庄七の養子となり明治十二年家督を相続す土木建築請負業を營み現に大阪土木建築組合常任評議員外各種の公職に在り家族は尙孫正(大、一〇、五生、長男庄藏男)同圭子(同一、一四、一生)同女同明(同一四、一生)同男(同辰雄)同一四、四生、三男正雄長男)あり二女カツ(明二一、一一生)は其夫勝太郎(同一四、八生、奈良、水口岩藏弟)と共に一男二女を伴ひ分家せり(大阪、西淀川、傳法町北三ノ三八電土佐堀七六一、五五五)  
 參照 中島庄藏の項

**中島 玉吉** 正四位勳二等、法學博士、京都帝國大學教授  
 男 達太郎 明四〇、一一生  
 女 久子 明四二、九生  
 女 恒子 明四四、二生

君は群馬縣人中島又三郎の二男にして明治八年一月を以て生れ先代幸太郎の養子となり同三十七年家督を相続す同三十三年東京帝國大學法學部を卒業し大學院に入り民法を専攻す後京都帝國大學法學部助教授同教授同大學長等に歴任し民法研究の爲獨佛兩國に留學を命ぜられ又歐米各國に出張す現時京都帝國大學教授にして法學部に勤務す明治四十年法學博士の學位を受く家族は尙二男泰(大、三三、七生)あり(京都、上京、淨土寺西町電上一〇四八)  
**中島 爲喜** 熊本電氣(株)取締役、細川家家扶  
 妻 コト 明二七、五生、熊本、上野敬次四女  
 男 光 大七、一一生  
 君は熊本縣士族中島保喜の弟にして明治十三年七月を以て生れ同二十五年家督を相続す細川家々扶をつとめ現に熊本電氣會社取締役たり家族は尙二男明(大、一〇、四生)三男新(同一、八生)あり妹ナヲ(明一五、三三)は熊本縣士族河田精一四男孝に同モト(同一九、五生)



中島 斷 岐阜縣多額納稅者、蘇東銀行(株) 取締役、工業、岐阜縣在籍

中島 常次 酒造業 佐賀縣土族 君は佐賀縣多額納稅者中島宗市の長男にして明治四十三年三月を以て生れ昭和二年家督を相續す酒業を營む

中島 貞次 加瀬商店(株)代表社員 君は東京府人加瀬忠次郎の弟にして明治十一年二月を以て生れ先代いねの養子となり家督を相續す現に加瀬商店代表社員たり家族は尙四女(歌子)三、六生、二男(勝之助)同三、六生、六女あり長女芳枝(明三、八、二生)は東京府人木村新之助の養子となり(東京、芝、高輪南町五三電高五五五五)

中島 近 福井縣多額納稅者、酒造業 君は福井縣人先代近の長男にして明治九年九月を以て生れ大正二年家督を相續し同三年製名酒を以て前名庄作を改む酒造業を營む福井縣多額納稅者たり家族は尙孫淑子(六一、九生、離縁養子)同三、六生、六女あり弟今和(同二、四、五生)養子タツ(同三、二、五生、福井、西畑林孫)は各分家せり(福井、坂井、春江

中島 登志太 日田實業銀行(株)取締役、日本寫真工業、日田製材、大分日日新聞社各(株)監査役、大分縣在籍 君は福井縣人松本清三郎の弟にして明治十四年三月を以て生れ同縣土族中島キモの養子となり大正二年養親父貞貞の後を承け家督を相續す福井縣多額納稅者にして農業を營む家族は尙二男(明四、三、一〇生)三男(利生)大六、四生、四女あり(熊本、玉名、平井村) 參照 松本清三郎(松本清三郎)の項

中島 德治 宮城縣多額納稅者、栗駒水力電氣(株)専務取締役、東北土地建物(株)取締役、東北電燈、栗駒軌道各(株)取締役、東北送電(株)監査役、宮城縣在籍 君は宮城縣人宮城太郎の長男にして明治十五年九月を以て生れ大正二年家督を相續す現時前記諸會社の重役にして宮城縣多額納稅者たり又會て鳴瀬川水力電氣東北土地建物電氣工業各會社重役に擧げられたり(宮城、栗原、若柳町) 參照 水澤安之助の項

中島 德藏 東洋大學長 君は石川縣人長生三郎の弟にして明治十四年一月を以て生れ後ち先代德太郎の養子となり大正十一年家督を相續し前名與四郎を改む紙商を營み尙前記銀行會社の重役にして同縣多額納稅者たり(金澤、十間町八) 參照 中島不二人(中島集山)本件之項

中島 德太郎 石川縣多額納稅者、石川縣農業、加賀製紙各(株)社長、加能合同銀行、第三信託(株)取締役、明治印刷、第三信託(株)取締役、明治印刷、石川縣在籍 君は石川縣人長生三郎の弟にして明治十四年一月を以て生れ後ち先代德太郎の養子となり大正十一年家督を相續し前名與四郎を改む紙商を營み尙前記銀行會社の重役にして同縣多額納稅者たり(金澤、十間町八) 參照 中島不二人(中島集山)本件之項

中島 鐵二 大島銀行(株)頭取 君は長野縣人長野七良の長男にして明治元年六月を以て生れ同十七年家督を相續す現時大島銀行頭取たり長女美與志(明三〇、二生)は長野縣人加瀬清作弟健二(同二、二、二生)は同縣人藤原文四郎に姉とみ(同三、五、一、一生)は同縣人北原金平に姉とみ(同三、五、一、一生)は同縣人竹村房四郎に姉とみ(同三、五、一、一生)は同縣人高津喜作長男喜源治に同留與(同九、七生)は同縣人南林又三郎に嫁せり(長野、下伊那、大島村)

中島 鐵平 正五位勳四等、大阪稅關長 君は熊本縣人又平の二男にして明治十七年一月を以て生れ同二十八年家督を相續す同四十二年東京帝國大學法科大學政治學科を卒業し直に大藏省に入り文官高等試験に合格し同四十五年稅務監督官補となり京都稅務監督局副局長兼徵收課長大藏事務官大藏省臨時官紳戶稅關總務課長兼徵收課長大藏事務官大藏省臨時調查局事務官航空局事務官官廳事務官大藏事務官兼大藏書記官主稅關長に轉じ現に其職に在り印度及南洋に出張を命ぜられ又大正十二年西國西國シエネーブに於て開かれたる稅關手續國際會議に帝國代表者顧問として派遣せられ又同四年支那關稅特別會議に於ける帝國代表者顧問として支那に派遣せらるる家族は尙二男(鐵雄)大三、一、一生)長女壽子(同七、一、一生)弟勝藏(同二〇、八生、醫學士)其妻カツ(同三〇、三、一生、東京、小花三三長女)同男三(同二二、一、一生、工學士)其妻多賀子(同三三、二、一生、青森、土、中根直經)及び各其子女あり(大阪、港、二條通四ノ四六電西九三〇)

中島 友次 栃木縣多額納稅者、農業 君は栃木縣人松本清三郎の弟にして明治十五年一月を以て生れ同三十七年家督を相續す農業を營み栃木縣多額納稅者にして義に東海銀行監査役たり(栃木、上都賀、南摩村) 參照 榮長左衛門の項

中島 照寬 熊本縣多額納稅者、農業 君は熊本縣人松本清三郎の弟にして明治十五年一月を以て生れ同三十七年家督を相續す農業を營み栃木縣多額納稅者にして義に東海銀行監査役たり(栃木、上都賀、南摩村) 參照 榮長左衛門の項

中島 虎吉 正五位勳三等功五級、陸軍少將、第六師團副司令官、陸軍少將 君は岐阜縣人松本清三郎の長男にして明治十年八月を以て生れ同三十五年家督を相續す現に名古屋私立武揚學校を卒業し同三十一年陸軍少將に任じ大正十五年陸軍少將に昇進す其間歩兵第六師團副司令官陸軍少將第一聯隊大隊長青島守備軍副司令官陸軍少將第七十一同第十一各聯隊長歩兵第八旅團長等に歴補し現時

中島 豊之助 大垣商會(株)社長、大垣貯蓄銀行 大垣共立銀行(株)取締役、大垣五(株)監査役、岐阜縣在籍 君は岐阜縣人松本清三郎の長男にして明治五年五月を以て生れ後ち中島甚之右衛門の養子となり明治五年家督を相續し大正十五年退隱す現時大垣商會社長たる外前記銀行會社の重役たり家族は尙孫英一(大、一、五、三、生、孫俊司長男)同保子(昭、一、五、生、同長女)あり(岐阜、安八、福東村) 參照 松本清三郎(松本清三郎)の項

中島 德松 中島鐵業(株)社長、海老津炭礦(株)取締役、鐵業、福岡縣在籍 君は福岡縣人松本清三郎の長男にして明治十年八月を以て生れ後ち中島高野一の叔父にして明治八年六月を以て生れ後中島家の養子となり大正四年甥熊之助方より分れて一家を創立す現に中島鐵業社長たる外前記

中島 德太郎 石川縣多額納稅者、石川縣農業、加賀製紙各(株)社長、加能合同銀行、第三信託(株)取締役、明治印刷、第三信託(株)取締役、明治印刷、石川縣在籍 君は石川縣人長生三郎の弟にして明治十四年一月を以て生れ後ち先代德太郎の養子となり大正十一年家督を相續し前名與四郎を改む紙商を營み尙前記銀行會社の重役にして同縣多額納稅者たり(金澤、十間町八) 參照 中島不二人(中島集山)本件之項



第六師團司令部附たり日露役に師團副官として従軍し功あり功五級金勳章を賜ふ家族は尙三男清彦(明四五、六生)長女まつ(大三、一)四男達海(同七、一)二女くら(同九、七)三女照江(同二、一、一)生あり(熊本第六師團司令部)

中島寅之進 山口縣多額納税者、佐世保商業銀行(株)取締役、砂糖商、山口縣在籍  
妻 トミ 明二〇、一、生、養父榮助三女  
男 榮一 明二七、二、生、養父榮助三女  
シゲコ 明二八、七、生、長男榮一妻、山口、小崎清次妹

君は山口縣人徳永勝三郎の二男にして明治七年二月を以て生れ同縣人中島榮助の養子となり同四十年分家して一家を創立す砂糖商を營み山口縣多額納税者にして現時佐世保商業銀行取締役たり家族は尙三男治郎(明四二、八生)養子富江(大五、二生)、山口、徳永與太郎(四女)四男幸助(同九、一)長女節子(同二〇、七)二女美代子(同二五、一)あり(下關、西南部町)

中島直行 京都府多額納税者、京都取引所取引員、京都府在籍  
妻 その 安政元、一、生、京都、山本春造長女

君は福井縣人山名龍夫の二男にして嘉永五年八月を以て生れ明治元年分れて一家を創立し前姓山名を改む京都取引所取引員にして現時京都府多額納税者に列す庶子千世(明三二、一)生、生母、滋賀、馬場うたは群馬縣人森村熊藏長男一郎に嫁せり(京都、下京、四條通高倉西入電中三〇三)

中島延太 吉野木材(株)取締役兼支配人、共立電機(株)取締役、東京府在籍  
妻 遊 龜 明二三、五、生、東京、小布施利英姉  
男 滋 嘉 明四三、一、生

君は長野縣人中島龜作の長男にして明治十四年十月を以て生れ同四十四年分家して一家を創立す現時吉野木材會社取締役兼支配人たる外前記會社の重役たり農に化學豆油會社事務取締役に擧げらるる家族は尙二男喜利(明四五、五)長女政子(大四、九)あり(東京、下谷、上野櫻木町四九)

中島福太郎 松福陶器店、陶磁器商、東京府在籍  
妻 モン 明二三、三、生、東京、田丸多満吉妹  
男 鐵 彌 明四四、六、生

君は東京府人中島治郎右衛門の長男にして明治十五年五月を以て生れ同三十五年分家して一家を創立す陶磁器卸小賣商を營む家族は尙三男清三郎(大三、一)生、四男武男(同七、三)あり(東京、本郷、本郷五ノ一四電小石川一七三三)

中島平右衛門 資産家、大阪府在籍  
妻 かめ 弘化二、一、生、大阪、片尾善七長女  
男 ヨネ 明一〇、八、生、大阪、松本宗助二女  
男 勝 義 明三一、一、生  
男 義 明三三、一、生、長男勝義妻、大田、村川徳松二女  
男 龜太郎 明三四、一〇、生  
男 常 藏 明三七、五、生  
女 カヨ 明四〇、六、生  
女 ハル 明四三、二、生

君は大阪府人中島平右衛門の三男にして明治五年七月を以て生れ同二十八年家督を相続し前名嘉吉を改む資産家として知らるる家族は尙四男一男(大二、六)五男秀雄(同六、四)孫一郎(同二〇、三)生、長男勝義長男(同二二、一)生、同長女あり長女キヤン(明二九、一〇)生、前記村川徳松長男三郎に嫁し兄弟平次郎(文久三、一)は同妻トヨ(明三、九)生、大阪、小倉定次郎(二女)及其一男を伴ひ分家し弟伊之助(同一五三)生、亦分家せり(大阪、東、南玉造町三八)

中島信虎 從四位勳四等、東京高等師範學校教授、群馬縣在籍  
父 九平 天保二、一〇、生、現戸主  
君は群馬縣人中島九平の長男にして同九八郎の兄なり慶應元年五月を以て生れ明治二十六年帝國大學法科大學選科を卒業し同三十六年東京高等師範學校教授に任じ現に其職に在り養弟龜(明三〇、三)生、埼玉、秋元トク私生子)は東京府土族平松定正の養子となり姪つね(同二四、九)生、亡弟平造長女)は長野縣人笹崎仙司に嫁せり(東京市外代々木幡町幡ヶ谷三五五電四谷四六)參照中島九八郎の項

中島半平 埼玉縣多額納税者、上武置座紙(株)取締役、荒物商、埼玉縣在籍  
妻 さよ 慶應三、五、生、養父半平長女  
男 良 藏 明二四、一〇、生、長男良藏妻、埼玉、柴崎政七二女  
男 久 藏 明三〇、一、生  
男 喜美子 明四〇、一、生、四男久藏妻、埼玉、内田米作三女  
女 とめ 明四一、一、生

君は埼玉縣人内田金平の二男にして文久二年六月を以て生れ先代半平の養子となり明治二十四年家督を相続し前名善太郎を改め現名才荒物商を營み傍ら前記會社重役にして縣下の多額納税者たり家族は尙孫京平(昭二、二)生、四男久藏(昭二)あり長女トク(明一九、三)生、其二子を伴ひ分家し二女まき(同二、一)生、一〇生)は埼玉縣人設業治作に三女クメ(同三三、一)生、一〇生)は埼玉縣常陸に四女クニ(同三三、一)生、一〇生)は同縣人金子貞二に嫁し二男啓藏(同二七、六)生、同縣人柴崎政七の養子となり(埼玉、大里、深谷町)

中島弘 日本フエルト帽體日本工業各(株)監査役、羅紗商、大阪府在籍  
妻 ウタ 明四九、三、生、大阪、山内七兵衛長女  
男 榮 明四四、三、生、京都、中島正八弟  
君は京都府土族中島五萬太郎の弟にして明治二年八月を以て生れ同二十七年分れて一家を創立す羅紗商を營み傍ら日本フエルト帽體日本工業各會社監査役に任じ中島弘書店代表社員たり(大阪、東、安土町四ノ一五電本町一三〇一)

中島鵬六 衆議院議員(宮城縣選出)、大東銀行(株)監査役、宮城縣在籍  
妻 りう 大八、一、生、東京、成澤武之長女  
男 朋 明二二、八、生、東京、成澤武之長女

君は宮城縣人中島金也の二男にして明治十八年二月を以て生れ後ち分れて一家を創立す同四十五年東京帝國大學法科大學獨法科を卒業し辯護士となる現に大東銀行監査役に任じ又宮城縣より推されて衆議院議員となり當選二回に及ぶ家族は尙長女政(大四、二)あり(東京、麹町、富士見町四ノ九電九段二〇七七)

中島正武 從三位勳一等功二級、豫備陸軍中將、東京府土族  
妻 ゆき 明一〇、一、生、男爵淺田良逸妻姉  
男 正 清 明三三、一〇、生  
男 康 子 明三八、一、生、長男正清妻、大阪、堀田勇次長女  
男 正 樹 明三八、一、生

君は高知縣人中島正樹の長男にして明治三年九月を以て生れ後中島正雄の養子となり同十年家督を相続す同二十三年陸軍士官學校を卒業し同二十四年陸軍歩兵少尉に任じ大正八年陸軍中將に果進す其間明治三十二年陸軍大學校を卒業し爾來近衛歩兵第三聯隊中隊長參謀本部員第一師團參謀東京衛戍總督參謀歩兵第六十八聯隊長露國大使館附武官參謀本部課長同第二部長同總務部長第二師團長近衛師團長賀陽宮々務監督等に歴補し現時豫備役たり家族は尙三男正義(明四二、七)生、四男正舒(大七、八)生、四女武子(同八、一)生、一〇生)あり(東京市外代々木幡町代々木九五一電四谷五〇二〇)參照男爵淺田良逸中村竹藏の項

中島萬平 正五位勳六等、岩手縣書記官、内務部長、熊本縣在籍  
妻 フサ 明一八、五、生、京都、福井傳兵衛長女  
男 一 衛 明四四、六、生  
女 文 明四三、三、生

君は熊本縣人中島久平の孫にして明治九年三月を以て生れ先代卯平の養子となり同二十六年家督を相続す同四十四年東京帝國大學法科大學英法科を卒業し文官高等試験に合格す長崎縣南松浦郡長同縣理事官靜岡縣理事

中島弘道 從五位勳六等、判事、東京地方裁判所部長、岐阜縣在籍  
妻 富美 明二四、七、生、岐阜、士、錦見慶介妹  
男 一郎 大二、一、生

君は岐阜縣人中島正堅の二男にして明治十八年十一月を以て生れ大正十年家督を相続す明治四十四年東京帝國大學法科大學獨法科を卒業し大正三年判事に任じ横濱區同地方東京區同地方各裁判所判事東京地方裁判所部長に歴補し同十三年檢察官司法事務官に任じ東京地方裁判所檢察官司法事務官を経て同十五年再び判事に任じ現職東京地方裁判所部長に補せらるる家族は尙長女喜美子(大五、一)生、一〇生)あり弟鐵匠(明三三、九)生、岐阜縣人郷譽長女芳子の養子となり(東京、赤坂、青山南町二ノ五三電青山一四四〇)

中島廣吉 從五位勳六等、林學博士、北海道帝國大學助教授、農學部勤務、北海道在籍  
妻 ヒサ 明三三、四、生、北海道、伊藤正之助長女、北海道、札幌高女出身  
男 敏 夫 大九、九、生

君は神奈川縣人中島龜吉の五男にして明治二十二年三月を以て生れ大正七年分れて一家を創立す同二年東北帝國大學農學部農學科を卒業し同大學助教授に任じ現在に至るに大正十二年林學博士の學位を受け次で昭和二年獨逸に留學を命ぜらるる家族は尙長女節子(大七、一)生、一〇生)二女安子(同三三、六)あり(札幌、南六條四十三丁目)參照滋宮井健吉の項

中島不二人 大分縣多額納税者、日田實業銀行實業貯蓄銀行、日田製材、日本郵政省(株)取締役、大分縣在籍  
妻 サイ 明二三、一、生、福岡、遠藤近太郎妹  
男 郎 郎 明二三、一、生、福岡、遠藤近太郎

君は大分縣人中島實兵衛の孫にして同登志太の弟なり明治二十二年八月を以て生れ後先代仙次の養子となり

中島奎之丞 河原田製絲(株)取締役、三重縣在籍  
妻 うの 明六、六、生、三重、熊澤一衛姉  
男 鹿之助 明二八、八、生、河原田製絲會社取締役  
男 壹 岐 明三三、三、生、二男鹿之助妻、三重、伊藤勝次郎二女  
男 奎太郎 明三六、一、生、明治大學在學  
女 フミ 大二、二、生

君は三重縣人中島又兵衛の六男にして明治元年八月を以て生れ同三十四年先代兄奎兵衛の後を受けて家督を相続す現時河原田製絲會社取締役たり家族は尙四男三郎(明四三、一)生、孫敬子(大八、四)生、二男鹿之助(長女)同恒夫(同三三、五)生、同二男(同義夫(昭二、一)生、同三男)あり長女こう(明三〇、一)生、一〇生)は三重縣人熊澤市三に二女サダ(同三三、一)生、一〇生)は同縣土族杉岡守一に三女きみ(同三九、九)生、同縣人岡野俊長に嫁せり(三重、河原田村)參照熊澤一衛米飯田光吉の項

中島元三郎 岡山縣多額納税者、吳服太物商、岡山縣在籍  
妻 加 彌 明一四、二、生、岡山、藤城金藏二女  
男 元 敬 明三五、七、生  
男 芳 惠 明三七、八、生  
女 壽 子 明四一、一、生  
女 滿 江 明四二、八、生  
女 田 鶴 明四五、一、生

君は岡山縣人小橋太喜治の弟にして明治六年十二月を以て生れ先代元三郎の養子となり同三十三年家督を相続し前名福治を改め現名す吳服太物商を營み岡山縣多額納税者たり家族は尙二男茂雄(大一〇、六)生、一〇生)あり養弟猪之市(明七、四)生、岡山、河本虎太郎長男)は同妻佐嘉枝(同二六、七)生、岡山、宮城與一郎長女)及其子女を伴ひ分家せり(岡山市新西大寺町一八)



**中島 守次** 岡山縣多額納稅者、金礦業  
 母 文久二、七生、祖父藤平長女  
 妻 靜代 明三三、七生、鳥取、香川兵吉長女  
 男 一巳 明四三、七生

君は岡山縣人中島大の三男にして明治十九年四月を以て生れ大正七年家督を相続す明治三十九年關西大學專門部法科を卒業し金融業を營み岡山縣多額納稅者たり家族は尙二男二子(大、三)長女綾子(同五、三)弟唯一(同三三、一)同妻操子(同三三、八、六)鳥取、香川兵吉長女(同三三、一)一子あり(岡山、眞庭、中和村)

**中島 守利** 勸業、衆議院議員、(東京府選出)多摩川水力電氣、東京北魚市場各(株)取締役、農業、東京府在籍  
 妻 利一 明四〇、二生、生母、東京、宮田  
 庶子 敏子 明四二、一〇生、生母、東京、宮田  
 庶子 壽々子 明四二、一〇生、生母、東京、宮田

當家は東京府下に住し代々農業を營める舊家なり君は先代藤左衛門の長男にして明治十年十月を以て生れ三十四年家督を相続す新宿郵便局長同町長東京府會議員同參事會員都市計畫東京地方委員會委員等に擧げらる現時前記各會社の重役にして又東京府より推されて衆議院議員に當選すること三回に及び立憲政友會に屬す家族は尙姉(慶應二、九)同妻(明一六、八)弟(明一六、八)二子、妹(五)あり庶子千代(明三二、九)生母、新潟、金子ヌイは東京府人石井増太郎に養子萬壽(同三四、二)生、中島は私生子(は東京府人今井泰介に妹(同一九、一)生)は埼玉縣人飯野直三に同(同二〇、九)生、東京府人菊野源太郎に同(同二一、六、五)生、同妻富子(同二二、四)生、同妻、土、田中勇次長女)を伴ひ分家し同(同二一、七、九)生、亦分家せり(東京市外新宿町三四〇四電新橋七)

**中島 保之介** 中島保之介商店代表取締役、鐵材貿易商、兵庫縣在籍  
 妻 八子 明七、七生、兵庫、澤野定七姉  
 男 保彦 明三三、一〇生、生母、上松泰造四女  
 男 保太郎 明三三、一〇生、生母、上松泰造四女

君は兵庫縣人先代保之介の長男にして明治二十九年十二月を以て生れ大正九年家督を相続し前名保太郎を改め名を中島保之介商店代表取締役たり家族は尙長女久(大、一五、四)弟周次郎(明三三、一〇)生、同道之介(同三九、一)生、あり同(同三三、一〇)生、兵庫縣人淺井なをの養子となれり(兵庫、武庫、住吉村)空庫一五八五電御影一三〇

**中島 要一** 鉦商、大阪府土族  
 妻 八子 明三三、一〇生、兵庫、土、横山巴妹  
 男 重 明三三、一〇生、大阪、宮本政吉

君は舊美濃大垣藩士中島唯次郎の長男にして明治三十年一月を以て生れ大正二年家督を相続す大阪に出で鉦商清水三商店に勤務し後獨立開業して鉦商を營み今日に至る家族は尙長女和子(大九、五)及弟登二(明三三、一〇)生、あり妹(同三五、一)生、清水谷高等女學校出身)は愛媛縣人居林茂吉に嫁せり(大阪、大手町一ノ一電東一五二九)

**中島 彌圓次** 從五位、衆議院議員(東京府選出)民政黨總裁秘書、高知縣在籍  
 妻 彌子 明三三、一〇生、生母、東京、宮田  
 庶子 壽々子 明四二、一〇生、生母、東京、宮田

從五位、衆議院議員(東京府選出)民政黨總裁秘書、高知縣在籍

**中島 四三二** 食堂業、大阪府在籍  
 妻 ぎん 長女  
 男 長子 明二九、四生、福井、中島與三吉

君は福井縣人中島助太夫の五男にして明治二十一年十二月を以て生れ大正六年分れて一家を創立す夙に高島屋呉服店に勤務し同元年獨立して刺繍業を營み百貨店及劇場の食堂を經營京阪三都に分店を設けし今日に至る家族は尙長女きぬ(大六、六)生、あり(大阪、天王寺、上沙町二ノ二電南七八五四)

**中島 要三郎** 文庫紙商、大阪府在籍  
 妻 ゆき 叔母  
 男 一巳 明一五、一〇生、大阪、中島吉藏

君は大府府人中島要助の長男にして明治三十八年十月を以て生れ大正九年家督を相続す文庫紙商を營む家族は尙弟長次郎(明四〇、一)生、同妻(同四四、四)生、同妻(大六、六)生、妹周子(同六、八)生、弟國雄(同四、二)生、あり姉瀧(明三六、一)生、は大分縣人多井佐市

**中島 好太郎** 豊國火災保險(株)支配人兼調査課長、山口縣在籍  
 妻 ハナ 明二一、四生、愛媛、土、青木茂妹  
 男 芳郎 明四五、五生

君は山口縣人中野香露の長男にして明治九年十月を以て生れ同四十二年家督を相続す現に豊國火災保險會社支配人兼調査課長たり家族は尙長女富子(大六、四)生、二男信郎(同六、二)生、三男秀郎(同九、一)生、四男文郎(同二一、一)生、あり父香露(弘化二、一〇)生、は繼母シノ(安政二、二)生、山口、大空徳右衛門長女)と共に分家せり(大阪、住吉、天王寺町六一七)

**中島 拙夫** 從五位、臺灣總督府事務官、殖産局特設課長兼茶檢査所長、臺灣茶共同販賣所理事、長崎縣土族  
 妻 ノウ 明二三、九生、東京、村田龍吉養子  
 男 秀夫 大九、八生

君は長崎縣土族中瀬精一の弟にして明治十七年六月を以て生れ大正三年東京帝國大學法科大學獨法科を卒業し文官高等試驗に合格す臺灣總督府屬臺中廳廳長を経て大正六年臺灣總督府事務官に任ぜられ林務課長庶務課長糖務課長を歴任し同十一年歐米各國に留學す歸朝後商工課長となり臺中陳列館長茶檢査所長臺灣茶共同販賣所理事長を兼ね同十三年特産課長に轉じ翌年外務省の囑託として佛領印度支那に出張を命ぜられ現時前記の職に在り家族は尙長女芳子(大六、三)生、二女久子(同二一、六)生、二男二郎(同二一、四)生、三女雅子(昭二、一)生、あり(臺北、千歲町二ノ一七電八一三)

**中島 英太郎** 豊國火災保險(株)事務取締役、大阪府在籍  
 妻 マサ 明二八、五生、大阪、今井利作二女  
 男 英一 明二八、五生、大阪高等商業學校出身、湯淺棉花會社員  
 男 喜代子 明三〇、九生、兵庫、大根喜市妹  
 男 忠次 明三〇、九生、關西大學出身、日章火災再保險會社員  
 男 忠三 明三九、三生、大阪、佐々木重夫  
 女 綾子 明四〇、一〇生、大手前高等女學校出身

君は石川縣人中島岩次の二男にして明治二十七年三月を以て生れ大正八年家督を相続す天狗本店と稱し生肉商を營み現に縣下の多額納稅者たり親に金澤市會議員に擧げらるる家族は尙弟善造(明二九、四)生、同妻(同四、一)生、富山、和田幸七郎妹)あり同岩次(同三二、三)生、分家せり(金澤、新野町三ノ八八電九〇)

**中島 廉夫** 日本土木建築(株)監査役、佐賀縣土族  
 妻 ツネ 明一五、九生、佐賀、山領誠齋二女  
 女 登志 明四五、五生、三輪田高等女學校在學

君は佐賀縣土族中島仲吉の長男にして明治七年十一月を以て生れ同二十八年家督を相続す同三十七年東京帝國大學法科大學政治科を卒業し現に日本土木建築會社監査役たり長女八重子(明三六、四)生、は栃木縣人旭硝子會社員工學士上田清に嫁せり(東京、牛込、市谷砂土原町二ノ一電牛込五五七三)

**中瀬 拙夫** 從五位、臺灣總督府事務官、殖産局特設課長兼茶檢査所長、臺灣茶共同販賣所理事、長崎縣土族  
 妻 ノウ 明二三、九生、東京、村田龍吉養子  
 男 秀夫 大九、八生

君は長崎縣土族中瀬精一の弟にして明治十七年六月を以て生れ大正三年東京帝國大學法科大學獨法科を卒業し文官高等試驗に合格す臺灣總督府屬臺中廳廳長を経て大正六年臺灣總督府事務官に任ぜられ林務課長庶務課長糖務課長を歴任し同十一年歐米各國に留學す歸朝後商工課長となり臺中陳列館長茶檢査所長臺灣茶共同販賣所理事長を兼ね同十三年特産課長に轉じ翌年外務省の囑託として佛領印度支那に出張を命ぜられ現時前記の職に在り家族は尙長女芳子(大六、三)生、二女久子(同二一、六)生、二男二郎(同二一、四)生、三女雅子(昭二、一)生、あり(臺北、千歲町二ノ一七電八一三)

**中田 英太郎** 豊國火災保險(株)事務取締役、大阪府在籍  
 妻 マサ 明二八、五生、大阪、今井利作二女  
 男 英一 明二八、五生、大阪高等商業學校出身、湯淺棉花會社員  
 男 喜代子 明三〇、九生、兵庫、大根喜市妹  
 男 忠次 明三〇、九生、關西大學出身、日章火災再保險會社員  
 男 忠三 明三九、三生、大阪、佐々木重夫  
 女 綾子 明四〇、一〇生、大手前高等女學校出身

君は石川縣人中島岩次の二男にして明治二十七年三月を以て生れ大正八年家督を相続す天狗本店と稱し生肉商を營み現に縣下の多額納稅者たり親に金澤市會議員に擧げらるる家族は尙弟善造(明二九、四)生、同妻(同四、一)生、富山、和田幸七郎妹)あり同岩次(同三二、三)生、分家せり(金澤、新野町三ノ八八電九〇)

**中島 六兵衛** 新舞鶴棧橋倉庫(株)常務監査役、京都府在籍  
 君は京都府人中島六兵衛の長男にして明治三十二年九月を以て生れ同四十二年家督を相続し前名英一郎を改む現時新舞鶴棧橋倉庫會社常務監査役たり母(安政六、六)生、京都、中島利左衛門長女)は分家し姉(同二九、二)生、は京都府人高田辨太郎長男(一)郎に嫁せり(京都、下京、高瀬通松原上ル電下一七六〇)

**中瀬 拙夫** 從五位、臺灣總督府事務官、殖産局特設課長兼茶檢査所長、臺灣茶共同販賣所理事、長崎縣土族  
 妻 ノウ 明二三、九生、東京、村田龍吉養子  
 男 秀夫 大九、八生

君は長崎縣土族中瀬精一の弟にして明治十七年六月を以て生れ大正三年東京帝國大學法科大學獨法科を卒業し文官高等試驗に合格す臺灣總督府屬臺中廳廳長を経て大正六年臺灣總督府事務官に任ぜられ林務課長庶務課長糖務課長を歴任し同十一年歐米各國に留學す歸朝後商工課長となり臺中陳列館長茶檢査所長臺灣茶共同販賣所理事長を兼ね同十三年特産課長に轉じ翌年外務省の囑託として佛領印度支那に出張を命ぜられ現時前記の職に在り家族は尙長女芳子(大六、三)生、二女久子(同二一、六)生、二男二郎(同二一、四)生、三女雅子(昭二、一)生、あり(臺北、千歲町二ノ一七電八一三)

**中田 英太郎** 豊國火災保險(株)事務取締役、大阪府在籍  
 妻 マサ 明二八、五生、大阪、今井利作二女  
 男 英一 明二八、五生、大阪高等商業學校出身、湯淺棉花會社員  
 男 喜代子 明三〇、九生、兵庫、大根喜市妹  
 男 忠次 明三〇、九生、關西大學出身、日章火災再保險會社員  
 男 忠三 明三九、三生、大阪、佐々木重夫  
 女 綾子 明四〇、一〇生、大手前高等女學校出身

君は石川縣人中島岩次の二男にして明治二十七年三月を以て生れ大正八年家督を相続す天狗本店と稱し生肉商を營み現に縣下の多額納稅者たり親に金澤市會議員に擧げらるる家族は尙弟善造(明二九、四)生、同妻(同四、一)生、富山、和田幸七郎妹)あり同岩次(同三二、三)生、分家せり(金澤、新野町三ノ八八電九〇)



以て生れ同三十五年家督を相続す同三十三年東京帝國大學法科大學政治科を卒業し大學院に入り日本法制度を研究す同四十一年法制度史研究の爲英獨佛に留學し歸朝後東京帝國大學助教授より同教授となり現に法學部長たり第三郎(明二四、八生)は分家し同四郎(同二六、一〇生)は分家三郎の死跡を相続し妹トミ(同一七、一〇生)は若手縣人三田定則に嫁し叔父三郎(元治元、三生)は長野縣人上野彌平の養子となり(東京、麻布、弁町一四〇電青山五六九九)

參照 上野三郎、三田定則、三田正平、白石多士、良涼中村寅之助、中山秀三郎の項

**中田吉兵衛** 福島縣多額納稅者、吳服商

養父 丘次郎 明四、一生、現戸主  
 養母 ミツ 明三、七生、養父丘次郎養子、明三、七生、阿部平四郎妹  
 妻 ヨネ 明三、七生、養父丘次郎養子、明三、七生、阿部平四郎妹  
 男 富之助 大二三、五生  
 女 宮城縣人庄子庄七の二男にして明治二十三年十一月を以て生れ後福島縣人庄次郎の養子となる吳服商を營み縣下の多額納稅者たり家族は尙長女三子(大七、七生)二女仲子(同九、四生)二男善雄(同一五、九生)あり(福島市福島本町一八)

**中田金三郎** 東京自動車製作所、自動車製作業

妻 眞乃 明一〇、一生、大阪、土、段野忠勝三女  
 男 米藏 明三六、三生、慶應義塾大學經濟學部出身

**中田治三郎** 紙類商

妻 治 明三、七生、高知、吉良淺次二女  
 男 善子 明二一、四生、長男治三郎妻、高知、岡山常右衛門六女  
 男 元義 明二三、二生  
 女 菊 明三〇、一生

**中田重勇** 日本麥酒株式會社(株)取締役

妻 ちよ 明一七、一生、養父幾次二女  
 男 一郎 明四二、二生

**中田庄三郎** 第一銀行(株)京都支店副支配人

君は京都府人植野治三郎の弟にして明治十五年一月を以て生れ同四十二年先代ちよの夫となり家督を相続す同四十二年東京高等商業學校を卒業し爾來第一銀行に勤務し同行五條西陣各支店支配人を經て現時京都支店副支配人たり家族は尙二男敏夫(明四三、八生)三男輝夫(大三、一生)あり(京都、上京、寺町通廣小路下ル電上六三八)

**中田熊次** 大阪府會議員、大阪府多額納稅者、精製印刷(株)社長、大日本印刷(株)取締役、大阪府印刷業、大阪府在籍

妻 久 明二七、一生  
 男 登久子 明三二、五生、長男良夫妻、兵庫、廣瀬一妹  
 女 麗 明四五、一〇生

**中田末廣** 從五位勳六等、逓信技師、工務局勤務、愛媛縣在籍

妻 ヒテ 明二四、八生、山口、土、信吉五女

**中田清兵衛** 富山縣多額納稅者、十二銀行、金澤貯蓄銀行各(株)頭取、北陸館電氣各(株)監査役、富山縣在籍

妻 テイ 慶應元、四生、東京、大友新平長女  
 男 俊吉 明三三、九生、富山、田中清次郎三女  
 女 登代子 明四一、五生

**中田辰三郎** 演藝畫報社、出版業

君は富山縣人密田林蔵の五男にして明治九年九月を以て生れ後先代清兵衛の養子となり大正五年家督を繼承し現に前名徳次郎を改む藥種商を營み富山縣多額納稅者にして前掲銀行會社の重役たり家族は尙三男亮吉(明四三、八生)五男幸吉(大四、二生)あり長女喜久子(明三三、六生)は石川縣人神保八十吉長男成吉に二女朝子(同三六、一生)は富山縣人平田梅治に嫁せり(富山市東四十物町三六)

**中田啓一** 藥種並寫眞機商、兵庫縣在籍

妻 兵造 明元、七生、現戸主  
 妻 信 明四五、七生

**中田敬義** 從四位勳四等、横濱製鋼製造、中島製業、太平ビルヂング、審美書院各(株)監査役、東京府在籍

妻 伊 明一〇、三生、長崎、土、石崎芳吉姉  
 男 春子 明二八、五生  
 男 益彦 明三六、一生、三男勝彦妻、東京、中澤立雄妹  
 男 市彦 明三四、二生

**中田定景** 秋田縣多額納稅者、農業

妻 ヤス 明二二、二生、秋田、土、藤原麻之助長女  
 養子 正直 大三、一生、兄景基二男  
 君は秋田縣土族渡部景基の弟にして明治十五年五月を以て生れ先代五平の養子となり大正十年家督を相続す農業を營み現に秋田縣多額納稅者たり家族は尙叔母ケ三六電青山一六〇一)

**中田豊三郎** 攝津製油(株)取締役

妻 アサ 長永四、六生、大阪、大橋安兵衛長女  
 妻 ナツメ 明二四、七生、大阪、中谷永太郎長女  
 男 豊光 大六、一生

**中田伸直** 安田信託(株)社員

妻 満壽子 明三九、二生、貴族院議員渡邊千代三郎二女、大阪府立夕陽丘高等女學校出身  
 君は故住友合資會社元總理理事中田錦吉の長男にして明治三十四年八月を以て生れ大正十五年家督を相続す同年東京帝國大學經濟學部を卒業し安田信託會社に入り現在に及ぶ家族は尙妹濱子(明四〇、五生、夕陽丘高等女學校出身)弟正直(同四二、九生)妹シマ(同四五、二生)あり同伊豫(同三七、三生)は農林事務官石黒武重に嫁せり(大阪、東、島町一ノ七電東八〇四)

**中田秀次郎** 山田商店、大矢組各(株)監査役、天市、寒天商、大阪府在籍

妻 ヒサ 明二三、四生、大阪、藤井長兵衛姉  
 女 悦 明四三、三生



天市と稱し寒天商を替み傍ら山田商店大矢組各會社並  
査役たり(大阪、西、靑北通二ノ九電土佐堀二七二)

中田 文七

鹿兒島縣多額納稅者  
元治元、一、二生、福井、本居正圓  
長女

養子 五作 明一八、五生、庶子リヨ夫、福井、  
平尾五平長男

庶子 リヨ 明一六、一一生、養子五作妻、生  
母、福井、田畑マヌ

孫 ツル子 明四一、一〇生、養子五作三女  
チカ子 明四三、一〇生、養子五作四女

君は福井縣人中山藤大夫の弟にして嘉永五年八月を以  
て生れ明治十八年分れて一家を創立す豪商にして現時  
鹿兒島縣多額納稅者たり家族は尙孫文一(大五、六生、  
養子五作長男)同文二(同二〇、七生、同二男)あり(鹿  
兒島、大島、東方村)

中田 辨吾

大阪商工會議所議員、井筒屋吳服  
店代表社員、吳服商  
大阪府在籍

妻 とく 明一八、九生、大阪、矢部末吉長女

男 彦一 大三、一〇生

女 初子 明四〇、四生

女 政代 明四三、四生

女 靜子 明四五、四生

君は三重縣人若林九郎右衛門の二男にして明治十五年  
一月を以て生れ同三十九年先代との入夫となり家督  
を相続す先是十五歳の時大阪に出で、商業を習得し後  
井筒屋と稱し吳服商を替みしが大正七年合資會社井筒  
屋吳服店を創設して事業を擴張し現時其代表社員に  
て傍ら大阪商工會議所議員たり家族は尙二男實治(大  
五、七生)五女清子(同七、二生)六女由喜子(同二〇、  
二生)七女佐貴子(同二五、五生)三男實三(同四一、二  
生)八女實子(昭二、五生)あり(大阪、港、九條通一ノ  
八二電西一〇九八、一〇二二、一一一一、一三〇八)

中田 松兵衛

兵庫縣多額納稅者、櫻丸商  
兵庫縣在籍

母 ひさ 安政元、五生、兵庫、三浦萬吉妹

妻 たる 明二四、一二生、兵庫、小池清七  
三女

男 素生 大三、一〇生

君は兵庫縣人先代松兵衛の長男にして明治二十一年二  
月を以て生れ大正六年家督を相続し現に前名實藏  
を改む櫻丸商を替み現に兵庫縣多額納稅者たり家族は  
尙二男林之介(大六、一一生)長女眞左子(同八、九生)二  
女都美子(同二一、六生)三男實(同二四、一一生)あり弟  
松太郎(昭三、一一生)は其妻カウ(同二七、五生、兵  
庫、前田熊太郎二女)及び其子一子を伴ひ分家せり(兵庫、  
武庫、御影町字濱西四八二)

中田 守雄

大阪府在籍

妻 ヤス 明六、九生、大阪、西岡孝一郎叔母

男 守仁 明二六、九生

男 初野 明三五、五生、長男守仁妻、大阪、  
西口直次郎長女

女 靜子 明三〇、九生

女 昌子 明三六、一〇生

女 清子 明四〇、九生

君は愛媛縣人中山利兵衛の長男にして文久二年十月を  
以て生れ明治四十五年家督を相続す活版屋ロラ商を營  
む家族は尙三男信雄(明四四、六生)弟藤五郎(同四〇、  
三生)あり妹得能(同二一、二生)は大阪府人西岡晋次  
郎に嫁し弟昌治(同三一、九生)は分家し妹秀野(同二  
四、一一生)同トミエ(同三六、一一生)は共に其家籍  
に入れり(大阪、東、半入町七八電東三三三〇)

中田 安夫

印刷業  
大阪府在籍

君は大阪府人中山熊次郎の三男にして明治三十一年十月  
月を以て生れ大正十三年分家して一家を創立す同九年早  
稲田大學商科を卒業し印刷業を替む(大阪、南鹽町  
通一ノ九電船場二九八)

中田 興兵衛

京都府多額納稅者、太物商  
京都府在籍

母 さた 萬延元、八生、滋賀、小澤倫達三女

妻 はな 造長女、一〇生、京都、中田佐久

男 與一郎 大五、三生

君は京都府人先代興兵衛の長男にして明治二十四年七  
月を以て生れ大正十年家督を相続し前名新太郎を改む  
太物商を替み現に京都府多額納稅者たり家族は尙二男  
幾次郎(大八、二生)三男新三郎(同二〇、八生)長女美代  
子(同二三、一一生)四男照夫(同二五、七生)あり姉ヤサ  
(明二〇、五生)は京都府人長谷川半次郎に嫁せり(京  
都、下京、高倉通六角下ル和久屋町三四三)

中田 六郎平

富山縣多額納稅者、酒造業  
富山縣在籍

妻 ハツ 文久元、八生、富山、佐藤タケ養子

男 廣吉 明一六、一一生、富山、小坂銀太

男 幸吉 明三七、五生

女 幸子 明四〇、一一生

君は富山縣人中山茂吉の長男にして明治七年三月を以  
て生れ同三十九年家督を相続す同三十三年中央大學を  
卒業し酒造業を替み富山縣多額納稅者たり家族は尙五  
男健吉(明四三、四生)三女うた(大三、九生)四女ふみ  
(同六、三生)五女さた(同七、一一生)六男俊吉(同  
一〇、三生)弟久三(明三二、八生)同妻ハル(同三四、  
二生)富山、山片岩次郎妹及其子あり長女いね(同  
三三、八生)は富山縣人本川藤一郎に嫁つた(同二五、  
三生)は同縣人平井六松に嫁し弟右内(同二八、一一生)  
は同妻信(同三四、三生)富山、大窪久太郎長女)と共  
に分家せり(富山、下新川、三日市町)

中臺 順吉

正四位勳二等功五級、豫備海軍主  
計中將、東京府士族

妻 ふゆ 明元、一一生、東京、士、小林格妹

男 喜久雄 明二八、二生

男 喜久雄 明三〇、七生、長男喜久雄妻、新  
潟、齋藤館四郎三女

君は東京府士族中臺彦助の長男にして文久三年九月を  
以て生れ後家督を相続す明治十九年海軍少主計に任じ  
同四十二年海軍主計中將に陞る其間横須賀海軍經理部  
長兼同鎮守府主計部長同鎮守府監獄課長海軍經理部第  
二課々檢査立主計長兼鎮守府第二課長兼鎮守府經理  
部長同主計長等に歴補し大正十二年豫備役に編入仰付

中谷 喜右衛門

南海土地建物(株)専務取締役、泉  
州織物(株)取締役、大阪府在籍

妻 一枝 明四〇、一一生、長男源之助妻、大  
阪、植野龜一長女

男 源之助 明四一、八生

男 一 明四一、八生

君は大阪府人田邊豊三郎の二男にして明治十二年六月  
月を以て生れ後中谷源之助の養子となり前名喜一を改  
め同三十五年家督を相続す現時南海土地建物會社専務  
取締役泉州織物會社取締役たり家族は尙三男了(明四  
四、一一生)庶子壽一(大一一、三生)生母、大阪、阪口  
コマあり二女靜子(明三五、八生)は大阪府人大江  
ス養子萬助に三女文(同四〇、四生)は同府人古家主計  
郎養子亮一郎に嫁せり(大阪、泉北、高石町)

中谷 國太郎

北海道多額納稅者、土木建築請負  
業、北海道在籍

妻 いづ 明七、一〇生、北海道、爲岡利三  
郎妹

男 敏雄 明三五、一一生

女 敏 明三九、一〇生、長男敏雄妻、北  
海道、千葉新八二女

君は兵庫縣人中谷芳平の長男にして慶應三年七月を以  
て生れ明治三十六年分れて一家を創立す土木建築請負  
業を替み現に北海道多額納稅者たり家族は尙二男精介  
(大二、八生)あり(旭川、二條通三ノ九〇)

中谷 熊吉

青森縣多額納稅者、第五十九銀行  
弘前銀行各務(株)取締役、東奥銀行  
青森縣在籍

妻 みつ 明二五、九生、青森、松木秀輔妹

男 嘉六 大二三、五生

女 ヒテ 明四四、一一生

君は青森縣人中谷熊太郎の長男にして明治十九年三月  
月を以て生れ大正九年家督を相続す現時銀行會社の

中臺 三樹三郎

從五位勳五等、檢事、長岡區裁判  
所檢事、千葉縣在籍

妻 はな 明一九、四生、千葉、士、宮下仙  
九郎七女

男 一 明四五、五生

女 綾子 明四三、六生

君は千葉縣人中臺慎吉の弟にして明治十三年八月を以  
て生れる同四十二年東京帝國大學法科大學を卒業し同四  
十三年檢事に任じ爾來高麗津山區區長同區區長同區區長  
區倉吉區區長同區區長同區區長同區區長同區區長同區區長  
下妻區各裁判所檢事水戸地方下妻支部檢事に歴補し大  
正十五年現職に轉ず家族は尙二男秀松(大四、一  
二生)三男照男(同七、四生)三女千枝(同九、三生)四  
男幸吉(同一一、二生)四女信(同一一、一〇生)の外兄  
慎吉(明九、三生、現戶主)同妻ふし(同一一、九生、千  
葉、宮下仙九郎四女)及其子女弟直之助(同二三、四生)  
同妻ハチ(同二一、七生、千葉、宮下仙九郎八女)及其  
一女あり姉さだ(同一一、一〇生)は千葉縣人岩井達雄  
に嫁つた(同三六、二生)は千葉縣人岡谷昇に嫁し弟靜夫(同三  
二、五生)は分家せり(長岡區裁判所官舎)

中館 長三郎

正四位勳三等功三級、後備陸軍々  
醫總監、東京府在籍

妻 トキ 明八、八生、廣島、津田保之助三女

孫 長也 大七、三生、亡養子松生長男

養子 タニ 明三〇、三生、亡養子松生妻、岩  
手、及川長作二女

君は岩手縣人及川長六の二男にして文久元年十月を以  
て生れ先代叔父倉倉の養子となり後家督を相続す明治  
十七年軍醫講習生となり同十八年陸軍三等軍醫に任じ  
大正三年軍醫總監に累進す其間第十二師團軍醫部長陸  
軍省課長參謀本部御用掛第四師團軍醫部長等に歴補す  
家族は尙孫禮(大四、九生)亡養子松生長女(同明子)同  
九、一一生、同二女)同和也(同八、一一生、同二男)  
同竹生(同二五、六生、同三男)同憲子(同二三、五生)

中谷 岩五郎

セロイド製造業  
大阪府在籍

妻 しげ 文久元、六生、大阪、稻葉清五郎  
長女

男 清次郎 明二六、一一生

男 明子 明三二、一一生、長男清次郎妻、岡  
山、足立強市妹

女 富士枝 明四〇、九生

君は大阪府人中谷源兵衛の長男にして明治八年八月を以  
て生れ大正四年家督を相続すセロイド製造業を替  
む家族は尙七男武一(大元、九生)八男英雄(同五、三  
生)孫富子(同二九、二生)長男清次郎長女(同益子)同二  
女(同三六、二生)あり弟源次郎(明二一、三生)は同  
妻イト(同二五、四生)大阪、伊達正治妻(同三三、一  
〇生)大坂、宮井堅吉妹)及其子一子と共に四男清太  
郎(同三六、一一生)は同妻清子(同三七、一〇生)大阪、  
植田徳松長女)と共に各分家し二男常三郎(同三一、一



重役にして縣下の多額納税者たり家族は尙ほ二女トシ(大正一〇生)三女トシ(同六、二生)四女セツ(同八、一〇生)五女和子(昭二、一生)の外姉だけ(明一二、三三)あり(弘前、濱町五七)

中谷作太郎

兵庫縣多額納税者、神戸共益、合同證券、第一證券各(株)取締役、仲買業、兵庫縣在籍

妻 清一 明三九、一生

中谷貞頼

正七位、衆議院議員(高知縣選出)日本活動寫眞(株)監査役、辯護士高知縣土族

妻 清一 明三九、一生

中谷庄兵衛

大阪毛織、滿蒙毛織、朝鮮電氣興業(株)取締役、毛織物商

妻 文彦 明一五、一〇生、養父庄兵衛長女

中谷秀一

能登鐵道(株)取締役、北陸貯蓄銀行(株)監査役、石川縣在籍

妻 文彦 明一五、一〇生、養父庄兵衛長女

中谷元造

大阪農工銀行(株)常務取締役大阪府在籍

妻 文彦 明一五、一〇生、養父庄兵衛長女

中谷彌兵衛

大阪府在籍

妻 文彦 明一五、一〇生、養父庄兵衛長女

中谷利一郎

和歌山縣多額納税者、新宮合同銀行(株)取締役、材木商

妻 文彦 明一五、一〇生、養父庄兵衛長女

中津熊太郎

肥後農工銀行(株)常務取締役、熊本電氣(株)監査役、熊本縣土族

妻 文彦 明一五、一〇生、養父庄兵衛長女

中津親義

共益社鐵工所(株)社長、熊本織物(株)取締役、熊本縣土族

妻 文彦 明一五、一〇生、養父庄兵衛長女

中津清七

靜岡縣多額納税者、吳服大物商

妻 文彦 明一五、一〇生、養父庄兵衛長女

阪に出で刀劍商を營む君は奈良縣人福井字藏の弟にして明治七年十月を以て生れ先代庄兵衛の養子となり同二十九年養弟彌三郎の後を承けて家督を相続し前名慶造を改む爾業を廢し毛織物商を營み傍ら前記會社の重役たり二女信子(明三五、一二生)は岐阜縣人高木二郎に三女浪子(同三七、九生)は相愛高等女學校出身(大正府人金井六郎に嫁せり(大阪、東、瓦町四、二電本局二九〇三))

中谷保

安全自動車(株)専務取締役、鶴見木材倉庫(伊商店各(株)取締役、日米製材所(資)代表社員、中谷鐵工所主、石川縣在籍

妻 文彦 明一五、一〇生、養父庄兵衛長女

中谷長藏

和歌山縣多額納税者、和歌山商工會議所議員、和歌山木材(株)取締役、材木商、和歌山縣在籍

妻 文彦 明一五、一〇生、養父庄兵衛長女

中谷長左衛門

和歌山縣多額納税者、材木商

妻 文彦 明一五、一〇生、養父庄兵衛長女

中谷長藏

和歌山縣多額納税者、和歌山商工會議所議員、和歌山木材(株)取締役、材木商、和歌山縣在籍

妻 文彦 明一五、一〇生、養父庄兵衛長女

中谷彌兵衛

大阪府在籍

妻 文彦 明一五、一〇生、養父庄兵衛長女

中津德治

彰化銀行(株)取締役、臺中州協業會(株)彰化商會會長、鹿兒島縣土族

妻 文彦 明一五、一〇生、養父庄兵衛長女

中津清七

靜岡縣多額納税者、吳服大物商

妻 文彦 明一五、一〇生、養父庄兵衛長女

中谷彌兵衛

大阪府在籍

妻 文彦 明一五、一〇生、養父庄兵衛長女

中津親義

共益社鐵工所(株)社長、熊本織物(株)取締役、熊本縣土族

妻 文彦 明一五、一〇生、養父庄兵衛長女

中津清七

靜岡縣多額納税者、吳服大物商

妻 文彦 明一五、一〇生、養父庄兵衛長女







以て生れ後先代謙蔵の養子となり同十四年家督を相続す同二十四年帝國大學醫學科大學を卒業し更に大学院に入り同大學助手となる同三十年歐洲に留學し歸朝後京都帝國大學醫學科大學教授に任じ同三十五年醫學博士の學位を受く養に同大學附屬醫院長たりし事あり現に京都帝國大學名譽教授たり長女雪(明三六、六生)は兵庫縣人上西克巳に二女時(同三八、七生)は同府人鈴木武久に嫁せり(京都、上京、中立賣通室町西入ル電西陣二五二)

以て生れ先代ヨシの養子となり大正六年家督を相続す建築用金物商を營む家族は尙二男正七(大一一、八生)あり(大阪、此花、四貫島大通一ノ七電土佐堀四三七六)

以て生れ前名徳三郎を改む現に前記會社の重役にして松江商工會議所議員に擧げられ島根縣多額納稅者たり(松江、末次本町電二六三) 參照 森山勇助の項

中西龜八郎

君は熊本縣中西新作的の四男にして明治十六年二月を以て生れ先代チマの養子となり同二十七年家督を相続す夙に早稲田大學政治科を卒業し祖業を繼ぐ傍ら天草木炭會社々長の外前記銀行の重役にして熊本縣多額納稅者たり二女光子(明四〇、九生)は熊本縣人眞田善治の養子となれり(熊本、天草、宮地岳村)

君は福井縣中西吉郎右衛門の長男にして慶應三年九月を以て生れ明治十四年家督を相続す農業を營み傍ら平和海上火災保險會社の重役にして福井縣多額納稅者たり家族は尙孫光枝(大一〇、六生、二男敏憲長女)同英子(同一二、八生、同二女)同美惠子(昭二、六生)あり二女須子(明三六、一〇生)は福井縣人山本茂樹長男并一に嫁し長女まさ(同二五、五生)は同縣人中西多治兵衛に五男正之(同三五、三生)も亦同縣人中西部に各養子となれり(福井、南條、神山村) 參照 山本茂樹伊藤太郎の項

君は大阪府人中西徳松の長男にして明治十六年一月を以て生れ大正八年家督を相続す先是祖業たる醬油商を廢し製糖工場を設け醬油製造に従事せしも後之を廢し更に土地家屋の經營に當り今日に及ぶ弟佐四郎(明二三、六生、熊本醫學專門學校出身)は實兄藤井佐三郎に同義郎(同三三、一〇生、金澤醫學專門學校出身)は奈良縣人中西裕藏に各養子となり同佐七郎(同三一、四生、工學士)は分家せり(大阪、北、野田町二七電東二三)

中西儀兵衛

君は東京府人小森幸二郎の兄にして明治元年一月を以て生れ同二十五年先代儀兵衛の養子となり同四十二年家督を相続し前名兼太郎を改む名花印ハンカチーフ製造業を營む(東京、日本橋、葺屋町七電浪花一八三)

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は三重縣人中西清次郎の二男にして明治二十一年九月を以て生れ同四十四年先代京次郎の養子となり家督を相続し前名延吉を改む印刷用インク材料商を營む家族は尙長女新子(大一一、三三)二女徳子(同一一、二生)あり(東京、日本橋、室町三ノ三電日本橋五〇)

中西菊次

君は兵庫縣人西川豊次の弟にして明治二十四年九月を以て生れ先代謙蔵の養子となり同十四年家督を相続す同二十四年帝國大學醫學科大學を卒業し更に大学院に入り同大學助手となる同三十年歐洲に留學し歸朝後京都帝國大學醫學科大學教授に任じ同三十五年醫學博士の學位を受く養に同大學附屬醫院長たりし事あり現に京都帝國大學名譽教授たり長女雪(明三六、六生)は兵庫縣人上西克巳に二女時(同三八、七生)は同府人鈴木武久に嫁せり(京都、上京、中立賣通室町西入ル電西陣二五二)

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は三重縣人中西清次郎の二男にして明治二十一年九月を以て生れ同四十四年先代京次郎の養子となり家督を相続し前名延吉を改む印刷用インク材料商を營む家族は尙長女新子(大一一、三三)二女徳子(同一一、二生)あり(東京、日本橋、室町三ノ三電日本橋五〇)

中西辰五郎

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は三重縣人中西清次郎の二男にして明治二十一年九月を以て生れ同四十四年先代京次郎の養子となり家督を相続し前名延吉を改む印刷用インク材料商を營む家族は尙長女新子(大一一、三三)二女徳子(同一一、二生)あり(東京、日本橋、室町三ノ三電日本橋五〇)

中西熊三郎

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は三重縣人中西清次郎の二男にして明治二十一年九月を以て生れ同四十四年先代京次郎の養子となり家督を相続し前名延吉を改む印刷用インク材料商を營む家族は尙長女新子(大一一、三三)二女徳子(同一一、二生)あり(東京、日本橋、室町三ノ三電日本橋五〇)

中西長次郎

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は三重縣人中西清次郎の二男にして明治二十一年九月を以て生れ同四十四年先代京次郎の養子となり家督を相続し前名延吉を改む印刷用インク材料商を營む家族は尙長女新子(大一一、三三)二女徳子(同一一、二生)あり(東京、日本橋、室町三ノ三電日本橋五〇)

中西鐵馬

君は兵庫縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は三重縣人中西清次郎の二男にして明治二十一年九月を以て生れ同四十四年先代京次郎の養子となり家督を相続し前名延吉を改む印刷用インク材料商を營む家族は尙長女新子(大一一、三三)二女徳子(同一一、二生)あり(東京、日本橋、室町三ノ三電日本橋五〇)

中西寅次郎

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は三重縣人中西清次郎の二男にして明治二十一年九月を以て生れ同四十四年先代京次郎の養子となり家督を相続し前名延吉を改む印刷用インク材料商を營む家族は尙長女新子(大一一、三三)二女徳子(同一一、二生)あり(東京、日本橋、室町三ノ三電日本橋五〇)

中西寅次郎

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は三重縣人中西清次郎の二男にして明治二十一年九月を以て生れ同四十四年先代京次郎の養子となり家督を相続し前名延吉を改む印刷用インク材料商を營む家族は尙長女新子(大一一、三三)二女徳子(同一一、二生)あり(東京、日本橋、室町三ノ三電日本橋五〇)

中西寅次郎

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は三重縣人中西清次郎の二男にして明治二十一年九月を以て生れ同四十四年先代京次郎の養子となり家督を相続し前名延吉を改む印刷用インク材料商を營む家族は尙長女新子(大一一、三三)二女徳子(同一一、二生)あり(東京、日本橋、室町三ノ三電日本橋五〇)

中西寅次郎

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は三重縣人中西清次郎の二男にして明治二十一年九月を以て生れ同四十四年先代京次郎の養子となり家督を相続し前名延吉を改む印刷用インク材料商を營む家族は尙長女新子(大一一、三三)二女徳子(同一一、二生)あり(東京、日本橋、室町三ノ三電日本橋五〇)

中西寅次郎

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は三重縣人中西清次郎の二男にして明治二十一年九月を以て生れ同四十四年先代京次郎の養子となり家督を相続し前名延吉を改む印刷用インク材料商を營む家族は尙長女新子(大一一、三三)二女徳子(同一一、二生)あり(東京、日本橋、室町三ノ三電日本橋五〇)

中西寅次郎

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は三重縣人中西清次郎の二男にして明治二十一年九月を以て生れ同四十四年先代京次郎の養子となり家督を相続し前名延吉を改む印刷用インク材料商を營む家族は尙長女新子(大一一、三三)二女徳子(同一一、二生)あり(東京、日本橋、室町三ノ三電日本橋五〇)

中西寅次郎

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は富山縣人中西清八郎の二男にして明治十一年七月を以て生れ同三十八年家督を相続し前名佐一を改め製糖業を營み傍ら前記銀行會社の重役にして富山縣多額納稅者たり家族は尙二男清介(大四、八生)三男清三(同六、二生)五男清吾(同九、一一生)あり(富山、射水、海老江村)

君は三重縣人中西清次郎の二男にして明治二十一年九月を以て生れ同四十四年先代京次郎の養子となり家督を相続し前名延吉を改む印刷用インク材料商を營む家族は尙長女新子(大一一、三三)二女徳子(同一一、二生)あり(東京、日本橋、室町三ノ三電日本橋五〇)











慶應元年一月を以て生れ大正四年分れて一家を創立す  
現時中央證券取引所社長の外前記銀行會社の重役たり  
(長岡、赤坂之上町一ノ六五八)

參照 中野忠太郎、淡野誠、新田定五郎の項

中野 清吉 九月水力電氣(株)取締役、三陸水  
産(株)監査役、岩手縣在籍  
母 ミヨ 明一〇、一〇生、祖父清吉二女  
妻 ノブ 明三、四生、岩手、三船嘉七郎  
男 定一 大七、一生

中野善次郎

君は滋賀縣人岡田逸次郎の二男にして慶應二年七月を  
以て生れ後先代傳助の養子となり明治二十四年家督を  
相續す現時前記銀行會社の重役たり家族は尙六男三郎  
(明四四、九生)七男七郎(大七、七生)孫實(同三三、八  
生、長男精一長男)同美代(同六、一生、同長女)同せ  
つ(同八、一生、同二女)同祥江(同二〇、八生、同  
三女)あり長女きゆ(明一八、三生)は滋賀縣人岡田謙  
に養妹かよ(同二〇、六生)は同縣人奥村市太郎に養  
妹イヤ(同七、九生)は同縣人山本治三郎弟淺吉に養  
二男雄二(同二三、一生)四男四郎(同三三、五生)は  
各分家し三男三郎(同二九、一生)は分家二男雄二の家  
籍に入り孫久司(大二三、九生、長男精一)二男は同縣  
人土山太郎に養妹イヤ私生子は(明三三、三三)は  
同縣人堀池友治郎に各養子となり(滋賀、栗太、草

津町)  
參照 小村吟右衛門の項  
中野 宗一 萬頃畜産(株)取締役、中榮産  
業(株)常務取締役、山口縣在籍  
父 宗三郎 明五、四生、現月主  
妻 須美子 明三九、一生、山口、宮川忠藏  
三女

中野宗三郎

君は山口縣人中野宗三郎の二男にして明治三十二年十  
一月を以て生れ大正七年支那人として中榮産業會社に  
入り爾來監査役取締役を経て同十四年常務取締役に擧  
げられ現在に及ぶ尙前記會社の重役たり寫眞運動旅  
行等に趣味を有す(朝鮮、全羅北道、金堤郡青峴面)

中野 宗一 明三三、一生  
男 宗一 明三三、一生  
男 秀一 明四二、二生  
女 朝子 明四五、六生

中野忠太郎

君は新潟縣人中野忠太郎の長男にして文久二年三月を以  
て生れ昭和三年家督を相續す先代實一は日本の石油王  
として知られ又衆議院議員に列し勳四等に叙せらる君  
遺業を繼承して現時前記銀行會社の重役たり家族は尙  
五男忠雄(大二三、二生)四女操(同三三、一生)六男  
忠直(同四五、一〇生)孫重孝(同四四、三三)二男孝  
次(同四五、一〇生)同長女(弟實郎)明四  
〇、六生)同五郎(同四五、二生)同六郎(同四五、一〇生)  
あり長女シン(明三三、六生)は新潟縣人茂野誠衛に妹  
ヨキ(同五、二生)は同縣人大岡隆三長男富作に同タケ  
(同二〇、八生)は同縣人新田定五郎に妹ニヒデ(同  
三六、九生)三女テル(同三九、一〇生)弟信吾(慶應  
元、一生)は各分家し妹ミス(同三三、八生)同夫冬松(文  
久三、二生、新潟、大澤徳一郎)二男も亦其女松を  
伴ひ分家し四男一郎(明三八、八生)は分家弟信吾の  
養子となり新潟、中蒲原、金津村)

中野 忠太郎 石油共同販賣所(株)社長、新潟銀行  
各(株)取締役、新潟銀行(株)監  
査役、新潟縣在籍  
妻 孝次 明二五、一〇生、新潟、阿部謙長女  
男 孝次 明二五、一〇生、新潟、阿部謙長女  
女 洪 明三〇、八生、二男孝次妻、新潟、  
大澤傳十郎三女

中野猛雄

君は前東京商業會議所會頭中野武吉の二男にして明治  
十七年十一月を以て生れ大正九年兄岩太郎方より分  
一家を創立す同年東京帝國大學法科を卒業し  
實業界に入り現時東京商業會議所取締役たる外前記  
諸會社の重役たり往年野球選手として盛名あり(東京  
市外代々橋町代々木六三電四谷五五〇六)

中野 猛雄 衆議院議員(熊本縣選出)、天草石村  
工業(株)代表取締役、中西銀行九  
州汽船各(株)取締役、熊本縣在籍  
妻 ヨシ 明二五、二生、熊本、中尾ミツ妹  
男 晃 大七、一生  
女 興 大元、二生

中野爲治

君は新潟縣人中野文平の二男にして明治十六年十一月  
を以て生れ同二十九年家督を相續す同四十年早稲田  
大學政治科を卒業し現時前記銀行會社の重役たり  
熊本縣會議員に擧げられ昭和三年同縣より推されて  
衆議院議員に當選し現に立憲政友會に屬す家族は尙二  
女亮子(大一一、七生)弟雅城(明二二、五生)同妻マサ  
(同三〇、一生、熊本、平野彌松二女)及其一女あり同  
妻(同二八、一生)同治雄(同二六、六生)は各分家し養  
姉章(同九、三三)熊本、土、友枝善次(二女)は熊本縣  
人小山政三に嫁し伯父三(同二、六生)は同縣人大堂  
セリの養子となり(熊本、新屋敷町四三三八)

中野 爲治 新沼鐵造(株)社長  
新沼縣在籍  
妻 カツミ 明一三、一生、新潟、草間實香妹  
男 仁 明三三、一〇生  
女 ナミ 明三七、二生  
女 ナホ 明三九、四生  
女 ナホ 明四一、一生  
女 ナホ 明四四、一〇生  
女 ナホ 明四二、二生

中野 忠八 大忠、藥種砂糖商  
京都府在籍  
妻 マキ 明二三、七生、京都、中尾萬七長女  
男 恭雄 大二、二生

中野 忠太郎 君は新潟縣人中野忠太郎の長男にして文久二年三月を以  
て生れ昭和三年家督を相續す先代實一は日本の石油王  
として知られ又衆議院議員に列し勳四等に叙せらる君  
遺業を繼承して現時前記銀行會社の重役たり家族は尙  
五男忠雄(大二三、二生)四女操(同三三、一生)六男  
忠直(同四五、一〇生)孫重孝(同四四、三三)二男孝  
次(同四五、一〇生)同長女(弟實郎)明四  
〇、六生)同五郎(同四五、二生)同六郎(同四五、一〇生)  
あり長女シン(明三三、六生)は新潟縣人茂野誠衛に妹  
ヨキ(同五、二生)は同縣人大岡隆三長男富作に同タケ  
(同二〇、八生)は同縣人新田定五郎に妹ニヒデ(同  
三六、九生)三女テル(同三九、一〇生)弟信吾(慶應  
元、一生)は各分家し妹ミス(同三三、八生)同夫冬松(文  
久三、二生、新潟、大澤徳一郎)二男も亦其女松を  
伴ひ分家し四男一郎(明三八、八生)は分家弟信吾の  
養子となり新潟、中蒲原、金津村)

中野忠太郎

君は新潟縣人中野忠太郎の長男にして文久二年三月を以  
て生れ昭和三年家督を相續す先代實一は日本の石油王  
として知られ又衆議院議員に列し勳四等に叙せらる君  
遺業を繼承して現時前記銀行會社の重役たり家族は尙  
五男忠雄(大二三、二生)四女操(同三三、一生)六男  
忠直(同四五、一〇生)孫重孝(同四四、三三)二男孝  
次(同四五、一〇生)同長女(弟實郎)明四  
〇、六生)同五郎(同四五、二生)同六郎(同四五、一〇生)  
あり長女シン(明三三、六生)は新潟縣人茂野誠衛に妹  
ヨキ(同五、二生)は同縣人大岡隆三長男富作に同タケ  
(同二〇、八生)は同縣人新田定五郎に妹ニヒデ(同  
三六、九生)三女テル(同三九、一〇生)弟信吾(慶應  
元、一生)は各分家し妹ミス(同三三、八生)同夫冬松(文  
久三、二生、新潟、大澤徳一郎)二男も亦其女松を  
伴ひ分家し四男一郎(明三八、八生)は分家弟信吾の  
養子となり新潟、中蒲原、金津村)

中野忠太郎

君は新潟縣人中野忠太郎の長男にして文久二年三月を以  
て生れ昭和三年家督を相續す先代實一は日本の石油王  
として知られ又衆議院議員に列し勳四等に叙せらる君  
遺業を繼承して現時前記銀行會社の重役たり家族は尙  
五男忠雄(大二三、二生)四女操(同三三、一生)六男  
忠直(同四五、一〇生)孫重孝(同四四、三三)二男孝  
次(同四五、一〇生)同長女(弟實郎)明四  
〇、六生)同五郎(同四五、二生)同六郎(同四五、一〇生)  
あり長女シン(明三三、六生)は新潟縣人茂野誠衛に妹  
ヨキ(同五、二生)は同縣人大岡隆三長男富作に同タケ  
(同二〇、八生)は同縣人新田定五郎に妹ニヒデ(同  
三六、九生)三女テル(同三九、一〇生)弟信吾(慶應  
元、一生)は各分家し妹ミス(同三三、八生)同夫冬松(文  
久三、二生、新潟、大澤徳一郎)二男も亦其女松を  
伴ひ分家し四男一郎(明三八、八生)は分家弟信吾の  
養子となり新潟、中蒲原、金津村)

中野忠太郎

君は新潟縣人中野忠太郎の長男にして文久二年三月を以  
て生れ昭和三年家督を相續す先代實一は日本の石油王  
として知られ又衆議院議員に列し勳四等に叙せらる君  
遺業を繼承して現時前記銀行會社の重役たり家族は尙  
五男忠雄(大二三、二生)四女操(同三三、一生)六男  
忠直(同四五、一〇生)孫重孝(同四四、三三)二男孝  
次(同四五、一〇生)同長女(弟實郎)明四  
〇、六生)同五郎(同四五、二生)同六郎(同四五、一〇生)  
あり長女シン(明三三、六生)は新潟縣人茂野誠衛に妹  
ヨキ(同五、二生)は同縣人大岡隆三長男富作に同タケ  
(同二〇、八生)は同縣人新田定五郎に妹ニヒデ(同  
三六、九生)三女テル(同三九、一〇生)弟信吾(慶應  
元、一生)は各分家し妹ミス(同三三、八生)同夫冬松(文  
久三、二生、新潟、大澤徳一郎)二男も亦其女松を  
伴ひ分家し四男一郎(明三八、八生)は分家弟信吾の  
養子となり新潟、中蒲原、金津村)

中野 忠太郎 石油共同販賣所(株)社長、新潟銀行  
各(株)取締役、新潟銀行(株)監  
査役、新潟縣在籍  
妻 孝次 明二五、一〇生、新潟、阿部謙長女  
男 孝次 明二五、一〇生、新潟、阿部謙長女  
女 洪 明三〇、八生、二男孝次妻、新潟、  
大澤傳十郎三女

中野忠太郎

君は新潟縣人中野忠太郎の長男にして文久二年三月を以  
て生れ昭和三年家督を相續す先代實一は日本の石油王  
として知られ又衆議院議員に列し勳四等に叙せらる君  
遺業を繼承して現時前記銀行會社の重役たり家族は尙  
五男忠雄(大二三、二生)四女操(同三三、一生)六男  
忠直(同四五、一〇生)孫重孝(同四四、三三)二男孝  
次(同四五、一〇生)同長女(弟實郎)明四  
〇、六生)同五郎(同四五、二生)同六郎(同四五、一〇生)  
あり長女シン(明三三、六生)は新潟縣人茂野誠衛に妹  
ヨキ(同五、二生)は同縣人大岡隆三長男富作に同タケ  
(同二〇、八生)は同縣人新田定五郎に妹ニヒデ(同  
三六、九生)三女テル(同三九、一〇生)弟信吾(慶應  
元、一生)は各分家し妹ミス(同三三、八生)同夫冬松(文  
久三、二生、新潟、大澤徳一郎)二男も亦其女松を  
伴ひ分家し四男一郎(明三八、八生)は分家弟信吾の  
養子となり新潟、中蒲原、金津村)

中野 忠太郎 石油共同販賣所(株)社長、新潟銀行  
各(株)取締役、新潟銀行(株)監  
査役、新潟縣在籍  
妻 孝次 明二五、一〇生、新潟、阿部謙長女  
男 孝次 明二五、一〇生、新潟、阿部謙長女  
女 洪 明三〇、八生、二男孝次妻、新潟、  
大澤傳十郎三女

中野 太三郎 從四位勳三等、朝鮮總督府成鏡南  
道知事、福岡縣在籍  
妻 ヨシエ 明二五、二生、福岡、庄野弘毅長女  
男 大輔 明四三、七生  
女 靜江 大元、九生

中野 太三郎 君は福岡縣士家中野和四郎の二男にして明治十三年十  
二月を以て生れ同二十一年祖父太四郎の跡を繼ぎ家督  
を相續す同三十九年東京帝國大學法科大學を卒業し同  
四十二年統監府となり翌四十二年文官高等試験に合  
格し理事廳副理事官に任じ爾來朝鮮總督府事務官同府  
尹同理事官に歴任し平安南道第三部長を経て成鏡南  
道知事となり大正十五年成鏡南道知事に轉じ現在に至  
る家族は尙二女照(大四、五生)三女敦子(同八、二生)  
四女須美江(同一一、八生)三男浩(同四、一〇生)あり  
叔母ヒサ(文久三、二生)は福岡縣人池田磯に嫁せり  
(朝鮮、成鏡南道、成興)

中野太郎

君は大阪府人中野太右衛門の三男にして同嘉三郎の弟  
なり明治二十五年七月を以て生れ大正七年分家して一  
家を創立す資産家として知らる家族は尙長女たみ(大  
九、四生)二女ふみ(同一一、一〇生)二男高(同四、  
一〇生)あり(大阪、天王寺、堂々芝町四九電南六五九  
二)

中野武二

君は滋賀縣人岡田逸次郎の二男にして慶應二年七月を  
以て生れ後先代傳助の養子となり明治二十四年家督を  
相續す現時前記銀行會社の重役たり家族は尙六男三郎  
(明四四、九生)七男七郎(大七、七生)孫實(同三三、八  
生、長男精一長男)同美代(同六、一生、同長女)同せ  
つ(同八、一生、同二女)同祥江(同二〇、八生、同  
三女)あり長女きゆ(明一八、三生)は滋賀縣人岡田謙  
に養妹かよ(同二〇、六生)は同縣人奥村市太郎に養  
妹イヤ(同七、九生)は同縣人山本治三郎弟淺吉に養  
二男雄二(同二三、一生)四男四郎(同三三、五生)は  
各分家し三男三郎(同二九、一生)は分家二男雄二の家  
籍に入り孫久司(大二三、九生、長男精一)二男は同縣  
人土山太郎に養妹イヤ私生子は(明三三、三三)は  
同縣人堀池友治郎に各養子となり(滋賀、栗太、草

中野長吉

君は新潟縣人中野定吉の長男にして嘉永五年十月を以  
て生れ後家督を相續す現時前記各會社の重役たり家  
族は尙孫謙(明四四、一〇生)養子正雄(同光雄)大  
五、三生、同五男(同忠雄)同七、一〇生、同六男(同  
愛)同二、七生、同二女(曾孫ケイ)同四、二生、孫  
昇長女(同昭二、一生、同長男)あり妹ツネ(文久  
二、二生)は栃木縣人鈴木喜三郎に嫁せり(横濱、鶴見、  
鶴見町七〇八)

中野 長吉 安田商事、日本紙業各(株)取締役  
東京府在籍  
妻 カツ 文久二、三三、栃木、黒川忠平養子  
養子 正雄 明四、六生、二女イヨ夫、福島、  
富田實辰二女  
女 イヨ 明一四、五生、養子正雄妻  
孫 昇 明三四、八生、養子正雄長男  
孫 寛 明三五、三三、孫昇妻、宮城、島  
崎拾三妹  
孫 裕 明三七、一生、養子正雄二男  
孫 明三九、二生、養子正雄三男  
孫 アサ 明四二、二生、養子正雄長女

中野長兵衛

君は千葉縣人茂木七郎右衛門の二男にして元治元年五  
月を以て生れ後先代長兵衛の養子となり家督を相續す  
醬油問屋業を營み尙前記各會社の重役たり家族は尙  
長男孝三郎(昭二、七生)孫良子(大三、九生)養子榮  
三郎長女(同國子)同六、四生、同二女(同徳子)同九、  
三郎長女)同國子(同六、四生、同二女)同徳子(同九、  
三郎長女)

中野 長兵衛 千葉縣多額納税者、野田醬油、岩  
崎醬油、日本味噌各(株)監査役、  
醬油問屋業、千葉縣在籍  
妻 たけ 明元、三三、埼玉、關根義立二女  
養子 榮三郎 明二〇、四生、兄茂木七郎右衛門  
二男、慶應義塾法律科出身  
婦 エイ 明二八、五生、養子榮三郎妻、東  
京、前田兼七二女



一生、同三女あり(葉、東島、野田町) 参照 前田兼七、茂木七郎右衛門、島五郎、森本三郎の項

中野 常七

中野、金物商 京都府在籍 養母 明二、四生、京都、角田久兵衛叔母 妻 ツネ 明二、七生、養父常七二女 養子 常太郎 大二、三生、弟常造長男

君は京都府人西村周太郎の弟にして明治十六年十一月を以て生れ先代常七の養子となり大正二年家督を相続し前名季彦を改む中常と稱し金物商を営む家族は尙養妹よし(明二五、五生、亡養父常七二女)同夫常造(同二一、八生、京都、神谷源四郎二男)及其二子あり弟政之輔(同二六、一一生、養母すて養子)は分家せり(京都、下京、東洞院通松原上九燈籠町五七七電下七八九) 参照 角田久兵衛の項

中野 常太郎

筑陽銀行(株)取締役 福岡縣在籍 母 シカ 安政元、一生、福岡、山手喜平長女 妻 マサエ 明一九、五生、福岡、山手甚七長女 養子 正夫 大六、二生、新潟、武藤常吉妹 君は福岡縣人山手喜平の長男にして明治十一年九月を以て生れ同三十六年家督を相続す現筑陽銀行取締役たり弟庄次郎(明一八、一生)は同妻シケリ(同二三、七生、福岡、藤田房太郎長女)及其子女を伴ひ分家せり(福岡、浮羽、水細村)

中野 鐵平

日本石油(株)専務取締役、日本工業(株)監査役、新潟縣在籍 妻 ヲサ 明三、五生、新潟、武藤常吉妹 養子 守之助 明二九、三三、法學士、日本工業(株)専務取締役 明三四、六生、長男守之助妻、秋多 嘉 明三四、六生、長男守之助妻、秋多 嘉 女學校出身 君は新潟縣人山手喜平の二男にして明治二年一月を以て生れ大正九年四月家督を繼ぎ明治二十四年早稲田大學法律科を卒業して實業界に入り現時日本石油會社専務取締役の外前記會社の重役たり家族は尙孫嘉穂

中野 信重

日本ケルベツ(株)取締役 大阪府在籍 妻 けい 明二二、六生、兵庫、岩井秀三郎 養子 治子 明四〇、二生、兵庫、岩井秀三郎 八女 君は大阪府人山手喜平の長男にして明治十五年三月を以て生れ同四十五年家督を相続す現時日本ケルベツ會社取締役にして會社日本運動具中野新築會社重役たり弟信次(明一八、四生)は其妻時(同二五、一一生、大阪石井宗三長女)を伴ひ分家せり(大阪、住吉、遠里小野町三五五電住吉三〇八)

中野 井

福岡縣多額納税者、中野商店(株)社長、嘉穂銀行(株)取締役、嘉穂貯蓄銀行、幸袋工作所九州産業鐵道、大正電球、日本調味料製造各株監査役、福岡縣在籍 母 サダ 文久二、一一生、福岡、山本文吉 妻 タニ 明三〇、五生、佐賀、深川喜次郎 男 徳次郎 大七、一一生 君は福岡縣人山手喜平の長男にして明治二十四年二月を以て生れ大正七年家督を相続す現に慶應義塾に學び鐵道に從事し現に中野商店社長外前記各會社の重役にして縣下の多額納税者たり家族は尙長女妙子(大一一〇、九生)二女法子(同一一三、五生)養妹ハツ(明三四、一〇生)福岡、中野儀三郎長女(同三三〇、四生)福岡、吉村源壽明及其二子同秋子(同四二、一一生)福岡、中野儀三郎三女(同四五、三三)同四五、三三あり弟三郎(明三一、一一生)は分家し同四五(同三二、一一生)は同妻三子(同三六、一一生、東京、米井次夫妹)と共に其一子を伴ひ叔母サヨ(同五、五生)も亦其一子を伴ひ各分家し妹千代(同三五、三三)は福岡縣人松子に養妹ハル(同四〇、二生、福岡、中野儀三郎二女)は同縣人日水半次郎に嫁せり(福岡、嘉穂、二瀬村) 参照 深川喜次郎の項

子(大一一〇、三生、長男守之助長女)同嘉穂子(同一一一、五生、同二女あり長女レツ(明三二、一一生)日本女子大學校政科出身)は古河鐵業會社法學士廣井義臣に嫁せり(東京市外大久保町西大久保四一六電四谷一六七〇)

中野 徳郎

正四位勳三等、海軍技師、水路部第四課長、佐賀縣土族 妻 ムラ 明一五、九生、佐賀、太田久武長女 養子 峯子 明三八、九生 君は佐賀縣土族中野格一の長男にして明治七年三月を以て生れ同年家督を相続す同三十二年東京帝國大學理科大學星學科を卒業し臨時緯度觀測所技師となり同四十年海軍技師に轉じ水路部測量科員兼測量科員海軍大學校教官水路部編制科員等兼任し現時水路部第四課長たり別に文部省學術研究會議員及測地學委員會委員の公職を帶ぶ兼に英國差遣グアム島出張浦田出張等を命ぜられ又大正四年南洋羣島緯度觀測の爲サイパン外三ヶ所に出張を命ぜらる(東京、麻布、北日ヶ窪町四四電青山三四九五)

中野 友禮

日本電業(株)専務取締役、日本電機(株)取締役、福岡縣在籍 妻 サク 安政五、八生、群馬、中野藤七長女 養子 タラ 明二四、一一生、群馬、土、磯村香介養妹 男 和雄 大五、六生 君は福岡縣土族神尾彦之進の二男にして明治二十年二月を以て生れ後先代一彦の養子となり同三十四年家督を相続す現時日本電業會社専務取締役の外前記會社の重役たり家族は尙長女禮子(大八、六生)三男武正(同二一〇、三三)二女玉枝(同一一、七生)養弟基一(明二六、六生)同妻つる(同二八、一一生、東京、大國重藏五女)及其三男一女あり(東京、本郷、駒込上富士前町一〇一電小石川六七二) 参照 磯谷香介養妹十津村松五郎馬の項

中野 寅吉

東洋(株)製造(株)取締役、山業、福岡縣在籍 妻 セツ 新二七、長谷川佐五吉二女 男 一郎 大五、八生 君は千葉縣人山手喜平の長男にして明治十六年一月を以て生れ同四十二年東京帝國大學理學博士の學位を卒業し水産講習所囑託となり大正五年理學博士の學位を受け爾來第七高等學校鹿兒島高等農林學校各教授を経て同十一年米獨印度に留學し同十三年歸朝後東京帝國大學助教授に任じ現に理學部勤務たり家族は尙三女美代子(大八、五生)二男南夫(同一一、二生)三男準三(同一一四、七生)の外弟賢(明三三、六生)同妻キミ(同三六、九生)千葉、林徳松長女)及其一子同健吾(同三七、一一生)あり妹ちめ子(同三三、二生)は茨城縣人海老原隆佐に嫁す(慶應二、二生)は東京府人中島彌七に嫁し(明二一、四生)叔母ます二女)は千葉縣人長妻忠治孫彌太郎に嫁し弟香(同二〇、一一生)は千葉縣人石井兵右衛門の養子となり養叔夫菊次郎(安政五、一一生)は分家せり(東京市外瀧野川町上中里八)

中野 治房

從五位、理學博士、東京帝國大學助教、理學部勤務、千葉縣在籍 父 治四郎 文久二、九生、現戶主 母 とよ 助長女 妻 ひて 明二五、八生、茨城、結城新次郎 男 俊子 明四三、一一生 君は千葉縣人山手喜平の長男にして明治十六年一月を以て生れ同四十二年東京帝國大學理學博士の學位を卒業し水産講習所囑託となり大正五年理學博士の學位を受け爾來第七高等學校鹿兒島高等農林學校各教授を経て同十一年米獨印度に留學し同十三年歸朝後東京帝國大學助教授に任じ現に理學部勤務たり家族は尙三女美代子(大八、五生)二男南夫(同一一、二生)三男準三(同一一四、七生)の外弟賢(明三三、六生)同妻キミ(同三六、九生)千葉、林徳松長女)及其一子同健吾(同三七、一一生)あり妹ちめ子(同三三、二生)は茨城縣人海老原隆佐に嫁す(慶應二、二生)は東京府人中島彌七に嫁し(明二一、四生)叔母ます二女)は千葉縣人長妻忠治孫彌太郎に嫁し弟香(同二〇、一一生)は千葉縣人石井兵右衛門の養子となり養叔夫菊次郎(安政五、一一生)は分家せり(東京市外瀧野川町上中里八)

中野 秀次郎

山口縣多額納税者 山口縣在籍 妻 アイ 明一九、四生、山口、土、大藤誠 男 元祐 明三九、一一生 女 春枝 明四一、三三 夏子 明四五、六生 君は山口縣人山手喜平の長男にして明治十六年九月を以て生れ同四十年家督を相続と共に襲名して前名恒七を改む縣下の豪商にして現に同縣多額納税者たり家族は尙二男孝造(明一四、三三)三男琢輔(大三、六生)四男博之(同六、一一生)五男俊(同八、三三)三女久代(同二一〇、五生)六男豊(同一一、四生)あり弟保太郎(明二二、一一生)同幸太郎(同二五、四生)は各分家し妹千代(同三三、七生)は山口縣人藤井正一に同雪子(同三三、七生)は山口縣人藤井正一に同雪子(同三三、七生)

君は福岡縣人小林辰四郎の弟にして明治十二年四月を以て生れ東京府人中野寅次郎の養子となり大正四年分れて一家を創立す現に早稲田大學法科を卒業し北海道廳臺灣總督府朝鮮總督府警視廳各警部に兼任す現時鐵道山業を營み傍ら前記會社の重役たり兼に衆議院議員たりし事二回に及ぶ家族は尙二女スミ子(大七、六生)二男八郎(同二〇、八生)三男和(同二二、一一生)四男四郎(昭二、七生)あり(福岡、大沼、赤澤村)

中野 寅次郎

鬼怒川水力電氣(株)専務取締役、關東水力電氣(株)取締役、鬼怒川電力電氣會社(株)監査役 東京府土族 妻 小富 明三〇、七生 男 明三三、五生、高知、土、宮崎茂典 君は高知縣人山手喜平の弟にして元治元年九月を以て生れ先代久尾の養子となり明治三十四年家督を相続す現に高知縣師範學校を卒業し小石川區長東京市土木部長小石川區會議員東京市會議員衆議院議員自由通信社主幹清水水力電氣會社取締役等を経て現時前記諸會社の重役たり長女富榮(明二七、一一生)は兵庫縣人小林善清に嫁し三男泰三(同三三、四生)は熊本縣土族原田十衛の養子となり(東京市外瀧野川町榮通一ノ三〇電青山三四四) 参照 原田十衛の項

中野 直枝

從三位勳一等功四級、豫備海軍中將、東京府土族 妻 佐喜 弘化四、九生、高知、上岡元藏長女 養子 さた 明一四、八生、東京、西村正立三女 男 忠夫 明三三、八生、二生 君は高知縣人山手喜平の長男にして明治元年二月を以て生れ同三十七年家督を相続す同二十二年海軍軍學校を卒業し同二十三年海軍少尉に任じ大正六年海軍中將に累進す其間韓韓秋津洲八雲金剛各艦長海軍省軍務局々員海軍省出仕海軍臨時建築部々員吳鎮守府參謀長艦政本部第一部長艦政部長艦政部長兼海軍省軍務局長軍務官會議々員吳海軍工廠長官等を経て現時前記各隊司令官長官等に歴任す長女千代(明三一、一〇生)は愛知縣人戸河津隆始に嫁し二女秀子

中野 正剛

正五位、衆議院議員(福岡縣選出) 著述業、東京府土族 妻 トヲ 慶應二、三三、福岡、黨又九郎二女 母 明二七、四生、文學博士三宅雄二 養子 たみ 明二七、四生、文學博士三宅雄二 男 克明 大三、五生 君は東京府土族山手喜平の長男にして明治十九年二月を以て生れ大正八年家督を相続す現に早稲田大學政治經濟科を卒業し東京朝日新聞に入り記者として名聲を馳す大正九年以來衆議院議員に選ばれる、事三回立憲政黨に屬す兼に大藏參事官に任ぜられ歐米を視察せり家族は尙二男雄志(大七、二生)三男達彦(同九、一一生)四男泰雄(同一一、六生)弟秀人(明三一、五生)あり同泰介(同二六、五生)は分家せり(東京市外千駄ヶ谷町原宿一九八電青山三三六) 参照 三宅雄二郎、三宅山一平の項

中野 雅夫

愛媛鐵道(株)専務取締役 愛媛縣土族 妻 年尾 明一一、一一生、愛媛、松井健三 男 信明 明三七、八生 君は愛媛縣人山手喜平の三男にして慶應二年十月を以て生れ先代節の養子となり明治二十年家督を相続す現に愛媛鐵道會社専務取締役たり長女チトセ(明二九、五生)は愛媛縣人渡邊方に二女雪江(同三二、一一生)は同縣人高橋孝三郎に嫁し四男清(同四〇、四生)は同縣人武井猪三郎の養子となり(愛媛、喜多、大洲町)

中野 萬治郎

陶器商 大阪府在籍 妻 しけ 明二八、四生、兵庫、宮田眞三郎 男 繁太郎 大六、二生 君は大阪府人山手喜平の二男にして明治二十七年一月を以て生れ大正十四年家督を相続す陶器商たり家族は尙長女千代子(大四、一一生)三男彌衛(同二一、二生)あり(大阪、西、新町北通一ノ二二電新町二六一)







君は大阪府人中納久左衛門の長男にして文久二年十一月を以て生れ同二十年家督相續と共に舊名久吉を改む大阪府多額納税者にして金儲業を營む家族は尙六男久雄(大、四生)あり長女久納(明三三、六生)は大阪府人佐野利次郎に妹ヒサ(同三、六生)は同府人松島久吉に嫁せり(大阪、港、北泉尾町三ノ一〇五電樓川四一九五)

中納久次郎 地主 大阪府在籍  
父 久左衛門 文久二、一一生、現戶主  
妻 千代 明二四、八生、大阪、小寺義信姉  
女 久重 大二、二一生

君は大阪府人中納久左衛門の長男にして明治二十一年四月を以て生れ地主として知らるる家族は尙三女迪子(大二三、九生)あり(大阪、港、北泉尾町一〇五電樓川四一九五)

中場彌太郎 從五位勳四等、判事、尾道區裁判所判事兼廣島地方裁判所尾道支部長、廣島縣在籍  
父 辰吉 天保一四、八生  
妻 スエ 明九、二生、和歌山、九田治助妹

君は廣島縣人中場辰吉の長男にして明治六年十二月を以て生れ大正十二年家督を相續す明治三十二年關西法律學校を同三十三年明治法律學校を同三十五年和佛法律學校を各卒業し判事登用試験に合格同三十八年判事に任じ岐阜地方官山地方官古屋地方各裁判所判事關東都府法院判事裁判所判事吳區裁判所判事に歴補し大正十五年現職に補せらるる家族は尙養妹ミヤコ(明四一、三生)、吳高等女學校出身)あり(尾道、久保町六四)

中橋 謹二 資産家 東京府在籍  
君は商工大臣中橋徳五郎の二男にして同武一の弟なり明治三十四年三月を以て生れ大正九年分れて一家を創立す同十四年東京帝國大學法學部獨法科を卒業し後大阪商船會社に勤務せしめ之を辭す資産家たり野球テニス等運動に趣味を有す(東京、麹町、中六番町三九)

中橋 武一 大阪ビルデング(株)専務取締役、大阪鐵工所(株)監査役、石川縣在籍  
父 徳五郎 元治元、九生、現戶主  
妻 敬子 明三五、六生、男爵小原隆吉二女、學習院女學部出身

君は商工大臣中橋徳五郎の長男にして同武一の兄なり明治二十三年二月を以て生れる同四十五年神戸高等商業學校を卒業し現に大阪ビルデング専務取締役たる外前記會社の重役たり家族は尙長女竹子(大一一〇、三生)二女明子(同一一、二生)あり(大阪、天王寺、悲田院町一八電樓五五〇六)

中橋徳五郎 正三位勳一等、商工大臣、衆議院議員(石川縣選出)、石川縣在籍  
妻 武一 明二四、八生、男爵藤田平太郎養姉  
男 武一 明二四、八生

君は舊金澤藩士齋藤宗一の五男にして齋藤平六の兄なり元治元年九月を以て生れ中橋家の養子となり明治二十年家督を相續す同十九年帝國大學法學部獨法科を卒業し判事補となり横濱始末審判所所長を命ぜらるる爾來特許局審判官農商務省審判官法制局審判官衆議院書記官官房財務課長逓信省監査局長同鐵道局長等を経て明治三十一年官を辭し大阪商船會社に入り其社長となり傍ら日本實業會社南滿洲鐵道會社等の重役を兼ね實業界に活躍せり同四十五年衆議院議員に推され、事三回に及び現に立憲政友會總務たり大正七年内閣組閣と共に入りて文部大臣となる同十九年官を辭して政友本黨顧問たりしが昭和二年田中内閣に入りて商工大臣となり現在に至るに明治二十二年衆議院制度取調局出仕として歐米各國に出張を命ぜらるる家族は尙五女正子(大二三、四生)あり長女継子(明二八、六生)、東京第一造三高等女學校出身)は男爵九鬼隆一(四男、文學士一造に四女重子(同四二、七生)、雙葉高等女學校出身)

中橋彌吉郎 父よし組、電氣工事請負並電氣器機器具商、大阪府士族  
母 ひな 嘉永四、七生、石川、小堀六郎右衛門四女  
妻 ちよ 明二〇、一〇生、石川、水野政義妹  
男 彌太郎 大三、五生  
女 彌榮 明四〇、一一生

君は石川縣士族中橋良久の長男にして明治十二年二月を以て生れ大正三年家督を相續すよし組と稱し電氣器具商を營む家族は尙三男彌高太(大七、五生)四男眞彌(同一四、八生)の他弟彌三郎(明一五、二生)同妻ハツイ(同一二、六生、石川、瀧尾永次郎長女)との間に三男一女あり(大阪、東、味原町九九電樓一〇三三)

中橋 和一 三井銀行 株主  
母 きう 嘉永二、七生、石川、海岸知照二女  
妻 フジ 明一八、五生、愛媛、岡部清作長女  
男 孫一郎 明四〇、八生、東京府立第二高等女學校出身  
女 ふみ 明四三、三生、東京府立第二高等女學校出身

君は石川縣人元日本貯金銀行専務取締役中橋和之の長男にして明治三十二年三月を以て生れ昭和二年家督を相續す先是明治三十八年東京帝國大學法學部獨法科を卒業し夙に三井銀行に入り大阪神戸福岡名古屋各支店勤務に歴任し現時本店店長たり其家族は尙二男達夫(大元、一一生)三男愛三(同七、一一生)二女いく(同一〇、六生)あり姉つね(明七、六生)は石川縣人北濱三十郎に同その(同一〇、四生)同縣士族藤木正臣に妹あや(同一五、二生)は福井縣人古河借造に嫁し弟和男(同一八、四生、工學士)は同妻志賀(同三〇、一〇生、兵庫、森榮郎二女)及其二子と共に分家

中濱東一郎 從五位勳四等、醫學博士、住友生命保險(株)監査役、東京府士族  
妻 よし 明元、四生、東京、土、畔柳完道姉  
男 清 明二八、九生、王子製紙會社員、慶應義塾政治科出身  
女 はな 明三八、五生、長男清妻、北海道、石館友作二女、三輪田女學校出身  
男 明三三、一一生、東京帝國大學文學部在籍

君は舊高知藩士中濱萬次郎の長男にして安政四年七月を以て生れ後家督を相續す先代萬次郎少年の頃無人島に漂流し米國捕鯨船長ホイットフィールドに助けられ在米十年數學天文航海學等を修めベルリに渡り歸朝し開國に盡力せる人なり君は明治十四年東京帝國大學醫學部を卒業し福島醫學校長岡山醫學校長金澤醫學校長並に同病院院長等に歴任し同十八年内務省御用掛となり海外に派遣せらるる同二十年歸朝内務省技師に任じ次第に東京衛生試験所長を兼ね同二十四年醫學博士の學位を授けらるる後官を辭し鎌倉病院並に同生病院を設立し其顧問或は院長となりて診療に従事せしが大正六年末同病院を閉鎖し現時住友生命保險會社監査役たり長女いと(明一五、一〇生、跡見女學校出身)は醫學博士高山正雄に三女綾子(同一七、四生、學習院女學部出身)は兵庫縣士族小寺謙吉弟工學士又吉に四女絹子(同三五、五生、出身同上)は神奈川縣人渡邊福三郎三男法學士富三郎に嫁し第四次郎(元治元、四生、工學士)同鷹三郎(明元、八生、從五位勳三等、海軍主計大佐)は各分家せり(東京市外東調布町田園都市二九八號電田園調二一二)

中濱平三郎 五十六銀行(株)取締役 兵庫縣在籍  
妻 なか 明三、三生、兵庫、小川常次郎姉  
養子 清三郎 明一七、八生、兵庫、小川常次郎弟

中林 孝三 從七位勳六等、退役陸軍二等軍醫、中林外科病院、醫師、三重縣在籍  
妻 れん 明一九、二一生、群馬、土、蟹江克己妹  
女 孝子 明四四、五生

君は愛知縣人鶴岡直次郎の三男にして同賢一の弟なり明治十年十一月を以て生れ後先代直次郎の養子となり同三十六年家督を相續す同三十四年千葉醫學專門學校を卒業し現時醫學に従事し中林外科病院を經營す家族は尙三女壽美子(大六、一〇生)四女夏子(同八、七生)あり(神戸、國通四、一雲臺合三三〇七)

中林 正六 藏上鐵道(株)常務取締役 鳥根縣在籍  
妻 トモ 安政六、七生、鳥根、原喜一郎四女  
男 忠七郎 明二七、四生、現戶主  
女 隆子 明三八、五生、二男忠七郎妻、鳥根、鳥谷理右衛門長女

君は鳥根縣人中林健藏の長男にして安政二年一月を以て生れ明治二十八年家督を相續し大正十五年退隠す現時藏上鐵道會社常務取締役たり長女風(明一六、二生)は鳥根縣人中林祐之助の養子となれり(鳥根、大原、神原村)

中林孫次郎 熊取織物(株)取締役 大阪府在籍  
妻 龍 明二三、一一生、大阪、大植朝明長女  
女 チツ 明四四、一一生

中林 孝三 從七位勳六等、退役陸軍二等軍醫、中林外科病院、醫師、三重縣在籍  
妻 れん 明一九、二一生、群馬、土、蟹江克己妹  
女 孝子 明四四、五生

君は愛知縣人鶴岡直次郎の三男にして同賢一の弟なり明治十年十一月を以て生れ後先代直次郎の養子となり同三十六年家督を相續す同三十四年千葉醫學專門學校を卒業し現時醫學に従事し中林外科病院を經營す家族は尙三女壽美子(大六、一〇生)四女夏子(同八、七生)あり(神戸、國通四、一雲臺合三三〇七)

中林 正六 藏上鐵道(株)常務取締役 鳥根縣在籍  
妻 トモ 安政六、七生、鳥根、原喜一郎四女  
男 忠七郎 明二七、四生、現戶主  
女 隆子 明三八、五生、二男忠七郎妻、鳥根、鳥谷理右衛門長女

君は鳥根縣人中林健藏の長男にして安政二年一月を以て生れ明治二十八年家督を相續し大正十五年退隠す現時藏上鐵道會社常務取締役たり長女風(明一六、二生)は鳥根縣人中林祐之助の養子となれり(鳥根、大原、神原村)

中林孫次郎 熊取織物(株)取締役 大阪府在籍  
妻 龍 明二三、一一生、大阪、大植朝明長女  
女 チツ 明四四、一一生

君は大阪府人先代孫次郎の長男にして明治十九年二月

中濱平三郎 五十六銀行(株)取締役 兵庫縣在籍  
妻 なか 明三、三生、兵庫、小川常次郎姉  
養子 清三郎 明一七、八生、兵庫、小川常次郎弟

中濱東一郎 從五位勳四等、醫學博士、住友生命保險(株)監査役、東京府士族  
妻 よし 明元、四生、東京、土、畔柳完道姉  
男 清 明二八、九生、王子製紙會社員、慶應義塾政治科出身  
女 はな 明三八、五生、長男清妻、北海道、石館友作二女、三輪田女學校出身  
男 明三三、一一生、東京帝國大學文學部在籍

中濱東一郎 從五位勳四等、醫學博士、住友生命保險(株)監査役、東京府士族  
妻 よし 明元、四生、東京、土、畔柳完道姉  
男 清 明二八、九生、王子製紙會社員、慶應義塾政治科出身  
女 はな 明三八、五生、長男清妻、北海道、石館友作二女、三輪田女學校出身  
男 明三三、一一生、東京帝國大學文學部在籍

君は舊高知藩士中濱萬次郎の長男にして安政四年七月を以て生れ後家督を相續す先代萬次郎少年の頃無人島に漂流し米國捕鯨船長ホイットフィールドに助けられ在米十年數學天文航海學等を修めベルリに渡り歸朝し開國に盡力せる人なり君は明治十四年東京帝國大學醫學部を卒業し福島醫學校長岡山醫學校長金澤醫學校長並に同病院院長等に歴任し同十八年内務省御用掛となり海外に派遣せらるる同二十年歸朝内務省技師に任じ次第に東京衛生試験所長を兼ね同二十四年醫學博士の學位を授けらるる後官を辭し鎌倉病院並に同生病院を設立し其顧問或は院長となりて診療に従事せしが大正六年末同病院を閉鎖し現時住友生命保險會社監査役たり長女いと(明一五、一〇生、跡見女學校出身)は醫學博士高山正雄に三女綾子(同一七、四生、學習院女學部出身)は兵庫縣士族小寺謙吉弟工學士又吉に四女絹子(同三五、五生、出身同上)は神奈川縣人渡邊福三郎三男法學士富三郎に嫁し第四次郎(元治元、四生、工學士)同鷹三郎(明元、八生、從五位勳三等、海軍主計大佐)は各分家せり(東京市外東調布町田園都市二九八號電田園調二一二)

中濱平三郎 五十六銀行(株)取締役 兵庫縣在籍  
妻 なか 明三、三生、兵庫、小川常次郎姉  
養子 清三郎 明一七、八生、兵庫、小川常次郎弟

中濱東一郎 從五位勳四等、醫學博士、住友生命保險(株)監査役、東京府士族  
妻 よし 明元、四生、東京、土、畔柳完道姉  
男 清 明二八、九生、王子製紙會社員、慶應義塾政治科出身  
女 はな 明三八、五生、長男清妻、北海道、石館友作二女、三輪田女學校出身  
男 明三三、一一生、東京帝國大學文學部在籍

君は舊高知藩士中濱萬次郎の長男にして安政四年七月を以て生れ後家督を相續す先代萬次郎少年の頃無人島に漂流し米國捕鯨船長ホイットフィールドに助けられ在米十年數學天文航海學等を修めベルリに渡り歸朝し開國に盡力せる人なり君は明治十四年東京帝國大學醫學部を卒業し福島醫學校長岡山醫學校長金澤醫學校長並に同病院院長等に歴任し同十八年内務省御用掛となり海外に派遣せらるる同二十年歸朝内務省技師に任じ次第に東京衛生試験所長を兼ね同二十四年醫學博士の學位を授けらるる後官を辭し鎌倉病院並に同生病院を設立し其顧問或は院長となりて診療に従事せしが大正六年末同病院を閉鎖し現時住友生命保險會社監査役たり長女いと(明一五、一〇生、跡見女學校出身)は醫學博士高山正雄に三女綾子(同一七、四生、學習院女學部出身)は兵庫縣士族小寺謙吉弟工學士又吉に四女絹子(同三五、五生、出身同上)は神奈川縣人渡邊福三郎三男法學士富三郎に嫁し第四次郎(元治元、四生、工學士)同鷹三郎(明元、八生、從五位勳三等、海軍主計大佐)は各分家せり(東京市外東調布町田園都市二九八號電田園調二一二)

中濱平三郎 五十六銀行(株)取締役 兵庫縣在籍  
妻 なか 明三、三生、兵庫、小川常次郎姉  
養子 清三郎 明一七、八生、兵庫、小川常次郎弟

中濱東一郎 從五位勳四等、醫學博士、住友生命保險(株)監査役、東京府士族  
妻 よし 明元、四生、東京、土、畔柳完道姉  
男 清 明二八、九生、王子製紙會社員、慶應義塾政治科出身  
女 はな 明三八、五生、長男清妻、北海道、石館友作二女、三輪田女學校出身  
男 明三三、一一生、東京帝國大學文學部在籍

君は舊高知藩士中濱萬次郎の長男にして安政四年七月を以て生れ後家督を相續す先代萬次郎少年の頃無人島に漂流し米國捕鯨船長ホイットフィールドに助けられ在米十年數學天文航海學等を修めベルリに渡り歸朝し開國に盡力せる人なり君は明治十四年東京帝國大學醫學部を卒業し福島醫學校長岡山醫學校長金澤醫學校長並に同病院院長等に歴任し同十八年内務省御用掛となり海外に派遣せらるる同二十年歸朝内務省技師に任じ次第に東京衛生試験所長を兼ね同二十四年醫學博士の學位を授けらるる後官を辭し鎌倉病院並に同生病院を設立し其顧問或は院長となりて診療に従事せしが大正六年末同病院を閉鎖し現時住友生命保險會社監査役たり長女いと(明一五、一〇生、跡見女學校出身)は醫學博士高山正雄に三女綾子(同一七、四生、學習院女學部出身)は兵庫縣士族小寺謙吉弟工學士又吉に四女絹子(同三五、五生、出身同上)は神奈川縣人渡邊福三郎三男法學士富三郎に嫁し第四次郎(元治元、四生、工學士)同鷹三郎(明元、八生、從五位勳三等、海軍主計大佐)は各分家せり(東京市外東調布町田園都市二九八號電田園調二一二)







長男兼市四男)は前記中部悦良の養子となり(明石、東魚町)
中部悦良 海生組、林業商店、土佐捕鯨各(株)
取締役、長崎縣在籍
妻 とも 明二七、四生、養父幾太郎二女
養子 長次郎 大一〇、九生、中部兼市四男
君は兵庫縣人安居院直藏の四男にして同謙吉の養兄なり
明治二十八年九月を以て生れ中部幾太郎の養子となり
大正十三年分家して一家を創立す現時前記各會社の
重役たり(長崎市浦五島町四八)

中部謙吉 土佐捕鯨、林業商店各(株)取締役
山口縣在籍
妻 慶子 明三四、一一生、山口、木梨辰次
男 謙次郎 大二三、七生
君は兵庫縣人中部幾太郎の二男にして同悦良の養弟なり
明治二十九年三月を以て生れ大正十三年分家して一家
を創立す現時前記各會社の重役たり家族は尙長女なつ
子(大一〇、一一生)三男藤次郎(同一五、八生)あり
(朝鮮、蔚山、東面方魚里)
參照 中部幾太郎、中部悦良の項

中松龜太郎 日本生命保險(株)大阪支店長
東京府在籍
妻 ヤサ 明三二、六生、兵庫、土、佐藤成
男 恒一 明四三、七生
君は東京府土族中松の長男にして明治二十三年九月
を以て生れ大正四年東京帝國大學法科大學獨法科を卒
業し辯護士の業に従ひ今日に至る家族は尙弟敏夫(大
一、一三)同哲夫(同一五、九生)あり(兵庫、武庫、
精道村蘆屋岸ノ下七九)

中松盛雄 正五位勳五等、日本共立火災保險
(株)取締役、中松特許法律事務所
主、辯護士、和歌山縣土族
妻 秀 明九、六生、和歌山、土、加藤某
男 潤之助 明二八、一一生、法學士、特許辨
理士、現戶主
女 潤子 明三三、三三
男 喬三郎 明三九、一〇生
男 四郎 明四二、九生
君は和歌山縣土族中松の二男にして慶應元年十月
を以て生れ明治二十四年帝國大學法科大學法科を卒
業し農商務省特許局審査官農商務省特許局事務
官特許局長等に歴任す退官後辯護士となり中松
特許法律事務所を主宰する傍ら前記會社の取締役たり
家族は尙二女和子(大八、一一生)あり二男節二郎(明三
小山四九八電高輪一六五)

中光幸一 山口縣多額納稅者、防府瓦斯(株)
監查役、吳服商、山口縣在籍
妻 トヨ 弘化四、一一生、山口、水木藤吉三女
養子 恒雄 明二七、二生、養父朝子夫、山口
養子 朝子 明四一、一一生、養子恒雄妻、山口、
君は山口縣人郡司虎之助の長男にして明治五年五月を
以て生れ先代彌七の養子となり同四十二年家督を相續
す吳服商を営み防府瓦斯會社監查役にして山口縣多額
納稅者たり養妹タマノ(明二一、二生、山口、中光勲
治郎長女)は同縣人郡司賢亮に嫁せり(山口、佐渡防
府町)

中溝三郎 從五位、男爵
東京府華族
妻 カメ 明二、一〇生、佐賀、古賀晋介四女
當家は先代徳太郎より家督を揚徳太郎は舊佐賀藩士
にして明治十四年海軍少尉に任じ後海軍中將に累進す
其間愛宕艦長舞水雷團長舞鶴各鎮守府參謀長海軍
省軍務局長海軍將官會議各員等に歴補す日清の役に秋
津洲副長として出征し功四級を賜ひ日露の役に吳鎮
守府參謀長として功あり功三級に叙し同四十年華族に
列し男爵を授けられ後貴族院議員に擧げらる君は其弟
後備陸軍歩兵大佐中溝武三郎の三男にして明治四十三年
四月を以て生れ大正十年先代徳太郎の養子となり同
十二年家督を相續し男爵に叙せらる(東京市外大崎町
下大崎八一電高輪八五)
參照 久米司の項

中御門經恭 正四位勳三等、侯爵、貴族院議員
舊公卿家
妻 慶子 明二七、三三、男爵三井八郎右衛
門長女、學習院女學部專修科出身
男 經 大七、四生
當家は勳修寺中納言經俊の男權大納言經繼の後なり其
邸中御門に在りしを以て家號とす二十四世を経て從一
位經之に至る經之維新の際回天の鴻業を翼賛し獻壽す
る所少からず其子經明明治十七年伯爵を授けられ同二
十一年父經之の勳功に依り侯爵に陞さる嗣なく女萬千
子其後を享く君實は中御門經隆の二男にして男爵中御
門經民の兄なり明治二十一年十月を以て生れ先代從妹
萬千子の退隱後を相續し同三十二年男爵に陞せられ學
習院を経て大正三年京都帝國大學理工科大學化學科を
卒業し貴族院議員たりエルフに興味を有す家族は尙長
女宜子(大三、一一生)二女裕子(同一五、一三)三女理子
(同六、一一生)四女節子(同一二、二生)叔母直子(嘉永
五、九生、伯府坊城俊良叔母)あり從妹萬千子(明二

中丸重郎兵衛 神奈川縣多額納稅者、農業
神奈川縣在籍
妻 カツ 明二、三三、神奈川、足立晴吉
男 雄二郎 明三六、二生
男 謙三 明三九、二生
女 三子 明四一、九生
君は神奈川縣人梅澤義三郎の長男にして明治五年十一
月を以て生れ後中丸八郎の養子となり同二十七年家
督を相續し前名喜右衛門を改む農業を營み神奈川縣多
額納稅者たり家族は尙四男達四郎(明四五、七生)三女
ツ子(大四、一一生)あり(神奈川、愛甲、佐知村)
參照 原文次郎の項

中丸一平 南滿鐵業(株)取締役、三井物産、
日本煉瓦製造各(株)監查役
東京府土族
妻 タカ 弘化二、九生、山口、福田高一四
男 平一郎 明四一、七生
君は山口縣土族中丸の長男にして明治三年四月を
以て生れ同二十五年家督を相續す夙に三井物産會社に
入り果敢して門司支店長本店機械部長等を経て現に監
査役に擧げられ且前記各會社の重役たり家族は尙二男
鐵次郎(明四四、九生)三男三郎(大三、九生)四男四郎
(同五、一一生)二女敏子(同七、六生)あり長女カツ(明
三八、六生)は東京府人但木二王に姉トシ(慶應元、一
二)は長崎縣人頭原修一郎に嫁し弟平二(明五、四生)
は山口縣人井上正一の養子となり(東京市外中野町
一五二〇電中野一〇四)
參照 河北勤七井上機太郎の項

中御門經民 正五位、男爵、兼貴族院議員、認
書課長、中御門侯爵家分家、認
養子 經隆 嘉永五、二生、從三位勳三等、退
役海軍大尉
父 經隆 役海軍大尉
母 恭子 嘉永元、五生、男爵岩倉具徳姉
君は石川縣人中宮茂吉郎の長男にして明治十年五月を
以て生れ後先代イヨの養子となり同二十七年家督を相
續し後前名久太郎を改む菓子商兼八合名會社を經營し
現に金澤商工會議所議員金澤市菓子業組合長石川縣菓
子業組合聯合會會長たる外前記會社の重役にして石川縣
多額納稅者たり書畫骨董を好む家族は尙孫久雄(大
三、四生、長男茂一長男)同武昭(昭二、七生、同二男)あ
り二男茂松(明三三、七生)同妻久子(同三九、五生、石
川、土谷與作二女)は共に分家し三男外喜雄(同三四、
九生)は石川縣人中宮茂平の養子となり長女初葉(同
三六、一一生)は同縣人永井伊之吉に(金澤、下新町二〇)
九生)は同縣人永井千吉に嫁せり(金澤、下新町二〇)
參照 永井本喜作渡邊伊太郎の項

中牟田喜兵衛 石川縣多額納稅者、博多商工會議
所議員、丸木屋吳服店(株)取締役
岩田屋、吳服商、福岡縣在籍
妻 喜代子 明三〇、六生、先代喜兵衛長女

十之部

中(御、溝、光、南、宮、丸)

(※印は姻族關係)



男 喜一郎 大正四、九生  
君は佐賀縣人山下卯一の弟にして明治二十四年十月を以て生れ先代喜兵衛の養子となり大正十一年家督を相続す岩田屋と稱し吳服商を営み傍ら丸木屋吳服店取締役を兼ね福岡縣多額納税者にして推されて博多商工會議所議員たり家族は尙二男岡次郎(大七、一)三男榮藏(同九、一〇)四男秀雄(同一、二)長女喜和子(同一四、七)あり(福岡市麴屋町三〇、一)

中牟田久兵衛 (兼印は姻族關係)  
君は福岡縣人藤田卯七の長男にして明治五年一月を以て生れ後先代久兵衛の養子となり同三十四年家督を相続す岩田屋と稱し織物業を営み傍ら九州證券信託會社取締役にして同縣多額納税者たり家族は尙四女澄子(大五、六)五女香代子(同一、八)あり(福岡市掛町九)

中牟田繁三郎  
君は福岡縣人岩田屋、吳服商  
妻 藤三郎 明二、六生、福岡、岩崎平兵衛長女  
男 藤一郎 明三、八、一〇生  
女 藤子 明四、三、一〇生

中牟田武信 子爵  
君は東京府人吉田修蔵の弟にして明治十一年三月を以て生れ先代清蔵の養子となり大正十一年家督を相続す明治三十二年東京高等商業學校を卒業し現時中村高等女學校校長たる外前記各會社の重役たり家族は尙四男清四郎(明四、一)五男五郎(同四、二)六男六郎(大元、九)七男清七郎(同三、一)八男長子(同二、六)九女(二)女福子(同八、一)長女千代子(同二、三)三女なつ子(同三、五)一子、静岡、土、坂本復一(二)生は養母せい(文久三、二)生、靜岡、土、坂本復一(同四、五、七)生、伴ひ分家九男文雄(大、一)一〇生は東京府人並木ギンの養子となり養妹せき(明一、九、五)生は同府人中村義四郎に同じ(同二、一)九生は長野縣人小穴秀一に嫁せり(東京市外入新井町新井宿二六一一電大森四七五)

中牟田繁三郎  
君は福岡縣人岩田屋、吳服商  
妻 藤三郎 明二、六生、福岡、岩崎平兵衛長女  
男 藤一郎 明三、八、一〇生  
女 藤子 明四、三、一〇生

中牟田武信 子爵  
君は東京府人吉田修蔵の弟にして明治十一年三月を以て生れ先代清蔵の養子となり大正十一年家督を相続す明治三十二年東京高等商業學校を卒業し現時中村高等女學校校長たる外前記各會社の重役たり家族は尙四男清四郎(明四、一)五男五郎(同四、二)六男六郎(大元、九)七男清七郎(同三、一)八男長子(同二、六)九女(二)女福子(同八、一)長女千代子(同二、三)三女なつ子(同三、五)一子、静岡、土、坂本復一(二)生は養母せい(文久三、二)生、靜岡、土、坂本復一(同四、五、七)生、伴ひ分家九男文雄(大、一)一〇生は東京府人並木ギンの養子となり養妹せき(明一、九、五)生は同府人中村義四郎に同じ(同二、一)九生は長野縣人小穴秀一に嫁せり(東京市外入新井町新井宿二六一一電大森四七五)

中牟田武信 子爵  
君は東京府人吉田修蔵の弟にして明治十一年三月を以て生れ先代清蔵の養子となり大正十一年家督を相続す明治三十二年東京高等商業學校を卒業し現時中村高等女學校校長たる外前記各會社の重役たり家族は尙四男清四郎(明四、一)五男五郎(同四、二)六男六郎(大元、九)七男清七郎(同三、一)八男長子(同二、六)九女(二)女福子(同八、一)長女千代子(同二、三)三女なつ子(同三、五)一子、静岡、土、坂本復一(二)生は養母せい(文久三、二)生、靜岡、土、坂本復一(同四、五、七)生、伴ひ分家九男文雄(大、一)一〇生は東京府人並木ギンの養子となり養妹せき(明一、九、五)生は同府人中村義四郎に同じ(同二、一)九生は長野縣人小穴秀一に嫁せり(東京市外入新井町新井宿二六一一電大森四七五)

中村 一徹  
君は東京府人中村定雄の弟にして明治十八年一月を以て生れ大正元年分れて一家を創立す明治四十三年東京帝國大學工科大学機械科を卒業し日本鐵工會社に入り取締役を経て現時事務取締役兼技師長にして傍ら漁船機關士協會理事長たり家族は尙長女清子(大四、一)一子(二)男一治(同一四、四)あり(東京市外入新井町新井宿二六一一電大森四七五)

中村 岩吉  
君は長崎縣人中村多夫の弟にして明治二十一年五月を以て生れ大正三年家督を相続す同年東京帝國大學法科大学政治科を卒業し農業を営み縣下の多額納税者たり家族は尙二女二小夜(大四、五)三女禮子(同六、八)二男定正(同一、一)五生(三)男守邦(同一五、二)弟馬吉(明二、六)二生(同)妻タカ(同三、四)三生、長崎、坪内直之(三女)及其三女姪子(同四、二)八生、長崎、伊萬里止善孫(あり)長崎市西山町二(一〇四)

中村 岩吉  
君は長崎縣人中村多夫の弟にして明治二十一年五月を以て生れ大正三年家督を相続す同年東京帝國大學法科大学政治科を卒業し農業を営み縣下の多額納税者たり家族は尙二女二小夜(大四、五)三女禮子(同六、八)二男定正(同一、一)五生(三)男守邦(同一五、二)弟馬吉(明二、六)二生(同)妻タカ(同三、四)三生、長崎、坪内直之(三女)及其三女姪子(同四、二)八生、長崎、伊萬里止善孫(あり)長崎市西山町二(一〇四)

中村 岩吉  
君は長崎縣人中村多夫の弟にして明治二十一年五月を以て生れ大正三年家督を相続す同年東京帝國大學法科大学政治科を卒業し農業を営み縣下の多額納税者たり家族は尙二女二小夜(大四、五)三女禮子(同六、八)二男定正(同一、一)五生(三)男守邦(同一五、二)弟馬吉(明二、六)二生(同)妻タカ(同三、四)三生、長崎、坪内直之(三女)及其三女姪子(同四、二)八生、長崎、伊萬里止善孫(あり)長崎市西山町二(一〇四)

中村 岩吉  
君は長崎縣人中村多夫の弟にして明治二十一年五月を以て生れ大正三年家督を相続す同年東京帝國大學法科大学政治科を卒業し農業を営み縣下の多額納税者たり家族は尙二女二小夜(大四、五)三女禮子(同六、八)二男定正(同一、一)五生(三)男守邦(同一五、二)弟馬吉(明二、六)二生(同)妻タカ(同三、四)三生、長崎、坪内直之(三女)及其三女姪子(同四、二)八生、長崎、伊萬里止善孫(あり)長崎市西山町二(一〇四)

十之部 中(中、村)

(兼印は姻族關係)

中牟田六郎兵衛の後にして歴世佐賀藩士たり夙に海軍の事を傳習し戊辰の役海軍先鋒として奥羽函館に轉戦して功あり明治二年海軍中佐に任じ累進して同十一年中將に陞り兵學頭横濱造船所長海軍大輔等に歴補し同十七年華族に列し子爵を授けらる後横須賀吳各鎮守府司令官海軍大學校長海軍軍醫長等に歴補し樞密顧問官に任ぜらる先代武正は其長男にして又海軍に入り少佐に累進し第五十七號水雷艦長として日露の役に従軍し功四級に叙せらる君は武正の長男にして大正三年八月を以て生れ同七年家督を相続し襲爵仰付けらる日下成城高等學校在学中たり家族は尙姉明子(明四、三)三女、女子學習院出身 同好子(同四、五、四)生、妹昭子(大四、一)生、伯母濱子(元治元、四)あり姉松子(明四、一)九生、女子學習院出身は熊本縣土族松田好生長男壽男に叔母常子(同一、二)五生、華族女學校出身は前侍醫師入澤達吉に同千代子(同一、四、一)一)生は工學博士伊東忠太に同貞子(同一、九、七)生は衆議院議員小寺謙吉に嫁せり(東京、赤坂、青山町六ノ六七電青山一〇二)

中牟田愛作  
君は東京府人中村貞吉の長男にして明治十七年十一月を以て生れ同二十八年家督を相続す同三十八年慶應義塾政治科を卒業の上渡米し現時同四十二年歸朝して三井銀行に入社大正五年を辭し現時三榮組社長にして兼に富士護謨工業關東産業各會社の重役に就任せり運動に趣味を有す家族は尙二女武子(大五、三)二男雄次(同六、二)生(三)女泰子(同九、一)四女二子(同一、一、二)生(五)女福子(同一、三、一)一)あり弟壯吉(明二、二、五)生は分家せり(東京市外入新井町新井宿二六一一電大森四七五)

中牟田愛作  
君は東京府人中村貞吉の長男にして明治十七年十一月を以て生れ同二十八年家督を相続す同三十八年慶應義塾政治科を卒業の上渡米し現時同四十二年歸朝して三井銀行に入社大正五年を辭し現時三榮組社長にして兼に富士護謨工業關東産業各會社の重役に就任せり運動に趣味を有す家族は尙二女武子(大五、三)二男雄次(同六、二)生(三)女泰子(同九、一)四女二子(同一、一、二)生(五)女福子(同一、三、一)一)あり弟壯吉(明二、二、五)生は分家せり(東京市外入新井町新井宿二六一一電大森四七五)

中牟田愛作  
君は東京府人中村貞吉の長男にして明治十七年十一月を以て生れ同二十八年家督を相続す同三十八年慶應義塾政治科を卒業の上渡米し現時同四十二年歸朝して三井銀行に入社大正五年を辭し現時三榮組社長にして兼に富士護謨工業關東産業各會社の重役に就任せり運動に趣味を有す家族は尙二女武子(大五、三)二男雄次(同六、二)生(三)女泰子(同九、一)四女二子(同一、一、二)生(五)女福子(同一、三、一)一)あり弟壯吉(明二、二、五)生は分家せり(東京市外入新井町新井宿二六一一電大森四七五)

中牟田愛作  
君は東京府人中村貞吉の長男にして明治十七年十一月を以て生れ同二十八年家督を相続す同三十八年慶應義塾政治科を卒業の上渡米し現時同四十二年歸朝して三井銀行に入社大正五年を辭し現時三榮組社長にして兼に富士護謨工業關東産業各會社の重役に就任せり運動に趣味を有す家族は尙二女武子(大五、三)二男雄次(同六、二)生(三)女泰子(同九、一)四女二子(同一、一、二)生(五)女福子(同一、三、一)一)あり弟壯吉(明二、二、五)生は分家せり(東京市外入新井町新井宿二六一一電大森四七五)

中牟田愛作  
君は東京府人中村貞吉の長男にして明治十七年十一月を以て生れ同二十八年家督を相続す同三十八年慶應義塾政治科を卒業の上渡米し現時同四十二年歸朝して三井銀行に入社大正五年を辭し現時三榮組社長にして兼に富士護謨工業關東産業各會社の重役に就任せり運動に趣味を有す家族は尙二女武子(大五、三)二男雄次(同六、二)生(三)女泰子(同九、一)四女二子(同一、一、二)生(五)女福子(同一、三、一)一)あり弟壯吉(明二、二、五)生は分家せり(東京市外入新井町新井宿二六一一電大森四七五)

中牟田愛作  
君は東京府人中村貞吉の長男にして明治十七年十一月を以て生れ同二十八年家督を相続す同三十八年慶應義塾政治科を卒業の上渡米し現時同四十二年歸朝して三井銀行に入社大正五年を辭し現時三榮組社長にして兼に富士護謨工業關東産業各會社の重役に就任せり運動に趣味を有す家族は尙二女武子(大五、三)二男雄次(同六、二)生(三)女泰子(同九、一)四女二子(同一、一、二)生(五)女福子(同一、三、一)一)あり弟壯吉(明二、二、五)生は分家せり(東京市外入新井町新井宿二六一一電大森四七五)

中牟田愛作  
君は東京府人中村貞吉の長男にして明治十七年十一月を以て生れ同二十八年家督を相続す同三十八年慶應義塾政治科を卒業の上渡米し現時同四十二年歸朝して三井銀行に入社大正五年を辭し現時三榮組社長にして兼に富士護謨工業關東産業各會社の重役に就任せり運動に趣味を有す家族は尙二女武子(大五、三)二男雄次(同六、二)生(三)女泰子(同九、一)四女二子(同一、一、二)生(五)女福子(同一、三、一)一)あり弟壯吉(明二、二、五)生は分家せり(東京市外入新井町新井宿二六一一電大森四七五)

中牟田愛作  
君は東京府人中村貞吉の長男にして明治十七年十一月を以て生れ同二十八年家督を相続す同三十八年慶應義塾政治科を卒業の上渡米し現時同四十二年歸朝して三井銀行に入社大正五年を辭し現時三榮組社長にして兼に富士護謨工業關東産業各會社の重役に就任せり運動に趣味を有す家族は尙二女武子(大五、三)二男雄次(同六、二)生(三)女泰子(同九、一)四女二子(同一、一、二)生(五)女福子(同一、三、一)一)あり弟壯吉(明二、二、五)生は分家せり(東京市外入新井町新井宿二六一一電大森四七五)

中牟田愛作  
君は東京府人中村貞吉の長男にして明治十七年十一月を以て生れ同二十八年家督を相続す同三十八年慶應義塾政治科を卒業の上渡米し現時同四十二年歸朝して三井銀行に入社大正五年を辭し現時三榮組社長にして兼に富士護謨工業關東産業各會社の重役に就任せり運動に趣味を有す家族は尙二女武子(大五、三)二男雄次(同六、二)生(三)女泰子(同九、一)四女二子(同一、一、二)生(五)女福子(同一、三、一)一)あり弟壯吉(明二、二、五)生は分家せり(東京市外入新井町新井宿二六一一電大森四七五)

中牟田愛作  
君は東京府人中村貞吉の長男にして明治十七年十一月を以て生れ同二十八年家督を相続す同三十八年慶應義塾政治科を卒業の上渡米し現時同四十二年歸朝して三井銀行に入社大正五年を辭し現時三榮組社長にして兼に富士護謨工業關東産業各會社の重役に就任せり運動に趣味を有す家族は尙二女武子(大五、三)二男雄次(同六、二)生(三)女泰子(同九、一)四女二子(同一、一、二)生(五)女福子(同一、三、一)一)あり弟壯吉(明二、二、五)生は分家せり(東京市外入新井町新井宿二六一一電大森四七五)

中牟田愛作  
君は東京府人中村貞吉の長男にして明治十七年十一月を以て生れ同二十八年家督を相続す同三十八年慶應義塾政治科を卒業の上渡米し現時同四十二年歸朝して三井銀行に入社大正五年を辭し現時三榮組社長にして兼に富士護謨工業關東産業各會社の重役に就任せり運動に趣味を有す家族は尙二女武子(大五、三)二男雄次(同六、二)生(三)女泰子(同九、一)四女二子(同一、一、二)生(五)女福子(同一、三、一)一)あり弟壯吉(明二、二、五)生は分家せり(東京市外入新井町新井宿二六一一電大森四七五)

中牟田愛作  
君は東京府人中村貞吉の長男にして明治十七年十一月を以て生れ同二十八年家督を相続す同三十八年慶應義塾政治科を卒業の上渡米し現時同四十二年歸朝して三井銀行に入社大正五年を辭し現時三榮組社長にして兼に富士護謨工業關東産業各會社の重役に就任せり運動に趣味を有す家族は尙二女武子(大五、三)二男雄次(同六、二)生(三)女泰子(同九、一)四女二子(同一、一、二)生(五)女福子(同一、三、一)一)あり弟壯吉(明二、二、五)生は分家せり(東京市外入新井町新井宿二六一一電大森四七五)

中牟田愛作  
君は東京府人中村貞吉の長男にして明治十七年十一月を以て生れ同二十八年家督を相続す同三十八年慶應義塾政治科を卒業の上渡米し現時同四十二年歸朝して三井銀行に入社大正五年を辭し現時三榮組社長にして兼に富士護謨工業關東産業各會社の重役に就任せり運動に趣味を有す家族は尙二女武子(大五、三)二男雄次(同六、二)生(三)女泰子(同九、一)四女二子(同一、一、二)生(五)女福子(同一、三、一)一)あり弟壯吉(明二、二、五)生は分家せり(東京市外入新井町新井宿二六一一電大森四七五)

中牟田愛作  
君は東京府人中村貞吉の長男にして明治十七年十一月を以て生れ同二十八年家督を相続す同三十八年慶應義塾政治科を卒業の上渡米し現時同四十二年歸朝して三井銀行に入社大正五年を辭し現時三榮組社長にして兼に富士護謨工業關東産業各會社の重役に就任せり運動に趣味を有す家族は尙二女武子(大五、三)二男雄次(同六、二)生(三)女泰子(同九、一)四女二子(同一、一、二)生(五)女福子(同一、三、一)一)あり弟壯吉(明二、二、五)生は分家せり(東京市外入新井町新井宿二六一一電大森四七五)

中牟田愛作  
君は東京府人中村貞吉の長男にして明治十七年十一月を以て生れ同二十八年家督を相続す同三十八年慶應義塾政治科を卒業の上渡米し現時同四十二年歸朝して三井銀行に入社大正五年を辭し現時三榮組社長にして兼に富士護謨工業關東産業各會社の重役に就任せり運動に趣味を有す家族は尙二女武子(大五、三)二男雄次(同六、二)生(三)女泰子(同九、一)四女二子(同一、一、二)生(五)女福子(同一、三、一)一)あり弟壯吉(明二、二、五)生は分家せり(東京市外入新井町新井宿二六一一電大森四七五)

中村 新  
君は東京府人中村孝福の四男にして明治十七年十二月を以て生れ大正五年分れて一家を創立す明治四十二年京都帝國大學醫學部助教授に任じ同十一年獨逸佛米各國に留學を命ぜられ同十四年歸朝し引續き九州帝國大學助教授の職に在り現に醫學部勤務たり家族は尙長女明子(大、一、二)生(二)女治子(同一五、四)あり(福岡市大國寺町二)

中村 伊三郎  
君は東京府人中村孝福の四男にして明治十七年十二月を以て生れ大正五年分れて一家を創立す現時帝國運輸會社取締役たり(岡山、小田、笠岡町)

中村 伊勢吉  
君は鹿兒島縣人川村三太の二男にして慶應元年九月を以て生れ明治十八年先代新太郎の養子となり家督を相続し前名伊勢八を改む米穀仲買業を営み鹿兒島縣多額納税者たり(鹿兒島市住吉町)

中村 郁次郎  
君は鹿兒島縣人川村三太の二男にして慶應元年九月を以て生れ明治十八年先代新太郎の養子となり家督を相続し前名伊勢八を改む米穀仲買業を営み鹿兒島縣多額納税者たり(鹿兒島市住吉町)

中村 卯太郎  
君は福岡縣人中村官三郎の長男にして明治三年四月を以て生れ同十三年家督を相続す現時勝製材所代表社員たり(北海道、宗谷、猿拂村)

中村 丑藏  
君は北海道多額納税者、漁業  
妻 サヨ 明三、一、二生、北海道、奥寺松藏三女

中村 梅三  
君は廣島縣人中村松太郎の弟にして明治九年九月を以て生れ後分家して一家を創立す同三十九年東京帝國大學法科大学政治科を卒業し現時前記銀行會社の重役にして仙臺商工會議所常議員に推される家族は尙孫靜枝(大、一、四)生(養子重夫長女)同正彦(同一、一、一〇)生(同長男)同久枝(昭三、三)生(同二女)あり(仙臺、堤通一三六)

中村 榮次郎  
君は廣島縣人中村松太郎の弟にして明治九年九月を以て生れ後分家して一家を創立す同三十九年東京帝國大學法科大学政治科を卒業し現時前記銀行會社の重役にして仙臺商工會議所常議員に推される家族は尙孫靜枝(大、一、四)生(養子重夫長女)同正彦(同一、一、一〇)生(同長男)同久枝(昭三、三)生(同二女)あり(仙臺、堤通一三六)

中村 榮次郎  
君は廣島縣人中村松太郎の弟にして明治九年九月を以て生れ後分家して一家を創立す同三十九年東京帝國大學法科大学政治科を卒業し現時前記銀行會社の重役にして仙臺商工會議所常議員に推される家族は尙孫靜枝(大、一、四)生(養子重夫長女)同正彦(同一、一、一〇)生(同長男)同久枝(昭三、三)生(同二女)あり(仙臺、堤通一三六)

中村 榮次郎  
君は廣島縣人中村松太郎の弟にして明治九年九月を以て生れ後分家して一家を創立す同三十九年東京帝國大學法科大学政治科を卒業し現時前記銀行會社の重役にして仙臺商工會議所常議員に推される家族は尙孫靜枝(大、一、四)生(養子重夫長女)同正彦(同一、一、一〇)生(同長男)同久枝(昭三、三)生(同二女)あり(仙臺、堤通一三六)

中村 榮次郎  
君は廣島縣人中村松太郎の弟にして明治九年九月を以て生れ後分家して一家を創立す同三十九年東京帝國大學法科大学政治科を卒業し現時前記銀行會社の重役にして仙臺商工會議所常議員に推される家族は尙孫靜枝(大、一、四)生(養子重夫長女)同正彦(同一、一、一〇)生(同長男)同久枝(昭三、三)生(同二女)あり(仙臺、堤通一三六)

中村 榮次郎  
君は廣島縣人中村松太郎の弟にして明治九年九月を以て生れ後分家して一家を創立す同三十九年東京帝國大學法科大学政治科を卒業し現時前記銀行會社の重役にして仙臺商工會議所常議員に推される家族は尙孫靜枝(大、一、四)生(養子重夫長女)同正彦(同一、一、一〇)生(同長男)同久枝(昭三、三)生(同二女)あり(仙臺、堤通一三六)

中村 榮次郎  
君は廣島縣人中村松太郎の弟にして明治九年九月を以て生れ後分家して一家を創立す同三十九年東京帝國大學法科大学政治科を卒業し現時前記銀行會社の重役にして仙臺商工會議所常議員に推される家族は尙孫靜枝(大、一、四)生(養子重夫長女)同正彦(同一、一、一〇)生(同長男)同久枝(昭三、三)生(同二女)あり(仙臺、堤通一三六)

中村 榮次郎  
君は廣島縣人中村松太郎の弟にして明治九年九月を以て生れ後分家して一家を創立す同三十九年東京帝國大學法科大学政治科を卒業し現時前記銀行會社の重役にして仙臺商工會議所常議員に推される家族は尙孫靜枝(大、一、四)生(養子重夫長女)同正彦(同一、一、一〇)生(同長男)同久枝(昭三、三)生(同二女)あり(仙臺、堤通一三六)

中村 榮次郎  
君は廣島縣人中村松太郎の弟にして明治九年九月を以て生れ後分家して一家を創立す同三十九年東京帝國大學法科大学政治科を卒業し現時前記銀行會社の重役にして仙臺商工會議所常議員に推される家族は尙孫靜枝(大、一、四)生(養子重夫長女)同正彦(同一、一、一〇)生(同長男)同久枝(昭三、三)生(同二女)あり(仙臺、堤通一三六)

中村 榮次郎  
君は廣島縣人中村松太郎の弟にして明治九年九月を以て生れ後分家して一家を創立す同三十九年東京帝國大學法科大学政治科を卒業し現時前記銀行會社の重役にして仙臺商工會議所常議員に推される家族は尙孫靜枝(大、一、四)生(養子重夫長女)同正彦(同一、一、一〇)生(同長男)同久枝(昭三、三)生(同二女)あり(仙臺、堤通一三六)



妻 國 明三二、四生、滋賀、田中宇平長女
男 一 大九、二生
君は滋賀縣人先代榮太郎の長男にして明治二十八年四月を以て生れ大正十一年家督を相続し前名健太郎を改む...

中村 榮助 石川縣多額納稅者、酒造業
妻 しつ 明一四、四生、石川、村上貞勝三女
養子 榮一 寺田五三郎弟
孫 榮俊 明四一、二生、養子榮一長男
君は石川縣人中村仙助の弟にして安政二年十月を以て生れ...

中村 榮太郎 大阪府在籍
妻 シナ 明二二、三生、奈良、今中米松長女
男 武雄 明四三、三生
女 富美子 大二、二生
君は大阪府人中村長兵衛の二男にして明治十四年十月を以て生れ...

中村 圓一郎 貴族院議員、解四縣多額納稅者、三十五銀行(株)頭取、三五代辨大井川鐵道(株)社長、中村製茶部、藤相鐵道(株)社長、日本紅茶(株)常務取締役、三光紡績(株)常務取締役、東京電力、静岡貯蓄銀行(株)取締役、中央開關(株)取締役、川水電氣(株)取締役、静岡鐵道(株)監査役、静岡縣在籍
男 秀平 明三〇、七生

男 眞 明三三、三生、長男秀平妻、静岡
男 圓三郎 明四一、一〇生
君は静岡縣人中村圓四郎の長男にして慶應三年六月を以て生れ明治十六年家督を相続す...

中村 男也 正五位、醫學博士、鐵道局技師、大阪鐵道病院院長兼外科部長
妻 あい 明一七、一〇生、静岡、鷹森貞一郎妹
君は長野縣人中村三折の長男にして明治十一年一月を以て生れ...

中村 嘉一郎 長崎縣多額納稅者、金融業
妻 キキ 明二〇、二生、長崎、高比良久七女
男 重 明四三、三生
女 貞 明四五、三生
君は長崎縣人村雄太郎の弟にして明治十四年三月を以て生れ...

中村 嘉吉郎 第一工業製藥(株)取締役會長
妻 こま 明二、一〇生、京都、中村嘉助長女
養子 捷一 明三七、九生、生母、本部ミツ
君は京都府人村嘉治郎の二男にして慶應三年十月を以て生れ...

中村 雅真 從六位、奈良縣多額納稅者
妻 美 萬延元、一〇生、大阪、淺野源作長女
男 正格 明一四、八生、現戸主
君は前興福寺住持中村興圓の二男にして安政元年三月を以て生れ...

中村 克己 三井銀行株參事
妻 秀子 明二二、七生、秋田、藤野貞助長女
君は石川縣人村中村圓の長男にして明治九年二月を以て生れ...

中村 勝五郎 千葉縣多額納稅者、中村味噌醸造(株)常務取締役、千葉縣在籍
妻 さと 明二二、五生、千葉、田中久兵衛長女
男 正行 大二、六生
君は千葉縣人村勝五郎の二男にして明治二十五年十一月を以て生れ...

中村 勝五郎 石勝、石材工業
妻 てい 明三一、六生、東京、石井國次郎五女
男 啓 大三、一〇生
君は東京府人先代勝五郎の長男にして明治二十年二月を以て生れ...

中村 勝麻呂 從四位勳四等、史料編纂官
妻 さち 明一九、一〇生、故文學博士大槻文彦長女
男 英 大六、八生
女 浪 明四〇、七生、三輪田高等女學校出身
女 靜 明四二、一〇生、御茶水高等女學校出身

中村 鎌雄 東京貯蓄銀行株常務取締役
妻 直 明二六、六生、慶應義塾出身
男 直 明三二、二生、長男直男妻、島根、藤田松太郎長女
女 能子 明四〇、七生、跡見女學校出身
君は舊下總國古河藩士中村弘人の二男にして慶應二年五月を以て生れ...

中村 鎌吉 中村商店(名)代表社員、食料品商
妻 すう 文久二、二生、愛知、山口喜八長女
男 賢吉 明二七、七生、愛知、渡邊久三郎妹
君は愛知縣人村鎌吉の長男にして明治二十年二月を以て生れ...

中村 寛治 佐賀縣多額納稅者、藤早電燈、京城共同各(株)取締役、七浦村長
妻 ムラ 文久三、一〇生、佐賀、石井雅一妹
君は佐賀縣人村寛治の長男にして明治七年一月を以て生れ...











業し現時東京生肥會社々長たる外前記各會社の重役たり家族は尙長女惠美(大七、一)二男(同九、四)生、四男(同四、一)四、八)の外兄春次郎(明一、一)五、五)現(主)及其二男三女並に弟光四郎(同二、四、四)生)同妻照枝(同三、〇、一)〇生、廣島、伊達佛蘭妹及其二男一女あり(東京、牛込、南山伏町一三)

中村源次郎 伊藤萬商店(株)監査役 兵庫縣在籍

男 源三郎 明三〇、六生、長男源三郎妻、兵庫、植田庄三郎三女、以て生れ中村源次郎の養子となり明治十一年分家して一家を創立す現に伊藤萬商店監査役たり長女ツヤ(明二六、二)生は大阪府人並河久次郎に嫁せり(兵庫、武庫、住吉村電氣街五三二) 参照 並河久次郎の項

中村源藏 中村(名)代表社員、扇子並提燈製 造業、愛知縣在籍

男 源一郎 明四〇、二生、名古屋高等商業學校在籍 女 さだ子 明四二、五生、愛知縣高等女學校出身 女 千代子 明四五、一、生、名古屋市立高等女學校在籍 女 静子 大二、四生、愛知縣高等女學校在籍 君は愛知縣人先代源藏の長男にして明治十七年八月を以て生れ大正八年家督を相続し前名源次郎を改め製名才祖業提燈商を營み傍ら扇子製造を兼ねた店舖を合名組織となし現に其代表社員たり家族は尙二男(明治三三、一)二生(三男三)同六、一)生(四男源次郎)同八、一)生(五男昌保)同二、一)生(六女秀子)同四、四)生(一)名古屋、西、上岡町三、一〇電本局二八九八)

中村五兵衛 大阪土地建物(株)監査役 兵庫縣在籍

妻 養母 けい 明四一、一)生、兵庫、淺尾藤太夫妻 妻 みね 明二二、三)生、兵庫、淺尾藤太夫妻 女 二女

男 賢治 明三九、一)生 女 たか 明四四、八)生 君は兵庫縣人高田慶太郎の弟にして明治十四年八月を以て生れ後先代五兵衛の養子となり同三十九年家督を相続と共に前名三治を改む現に大阪土地建物會社監査役にして資産家として知らるる家族は尙三男三之助(明四二、七)生(四男敏男)大三、七)生(二女みづ)同七、二)生(一)神戶、楠町五ノ二ノ二電元町一五四一)

中村光吉 國際汽船(株)取締役 東京府在籍

男 喜重 明四〇、七)生 女 喜代 明四三、六)生 君は東京府土族中村喜一郎の長男にして明治九年九月を以て生れ大正四年家督を相続す現時前記會社の重役たり現に殖産銀行理事に擧げらるる家族は尙弟秀雄(明一九、一)生(同妻君枝)同三三、五)生、東京、横山喜三郎二女及其一子あり(東京市外戸塚町諏訪二四八電牛込三八四五)

中村光藏 大津屋(株)取締役 愛知縣在籍

父 慶藏 安政二、一〇)生、現戸主 妻 日出 明四一、二)生、愛知、杉浦は長女 君は愛知縣人中村慶藏の三男にして同慶助の弟に方り近藤重三郎の從弟なり明治二十四年七月を以て生れ大正六年大阪高等工業學校を卒業し現時大津屋取締役たり(豊橋、花田町) 参照 近藤重三郎、中村慶助、中村慶藏の項

中村孝吉 博道社(株)常務取締役兼大阪支店 長(株)監査役、東京府在籍

男 英一 明四三、三)生、慶應義塾大學經濟科在籍 君は東京府人中村英三郎の長男にして明治八年一月を以て生れ同二十八年家督を相続す同三十年洋紙店博道社創業に際し入社し等て同社大阪支店長に擧げられ現に同社常務取締役たる外前記諸會社の重役たり曾て大日本鉛筆會社監査役たりしことあり家族は尙二男二女

(明四四、四)生)三男忠雄(大二、五)生)あり弟光次(明一四、七)生)は分家し妹(同二〇、四)生)は博文館主大橋新太郎に同(同)一)生(同)一)生)は東京府土族永井尚昌二男當清に同(同)二)生(同)六)生)は同府人坪谷善四郎養子忠三に嫁せり(大阪、住吉、住吉町八五五電住吉二七三) 参照 大橋新太郎、坪谷善四郎の項

中村孝藏 高山耕山化學陶器(株)取締役 京都府在籍

妻 竹子 明二九、九)生、大阪、近藤喜惠門妹 男 孝 大九、一)生 當家は古くより陶器商を營み耕山堂の名を以て人口に膾炙せり君は先代孝治郎の長男にして明治二十五年四月を以て生れ大正九年家督を相続す現に市立商業學校に學び後米國に就し陶器商の研究に努む歸朝後祖業を承け現時高山耕山化學陶器會社取締役たり家族は尙二女(同三、五、一〇)生)は同妻ヨシ(同三三、七)生、大阪、大橋嘉助(六)女)及び其一女を伴ひ分家し妹トミ(同三、七、二)生)は京都府人橋本英治に嫁せり(京都、下京、大和大路五條下ル電四五六一) 参照 近藤喜惠門の項

中村孝太郎 從五位勳三等功四級、陸軍少將、步兵第三十九旅團長、石川縣土族

妻 雪 明二二、五)生、石川、士、千田登 女 好子 明四四、一)生 君は石川縣土族中村芳房の長男にして明治十四年八月を以て生れ後家督を相続す現に陸軍士官學校を卒業し同三十五年歩兵少尉に任じ昭和二年八月陸軍少將に累進す其間陸軍省副官に補せられ官警社神學等試験委員統計主任文官普通懲戒委員高等軍法會議判士等を命ぜられ現時歩兵第三十九旅團長に補せらるる家族は尙二女(同二、四、一〇)生)あり(朝鮮、平壤歩兵第三十九旅團長官舎)

中村佐兵衛 朝鮮南北棉業、三通組、共進組各(株)取締役、大正運船(株)監査役、群馬縣在籍

妻 さの 明一五、七)生、鳥取、小杉光雄從妹 女 喜代 明四〇、八)生、大阪、小杉直也姉 君は群馬縣人中村善平の四男にして明治十一年一月を以て生れ同四十三年家督を相続す同三十六年東京高等商業學校を卒業し現時前記各會社の重役として知らる(兵庫、武庫、大社村電氣街八二八)

中村孝太郎 勳八等功七級、京樂英服御商 大阪府在籍

母 サト 安政六、一)生、京都、西田政七 妻 フサ 明一五、三)生、奈良、土、佐々倉 男 嘉藏 明三六、五)生 女 嘉藏 明三八、七)生、長男嘉藏妻、大阪、婦 てる 菅原幸助三女 男 福次郎 明三九、八)生 君は京都府人中村孝七の長男にして明治七年十二月を以て生れ同十六年家督を相続す京樂英服御商として知られ大阪市織物同業組合代議員たり曾て日露の役に出征し功七級を賜ふ家族は尙三男(明四四、一)二)生(四男正三)大三、一〇)生(二女豊)同五、一〇)生(一)大阪、東、本町一、一七電本町一〇一一) 参照 菅原幸助の項

中村幸三郎 北洋木材(株)取締役、製材業 京都府在籍

母 こと 明七、一〇)生、京都、谷内嘉兵衛 妻 きみ 明一五、三)生、京都、大石彌一妹 男 眞一 大一、五)生 君は京都府人の中村竹次郎の長男にして明治三十年七月を以て生れ大正三年家督を相続す製材業を營み北洋木材會社取締役たり家族は尙妹はつ(明三三、一)生(弟信三郎)同三五、九)生(同妻千代)同三三、一)生(弟都彌山千次郎)長女)及其一男妹菊枝(同四〇、一)生、京都、同四四、五)生(同政一)大元、一)生(妹さく)同四、五)生(一)あり同春江(明三八、一)生)は京都府人杉本廣太郎に嫁せり(京都、下京、八條夷馬場町四九電下五四九六)

中村幸之助 正四位勳三等、工學博士、東京高等工業學校校長兼教授、東京府在籍

妻 ハマ 明三九、一〇)生、浦和高等學校出身 男 彌太郎 明四四、六)生、雙葉高等女學校出身 女 芳子 明四四、六)生、雙葉高等女學校出身 君は宮城縣人の中村善吉の弟にして明治五年六月を以て生れ大正七年分家して一家を創立す明治三十一年東京帝國大學工學科を卒業し更に大學院に學

中村左衛門太郎 從五位、理學博士、東北帝國大學教授、理學部勤務

父 利吉 嘉永四、八)生、現戸主 母 美保 安政六、九)生、東京、惠藤卯平姪 妻 福子 明三〇、二)生、鹿兒島、江口親雄 君は東京府人の中村利吉の長男にして明治二十四年一月を以て生れ大正三年東京帝國大學理學部物理學科を卒業し中央氣象臺技師に任ぜられ同九年理學博士の學位を授けられ同十三年東北帝國大學教授に任じ理學部勤務を命ぜられ今日に至る家族は尙長女トミ(同六一、〇、一)生(二女玉乃)同二四、四)生(三女こぞ)同二一、五、一)生(一)生(弟健夫)明三三、三)生(一)仙臺、二本松通一)

中村佐平治 福島縣多額納稅者、農業

養祖母 コク 安政五、五)生、中村佐平治長女 養母 スマ 明三〇、一〇)生、福島、金澤彌五 妻 公 明三八、一)生、養父佐平治長女 君は福島縣人の中村元治の三男にして明治三十七年六月を以て生れ後先代佐平治の養子となり大正十四年家督を相続し前名三郎を改む農業を營み福島縣多額納稅者たり家族は尙叔母マサ(明二五、七)生)あり同ナヨ(同二七、一)生)は福島縣人齊藤平重郎養子三郎に同トク(同三〇、一)生)は福島縣人穴戸文吉に嫁し叔父孝助(同二七、二)生)は分家し同善四郎(同三四、八)生)は同縣人中村タヨの養子となり(福島、伊達、梁川町)

中村定三郎 鋼路興業(株)社長、博多運船、平山興業(株)監査役、群馬縣在籍

妻 シマ 慶應三、二)生、北海道、浦島孝吉 養母 眞伯母 君は長崎縣人の中村定三郎の弟にして慶應元年十一月を以て生れ明治十三年分れて一家を創立す現時前記諸會社の重役たり家族は尙二女(大三、一)二)生(一)あり(東京市外濠谷町八輪通二、三二)

中村定安 山下鐵業(株)監査役 北海道鐵業(株)監査役

妻 スミエ 明一八、七)生、愛媛、赤松忠太妹 君は愛媛縣土族中村與市の長男にして明治十一年六月を以て生れ同四十二年家督を相続す現に宿毛商會に入り等て山下鐵三郎商店に轉じ同氏經營に係る石炭會社横濱東京門司各支店に勤務し門司支店副支配人に擧げられ若松支店支配人に進む後小樽支店長に轉じ現時前記諸會社の重役たり家族は尙長女芳衛(大八、一)生(弟重安)明二一、三)生(同妻はみ)同三三、三)生、静岡、







督を相續す同三十三年東京高等商業學校を卒業し現時前掲各會社の重役たり(神戸、中山手通四ノ三三號舎二九二四)

中村正次郎 三河豐油(株)社長、三河銀行(株)代表取締役、愛知縣在籍

君は愛知縣人先代正次郎の長男にして萬延元年十一月を以て生れ明治十三年家督を相續し大正十五年退隱す夙に慶應義塾に學び實業界に入り現時前記銀行會社の重役たり家族は尙孫信男(大五、二生、長男正造長男、同勝子(同六、一生、同長女)同博子(同七、一〇生、同三女)同武二(同九、一生、同二男)同研吾(同四、二生、同五男)同靖(同五、四生、同六男)あり長女きみ(明二〇、一〇生)は愛知縣人關谷守男に四女まさ(同三三、五生)は同縣人武田賢治長男正夫に嫁せり(愛知、寶飯、小坂井村)

中村正太郎 中村商店(株)社長、東京府在籍

君は東京府人先代正太郎の庶子にして明治十七年一月を以て生れ大正元年家督を相續し前名清を改め現名を現時中村商店社長たり家族は尙二男博治郎(大二、九生)あり長女絹(同四、一生)は千葉縣人土井きんの養子となれり(東京、日本橋、南茅場町二)

中村信以 北海道多額納稅者、藤井商店(株)監査役、北海道國定教科書特約販賣所、北海學藝社各(名)代表社員、富貴堂、書籍商、北海道在籍

君は兵庫縣土族中村信行の長男にして明治八年一月を以て生れ同二十七年分れて一家を創立し富貴堂と稱し書籍商を營み傍ら前記會社の重役を兼ね北海道多額納稅者となれり(高松、通町四)

中村新太郎 松居鐵工場、松葉屋各(株)監査役、福岡縣在籍

君は福岡縣人先代新太郎の長男にして明治九年十二月を以て生れ同二十六年家督を相續し現時前記各會社の重役たり家族は尙二男眞二(大二、一生)三男通三(同七、七生)養子ウサミ(明三七、三生、大分、財前眞吾庶子)妹カメ(同二四、五生)あり長女ハツエ(同二七、一生)は福岡縣人阿部辰巳弟猛に妹ハツエ(同二七、一生)は福岡縣人野口昇二男享二に同タネ(同二一、一七、六生)は福岡縣人伊藤惣吉長男岩吉に同ノ(同一九、八生)は鳥取縣人桑川萬市に同マツエ(同三一、三三)は福岡縣人伊藤淺吉長男喜一郎に同マツエ(同二〇、一生、弟圭助養子)は同縣人安永庄次郎に同マツエ(同二二、二四)シケル(同三二、三三)は同縣人堀内菊次郎に弟次三郎(同二六、一生)は同縣人氏松末吉に養子ウサミ(同三五、六生、福岡、松尾庄三郎子)は同縣人渡邊次郎吉に弟圭助(同二一、七生)は同縣人永石與八に各養子となれり(福岡、筑紫、住吉町)

中村新太郎 松居鐵工場、松葉屋各(株)監査役、福岡縣在籍

君は福岡縣人先代新太郎の長男にして明治九年十二月を以て生れ同二十六年家督を相續し現時前記各會社の重役たり家族は尙二男眞二(大二、一生)三男通三(同七、七生)養子ウサミ(明三七、三生、大分、財前眞吾庶子)妹カメ(同二四、五生)あり長女ハツエ(同二七、一生)は福岡縣人阿部辰巳弟猛に妹ハツエ(同二七、一生)は福岡縣人野口昇二男享二に同タネ(同二一、一七、六生)は福岡縣人伊藤惣吉長男岩吉に同ノ(同一九、八生)は鳥取縣人桑川萬市に同マツエ(同三一、三三)は福岡縣人伊藤淺吉長男喜一郎に同マツエ(同二〇、一生、弟圭助養子)は同縣人安永庄次郎に同マツエ(同二二、二四)シケル(同三二、三三)は同縣人堀内菊次郎に弟次三郎(同二六、一生)は同縣人氏松末吉に養子ウサミ(同三五、六生、福岡、松尾庄三郎子)は同縣人渡邊次郎吉に弟圭助(同二一、七生)は同縣人永石與八に各養子となれり(福岡、筑紫、住吉町)

君は東京府土族平澤愛太郎の弟にして明治九年六月を以て生れ同三十一年中村ここの入夫となり家督を相續す藥劑師にして藥種商を營み傍ら模範賣藥會社取締役たり家族は尙三男泰治(大五、一〇生)五男克己(同八、三三)六男雅明(同二二、八生)あり(東京、小石川、小日向水道町七番小石川二四五二)

中村信治 模範賣藥(株)取締役、藥種商、藥劑師、東京府土族

君は東京府人先代信治の長男にして明治十五年十月を以て生れ大正二年家督を相續す夙に京都商業學校を卒業し大阪丸紅商店に入り上海支店支配人を經て同商店の伊藤忠商會社に變更と共に取締役を務められ今日に及ぶ茲に綿布業視察の爲め歐米に渡航し寫眞に趣味を有す家族は尙弟英二郎(明二〇、一生)同妻史(同三一、一生、東京、三井亮妹)同直三郎(同二六、三三)同妻セキ(同三二、一生、京都、山田嘉一郎妹)あり叔母よね(同元、一生)は同縣人村直三郎の家籍に入れり(大阪、東、安土町二)

中村信太郎 伊藤忠商會社(株)取締役、伊藤縣在籍

中村進午 正四位勳二等、法學博士、東京商科大學教授、千葉縣在籍

君は新潟縣土族中村篤の弟にして明治三年七月を以て生れ同二十七年分れて一家を創立し富貴堂と稱し書籍商を營み傍ら前記會社の重役を兼ね北海道多額納稅者となれり(高松、通町四)

中村正格 六十八銀行(株)監査役、安政元、三三

君は東京府人先代正格の長男にして明治二年九月を以て生れ大正四年分家して一家を創立す明治二十五年帝國大學理學部物理學科を卒業し大學院に入り電氣及輻射を研究す同三十六年より同三十八年まで結晶學研究の爲獨逸に留學し同四十二年理學博士の學位を受く第一高等學校教授東京帝國大學理學部教授に歴任し現に同大學教授にして理學部長たり家族は尙二男正義(明四二、四生)あり長女妙子(同三六、三三)御茶水高等女學校專攻科出身)は東京府人村留二長男正世に嫁せり(東京、小石川、指ヶ谷町五九番小石川六六八〇)

中村清二 正四位勳二等、理學博士、帝國大學理學部物理學科教授、東京府在籍

君は東京府人先代清二の長男にして明治七年六月を以て生れ大正三年家督を相續し前名清吉を改む近江屋と稱し醬油醸造業を營む弟幸吉(明一三、一生)同妻モト(同二六、一生、滋賀、西澤喜造妹)及其二子あり妹しげ(同二五、三三)は八王子市澁谷定七長男正太郎に嫁し長女ら(同三四、五生)も亦同市城所莊藏に嫁せり(横濱、神奈川、子安町三〇三三電本局三三三)參照 澁谷定七幸吉七兵衛の項

生れ同二十四年分家して一家を創立す同二十七年帝國大學法科大學獨法科を卒業し大學院に入り學藝院教授東京高等商業學校教授等に歴任し國際法及外交史研究の爲獨逸に留學し同三十四年法學博士の學位を受く現時東京商科大學教授の職にあり家族は尙四男輝雄(明四四、八生)あり長女八重子(同三六、五生)は鹿兒島縣人早崎芳夫に嫁せり(東京市外代々幡町代々木二九九)

中村新治郎 京都府在籍

君は京都府土着の商家にして先代新治郎に至り家名に揚る新治郎にして吳服商に勤務し實務を見習ひ二十歳にして獨立開業す頗る商才あり斬新なる經營法を以てよく同業者を凌ぎ更に十數隻の船舶を擁し頻りに各地の市場と取引し全市に盛名を馳せたり君は其長男にして慶應三年二月を以て生れ明治十六年家督を相續す一時父業を中絶せしが現時を有す長女チキ(明二五、七生)は兵庫縣人藤江章夫長男周輔に二女キキ(同二七、七生)は群馬縣人法學士青木英作に三女クニ(同三一、八生、第二高等女學校出身)は大阪府人村留八養子萬作に嫁せり(京都、下京、六角通室町西入玉蔵町一六六電中四一四)參照 青木英作、中村留八、藤江章夫の項

中村新太郎 正五位勳四等、京都帝國大學教授

君は東京府人先代新太郎の長男にして明治十四年四月を以て生れ同三十年家督を相續す同三十九年東京帝國大學理學部地質學科を卒業し廣島高等師範學校講師農商務朝鮮總督府各技師を経て大正八年京都帝國大學理學部助教授に任じ英米獨伊各國に留學を命ぜられ同十一年歸朝す同年同大學教授に進み現に理學部勤務たり

中村清兵衛 近江屋、醬油醸造業、神奈川縣在籍

君は神奈川縣人先代清兵衛の長男にして明治七年六月を以て生れ大正三年家督を相續し前名清吉を改む近江屋と稱し醬油醸造業を營む弟幸吉(明一三、一生)同妻モト(同二六、一生、滋賀、西澤喜造妹)及其二子あり妹しげ(同二五、三三)は八王子市澁谷定七長男正太郎に嫁し長女ら(同三四、五生)も亦同市城所莊藏に嫁せり(横濱、神奈川、子安町三〇三三電本局三三三)參照 澁谷定七幸吉七兵衛の項

中村精男 正三位勳二等、理學博士、帝國大學理學部物理學科教授、東京府在籍

君は東京府人先代精男の長男にして明治十四年四月を以て生れ同三十年家督を相續す同三十九年東京帝國大學理學部地質學科を卒業し廣島高等師範學校講師農商務朝鮮總督府各技師を経て大正八年京都帝國大學理學部助教授に任じ英米獨伊各國に留學を命ぜられ同十一年歸朝す同年同大學教授に進み現に理學部勤務たり







町二八二

参照 男爵淺田良逸、岡田晋蔵、山下謙一(※中島正武の項)

中村 忠彰

臺灣銀行(株)東京頭取調査課長  
千葉縣在籍  
妻 明三六、五生、東京、新倉幸子  
母 昭二、一一生

君は舊佐賀藩士福島猪一郎の長男にして明治二十二年九月を以て生れ大正二年東京高等商業學校を卒業し同年文官高等試験に登第す同年同校専攻部銀行科を出で臺灣銀行に入行東京支店在勤五年日本大學講師を兼ね同年南支那南洋印度を視察す同年九月爲替課長となり同年米國を歴遊して倫敦に赴き同地在勤三年歐洲各國を視察して同十二年末歸朝東京本部支店課長を経て現に東京頭取調査課長たりゴルフ、圍碁等を趣味とす家族は尙長女良(大五、六生)あり(東京、麹町、富士見町二ノ四〇電九段八八)

中村 達太郎

正三位勲二等、工學博士、帝國大學名譽教授、警務管理局顧問  
東京府土族  
妻 慶應二、九生、埼玉、佐々木高吉姉  
男 竹三 明三三、七生  
男 實 明三四、七生  
男 道子 明四一、九生、四男實妻、埼玉、石川雄之助二女  
男 昇 明四〇、六生

君は東京府土族中村忠の長男にして萬延元年十一月を以て生れ明治三十七年家督を相続す同十五年工部大學校を卒業し同二十五年建築法研究の爲め歐米各國に留学す皇居御造營務局出仕工部大學校教授に歴任し同三十年工學博士の學位を受く又義経復興會の爲り印度及米國に差遣せらる大正七年臨時議院建築局顧問同付けられ同年勳旨を以て東京帝國大學名譽教授を同十四年警務管理局顧問を仰付けられ現に其職に在り家族は尙孫多喜(大五、七生、長男敬次長女)同達雄(昭二、四生、四男實長男)あり二女千代(明三〇、二生)は東京府人金田積に嫁し三男芳郎(同三三、四生)は外祖父佐々木高吉の養子となれり(東京、小石川、原町一三電小石川六八七)

中村 爲吉

從五位勲六等、臺灣總督府臺北高等學校教授、和歌山縣在籍  
妻 明一〇、八生、和歌山、中島善兵衛二女  
男 博 明三六、三生  
男 靜 明三九、一一生  
女 綾 明四二、二生  
女 麗 明四四、一〇生

君は和歌山縣人山田保右衛門の長男にして明治五年二月を以て生れ同三十五年弟助方より分れて一家を創立す同二十一年大阪獨逸學校を卒業し大阪府立醫學學校論同高等醫學教授第六高等學校講師同教授に歴任し大正十四年臺灣總督府高等學校教授に任じ現に臺北高等學校教授たり家族は尙四男克明(明四三、二生)五男三郎(大五、六生)あり(臺北、臺北高等學校内)

中村 爲三郎

日本金網、旭鐵工所、富士川製紙各(株)社長、精製印刷(株)監査役  
中村名代表社員、兵庫縣在籍  
男 久左衛門 明三一、四生、明治大學出身  
男 田鶴子 明四五、一一生、兵庫、佐藤庶子  
君は京都府人山田久兵衛の三男にして慶應元年七月を以て生れ明治七年兄久兵衛方より分れて一家を創立す夙に慶應義塾を卒業し一時貿易商を經營せしが同十二年是を廢して米國に航し各地を視察す米五年にして歸朝し實業界に入り自ら主宰して東洋製紙會社を創立し専務取締役となり社務一切を執掌す現時日本金網會社の社長たる外揚子會社の重役たり漢詩を能くす庶子はなこ(明二七、三生、生母、兵庫、石田れい)は分家し同梅子(同三五、三生、生母同上)は東京府人通信省在勤佐々木利吉に嫁し同梅子(同三九、一〇生、生母同上)は大阪府人山田太郎の養子となれり(兵庫、武庫、住吉村九二九電御影六四八)

中村 千代松

茨城縣多額納稅者、非製藥(株)常務取締役、旅館業、茨城縣在籍  
妻 明四一、一一生、茨城、渡邊操養母  
男 平三 明四五、一一生、茨城、佐久間利子二女  
男 久治 明四三、五生  
川井英次郎二男  
長女はな夫、茨城、養子

中村 千代松

勳四等、秋田新聞(株)社長  
秋田縣土族  
妻 明七、三生、養父宗興二女  
湯、室井嘉治男弟  
養子 克己 明二九、一一生、養子克己妻  
女 タマ 明二九、一一生、養子克己妻

君は秋田縣人山田春治の弟にして慶應三年一月を以て生れ明治二十九年先代宗興の養子となり家督を相続す夙に秋田縣師範學校を卒業し博文館編輯員忠愛新聞編輯長教育報知新聞主筆秋田新聞主筆報知新聞記者等を経て大正二年秋田新聞社長となり現時に至る同四年衆議院議員に當選せり家族は尙孫茂子(大五、一一生、養子克己長女)あり養子ツル(明二二、一一生、秋田、島津吉妹)は秋田縣人山方石之助に嫁し妹イヲ(同四、二生、養父宗興長女)は分家せり(秋田市築地東上町一)

中村 忠三郎

京都府多額納稅者、生絲商  
京都府在籍  
妻 明四〇、七生  
男 忠 明四〇、七生

君は京都府人山田次郎の弟にして明治十年一月を以て生れ先代ツネの養子となり同三十四年家督を相続す生絲商を營み現に京都府多額納稅者たり家族は尙三男忠四郎(大六、四生)四男忠五郎(同九、七生)二女ツタ(同二二、八生)三女ツネ子(同四一、二生)あり(京都、上京、元誓願寺町淨福寺西入今出川町四六六電西陣二六六)

中村 長吉

大阪府在籍  
妻 兼次郎 安政五、三生、現戸主  
妻 タマ 明一七、三生、養父兼次郎長女

中村 長五郎

東海自動車(株)代表取締役、豆東製水(株)取締役、伊東水力電氣、東洋製造各(株)監査役  
静岡縣在籍  
孫 虎之助 明三六、四生、亡養子千代吉長男  
孫 長 明三八、一一生、孫虎之助妻、静岡、深澤安作二女  
女 かつ 明四〇、一〇生、亡養子千代吉長女

中村 長之助

日本棉花(株)外國課長  
大阪府土族  
妻 きくよ 明七、一一生、宮城、淺沼直吉二女  
男 光 明四四、一一生

君は愛知縣土族中村徳右衛門の長男にして明治五年八月を以て生れ同二十二年家督を相続す夙に米國に航し同三十六年エル大學を卒業し歸朝後京都同志社大學大阪高等商業學校山口高等商業學校各教授を経て大正七年實業界に轉じ日本棉花會社に入ると九年本店支店課長に任ぜられ同十年外國課長に累進し今日に至る(大阪、西成、玉出町通三二八)

中村 常治郎

中村常治郎商店(資)代表社員、藥種貿易商、大阪府在籍  
妻 明二八、七生、兵庫、磯部宗次郎二女  
女 岡 大二、六生

中村 常七

京都府多額納稅者、染吳服商  
京都府在籍  
妻 きくみ 明二九、二生、京都、津田寅之助姉  
男 常吉郎 大二、二生

君は滋賀縣人山田武右衛門の二男にして明治二十年三月を以て生れ先代常七の養子となり同三十四年家督を繼承し染吳服商を營み同府多額納稅者として知らる家族は尙二女とき(大五、四生)三男作太郎(同六、八生)三男常三郎(同八、四生)三女美佐(同二一、一一生)あり(京都、下京、三條通鳥丸西入ル御倉町八二電中三六一)

中村 常太郎

福岡縣多額納稅者、大滿銀行(株)頭取、大太鐵道、荒木製業各(株)監査役、酒造業、福岡縣在籍  
妻 波次郎三女  
母 サメ 明二六、一一生、福岡、土、北岡  
妻 トキヨ 明二六、一一生、福岡、中村嘉次郎長女  
男 高保 明四四、八生

中村 貞作

常盤商事(株)専務取締役、常盤商會、帝國合金精鍊各(株)取締役  
新潟縣在籍  
妻 カツ 明一八、一一生、新潟、藤田嘉助二女  
男 眞一 明四一、一一生  
女 フミ 明四三、八生

中村 貞作

君は新潟縣人山田徳治の長男にして明治十六年十月を以て生れ同十九年家督を相続す夙に早稻田大學に學び百三十九銀行に数年間勤務し後常盤商會に入り現時前記各會社重役として知らる家族は尙二女愛子(大五、三三)三女百合子(同七、八生)四女澄子(同九、四生)三男俊夫(同二〇、七生)叔父利作(安政四、一一生)同妻チカ(明六、一〇生)新潟、中村甚太郎長女及其子女と孫あり姉ナツ(同六、一一生)は新潟縣人山田啓次郎に同イキ(同四、一一生)は同縣人阿部作治に嫁し妹サカ(同

現時同會理事津野川町會議員に擧げらる昭和三年東京府より推されて衆議院議員に當選し立憲民政黨に屬す家族は尙二男敬二(大五、一一生)三男三利(同八、九生)四男四郎(同二一、五生)五男五郎(同二一、八生)妹ミエ(明三三、八生)大伯父善藏(弘化三、六生)あり弟芳(明二八、二生)は分家せり(東京市外灘野川町西ヶ原二四二電小石川一三二七)



二一、二生)は同縣人中村甚太郎に娘貞子(大一〇、二生)は其繼父阿部作治に各養子となれり(東京、赤坂、水川町九電青山四七七八)

中村貞次郎 埼玉縣多額納稅者、農業

妻 とも 明一三、七生、千葉、小川長作從妹

養子 貞子 明三二、一、養子貞子夫、埼玉

君は埼玉縣人中村賢之輔の長男にして安政五年十二月を以て生れ明治三十四年家督を相續し農業を營み現時埼玉縣多額納稅者たり家族は尙繼子正子(大五、三生)孫四郎(同一二、二生、養子之輔長男)あり(埼玉、南埼玉、出羽村)

中村貞助 鹿兒島縣多額納稅者、糖節砂糖商

妻 ノフ 明元、三生、鹿兒島、中原藤八長女

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

男 直治 明三〇、三生

十之部 中(村)

(※印は姻族關係)

て生れ中村さくの養子となり明治十五年家督を相續し資産家たり義に株式會社十二階劇場取締役たり家族は尙孫富貴子(大一二、一〇生、九男榮一長女)同幸子(同一五、六生、同二女)あり六男秀三郎(明二二、二生)七男實(同二四、一)生は各分家せり(東京、淺草、花川戸町三電淺草九五四)

中村藤一 日本製粉(株)専務取締役

妻 タケ 明四二、一、生

女 シゲ 明四三、二、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

女 照子 明四四、一、生

安政五、一、二生、静岡、間瀬榮一 郎發叔母

妻 信 明二六、三生、和歌山、掛下徳兵衛三女

養子 良一 明四一、八生、静岡、間瀬芳治二男

君は静岡縣人先代藤吉の長男にして明治十二年五月を以て生れ大正十二年家督を相續し前名藤八を改め製名才棒屋と稱し美術小間物袋物化粧品商を營み静岡縣多額納稅者にして傍ら中村米糖三立製菓松木村各會社會長たる外前記諸會社の重役を兼ね推されて濱松市參事會同商工會議所常議員たり又獨力遠江商業學校を創設し商業教育に盡瘁する處尙ならず昭和二年特に勅定紺綬褒章を賜はる家族は尙長女ふじ(大一〇、八生)二女きよ(同一一、一)生(三女やす(同一三、五生)四女美代(同一四、九生)あり養弟慶重(明二二、一)生、静岡、岡、澤木倉次郎五男)は同妻(明三〇、一)生、静岡、松尾嘉平長女)と共に其子女を伴ひ分家せり(濱松、田町五一)

中村藤太郎 米子銀行(株)監査役、中村商店、金物商、鳥取縣在籍

妻 久 明二二、一、生、東京、小島孫次郎四女

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

男 幸治 明四四、一、生

喜美子 明四〇、一、生

君は宮城縣人中村壽作の長男にして明治七年一月を以て生れ同二十五年家督を相續し同三十三年東京帝國大學法科大學英法科を卒業し辯護士となり訴訟事務に従ふ現に日本赤十字社大倉組米井商店新製糖會社日清製油會社大島製鋼所日本化學工業會社白木屋吳服店其の他の顧問にして家祿賞典事件に付いては大蔵大臣の常任代理人たり家族は尙二男邦男(明四二、六)三男光三(同四三、九)三女幸子(大四、五)生あり長女壽子(明三七、一〇)生は高知縣土族浦屋屋敷に嫁せり(東京、麹町、丸之内ビルディング五階五九一、五九三區電丸之内三九三)

中村徳藏 中央殖産(株)取締役

妻 市 明三三、三生、養母の長女

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

男 市 明二七、六生

從七位勳六等、室蘭市長

妻 ヲメ 明二九、七生

男 朋彦 明三六、九生、長男朋彦妻、北海

男 恒子 明三六、九生、長男朋彦妻、北海

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生

男 重俊 明三四、七生



現に同市長たり家族は尙四男秀(明四四、四生)二女八重(大四、一一生)孫清彦(同一〇、一〇生、長男)...

中村富次郎

好古堂、骨董商 東京府在籍 妻 延代 明三六、一〇生、養父次郎三女...

中村富平

風呂敷商 滋賀縣在籍 妻 明三五、一〇生、東京、西村和吉...

中村豊次郎

東洋電業、久城耐火煉瓦各(株)取締役 北海道在籍 妻 明一六、五生、東京、鈴木文字姉...

中村寅次郎

君は三重縣人中村三郎の長男にして明治四年十月を以て生れ同三十一年家督を相続す...

中村寅松

正五位勳五等、第八高等學校教授、生徒監、東京府土族 妻 信子 明二四、一〇生、東京、士、内田...

中村直吉

兵庫縣參事、朝日土地、重要物産各(株)取締役、兵庫縣在籍 妻 明一四、八生、兵庫、竹澤清吉...

中村直吉

兵庫縣參事、朝日土地、重要物産各(株)取締役、兵庫縣在籍 妻 明一四、八生、兵庫、竹澤清吉...

東京、小栗藤四郎長女)あり(東京市外入新井町新井宿二二三三)

中村豊松

肥後物産(株)常務取締役 福岡縣在籍 妻 明一、四生、福岡、渡谷久平二女...

中村寅吉

從七位勳六等、日本ノード事務用品(株)社長、長瀬貯蓄銀行、日本印刷(株)取締役、滋賀縣在籍...

中村寅吉

君は滋賀縣人中村彌十郎の長男にして明治六年三月を以て生れ同十六年家督を相続す...

中村直三郎

日本石炭工業(株)代表取締役、東京石炭(株)取締役、山口縣土族 妻 明二、二生、大阪、西宗ハル孫...

中村直次郎

棧原商店(株)社長、紙商 東京府在籍 妻 明二、二生、東京、鴻田右平治...

中村直次郎

中村家宗家は古より日本橋に店舖を構へ金花堂と稱し代々紙商を以て傳へられし家柄にして先々代直次郎...

中村仲吉

静岡縣多額納稅者 静岡縣在籍 妻 明一、二生、現戸主...

糸屋呉服店(株)常務取締役、岩手銀行(株)監査役、一樹(資)出資社員、岩手縣在籍...

中村寅三郎

明一四、三生、養父治兵衛五女 政科出身 明三九、七生、日本女子大學校家...

中村寅太郎

資産家 東京府在籍 妻 慶應二、五生、東京、中里定吉妹...

中村寅之助

君は滋賀縣人中村政次郎の長男にして明治二十三年二月を以て生れ大正六年家督を相続す...

中村寅之助

君は廣島縣人中村又一の長男にして明治二十二年十一月を以て生れ同二十五年家督を相続す...

中村寅次郎

大連商業銀行、滿洲不動貯蓄、滿洲製菓、大正興業各(株)取締役、大連製米(株)監査役、奈良縣在籍...

中村八太郎

正五位勳四等、醫學博士、金澤醫科大學教授、京都府在籍 妻 明一六、一〇生、山口、士、能美...



































東、主税町三ノ一五(東三三)

中山庸次郎 從四位勳二等、法務官兼陸軍省法務局長、東京府士族

男 巖 明四〇、三生  
女 八千代 明三三、五生  
女 綾子 明三五、八生  
女 雪子 明三八、九生  
女 あさ子 明四二、五生

君は東京府士族中山東一郎の長男にして明治三年八月を以て生れ大正五年家督を相続す凡に判檢事登用試験に合格し法務官に任じ第三師團法官部々員陸軍省法務局員憲兵練習所教官第一師團法官部々員陸軍經理學校御用掛軍法會議法務官等に歴補し現時陸軍省法務局長たり弟操(明二四、六生)は分家せり(東京市外灘野川町上中里一五〇電小石川四四七)

中山隆吉

從五位勳五等、鐵道書記官兼復興局書記官、運輸局貨物部長、石川縣在籍

母 美 芳 明二七、四生、石川、士、神保八  
妻 正 昭 昭二、五生

君は石川縣人中山泉の長男にして明治十七年十月を以て生れ大正八年家督を相続す明治四十四年文官高等試験に合格し同四十四年東京帝國大學法科大學を卒業す同年鐵道院に入り副參事參事鐵道書記官鐵道省參事官に歴任し現時鐵道書記官にして運輸局貨物部長たり家族は尙二女和(大一一、一)生あり弟榮松(明二七、三生)は分家し妹貞(同三四、五生)は石川縣人平松彌三郎に嫁せり(東京市外大井町庚辰四六八六電大森八〇) 參照 神保八十吉(林政武)の項

仲慎三

西陣織物業、京都府在籍

妻 かつ 明二五、五生、滋賀、苗村伊三郎  
男 章太郎 大四、一生

女 歌代 明四五、四生

君は京都府人仲清兵衛の弟にして明治十四年二月を以て生れ同四十四年分家して一家を創立す西陣織物業を營む家族は尙三男育三(大六、一)生二女壽々子(同八、九生)三女玉衣(同一一、七)生四女梢(同一一、一)生あり(京都、上京、室町通御池下ル電中六〇二二)

仲忠太郎

合同土地、神戸共益各株、取締役、神戸取引所取引員、奈良縣士族

妻 マス 明一四、七生、奈良、鳥飼三郎  
男 忠一 明三六、六生  
女 ヒデ 明三八、一、二生  
女 文子 明四四、一、一生

君は奈良縣士族八尾村忠太郎の二男にして明治八年十月を以て生れ後先代辨藏の養子となり同十三年家督を相続す同二十七年京都商業學校を卒業し現時神戸取引所取引員並に前記諸會社の重役たり家族は尙二男忠博(明四三、七)生四男忠衛(大五、六)生あり長女マスエ(明三五、六)生は廣島縣人田村龍吉(三郎)の養子三男忠顯(大三、四)生は廣島縣人八尾村忠三郎の養子となれり(神戸、平野町上三條一三四電須磨三三六)

仲井榮三郎

尾張屋本店、洋家具商並雜貨貿易、大阪府在籍

妻 てう 明一九、六生、東京、加藤銀次郎  
男 滋 朗 大二、六生

君は東京府人仲井和助の五男にして明治二十年五月を以て生れ同四十二年分家して一家を創立す凡にサンマノス英學塾に英語を學び洋家具室内裝飾敷物商を營み傍ら雜貨貿易部を設け尾張屋本店と稱す(兵庫、武庫、精道村蘆屋大橋八〇五電須磨八三一)

仲川菊三

仲川商店(株)取締役社長、南洋貿易、一〇〇生、静岡、鈴木榮吉

妻 とく 長女 明一、一〇生、静岡、鈴木榮吉  
養子 五郎 明三五、九生、静岡、渡邊吉哉弟

仲田又次郎

日州銀行、延岡土地各(株)監査役、宮崎縣在籍

妻 キヨ 明三〇、九生、宮崎、山本權平妹  
母 チヨウ 留二女

君は宮崎縣人先代又次郎の長男にして明治二十六年七月を以て生れ大正七年家督を相続しに襲名して前名一を改む現時日州銀行監査役たる外前記會社の重役たり家族は尙長女靜枝(大五、六)生二女安枝(同八、五)生姉トミエ(明二二、三)生及び其夫文選(同二、一)生、宮崎、寺町喜次郎二男あり(宮崎、東白村、延岡町)

仲田由太郎

仲田組(株)専務取締役、大阪府在籍

妻 きぬ 明二四、六生、大阪、青木捨吉二女  
男 禮 彌 大四、一生

君は大阪府人仲田三郎の庶子にして同三郎の弟なり明治二十一年四月を以て生れ大正八年分家して一家を創立す現時仲田組専務取締役たり並に大阪市會議員に舉げらるる家族は尙二女福(大六、三)生三女都子(同六、九)生三男康(同九、二)生四女玉江(同二〇、一)生五女富江(同二二、六)生三男三郎(同二四、三)生六女和子(昭元、一)生あり甥信雄(明四三、九)生、亡仲田數之助(長男)は大阪府人谷順一郎の死跡を相続せり(大阪、南、阪町三九電南四二七四) 參照 仲田三郎の項

仲谷藤右衛門

大阪府在籍

妻 たね 元治元、一生、養父藤右衛門長女  
男 俊 郎 明二四、一生、長男俊郎妻、大  
婦 カネ 阪、田中久七五女

君は大阪府人矢野彌四郎の三男にして文久二年六月を以て生れ先代藤右衛門の養子となり明治十一年家督を相続す質商を營む家族は尙孫秀子(大四、一)生、長男俊郎(長女)同久雄(同六、八)生、同長男同温子(同九、一)生、同二女同順子(生年月同上、同三女)同幸三(同二、四、一)生、同三男あり三女フジ(明一九、一)生は大阪府人矢野佐太郎二男省三に嫁し五女イチ(同二七、

仲佐貞次郎

正五位勳五等、廣島高等師範學校教授、千葉縣在籍

妻 あさ 長女 明二二、二生、千葉、池澤信太郎  
男 信 明四一、三生

君は千葉縣人仲佐源藏の長男にして明治十一年九月を以て生れ大正十三年家督を相続す明治四十年東京帝國大學理科大學地質學科を卒業し同四十二年廣島高等師範學校教授に任ぜられ現時に至る家族は尙は二男欣二(明四四、一)生三男洋三(大一一、一)生の外弟健司(明二五、六)生同妻富(同三〇、二)生、神奈川、金森安平(繼子)との間に二子あり(廣島市千田町七二四) 參照 米土屋幸正の項

仲崎善吉郎

岡山縣多額納稅者、金藏業、岡山縣在籍

妻 馬 明三元、七生、岡山、野崎利三次長女  
女 宣子 明四〇、四生

君は岡山縣人仲崎幸次郎の長男にして文久三年七月を以て生れ明治十七年家督を相続す金藏業を營み岡山縣多額納稅者たり妹久野(明四、五)生は其夫才松(同五、一〇)生、岡山、小山武太郎二男)及び其一子と共に分家せり(岡山、邑久、行幸村)

仲田久太郎

仲田銀行(名)業務執行社員、愛媛縣在籍

妻 秀太郎 大七、二生  
男 秀太郎 大七、二生、廣島、保田二吉姉

君は實業家仲田傳之助の弟にして明治七年十二月を以て生れ大正四年分家して一家を創立す現時仲田銀行業務執行社員たり庶子善吉郎(明二六、三)生、生母、愛媛、高橋スエ)は愛媛縣人仲田眞の夫となれり(岡山、府中町二) 參照 仲田傳之助(大西行禮)多賀義三郎(米日野易造)保田七兵衛の項

仲田慶三郎

大日本麥酒、やまと工業各(株)監査役、千葉縣在籍

妻 サト 慶應三、一生、東京、保木新七長女  
男 留 雄 明四〇、九生

仲田太三郎

大阪府在籍

妻 はる 明二〇、二生、兵庫、伊藤泰藏姉  
男 猪一郎 明四四、一生

君は大阪府人先代太三郎の庶子にして同由太郎の兄なり明治十九年十一月を以て生れ大正十二年家督を相続し前名辰之助を改む運送業を營み仲田組取締役たり家族は尙二男茂三郎(大三、四)生長女美園(同五、一〇)生(三男哲雄(同七、六)生)二女錦子(同九、一)生三女滿光(同一一、七)生異母妹まき(同七、四)生、生母、石川、土口ち)あり大阪、住吉、北百濟町六三七電五五一〇) 參照 仲田由太郎の項

仲田傳之助

愛媛縣多額納稅者、愛媛縣農工銀行、伊豫貯蓄銀行各(株)取締役、仲田銀行(名)取締役、伊豫鐵道電氣(株)取締役、愛媛縣農會會長、愛媛縣在籍

妻 サト 明二二、八生、愛媛、木村幾久太  
男 包 寛 明三七、三生、經濟學士

君は愛媛縣人先代傳之助の長男にして明治四年一月を以て生れ同四十二年家督を相続しに前名林太郎を改む現に愛媛縣農工銀行取締役たる外前記銀行會社の重役に於て縣下の多額納稅者たり並に松山商業會議所特別議員に舉げらるる家族は尙二男包忠(明四二、七)生三男包武(同四五、四)生四男春男(大四、二)生五男季夫(同八、三)生あり長女梅代(明三二、一)生は香川縣士族大西行禮長男法學士虎之助の妹エイ(同二二、一〇)生は東京府士族海軍少將井口第二郎に嫁し弟久太郎(同二、一)生は同府士族法學士多賀義三郎に嫁し弟久太郎(同二、一)生は其妻子を伴ひ分家せり(松山、二番丁) 參照 大西行禮、多賀義三郎、仲田久太郎の項

仲谷勇五郎

北海道多額納稅者、余市興業社(株)取締役、漁業、北海道在籍

妻 満子 留二女  
男 浩 吉 大五、三生

君は北海道人仲谷勇次郎の孫にして明治二十二年八月を以て生れ同三十七年家督を相続す漁業を營み北海道多額納稅者にして前記會社の重役たり家族は尙長女悦子(大三、二)生あり叔母シホ(明八、七)生は其夫鶴作(北海道、野戸久次郎二男)と共に同ヤ(同二、一)生(〇)生は同夫多六(同四、一)生、静岡、笹竹鐵次兄)及其子女と共に同キエ(同二、七)生は其子女と共に各分家せり(北海道、古平、古平町)

仲庭松次郎

貴金屬時計商、大阪府在籍

妻 タツ 明一三、九生、大阪、仲庭常吉妹  
男 健 次 明四五、六生

君は大阪府人西口竹松の二男にして明治十六年九月を以て生れ同四十三年先代タツの夫となり家督を相続す貴金屬時計商を營む(大阪、西、松島町二ノ一電西三四二九)

仲野半四郎

山形縣多額納稅者、天童銀行(株)取締役、農業、山形縣在籍

妻 みす 明七、二生、山形、横尾彌門姉  
男 清 明三四、九生

君は山形縣人先代半四郎の長男にして明治八年九月を以て生れ同三十七年家督を相続し前名健藏を改む農業を營み現に天童銀行取締役に於て山形縣多額納稅者たり家族は尙四男恭助(明四一、二)生弟四郎(同二五、五)生あり同三郎(同二二、五)生同妻のふ(同二〇、四)生、山形、坂口太兵衛妹)は二女を伴ひ分家し妹すみ(同



一九、二二生)は山形縣人岡井門三郎弟助助同きやう(同二一、一〇生)は同縣土族森下國四郎長男初男に嫁せり(山形、東村山、天童町)

仲野理一郎 淡州貯蓄銀行、平瀬製油各(株)取締役、兵庫縣在籍

男 九郎 明一七、七、七、二男九郎妻、兵衛 明二四、一、一、二男九郎妻、兵衛

君は兵庫縣人仲野安郎の五男にして嘉永三年十月を以て生れ後出家を相續す夙に實業界に入り現時前記銀行會社の重役たり夙に大阪市場會社淡路銀行各重役に推さる又水産物製造法の改良漁具の發明等に盡瘁したる功により勲章を賜はる家族は尙孫一郎(明四四、一、二生)、二男九郎長男(同壽美、大五、八生、同二女)同修輔(同八、八生、同二男)同文子(同四、四、七生、同三女)あり長女せつ(明一〇、四生)は兵庫縣人船越敏一に嫁せり(兵庫、三原、阿那賀村)

仲村渠榮保 沖繩縣多額納稅者、農業

妻 カマト 明元、一、一、一、沖繩、新里茂昌長女

君は沖繩縣人仲村渠榮保の長男にして慶應二年一月を以て生れ明治三十一年家督を相續す豪農にして現に沖繩縣多額納稅者たり家族は尙九女ハル(大四、三、三)男榮興(同四、一、一)十女文(同八、三、三)七弟榮行妻トミ(明三五、一〇生、沖繩、比嘉爲教二女)其一女あり長女カメ(同二八、一、一)は沖繩縣人島袋盛信に二女カマ(同三一、九生)は同縣人安里榮孝榮妻浦に四女カス(同三六、七生)は同縣人石嶺傳盛に五女ヨシ(同三九、三、三)は同縣人與世田朝保に嫁せり(沖繩、中頭、中城村)

仲村渠致和 沖繩縣多額納稅者

妻 明元、一、一、一、沖繩、新里茂昌長女

君は石川縣人永井伊右衛門の長男にして明治三年四月を以て生れ同二十三年家督を相續す肥料商を營み石川縣多額納稅者にして現時小松銀行取締役たり家族は尙孫一治(大一一、一、一)、二男千吉長男(同外代士、同四一、一、一)、同二男(同隆、同二、八生、同三男)あり三男外吉(明三四、一、一)は分家し四男正男(同四〇、一、一)は石川縣人船岡久太郎の養子となり妹みか(同一一、二生)は同縣人岡山武平に同ちか(同四、八生)は同縣

永井伊助 石川縣多額納稅者、小松銀行(株)取締役、肥料商、石川縣在籍

妻 明一〇、二、二、石川、織部次右衛門

君は石川縣人永井伊右衛門の長男にして明治三年四月を以て生れ同二十三年家督を相續す肥料商を營み石川縣多額納稅者にして現時小松銀行取締役たり家族は尙孫一治(大一一、一、一)、二男千吉長男(同外代士、同四一、一、一)、同二男(同隆、同二、八生、同三男)あり三男外吉(明三四、一、一)は分家し四男正男(同四〇、一、一)は石川縣人船岡久太郎の養子となり妹みか(同一一、二生)は同縣人岡山武平に同ちか(同四、八生)は同縣

永井治助 大阪府在籍

妻 明一六、三、三、京都、梅原仁三郎妹

君は大阪府人先代治助の長男にして明治三十六年十月を以て生れ同四十二年家督を相續し前名治一郎を改め襲名す乾物商を營み家族は尙妹うた(明四〇、七生)あり姉はま(同三三、七生)は兵庫縣人岡田積三に嫁せり(大阪、北、菅原町二〇番北三〇四四)

永井治良 從五位勳六等、農林技師

妻 安政五、五、五、現戸主

君は茨城縣土族永井定の長男にして明治十九年十二月を以て生れ同四十四年東京帝國大學農科大學農學科を卒業し大正元年農商務技師に任じ爾來群馬縣技師群馬縣原種製造所技師を経て同六年再び農商務省に入り同九年支那及英領香港に同十二年歐米各國に出張を命ぜられ同十三年歸朝後農林技師に任じ蠶絲改良獎勵の事務に當りつゝあり家族は尙長女英子(大一一、一、一)あり(東京、小石川、雜司ヶ谷町二〇)

永井 從四位勳三等、造幣局長

妻 明三五、一、一、北海道、高橋松太郎

君は故大審院判事永井岩之丞の五男同享同啓の弟にして大屋敦の兄なり明治十六年六月を以て生れ同四十二年分れて一家を創立す同四十年東京帝國大學法科大學佛法科を卒業し文官高等試験に合格す同四十一年稅務監督官に任ぜられ理財官大藏省參事官外務事務官外務書記官大藏書記官に歴任し商館長門司各稅關長を経て大正十三年造幣局長となり現に其職に在り家族は尙二男省大五、二生)三男三男(同三一、一〇生)あり大阪、北、新川町一造幣局官舎北三〇〇〇〇

永井 從四位勳三等、造幣局長

妻 明三五、一、一、北海道、高橋松太郎

君は富山縣人永井爲治郎の長男にして明治十七年二月を以て生れ大正十一年家督を相續す實商を營み傍ら前記銀行會社の重役にして現に富山縣多額納稅者たり家族は尙長女信(大七、五生)二女民(同九、一、一)あり(富山市總曲輪七七)

永井 富山縣多額納稅者、富山銀行、中越鐵道各(株)監査役、實商

妻 明二九、六、六、富山、濱松與八郎妹

君は富山縣人永井爲治郎の長男にして明治十七年二月を以て生れ大正十一年家督を相續す實商を營み傍ら前記銀行會社の重役にして現に富山縣多額納稅者たり家族は尙長女信(大七、五生)二女民(同九、一、一)あり(富山市總曲輪七七)

永井 富山縣多額納稅者、富山銀行、中越鐵道各(株)監査役、實商

妻 明二九、六、六、富山、濱松與八郎妹

君は富山縣人永井爲治郎の長男にして明治十七年二月を以て生れ大正十一年家督を相續す實商を營み傍ら前記銀行會社の重役にして現に富山縣多額納稅者たり家族は尙長女信(大七、五生)二女民(同九、一、一)あり(富山市總曲輪七七)

永井 富山縣多額納稅者、富山銀行、中越鐵道各(株)監査役、實商

妻 明二九、六、六、富山、濱松與八郎妹

君は富山縣人永井爲治郎の長男にして明治十七年二月を以て生れ大正十一年家督を相續す實商を營み傍ら前記銀行會社の重役にして現に富山縣多額納稅者たり家族は尙長女信(大七、五生)二女民(同九、一、一)あり(富山市總曲輪七七)

永井 富山縣多額納稅者、富山銀行、中越鐵道各(株)監査役、實商

妻 明二九、六、六、富山、濱松與八郎妹

君は富山縣人永井爲治郎の長男にして明治十七年二月を以て生れ大正十一年家督を相續す實商を營み傍ら前記銀行會社の重役にして現に富山縣多額納稅者たり家族は尙長女信(大七、五生)二女民(同九、一、一)あり(富山市總曲輪七七)

永井 富山縣多額納稅者、富山銀行、中越鐵道各(株)監査役、實商

妻 明二九、六、六、富山、濱松與八郎妹

君は富山縣人永井爲治郎の長男にして明治十七年二月を以て生れ大正十一年家督を相續す實商を營み傍ら前記銀行會社の重役にして現に富山縣多額納稅者たり家族は尙長女信(大七、五生)二女民(同九、一、一)あり(富山市總曲輪七七)

永井 富山縣多額納稅者、富山銀行、中越鐵道各(株)監査役、實商

君は富山縣人永井爲治郎の長男にして明治十七年二月を以て生れ大正十一年家督を相續す實商を營み傍ら前記銀行會社の重役にして現に富山縣多額納稅者たり家族は尙長女信(大七、五生)二女民(同九、一、一)あり(富山市總曲輪七七)

永井 富山縣多額納稅者、富山銀行、中越鐵道各(株)監査役、實商

妻 明二九、六、六、富山、濱松與八郎妹

君は富山縣人永井爲治郎の長男にして明治十七年二月を以て生れ大正十一年家督を相續す實商を營み傍ら前記銀行會社の重役にして現に富山縣多額納稅者たり家族は尙長女信(大七、五生)二女民(同九、一、一)あり(富山市總曲輪七七)

永井 富山縣多額納稅者、富山銀行、中越鐵道各(株)監査役、實商

君は富山縣人永井爲治郎の長男にして明治十七年二月を以て生れ大正十一年家督を相續す實商を營み傍ら前記銀行會社の重役にして現に富山縣多額納稅者たり家族は尙長女信(大七、五生)二女民(同九、一、一)あり(富山市總曲輪七七)

永井 富山縣多額納稅者、富山銀行、中越鐵道各(株)監査役、實商

妻 明二九、六、六、富山、濱松與八郎妹

君は富山縣人永井爲治郎の長男にして明治十七年二月を以て生れ大正十一年家督を相續す實商を營み傍ら前記銀行會社の重役にして現に富山縣多額納稅者たり家族は尙長女信(大七、五生)二女民(同九、一、一)あり(富山市總曲輪七七)

永井 富山縣多額納稅者、富山銀行、中越鐵道各(株)監査役、實商



**永井甚右衛門** 東京染織(株)取締役、越後屋、吳服太物商、東京府在籍

妻 明元、四生、東京、小山幸助長女

養母 明二、七生、養父甚右衛門長女

男 政雄、大九、一、七生、養父甚右衛門長女

君は東京府人高野清蔵の弟にして明治十九年十二月を以て生れ大正三年先代甚右衛門の養子となり同八年家督を相続し前名勝之助を改め襲名す家業を越後屋と稱し吳服太物商を營み傍ら推されて東京染織會社取締役たり家族は尙長女彌子(大九、一〇生)二女富久子(同二、一〇生)あり(東京、京橋、銀座二ノ四電東橋七四〇)

**永井 專三** 工学博士、宇治川電氣、日本電力三芳索道各(株)取締役

妻 トメ 明一、一〇生、京都、早瀬仁右衛門三女

君は大阪府人奥村治作の五男にして明治十年三月を以て生れ同十三年先代彌三郎の養子となり大正二年家督を相続す同十三年東京帝國大學工科大学士を卒業し大正十三年工學博士の學位を授けらるる現に日本電力會社取締役たる外前記會社の重役たり(大阪、北、老松町二ノ二〇電北二四四五)

**永井 外吉** 鐵道(株)専務取締役、東京鐵道(株)常務取締役、箱根土地、京土地各(株)取締役、石川縣土地、慶應元、一〇生、石川、松井吉助

妻 明二、一〇生、滋賀、堤康次郎

君は石川縣土族永井孝一の二男にして同柳太郎の従弟なり明治二十二年十月を以て生れ同二十七年家督を相続す現時鐵道會社専務取締役たる外前記諸會社の重役たり家族は尙長女美代子(大六、七生)二女和代(同八、二生)三女富美代(同二〇、一〇生)四女敬子(同四、六生)あり姉かお(明一八、一〇生)は鹿兒島縣人三原重俊に嫁せり(東京市外落合町下落台日自文化村一六〇一電牛込二五二一)

**永井 尚敏** 從三位勳三等、子爵

妻 録子 明八、一〇生、子爵渡邊英綱叔母

男 尚忠 明三〇、八生、正五位、高千穂高等商業學校出身

女 英子 大二、四生

當家は永井信濃守尚政の三男侍從尚庸の後なり尙庸京都市所司代となり父尚政の所領を分與せられ別一家をなす夫より七世を経て世々澁州加納二萬三千石の城主として先代尙服に至り明治十七年子爵を授けらるる君は其長男にして明治四年九月を以て生れ同十八年襲爵す

**永井 太三郎** 日英堂、印刷業

妻 キキ 明三一、五生、大阪、吉岡實太郎長女

養子 俊子 大九、一〇生、弟政一庶子、生母長女、谷ミサキ

君は奈良縣人永井宗太郎の長男にして明治二十一年四月を以て生れ同四十年家督を相続す商號を日英堂と稱し印刷業を營む家族は尙弟政一(明二五、一〇生)同和藏(同三五、九生)あり(大阪、西、土佐堀通一ノ一二電土佐堀三〇八三)

**永井 直邦** 正五位、子爵、宮内省臨時帝室編修官補、舊播州高柳藩

妻 直英 大一一、四生

當家は永井右近大夫直勝の次男日向守直清の後なり直清大阪の役に軍功あり後父の所領を分ち別一家を成し慶安二年播州高柳三萬六千石に移封せらる夫より十一世を経て先代直諒に至り宮中祿儀所助番等仰付けられ明治十七年子爵を授けらるる君は子爵戸田康保の弟にして明治二十九年一月を以て生れ大正二年直諒の養子となり前名邦光を改め同八年家督を相続し襲爵仰付けらるる同十年東京帝國大學文學部文科を卒業し文部省に出仕し後宮内省に轉じ現時臨時帝室編修官補たり家族は尙二男直俊(大一一、一〇生)あり(東京市外大井町徳谷五九二二電大森二二二)

**永井 直景** 子爵

妻 直子 明四三、一〇生、御茶水高等女學校出身

君は愛知縣人永井松右衛門の長男にして阪本彰之助の男なり明治十年三月を以て生れ大正二年家督を相続す明治三十五年東京帝國大學法科大学政治學科を卒業し外交官及領事官試験に合格し領事官補となり天津に在勤す大正三年外務省書記官に轉じ外務大臣秘書官を兼ね電信課長大使館參事官外務省通商局長を経て同十三年特命全權公使に進み瑞西國駐劄仰付らる現時特命全權大使にして白耳義國駐劄たり家族は尙二男邦夫(大四、三三)あり妹加壽子(明二五、一〇生)は愛知縣人中林半左衛門三男俊三に嫁せり(在白耳義國大使館)參照 阪本彰之助、中林半左衛門、柳谷卯三郎參久保男宗神谷西三郎柳谷巳吉の項

**永井 秀太** 醫學博士、永井結核病研究所長、森ヶ崎永井療養所長、醫師

妻 淺江 明一三、一〇生、岡山、松森嘉五郎長女

男 立一 明三六、四生、東京帝國大學醫學部在學

女 信 明四一、五生、お茶水高等女學校出身

女 深 明四五、三三、第三高等女學校在學

君は岡山縣人永井立昇の長男にして明治九年七月を以て生れ同三十六年家督を相続す同二十九年岡山醫學專門學校を卒業し郷里牛窓町に開業し後獨逸に留學し結核病療法に就き研究し歸朝後永井結核病研究所を創立し自ら其所長となる現に前記の職にあり大正十年醫學博士の學位を授けらるる家族は尙二男昇(明四三、三三)三男東一(大四、一〇生)四女京子(同七、一〇生)四男好望(同九、三三)あり長女古乃枝(明三八、八生)三輪田高等女學校出身)は埼玉縣人小林是に嫁せり(東京、麹町、三番町四四電丸一〇二)

**永井 益太郎** 福岡縣多額納稅者、海產物商

妻 俊造 明二六、一〇生、福岡、荒木俊三郎長女

男 繁雄 明三三、三三、長男俊造妻、熊本中島初次長女

男 キクヲ 明三五、一〇生、三男繁雄妻、福岡、古賀安太郎孫

男 武雄 明三六、二〇生、本田等妹

男 サナミ 明三八、八生、四男武雄妻、熊本、本田等妹

男 深藏 明三八、二生

君は福岡縣人永井繁次郎の長男にして明治三年九月を以て生れ同二十三年家督を相続す海產物商を營み現に福岡縣多額納稅者たり家族は尙孫サキヨ(大八、八生)長男俊造長女(同二、一〇生)一男、一三女)同俊男(同四、一〇生)同益男(同二、一〇生)同三男(同三、一〇生)同長女(同三、一〇生)同三女(同三、一〇生)同三子(同三、一〇生)同三女(同三、一〇生)あり長女ミサヲ(明三一、七生)は福岡縣人江崎廣に嫁せり(大牟田市)

**永井 通景** 舊和州新莊藩

妻 直子 明四三、一〇生、御茶水高等女學校出身

當家は平高家の三男鎮守府將軍良策の末葉右近大夫直勝の後なり直勝本姓長田氏德川家康に仕へて永井氏と改め累りに職功を積み下總國古河七萬石を領す長男信守尙政繼ぎ城州流十萬石に加封せられ京畿の鎮護となる夫より十世を経て幾多の變遷あり和州新莊一萬石の藩主として先々代直哉に至る直哉維新の際同藩藩主に移封し明治十七年子爵を授けられ大成教習長となる君は其男にして昌榮銀行其他諸會社に重役たり三年家督を相続し襲爵す叔父千鶴雄(明一一、九生)は分家し叔母貞子(同二〇、一〇生)は岡山縣人秋山定輔に嫁し叔父誠(同二〇、九生)は法學士は東京府人宇野季藏の養子となり(東京、麹町、麴町八、一九)

**永井 峰松** 吳服商

妻 芳三郎 明三九、一〇生

君は京都府人永井治郎兵衛の二男にして明治六年八月を以て生れ同三十三年分家して一家を創立す吳服商を營む家族は尙二男憲三(大三、六生)三男諒藏(同九、七

**永井 博** 千葉縣多額納稅者、農業

妻 睦 明二七、一〇生、先々代益夫二女

君は千葉縣人久保金次の弟にして明治二十年四月を以て生れ大正六年先代睦の夫となり家督を相続す農を以て生れ現に千葉縣多額納稅者たり家族は尙長女淑(大七、一〇生)二女續(同九、一〇生)三女續(同一一、一〇生)四女續(同一一、一〇生)あり(千葉、安房、吉尾村)

**永井 眞澄** 日本郵船(株)福書役

妻 富士 明二七、一〇生、石川、關義三郎長女、三輪田高等女學校出身

**永井 眞澄** 日本郵船(株)福書役

妻 富士 明二七、一〇生、石川、關義三郎長女、三輪田高等女學校出身











多額納税者たり家族は尙四女主(大九、九生)妹つきや(明二、五生)あり(備本、上益城、白旗村)

永田 龜吉 大阪府在籍 帽子原料商 妻 小ヤス 明一三、八生、大阪、大栗考太郎妹 男 兵太郎 明三三、一二生 女 敏子 明四〇、一二生 女 冬子 明四三、一二生 女 梅子 大二、二生

君は京都府人永田石太郎の弟にして明治九年四月を以て生れ同二十九年分れて一家を創立す帽子原料商を營む曾て田中電機會社監査役たりしことあり家族は尙五男龜雄(明四二、七生)六男隆三(大四、七生)七男勇治(同五、九生)八男勝信(同七、八生)八女悦子(同八、一二生)あり二女千代(明三二、四生)は兄永田石太郎に二男義次(同三六、三三)は大阪府人丸山ウツタに各養子となり三女夏子(同三七、八生)は同府人室賀萬次郎長男萬之助に嫁せり(大阪、東、糸屋町二ノ二電東七九四)

永田 歸三 第一銀行(株)伏見支店支配人 東京府土族 妻 花 明二八、五生、三重、木崎武三郎 二女

君は山口縣土族小野二郎の弟にして明治十三年十一月を以て生れ先代盛章の養子となり大正十四年家督を相続す明治三十五年明治大學を卒業し第一銀行に入り室賀支店長を経て現時同行伏見支店長たり(京都、紀伊、伏見町電伏見三五)

永田 義 百三十九銀行(株)取締役兼支配人 新潟縣土族 妻 スミ 廣長女 明一四、三三、新潟、土、根岸義 妻 リウ 明三三、二生 男 弘 明三五、二生 男 實 明三九、四生 男 富美 明四二、一一生 女 富美 明四二、一一生

永田 儀三郎 攝池銀行(株)取締役、吳服商 大阪府在籍 妻 妻 明一、一一生、養父三十郎二女 妻 三郎 明三九、一一生

永田 敬藏 大分縣多額納税者、御越銀行(株)頭取、大分縣在籍 妻 城 明一九、二生、大分、津田瀧叔母 男 征夫 明三三、三三 女 静香 明三三、三三、長男征夫妻大分、佐藤伊吉長女 女 千代子 明四〇、四生 女 喜嘉 大二、九生

永田 左門 黒田藥品商會(株)常務取締役 徳本縣土族 妻 加壽 雄妹 明二六、五生、熊本、士、千場朝 男 正全 大元、九生

永田 三郎 從五位勳五等、少年審判官、大阪府在籍 妻 かね 明七、八生、群馬、小川利一姉 女 千鶴子 明四二、九生 女 千鶴子 明四五、三三

永田 治郎 長崎縣多額納税者、千々石商事(株)代表取締役、長崎縣在籍 妻 長作 安政六、三三 男 龍太郎 明二二、八生、長崎、栗原好春妹 女 アツ子 明四三、一一生 女 アツ子 明四五、七生

永田 佐次郎 祐徳軌道(株)取締役 佐賀縣土族 妻 テル 明七、六生、佐賀、江口親徳姉 男 一 明四〇、六生、五男一二妻、長崎、積 明四〇、六生、五男一二妻、長崎、江口利喜太二女

永田 四郎 山梨縣多額納税者、製絲業 妻 正一 大八、一一生 男 正一 大八、一一生

永田 治郎七 愛知縣多額納税者、木綿商 妻 せき 弘化四、四生、愛知、早川伸吉長女 男 穂 明三六、一一生、愛知、野村磯助長女 女 あき 明四三、一〇生

君は佐賀縣土族永田佐一の長男にして嘉永三年十月を以て生れ後家督を相続す明治の初年頃大阪兵學堂並に東京講習所等に學を修め歸郷後戸長並に學區取締となり同十二年沖繩の置縣と共に其縣屬となり後縣會議員衆議院議員等に擧げられ同三十七年縣社祐徳稻荷神社に社司として奉仕し現時祐徳軌道會社取締役たり家族は尙孫擇一(大五、九生)五男一二妻長女ヤイシ(明八、九生)は佐賀縣土族井原喜代太郎に二女ヤイシ(同二〇、一〇生)は同縣土族原吉養子平市に三女ヤイシ(同二二、一〇生)は同縣土族見忠勢に四女長閉(同二九、四生)は福岡縣人江上種美に五女ハツ(同二五、三三)は佐賀縣人藤川菊一郎に六女フキ(同三一、二生)は同縣人星野健に嫁し四男十郎(同二七、三三)は分家せり(佐賀、藤津、鹿島町)

君は山梨縣人永田總作の四男にして明治二十年十月を以て生れ製絲業を營み縣下の多額納税者たり家族は尙長女初子(大四、一一生)二女藤子(同六、五生)二男正次(同二一、三三)三男正三(同三一、一一生)三女靜江(同二二、二生)の外兄源平(明一五、六生、現戸主)同妻よしの(同二四、四生、山梨、小澤省己長女)弟靜(同二七、二生)同妻ヒサ(同三〇、一〇生、山梨、橋爪

君は長崎縣人永田長作の四男にして明治二十年五月を以て生れ大正十三年家督を相続す現時千々石商事會社代表取締役にして縣下の多額納税者たり家族は尙三女サチ(大四、一一生)三男和平(同八、二生)あり姉クマ(明一七、二生)は長崎縣土族林田勇夫に嫁せり(長崎、南高、千々石村) 參照 林田勇夫の項

永田 三十郎 藤永田造船所、木津川土地建物各(株)社長、常陸セメント(株)取締役 大阪府在籍 妻 登美 明三三、一一生、貴族院議員田所美 治長女、三輪高等女學校出身 男 常次郎 大一一〇、九生

君は山梨縣人永田總作の四男にして明治二十年十月を以て生れ製絲業を營み縣下の多額納税者たり家族は尙長女初子(大四、一一生)二女藤子(同六、五生)二男正次(同二一、三三)三男正三(同三一、一一生)三女靜江(同二二、二生)の外兄源平(明一五、六生、現戸主)同妻よしの(同二四、四生、山梨、小澤省己長女)弟靜(同二七、二生)同妻ヒサ(同三〇、一〇生、山梨、橋爪

君は長崎縣人永田長作の四男にして明治二十年五月を以て生れ大正十三年家督を相続す現時千々石商事會社代表取締役にして縣下の多額納税者たり家族は尙三女サチ(大四、一一生)三男和平(同八、二生)あり姉クマ(明一七、二生)は長崎縣土族林田勇夫に嫁せり(長崎、南高、千々石村) 參照 林田勇夫の項



女 茂子 大二、九生
君は大阪府人津崎八兵衛の弟にして文久二年十月を以て生れ明治二十九年家督を相続し前名次三郎を改め製名海産物商を営む家族は尙四男善雄(明四二、二生)孫愛子(大二三、四生、二男治太郎二女)同廣子(同一五、八生、同三女)あり長女な(明三一、七生)は大阪府人豆谷藤吉二男嘉兵衛に嫁し二女し(同三四、一〇生)は其一子を伴ひ分家せり(大阪、西、靑中通三丁目電園土佐堀一八二八)

永田 信一
永田メリス機械(株)社長、平野ジャケット、中外紡績各株監査役、東京府在籍
妻 明三、四生、東京、渡邊毅三女

永田 新之助
勤五等、井上辭典刊行會、秀美會各株取締役、東京府在籍
妻 明二〇、一〇生、東京、加藤正吉妹
男 良孝 明四五、一〇生
女 春子 明三五、六生、日本女子大學校附屬高等女學校出身
女 富慈子 明三九、一〇生、千代田高等女學校出身
女 多嘉子 明四二、一〇生、三輪田高等女學校出身

永田 新之助
君は山口縣土族永田孝之允の長男にして明治四年四月を以て生れ同九年家督を相続す夙に國民新聞讀賣新聞各記者同編輯長となり後實業之日本社に入り征露戰報主筆實業之日本記者同編輯長同理事兼營業部長總務部長となる昭和二年之を罷めて前記の職にあり兼に衆議院議員に擧げられし事あり家族は尙五女正子(大一一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇)

永田 達之助
大阪府在籍
妻 サダ 明三八、四生、兵庫、岡野松之助
養子 みさを 庶子
君は大阪府人佐藤辰三郎の三男にして明治十二年九月を以て生れ先代安兵衛の養子となり同三十一年家督を相続す現時永田達商店代表取締役たり養弟親次(明二五、八生)は大阪府人油野鶴之助の養子となれり(大阪、東、北濱一ノ四電本局三六五八)

永田 民也
從五位勳四等、鐵道技師、工務局勤務、山口縣土族
妻 清子 明三一、七生、東京、山上萬次郎
男 太郎 大五、一〇生
君は山口縣土族永田宣吉の長男にして明治十七年十一月を以て生れ同十二年家督を相続す同十四年一年東京帝國大學工學科土木工學科を卒業し鐵道院技師となり大正二年鐵道技師に進み熊本門司島橋名古屋上野各保險事務所長を経て前掲の職に轉じ大正十五年歐洲へ出張を命ぜられ現時其地在り家族は尙長女ノブ子(大八、二生)三女ケイ子(同一三、一〇生)四女カサ子(同一四、七生)あり二女フミ(同一一、三三)は山口縣人阿武重元の亡跡を相続せり(東京市外灘野川町田端三二〇電小石川六八六〇)

永田 豊次郎
農業
妻 元治元、七生、埼玉、淺子字八二女
君は山口縣土族永田宣吉の長男にして明治十七年十一月を以て生れ同十二年家督を相続す同十四年一年東京帝國大學工學科土木工學科を卒業し鐵道院技師となり大正二年鐵道技師に進み熊本門司島橋名古屋上野各保險事務所長を経て前掲の職に轉じ大正十五年歐洲へ出張を命ぜられ現時其地在り家族は尙長女ノブ子(大八、二生)三女ケイ子(同一三、一〇生)四女カサ子(同一四、七生)あり二女フミ(同一一、三三)は山口縣人阿武重元の亡跡を相続せり(東京市外灘野川町田端三二〇電小石川六八六〇)

一生)あり二女静子(明三七、一〇生、三輪田高等女學校出身)は茨城縣人松島茂彦に嫁せり(東京、牛込、南横町七六電牛込三〇九七)

永田 新平
熊本縣多額納稅者、醸造業
妻 文香 明二七、一〇生、熊本、田上正盛二女
君は熊本縣人永田彌平の長男にして明治二十年二月を以て生れ大正十年家督を相続す醸造業を営み縣下の多額納稅者たり家族は尙長女恒子(大二三、三三)三女富貴子(同七、八生)弟利喜雄(明三八、一〇生)同倫(同四三、三三)あり妹り(同二四、一〇生)は熊本縣人友清義藏に嫁し同ヤス(同三六、一〇生)は同縣人田上正明に嫁せり(熊本市出町一〇八)

永田 甚之助
武州銀行(株)常務取締役、武州貯蓄銀行、東洋生命保險各(株)取締役、東京府在籍
妻 武彦 大一一、一〇生
男 慶子 明四四、四生
君は東京府人永田清三郎の長男にして明治十五年二月を以て生れ同三十七年家督を相続す同四十年東京帝國大學法政科大學政治科を卒業し第一銀行に入り深川支店長熊本支店長等を經て現時前記銀行會社の重役たり家族は尙二女愛子(大三三、六生)三女喜久子(同五、一〇生)四女幸子(同八、七生)三男勝之助(同一三、二〇生)五女昭子(同一五、一〇生)弟武(明三三、一〇生)の外同盛三(同二二、三三)同妻榮枝(同二九、七生、工學博士中澤岩太三女)及其一男二女第四郎(同三三、一〇生)雙葉高等女學校出身)との間に一女あり妹と(同一七、二〇生)は愛媛縣土族富澤充に同京(同二九、八生)は愛知縣人堀重固に嫁せり(東京、小石川、金富町四五電小石川二五三三)

永田 成美
中外商業新報社(株)取締役兼總務局長、福岡縣土族
妻 タネ 明九、四生、舊久留米藩士佐々木
君は舊久留米藩士故陸軍歩兵少尉永田啓之助の長男にして明治六年九月を以て生れ同十年家督を相続す同二十八年慶應義塾を卒業し現に中外商業新報社取締役兼總務局長たり(東京、芝、白金今里町八九電高輪一五六〇)

永田 隼之助
關東水電(株)事務取締役、臺灣電氣工業(株)代表取締役、鹿兒島縣土族
妻 トヨ 明一二、四生、鹿兒島、高橋新吾妹
養子 和 大九、一〇生、東京、有川作次郎
君は鹿兒島縣土族永田林左衛門の長男にして明治四年八月を以て生れ大正五年家督を相続す夙に慶應義塾を卒業し三井銀行に入り同行廣島支店長たりしことあり現時臺灣電氣工業會社代表取締役たる外前記會社の重役たり(東京市外大崎町上大崎二八電高輪五六〇六)

永田 秀次郎
從四位勳三等、貴族院議員、建國會會長、兵庫縣土族
妻 亮一 明四四、九生
君は兵庫縣土族永田實太郎の長男にして明治九年七月を以て生れ同四十年家督を相続す同三十二年判檢事登用試験に合格し兵庫縣本中學校長大分縣視學官大分石川熊本岩手各縣事務官内務書記官福岡縣事務官同内

浪速瓦斯(株)常務取締役、サクラ工業所(株)監査役、兵庫縣在籍
女 喜節子 明四一、一〇生
君は兵庫縣人光村重介の二男にして明治十六年四月を以て生れ先代義夫の養子となり同四十二年家督を相続す現時浪速瓦斯會社事務取締役にしてサクラ工業所の重役を兼ぬ(大阪、三島、千里村)

永田 鈴二
浪速瓦斯(株)常務取締役、サクラ工業所(株)監査役、兵庫縣在籍
女 喜節子 明四一、一〇生
君は兵庫縣人光村重介の二男にして明治十六年四月を以て生れ先代義夫の養子となり同四十二年家督を相続す現時浪速瓦斯會社事務取締役にしてサクラ工業所の重役を兼ぬ(大阪、三島、千里村)

永田 誠一
安田銀行(株)北海道地方監督兼小樽支店長、東京府土族
妻 哲三 明二七、二〇生、法學士、住友銀行通商支店長代理
男 道三 明三六、六生、長男哲三妻、北海道筒井編一(二女)
君は東京府土族永田元亨の長男にして明治元年六月を以て生れ同十四年家督を相続す同三十四年安田銀行に入り漸次果進して現に北海道地方監督兼小樽支店長たり家族は尙三男秀夫(大二三、二生)孫寛子(同一二、七生)養子哲三(長女)同眞(同一五、一〇生、同長男)あり(小樽、富岡町三ノ三電IOIO)

永田 善三郎
衆議院議員(靜岡縣選出)、滿洲不動產信託(株)監査役、關東新聞社長、農業、靜岡縣在籍
妻 ぬい 明三〇、七生、靜岡、大村繼太郎
男 博 大一一、一〇生、神奈川、富永タマ姉
君は靜岡縣人永田六三郎の長男にして明治十八年六月を以て生れ大正十一年家督を相続す明治四十四年早稻田大學專門部政治經濟科を卒業し農業を營み傍ら前記會社の重役にして大連漢字新聞關東新聞社長たり大正十三年以來靜岡縣より推されて衆議院議員に當選する事二回現に其任在り立憲民政黨に屬す家族は尙長女みどり(大八、六生)二女あづま(同一二、三三)生)恒(同六、一〇生、亡父六三郎三男あり(東京、牛込、市谷加賀町一ノ八電牛込五〇三三))

永田 善治
山二物産(株)代表取締役、映畫輸出貸付販賣業、愛知縣在籍
妻 慶應元、一〇生、愛知、前田八三郎
男 建司 大六、二生
君は靜岡縣人永田六三郎の長男にして明治十八年六月を以て生れ大正十一年家督を相続す明治四十四年早稻田大學專門部政治經濟科を卒業し農業を營み傍ら前記會社の重役にして大連漢字新聞關東新聞社長たり大正十三年以來靜岡縣より推されて衆議院議員に當選する事二回現に其任在り立憲民政黨に屬す家族は尙長女みどり(大八、六生)二女あづま(同一二、三三)生)恒(同六、一〇生、亡父六三郎三男あり(東京、牛込、市谷加賀町一ノ八電牛込五〇三三))

永田 兵三郎
正八位、橫濱市電氣局長
妻 成雄 明二一、二〇生、兵庫、廣瀬茂一長女
男 成雄 明四四、四生
君は貴族院議員永田秀次郎の弟にして明治十二年十一月を以て生れ大正五年分家して一家を創立す明治三十七年京都帝國大學工學科大學士を卒業し京都市技師に任じ土木課長兼都市計畫課長電氣局工務課長に歴任し兼に京都市電氣局長たりしが昭和三年橫濱市電氣局長に就任現に其職にあり家族は尙二男清(大四、七生)三女百合子(同七、三三)あり(横濱、中、瀬頭町市電氣局)

永田 正義
十五銀行(株)大阪支店長
妻 トキ 明一〇、一〇生、鹿兒島、士、今村猛姉
君は鹿兒島縣土族永田正武の長男にして明治四年三月を以て生れ同三十一年家督を相続す同三十四年東京帝



國大學法科大學政治科を卒業し浪速銀行に入り同行主事西支店長たりしが現に十五銀行大阪支店長たり家族は尙妹セキ(明一、三)あり弟正亮(同七、一)生)は鹿兒島縣土族島嶼右衛門の養子となれり(大阪、住吉、天王寺町八二二電報八八七)

永田 峯松

廣島縣多額納税者、皮革貿易商廣島縣土族  
妻 ヤス 慶應三、六生、廣島、菊時市太郎妹  
男 政夫 明二三、八生、長男政夫妻、大分、  
トメ 福田萬藏五女  
男 新之助 明二七、一、生  
男 シツノ 明二八、九生、二男新之助妻、廣島、藤澤正一長女  
男 光春 明三一、四生  
男 千榮 明三六、一〇生、四男光春妻、京都、山口熊次郎二女  
男 寛 明四〇、八生  
孫 米子 大元、八生、二男新之助長女  
孫 百合子 大二、一、生、長男政夫妻長女

永田 保之助

日東砂利(株)代表取締役、西武鐵道(株)取締役、武蔵製粉(株)監査役、京都府在籍  
妻 かね 明八、四生、群馬、繁山英作長女  
男 潤一 明四一、三、生  
女 和子 明三九、七、生  
女 君子 大二、二、生

永田 利一

秋田商店(株)専務取締役  
妻 みよ 安政四、九生、岐阜、後藤徳兵衛二女  
男 哲也 明二四、三、生、岐阜、高田慧一長女  
女 貞子 明四四、七、生

永田 録助

從七位勳六等、陸軍工兵中尉、名古屋米穀取引所取引員、愛知縣在籍  
妻 てる 明一二、二、生、愛知、落合峻造長女

永田 良吉

正八位、衆議院議員(鹿兒島縣選出)、農業、鹿兒島縣在籍  
妻 シヲ 安政四、一、生、鹿兒島、寺道平左衛門二女  
男 ツルマツ 明二〇、五、生、鹿兒島、朝倉岩登長女  
男 登良己 大四五、六、生  
女 シヅエ 明四五、六、生

永田 孝治

北海道多額納税者、土木建築請負業、北海道在籍  
妻 はる 明九、五、生、茨城、松崎喜代吉長女

永田 繁藏

宮崎縣多額納税者、農業、宮崎縣在籍  
妻 乃井 明二九、三、生、宮崎、成見友之助長女

永田 小太郎

川崎造船所、川崎汽船各(株)取締役、オリエンタルホテル(株)監査役、長崎縣土族  
妻 美 明一六、一、生、長崎、土、内山直巳長女  
男 一郎 明四二、五、生  
女 美代子 大二、五、生

君は京都市人永田伊助の長男にして慶應三年三月を以て生れ明治十七年家督を相続す現時日東砂利會社代表取締役たる外前記會社の重役たり家族は尙三女智重(大四、一)生、あり弟基之助(明三、六)生)は其妻トヨ(同五、六)生、福井、河原政吉妹)と共に其子及祖母と(文政一〇、五)生、京都、永田嘉七長女)父伊助(天保八、一)生)母ゆい(弘化元、九)生、京都、保野儀左衛門二女)を伴ひ分家せり(川越市)

永田 雄吉

東京府土族永田雄吉の長男にして明治元年五月を以て生れ同三十二年家督を相続す現に東京高等商業學校に學ぶ等自耳義安土府商業大學に入りリサンシエの稱號を得歸朝して東京高等商業學校講師となる同十八年日本郵船會社に入り會計課助役主計部長等の要職を経て大正十年同社副社長となり同十二年退職す長女喜彌子(明三〇、七)生、聖心女子學院出身)は文部省建築課長加藤太郎第三井物産會社社員に二女綾子(同三二、五)生)は法學士日本郵船會社社員に三女八代子(同三三、一)生)は法學士三菱商會社員泰登吉に嫁して六女靜子(大三、八)生)は故森村銀行頭取諸葛小彌太の養子となれり(東京市外入新井町新井宿二七八)

永田 貞平

從四位勳三等、判事、千葉地方裁判所長、佐賀縣在籍  
妻 三 明一三、一、生、福岡、齊藤文山長女  
男 邦彦 明三五、四、生、法政大學法律科出身  
男 邦三 明三九、六、生、東京帝國大學法學部出身  
女 道子 明四三、四、生、縣立千葉高等女學校出身、日本女子大學校家政科在學

永田 録助

君は長野縣人飯島義治の弟にして明治十一年一月を以て生れ後先代良介の養子となり同四十年家督を相続し前名和重を改む洋家具商を營み推されて神戸商工會議所議員神戸市西洋家具商組合長たり家族は尙孫良一郎(大四、一)生、養子善從長男(同四、二)生、同長女妹たね(明一二、三)生)あり(神戸、三宮町三ノ四二電報三二四〇)

永田 録助

從七位勳六等、陸軍工兵中尉、名古屋米穀取引所取引員、愛知縣在籍  
妻 てる 明一二、二、生、愛知、落合峻造長女

永田 良吉

正八位、衆議院議員(鹿兒島縣選出)、農業、鹿兒島縣在籍  
妻 シヲ 安政四、一、生、鹿兒島、寺道平左衛門二女  
男 ツルマツ 明二〇、五、生、鹿兒島、朝倉岩登長女  
男 登良己 大四五、六、生  
女 シヅエ 明四五、六、生

永田 孝治

北海道多額納税者、土木建築請負業、北海道在籍  
妻 はる 明九、五、生、茨城、松崎喜代吉長女

永田 繁藏

宮崎縣多額納税者、農業、宮崎縣在籍  
妻 乃井 明二九、三、生、宮崎、成見友之助長女

永田 小太郎

川崎造船所、川崎汽船各(株)取締役、オリエンタルホテル(株)監査役、長崎縣土族  
妻 美 明一六、一、生、長崎、土、内山直巳長女  
男 一郎 明四二、五、生  
女 美代子 大二、五、生















**遊 龜** 明二九、二生  
 女 トミ 明三五、三生  
 女 キミ 明三八、六生  
 孫 フミ 明四一、二生、長男要蔵長女

君は長崎縣人江川謙吉の二男にして慶應二年十一月を以て生れ先代要蔵の養子となり明治三十七年家督を相続す現時有家銀行取締役たり家族は尙孫眞一(大三、七生、長男要蔵長男)同美智子(同五、一一生、同三女)同美和(同二〇、七生、同四女)同憲三(同三、八生、同二男)同暢夫(同四、四生、二男清一)同島(昭二、九生、同二男)同昭三(同三、三生、長男要蔵三男)弟吉之助(明二八、八生)同妻美子(同三一、一一生)は長崎縣人江川三郎の死跡を相続し弟家治(同二六、三生)は同縣人江川清に七男正巳(同四〇、八生)は同縣人坂本昌二の養子となれり(長崎、南高来、東有家村)参照 坂本昌二、長池又三郎の項

**長池又三郎** 長崎縣多額納税者、有家銀行(株)頭取、口之津鐵道、島原鐵道各株取締役、長崎縣在籍

君は長崎縣人長池類治の長男にして明治二年十二月を以て生れ同三十八年家督を相続す現有家銀行頭取たる外前記諸會社の重役にして長崎縣多額納税者に列す家族は尙弟安藏(明五、一一生)同妻リウ(同七、三生、長崎、士、小林短度長女)及其三男三女妹ミエ(同二一、一一生)あり姉ツネ(元治元、一〇生)は長崎縣人長池庄三郎に姉美子(明三一、一一生、弟安藏長女)は同縣人長池吉之助に嫁せり(長崎、南高来、東有家村)参照 長池庄三郎、本多重一(滋品川、東有家村)の項

**長石 壽康** 帝國信託(株)專務取締役、中央殖産(株)取締役、大森商會(株)監査役、兵庫縣在籍

父 傳四郎 天保一、二、八生  
 妻 文子 明四三、一一生、兵庫、高田みつ長女

君は兵庫縣人長石傳四郎の長男にして明治六年九月を以て生れ同三十七年家督を相続す現時帝國信託會社專務取締役たる外前記會社の重役たり弟三郎(明一八、一一生)あり

八生)同紋藏(同二一、一一生)は各分家せり(神戸、加納町二ノ四四番合三〇一)

参照 高田利平の項

**長内 則昭** 衆議院議員(青森縣選出)、青森縣多額納税者、農業、青森縣在籍

妻 さき 明一、一一生、青森、井沼平兵衛長女

男 泰 昭 明三三、八生  
 女 とも 明四〇、二生、長男泰昭妻、青森、幸田健作妹

君は青森縣人長内泰民の長男にして明治二年三月を以て生れ後前名文藏を改め大正十年家督を相続す農業を營み現に青森縣多額納税者に列す家族は尙三男(明四三、七生)七男和夫(大元、九生)八男正(同三、五生)九男(同五、八生)孫昭子(同五、一一生、長男泰昭長女)あり五男(明四〇、八生)は分家し明文治(同二八、二生、亡弟文作長男)も亦同妻リナ(同三六、二生、青森、井沼兵助三女)及其三子を伴ひ分家し亡弟文作妻(同二五、二生、青森、中野傳吉四女)は青森縣人川中慶之助に嫁せり(青森、西津輕、稻垣村)

**長江伊三郎** 生絹及染服商

妻 フミ 明三三、一一生、京都、中谷角兵衛長女

君は京都府人先代伊三郎の長男にして明治二十九年七月を以て生れ大正十年家督を相続し前名嘉一郎を改め製名才造業を営み生絹並に染服商を營む家族は尙長女雅子(大五、一一生)弟常次郎(明三七、一〇生)妹廣子(同四〇、二生)弟孝三(同四三、二生)あり(京都、下京、新町通綾小路下ル電下一〇二九)

**長尾 戒三** 正五位勳四等、朝鮮總督府檢事、京城地方法院檢事、廣島縣士族

妻 辰千代 明元、一一生、廣島、奥山省三長女

君は京都府人先代戒三の長男にして明治二十九年七月を以て生れ大正十年家督を相続し前名嘉一郎を改め製名才造業を営み生絹並に染服商を營む家族は尙長女雅子(大五、一一生)弟常次郎(明三七、一〇生)妹廣子(同四〇、二生)弟孝三(同四三、二生)あり(京都、下京、新町通綾小路下ル電下一〇二九)

君は廣島縣士族長尾定明の二男にして明治六年八月を以て生れ大正十二年家督を相続す明治三十五年東京帝國大學法科大學法律學科を卒業し同三十七年檢事に任じ字宮地方同區各裁判所檢事を經て統監府檢事に任じ平壤公州各地方裁判所檢事に任じ更に朝鮮總督府檢事となり爾來京城地方裁判所檢事京城府法院檢事京城地方法院仁川支廳大邱地方法院釜山地方法院晉州支廳檢事咸興平壤各地方法院檢事正等に歷補し大正十四年現職京城地方法院檢事正に轉す家族は尙二男(明四三、一〇生)三男泰三(大元、八生)四男啓三(同四、四生)五男尙三(同七、六生)あり長女(明三九、二生)は東京府人中山竹藏二男川崎第百銀行員男に嫁し弟恒吉(同八、一一生)は其妻イク(同二九、一〇生、東京、士、山田鳴朝長女)及其子女を伴ひ分家せり(京城、京城地方法院官舎)

**長尾 薰** 日本棟瓦(株)專務取締役、大阪乾筒工業(株)取締役、大分縣士族

妻 トク 明一五、一一生、佐賀、古賀英妹

君は大分縣士族長尾忠勝の二男にして明治五年十一月を以て生れ現に前記會社の重役たり義に歐洲各國を漫遊す家族は尙弟眞(明二二、七生、亡兄主一郎養子、父忠勝三男、現戶主)同妻清子(同二六、三生、大分、横尾繁市妹)及其一女あり亡兄主一郎妻リキ(同四一、一〇生、岡山、士、中西義勝長女)は大分縣人帆足悅藏に嫁せり(大阪、此花、上福島北一ノ五二電士佐藤二五三)

**長尾 龜三郎** 熊本縣多額納税者、池田酒造(株)監査役、酒類商、熊本縣在籍

妻 須惠 明一六、一〇生、熊本、緒方次三長女

君は熊本縣人長尾虎熊の三男にして明治十七年八月を以て生れ同三十五年家督を相続す酒類商を營み池田酒造會社監査役にして縣下の多額納税者たり家族は尙二男(明三三、一〇生)あり

**長尾 佐助** 岡山縣多額納税者、岡山縣農産(株)取締役、山陽中央電氣(株)監査役、吹屋町長、岡山縣在籍

妻 峰子 明四〇、九生

君は岡山縣人長尾仙風の長男にして慶應二年八月を以て生れ明治十四年家督を相続す前記諸會社の重役にして岡山縣多額納税者に列し推されて吹屋町長たり家族は尙四男正(明四二、九生)あり長女ユキ(同二〇、六生)三男隆(同三一、四生)は各分家せり(岡山、川上、吹屋町)

**長尾 傳藏** 德島縣多額納税者、長尾商店、日本電氣製鐵各(株)取締役

妻 カメ 明七、二生、德島、長尾國太郎長女

君は德島縣人白川善平の二男にして慶應三年八月を以て生れ明治二十五年長尾カメの夫となり家督を相続す現時前記會社の重役にして德島縣多額納税者たり義に關西銀行監査役たりしことあり家族は尙孫善一郎(大七、一一生、長男好明長男)同嘉平(同九、八生、同二男)同良雄(同二二、七生、同三男)同光子(同二四、三生、同長女)同久子(昭二、七生、同二女)あり長女タマエ(明二九、一一生)は同夫新九郎(同二四、四生)德島、田所權六(二男)と共に二女(同三二、四生)は同夫義光(同二八、一〇生、德島、田所權六三男)及其二男一女と共に各分家し二男順次(同三四、三生)も亦分家し三男清助(同四〇、一一生)は德島縣人吉田定一の養子となれり(德島市西新町)

**長尾 藤三** 大阪曹達(株)取締役、大阪製業(株)監査役、大阪府在籍

妻 フサ 明八、五生、大阪、寺西小十郎姉

君は大阪府人先代藤三の長男にして明治元年七月を以て生れ同三十一年家督を相続す現時大阪曹達大阪製業各會社の重役にして曾て大阪國文社々長大體閣監査役たり弟宗次郎(明一〇、一一生)は大阪府人中山新七に同修三(同一九、九生)は同府人榎村治郎兵衛に各養子となり姉リウ(同二七、五生)は同府人井上富久藏に嫁せり(大阪、東、谷町二ノ一五電東一三九)

**長尾 德一** 材木商

妻 キク 明二五、一一生、大阪、中谷藤三長女

君は大阪府人長尾岩七の長男にして明治十八年六月を以て生れ同四十二年家督を相続す材木商を營む家族は尙長女吉野(大八、四生)二男隆文(同二一、三生)二女光野(同四、四生)三男直雄(昭二、三生)あり繼母みか(明四、八生、三重、島田喜八郎長女)は三重縣人島田正一方(入家せり(大阪、西、立賣堀南通五ノ七電新町二二三七)

**長尾 德藏** 藥種商

妻 ミチ 明一〇、五生、大阪、中澤松兵衛三女

君は大阪府人先代德藏の長男にして明治八年五月を以て生れ同二十五年家督を相続し製名才藥種商を營む家族は尙三男三郎(明四三、八生)六男正五郎(大元、一一生)孫美雄(同三三、一一生、長男直雄長男)あり長女廣子(明三〇、一一生)は大阪府人橋本寛二に三女ゆき(同三九、七生)は京都府人山村太七三男明三郎に四女夏子(同四一、七生)は石川縣人出口長男明三郎に嫁し二女と上同三五、八生)は分家し五男平太郎(大元、一一生)は大阪府人谷始太郎の養子となれり(大阪、西成、南通一ノ二五電天下茶屋四七)

**長尾 廣太郎** 岡山縣多額納税者、旭東製業(株)社長、朝鮮土地(株)專務取締役、東備元賣捌、古金製造各(株)取締役、製鹽業、岡山縣在籍

妻 國 惠 明二三、二生、岡山、淺野嘉惣治長女

君は岡山縣多額納税者、旭東製業(株)社長、朝鮮土地(株)專務取締役、東備元賣捌、古金製造各(株)取締役、製鹽業、岡山縣在籍



君は岡山縣人長尾正路の長男にして明治十六年四月を以て生れ大正十四年家督を相続す...

長尾 正元

從五位勳五等、臺灣總督府交通部技師、高知縣出雲所長

妻 和泉 高知縣立高等女學校出身

男 正興 大七、四生

長尾 元太郎

勳四等、貴族院議員、岐阜縣多額納税者、農林省銀行、岐阜縣銀行、野々村銀行、岐阜不動產(株)取締役、岐阜縣在籍

母 ひさ 安政二、七生、愛知、藤本良三女

妻 信子 三輪嘉兵衛二女

男 榮一 明三九、八生、長男榮一妻愛知、出身

君は岐阜縣人長尾四郎右衛門の長男にして明治七年十一月を以て生れ大正五年家督を相続す...

君は茨城縣人海老原平作の二男にして明治九年九月を以て生れ同三十一年先代第一の養子となり...

長尾 美知

正五位勳六等、醫學博士、長尾病院院長、千葉縣在籍

妻 エン 安政六、一、二生、香川、士、大河

妻 ウタ 明一五、八生、新潟、士、今泉正友

妻 キイ 元治元、九生、新潟、士、大窪綱三三女

妻 孝子 明四一、一〇生、長男乾妻、雙葉

妻 精 明三六、二生、法學士

長尾 良吉

鐘淵紡績(株)副社長、兵庫縣在籍

君は兵庫縣人長尾彦兵衛の長男にして明治三十年十月を以て生れ同三十七年家督を相続す...

君は神奈川縣人長尾泰次郎の男にして明治十一年一月を以て生れ同三十五年分家して一家を創立す...

長尾 林之助

天野時計寶飾品(株)取締役兼支配人、東京府在籍

妻 倫 明三五、八生

妻 千恵子 明四五、七生

君は大阪府人先代卯兵衛の二男にして明治十七年十二月を以て生れ同三十七年家督を相続す...

長岡 卯兵衛

大阪府在籍

妻 忠 明四一、三三

妻 芳子 明二、八生、大阪、清水久助妹

妻 かね 明三八、三三、長男謙一妻京都、出身

妻 護 明三〇、五五

長岡 三郎

兩銀行(株)取締役、兩銀行(株)取締役、大分縣在籍

君は大分縣人江上廣の弟にして元治元年四月を以て生れ後先代小六の養子となり...

妻 新太郎 明四〇、二生、養父新太郎長女

妻 トキ 明二六、七生、養父新太郎長女

妻 さと 明二六、七生、養父新太郎長女

妻 陽太郎 明四一、四生

妻 八千代 明四一、四生

妻 喜代 明二、八生

君は山形縣人内海秀義の三男にして明治二十年五月を以て生れ長岡新太郎の養子となる...

妻 美 明三三、九生、子爵大島陸太郎妹

君は山口縣士族長岡義之の長男にして明治十年一月を以て生れ同三十三年東京帝國大學法科大學博士を卒業す...

妻 三子 明四三、一、二生

君は東京府人増井祐造の二男にして明治五年十月を以て生れ後先代鶴三郎の養子となり...

妻 義雄 明三三、四、七生

君は東京府人増井祐造の二男にして明治五年十月を以て生れ後先代鶴三郎の養子となり...

長岡 巖洲

從四位勳四等、検事、宇和島區裁判所検事、島根縣在籍

君は島根縣人田中吉太郎の長男にして明治元年六月を以て生れ後先代左司馬の養子となり...

妻 タニ 養子

君は福岡縣人藤野の二男にして明治十一年九月を以て生れ同三十四年先代藤野の養子となり...

妻 ケン 安政六、七生、長岡春治長女

妻 エイ 明一〇、四生、養父嘉七長女

妻 光 明三三、八生

妻 節子 明四一、一、二生

妻 節子 明四一、一、二生

君は福岡縣人藤野の二男にして明治十一年九月を以て生れ同三十四年先代藤野の養子となり...

妻 節子 明四一、一、二生

君は福岡縣人藤野の二男にして明治十一年九月を以て生れ同三十四年先代藤野の養子となり...



長岡半太郎

正三位勳二等、理學博士、帝國學士院會員、東京帝國大學名譽教授、理化學研究所主任研究員、長岡縣士族

- 妻 登代 明四、一、生、東京、平川かね妹
男 治 明二六、一、生、法學士
男 宏子 明三四、七、生、長男治男妻、佐賀、田中秀夫四女
男 正男 明三〇、七、生
男 菊江 明三八、九、生、二男正男妻、長崎、楠本長三郎長女
男 順吉 明三七、二、生
男 鐵吉 明四〇、一、生

君は長崎縣士族長岡治三郎の長男にして慶應元年六月を以て生れ明治二十四年家督を相続す同二十年帝國大學理科大學物理科を卒業し大學院に入り尋で同理科大學教授に任ぜらる同二十六年數理物理學研究の爲め獨逸に留學し歸朝後再び同大學教授に任じ爾來勤職し現時同大學名譽教授にして又理化學研究所に聘せられ其主任研究員たり兼に理學博士の學位を授けられ明治三十九年學士院會員に擧げられ又歐米各國に遊歴せらる事數回本邦物理學界の權威として著はる家族は尙八男振吉(大三、五生)孫百合子(同二、六生)長男治男(長女)同明男(同四、八生)同長男(同三、一〇生)二生、二男正男(長女)あり長女フミ(同三、一〇生)は愛知縣人岡谷辰治に嫁し五男達吉(同三、一〇生)は東京府士族藤根千代の養子となり(東京、下谷、上野櫻木町五一電下谷五三五四)
參照 楠本長三郎の項

長岡護孝

從四位、子爵、陸軍騎兵中尉、細川侯爵家分家

- 妻 英子 明三五、一、生、侯爵細川護立妹
養母 知久子 萬延元、一〇生、伯爵大村純英大
叔母

長岡隆一郎

從四位勳三等、社會局長官、東京府在籍

- 妻 卯江 明二四、八、生、伯爵平田榮二妹
男 道男 明四五、六、生
女 神奈 明四五、六、生

君は東京府人長岡安平の長男にして明治十七年一月を以て生れ大正十四年家督を相続す明治四十一年東京帝國大學法科大學法科を卒業し在學中文官高等試験に合格同四十二年佐賀縣事務官に任ぜられ次で神奈川和歌山各縣事務官和歌山縣警察部長内務書記官兼同省監察官兼同參事官都市計劃局長土局局長に歴任大正十三年社會局長官に任ぜられ今日に至る同七年及昭和二年歐米に出張す家族は尙二女和歌(大三、二生)三女聖(同九、一、生)四女光(同二、七、生)五女隆(同二、五、三、生)弟義雄(明二七、六、生)あり(東京、芝、白金三光町四二九電高輪三四五五)
參照 伯爵平田榮二、伊東祐兵、伊東忠太の項

長久伊勢吉

合同油脂グリセリン(株)專務取締、帝國染料製造(株)監査役、廣島縣在籍

- 妻 イト 明一七、八、生、廣島、長久長次長女
男 忠 明三四、一、二、生

長久保得平

正七位勳六等、大塚酒造、信濃日小新聞社(株)支店長、福島縣在籍

- 妻 俊夫 明三、一、生、福島、土、武田文雄姉
男 初 明二九、三、生、工學士、復興局技師、橋梁課勤務
男 秀夫 明三四、六、生、長男俊夫妻、東京、淺井辰三郎長女
男 信夫 明三三、八、生、豫備陸軍少尉、早稻田大學高等師範部在學
男 好子 明三八、一〇、生、二男秀夫妻、新湯、萩野文一郎姉
女 信子 明三五、七、生、工學士、東京市土木局橋梁課勤務
女 好子 明四三、一〇、生

君は福島縣人長久保徳兵衛の長男にして慶應三年四月を以て生れ同三十九年家督を相続す夙に長野縣稅務監督局直稅部長上田舞鶴各稅務署長等に歴任し退官後實業界に入り六十三銀行副支店長たり傍ら前記各會社の重役を兼ぬ家族は尙孫若生子(大、一、〇、生)長男俊夫(長女)同後文子(明二、一、生)同二女(同二、二、生)二男秀夫(長女)あり長女セツ(明二四、一〇、生)は長野縣人土屋元治(男)朝重に二女マヨ(同二六、八、生)は同縣人山澤廣助(男)朝重に二女直子(同三、一、八、生)は京府人上倉喜太郎(男)長男計之助に四女富美子(同四〇、一、生)は同縣人鈴木榮藏(男)長男一郎に妹チホ(同二、九、生)は福島縣人助川丑松に嫁し弟末太(同二、一、八、生)は分家し六女幸子(大、八、一、生)は長野縣人齊藤ていの養子となり(長野、北佐久、小諸町)
參照 淺井辰三郎の項

長久保米太郎

東京府在籍

- 妻 幸子 明四四、四、生、亡妻フサ母、千葉、井上兵四郎長女
養母 きわ 明三三、三、生、鹿兒島、西郷菊次郎二女

長倉信一

靜岡縣多額納稅者、東海石炭、關東產各(株)取締役、農業、靜岡縣在籍

- 妻 信 明三一、二、生、靜岡、北村五郎兵衛三女
男 信彦 大一四、一、生

長竿繁

茨城縣多額納稅者、常磐銀行、龍ヶ崎鐵道各(株)取締役、茨城縣在籍

- 妻 繁 明一三、九、生、長竿誠一郎長女
男 忠一 明三四、二、生、東京農業大學出身
男 竹子 明三五、九、生、長男忠一妻、茨城、酒井爲太郎二女、土浦高等女學校出身
男 勇 明三六、二、生、福島高等商業學校出身
男 操 明三八、一、二、生
女 明四二、一、生、青山女學院出身

長坂清太郎

大連汽船(株)取締役、愛媛縣在籍

- 妻 千代 明二六、五、生、愛媛、土、櫻井澁島三女
男 孝一 明四四、八、生

長崎英造

東京商工會議所議員、合同油脂グリセリン(株)社長、日本火藥製造、福島炭礦、大日本鹽業、大日本セロイド式、大源鹽業、東亞烟草、クロイド式、旭石油、火藥工業各(株)取締役、旭石油、火藥工業各(株)監査役、鈴木(名)監事、東京府在籍

- 妻 正造 明一六、一、生、公債桂廣太郎叔母
男 正造 大二、一、生

長崎榮十郎

從五位勳五等、商工書記官兼製鐵所參事農林書記官、商務局貿易課長、鹿兒島縣士族

- 妻 治 明三三、三、生、鹿兒島、西郷菊次郎二女
男 洋 大一四、七、生

長崎佐太郎

原田汽船(株)取締役、福岡縣在籍

- 妻 景奇 明二四、四、生、現戶主
男 景奇 明二四、四、生、現戶主
男 景奇 明二四、四、生、現戶主
男 景奇 明二四、四、生、現戶主

ナ之部 長(倉、竿、坂、崎)



結婚 明三、二生、長男守一妻、東京、伊藤常夫

君は鹿島縣士族長崎作左衛門の六男にして嘉永三年十一月を以て生れ安政六年分れて一家を創立す...

長崎仙太郎 從五位、大阪醫科大學教授、大阪府在籍

長崎忠右衛門 山忠、砂糖商、愛知縣在籍

長澤慶次 姫路水力電氣株、監査役、兵庫縣在籍

長澤四郎 醫師、兵庫縣在籍

長澤寸美遠 從五位勳四等、陸軍技師、陸軍造兵廠東京工廠員、東京府在籍

長澤傳六 正五位勳四等、醫學博士、東京市立廣尾病院院長、福島縣士族

長澤直太郎 正四位勳二等、豫備海軍中將、神奈川縣士族

長澤柳作 從五位、農林省統計官兼商工書記官、官房統計課勤務

長澤忠作 長野縣多額納稅者、吳服商

男 鉦一 大九、三生

君は愛知縣人羽根田萬次郎の二男にして明治二十六年十一月を以て生れ大正九年先代しんの入夫となり...

長崎俊雄 三菱電機(株)名古屋製作所長、岡山縣士族

長澤英太郎 京都府在籍

長澤音次郎 砂糖商、兵庫縣在籍

長澤長造 富山縣多額納稅者、農業、富山縣在籍

長澤長治 富山縣在籍

長澤長治 富山縣在籍

長澤長治 富山縣在籍

長澤長治 富山縣在籍

長澤長治 富山縣在籍

母 すす 明一七、四生、兵庫、長澤松藏二女

君は兵庫縣人先代音次郎の長男にして明治三十八年八月を以て生れ大正十五年家督を相続し...

長澤一夫 三井鐵山(株)調査部長、東京府在籍

長澤勝太郎 福岡縣多額納稅者、革類商、福岡縣在籍

長澤喜兵衛 江島印房、印章業、東京府在籍

長澤直太郎 正四位勳二等、豫備海軍中將、神奈川縣士族

長澤直太郎 正四位勳二等、豫備海軍中將、神奈川縣士族

長澤直太郎 正四位勳二等、豫備海軍中將、神奈川縣士族

長澤直太郎 正四位勳二等、豫備海軍中將、神奈川縣士族

長澤直太郎 正四位勳二等、豫備海軍中將、神奈川縣士族

長澤直太郎 正四位勳二等、豫備海軍中將、神奈川縣士族











馬屋と稱す。牛込區會議員同區營業稅調査委員たり。觀世流曲及陶宮術に興味を有す。家族は尙二男萬次郎(明四五、四生)あり長女トク(同三一、五生)は分家し二女タマ(同三七、一〇生)は東京府人鹿島榮一弟宗二郎に嫁せり(東京、牛込、有町五電牛込三六四)

長戸 備

從七位勳六等、退役陸軍二等主計。名古屋銀行(株)監査役。安政二、一〇生、愛知、土、永田龜三、二女

君は愛知縣土族長戸善永の三男にして明治十一年十月を以て生れ大正六年家督を相續す。名古屋商業學校卒業後名古屋銀行に入り主文書課長を経て現時同行監査役たり。諸曲の趣味深し。家族は尙四女倫(大三、四生)二男紀次郎(同九、二生)三男元三郎(生年月同上)四男協四郎(同二〇、一〇生)五女幾(同二五、九生)あり妹末(明三〇、九生)は愛知縣人服部治一に嫁せり(名古屋、中、大坂町三ノ四電東七〇六四)

長友比佐吉

北門銀行(株)頭取。宮崎縣在籍。明六、八生、長野、土、坂本俊健

長友政太郎

宮崎縣多額納稅者、酒造業。宮崎縣在籍。安政元、六生、養祖父松次長女

君は宮崎縣人萩原政助の甥にして明治十九年十二月を以て生れ後先代善藏の養子となり大正七年家督を相續す。酒造業を營み宮崎縣多額納稅者たり(宮崎、東諸縣、種佐村)

長沼 鸞藏

宮崎縣多額納稅者、農産。宮崎縣在籍。明二九、七生、廣島、土、長沼シヅメ叔父

君は廣島縣土族長沼鸞藏の二男にして弘化元年四月を以て生れ後分れて一家を創立す。現時廣島株式取引所理事長宮島ホテル社長たる外前記各會社の重役たり。廣島商業會議所特別議員に擧げらる。家族は尙孫博(大一二、四生)、養子鶴治長男(同三三、三三)、同長女あり(同三三、三三)、三女亡(養子利忠長女)は廣島縣人樹屋五郎に嫁せり(同四〇、一〇生)同二女(は分家せり(廣島市中町二ノ一))

長沼 潤守

秋田縣多額納稅者、農産。秋田縣在籍。文久三、一〇生、秋田、吉澤助左衛門長女

長沼恒次郎

東京商會(株)常務取締役、博進社。東京府在籍。明一三、四生、岐阜、野田階造長女

養子直司。明二三、一二生、養子愛夫、岐阜。伊藤竹治郎弟。明三七、三三、養子直司妻、岐阜。長沼伊三郎姪。長沼伊三郎

長沼 三郎

長井物産、長井産業各(株)社長。山形縣在籍。明五、八生、川村利重三女

君は山形縣人長沼永安の二男にして明治元年十二月を以て生れ同十四年家督を相續す。現時長井物産長井産業各會社社長たり。長女キヨ(明二六、八生)は同夫繁太郎(同二八、四生)に嫁せり。小松龜松(二男)及其一子と共に分家し二女てる(同三三、一〇生)は山形縣人渡邊民吉に嫁せり(山形、西置賜、長井町)

長野 宇平治

新潟縣在籍。新學博士、建築師。明一三、六生、石川、竹橋尙文三女

長野 榮三

下野銀行(株)監査役。栃木縣在籍。明一〇、三三、大分、佐藤和平治妹

妻 しゆん 明一、一〇生、茨城、若林義勝二女

長野 音治

大分縣(株)社長、二十三銀行、大分縣在籍。日支肥料、長野商店各(株)取締役、大分縣在籍。安政四、六生、現戸主

長野 嘉平

福岡市會議員、博商運輸、博多座各(株)社長、日本館(株)監査役、福岡縣在籍。弘化二、五生、辻忠吉五女

君は大分縣人河野仁三郎の三男にして明治十六年八月を以て生れ同三十八年長野善五郎の養子となる。同年東京高等商業學校を卒業し現時大分製紙會社社長たる外前記銀行會社の重役たり。家族は尙長女ヨシ(大四、九生)二女民子(同六、一〇生)三女安子(同二二、三三)四女治子(同二四、一〇生)あり(大分市大分七一)

長野 賢吉

鹿兒島縣多額納稅者、農産。鹿兒島縣在籍。明一三、一二生、鹿兒島、土、肝付兼乘姉

長野 七右衛門

森永製菓(株)常務取締役。佐賀縣在籍。明一〇、三三、大分、佐藤和平治妹

君は佐賀縣人長野貞太郎の弟にして明治九年八月を以て生れ大正十二年分家して一家を創立す。現時森永製菓販賣會社常務取締役たり(東京市外品川町北品川宿一本木三八八)

長野 準四郎

正四位勳二等功四級、豫備陸軍中將。京都府在籍。明一三、八生、滋賀、加藤嘉一郎

長野 眞一

熊本縣多額納稅者、農産。熊本縣在籍。安政四、一〇生

君は熊本縣土族長野勉の長男にして明治十六年十二月を以て生れ大正六年家督を相續す。農産を營み熊本縣多額納稅者たり。家族は尙長女佐美(大四、八生)二女輝香(同六、九生)四男健吉(同八、一〇生)五男鐵二(同二二、三三)四女康代(同二四、一〇生)七男剛介(昭二、五生)あり妹サチ(明二〇、三三)は熊本縣人守住有己に同節(同三三、一二生)は同縣人長野一男に嫁せり(熊本、阿蘇、久木野村)

長野 善五郎

二十三銀行(株)頭取、南洋護謨工業、富士瓦斯、南亞公司、長野商店各(株)取締役、大分縣在籍。明一〇、三三、大分、佐藤和平治妹















**妻** 明一九、四生、男爵多龍三郎姉  
**男** 喜久磨 大五、一〇生  
**女** 初子 明四三、一二生  
**女** 愛子 大二、五生

當家は御守府將軍利七世の孫後藤章明の後なり章明前九年役源頼義父子と共に奮戦し功により肥前國杵崎庄地頭に補せられ元永年中章明の男資茂始めて武雄に來る氏明の時弘安四年博多に赴き元軍と戦ひ功を立て光明の時建武の中興に當り九州探題北條英時を討ち建武元年後醍醐天皇の綸旨を賜はり實地を與へらるる文中元年今川了俊の弟仲秋等肥前に於ける唯一の南朝方たる武雄城を奉じ能く苦節を全ふせり後ち茂綱の時鍋島直茂の養妹を室とし鍋島と改む武雄二萬千六百石を食み先々代茂昌に至る茂昌維新の際勅命を蒙り手兵を率ゐる出羽庄内に出張して戦功あり明治三十年特旨を以て華族に列し男爵を授けられ長男英昌後を継ぐ君は英昌の長男にして明治十七年二月を以て生れ昭和二年八月家督を相続し同年九月豊後府に於ける夙に東京帝國大學法科大學に學び刀劍及陶磁器の研究を趣味とす家族は尙三女美代子(大一一、四生)弟佐吉(明四〇、二生)叔母マサ(同九、四生)叔父精次郎(慶應元、一〇生)及其子女あり妹清子(明二五、五生)は東京府人山本甚五右衛門弟甚之助に同マツ子(同二七、一五)は男爵古市公成二男啓次に同モト子(同二九、六生)は子爵大島久直六男佐に嫁せり(佐賀、杵島、武雄町)

參照 子爵大島久直、男爵押小路昌信、男爵多龍三郎、男爵古市公成、海軍少將太田宗綱、太田宗武、太田宗太郎、太田宗三郎、男爵古市公成、海軍少將太田宗綱、太田宗武、太田宗太郎、太田宗三郎

**鍋島 直和** 正四位勳四等、子爵、陸軍歩兵少佐、舊肥前運池藩

**妻** 益子 明三一、二生、伯爵松平直亮二女  
**男** 直方 明三九、九生  
**女** 絢子 明四一、七生、女子學習院出身  
**女** 花子 明四四、八生  
**女** 峯子 大二、五生

當家は鍋島信濃守勝茂の五男甲斐守直澄の後なり直澄宗家より五萬二千石を分與され肥前國運池に居城す夫より八世を経て先代直和に至る直和實は本家直正の八男にして入つて當家を継ぎ明治十七年子爵を授けらる夙に英國に留學し議會開設以來每次貴族院議員に當選す君は其長男にして侯爵鍋島直映の從弟伯爵堀田正恒の兄子爵松平乘文の甥なり明治十七年八月を以て生れ同四十二年襲爵す夙に軍籍に入り果進して大正十二年陸軍歩兵少佐に陞り軍務に關し入るる家族は尙二女直誠(大一一、一〇生)五女重子(同二二、四生)六女直子(明二二、一〇生)あり弟直射(明二八、四生)は伯爵室長通の養子となり妹文子(同三二、八生)學習院女學部出身は伯爵阿部正直先代正恒に同親子(明元、五生)は子爵大久保教尚先代教正に同孝子(同二、四生)は子爵本莊宗久先代宗義に同常子(同三、五生)は伯爵井伊直

**鍋島 直定** 男爵、鍋島侯爵家分家

當家は先代貞次郎の立つる所なり貞次郎は侯爵鍋島直映の弟にして夙に海軍に入り海軍大尉に陞り大正九年分れて一家を創立し特旨を以て華族に列し男爵を授けらる君實は子爵鍋島直和の二男にして大正四年十二月を以て生れ同九年伯爵貞次郎の養子となり同年家督を相続し襲爵仰付けらる(佐賀、藤津、鹿島町鍋島子爵邸)

參照 侯爵鍋島直映、子爵鍋島直和の項

**鍋島 直繩** 從四位、子爵、貴族院議員、佐賀縣多額納稅者、佐賀藩

**妻** 萬子 天保一、四、五生、侯爵鍋島直映叔母  
**男** 政子 明二八、一二生、子爵毛利元秀妹  
**男** 直紹 明四五、五生

當家は鍋島加賀守直茂の次男和泉守忠茂の後なり忠茂父の封二萬石を分與せられ肥前國鹿島藩の藩主となる後十一世を経て先代直繩に至る直繩學を好み夙に鑄造館を設けて文武の道を獎勵し維新の際藩主鍋島圓叟を輔け國事に奔走して功あり明治五年米國に渡航し制度文物を視察して歸朝後待從沖繩縣令元老院議員等に歴任し同十七年子爵を授けらる後貴族院議員に當選數回實は侯爵鍋島直映の弟にして明治二十二年五月を以て生れ直繩の養子となり大正四年家督を相続し襲爵仰付けらる先是明治四十四年東京外國語學校獨語科を卒業し獨逸サツン國タラント大學に三ヶ年間遊學終りて歐米各國を視察し現時佐賀百六銀行頭取にして佐賀縣多額納稅者たり大正十四年貴族院議員に選ばるる家族は尙三男直美(大六、七生)直直(同七、一〇生)長女松子(同二二、五生)五男直立(同二五、八生)あり二男

**鍋島 直庸** 從四位、子爵、舊肥前小城藩

**妻** 貴子 明四、九生、伯爵南部利淳叔母  
**男** 清子 明一七、一二生、侯爵松平康莊妹  
**男** 直清 明三九、三三、從五位  
**男** 直明 明四〇、九生  
**女** 京子 大二、一〇生

當家は鍋島信濃守勝茂の二男紀伊守元茂の後なり元茂宗家より七萬四千石を分與せられ肥前國小川の城主となる夫より十世を経て先代直庸に至る直庸實は本家直正の二男にして入つて當家を継ぎ明治十七年子爵を授けらる夙に英國に留學し後歸朝後外務省御用掛となり後貴族院議員に擧げらるること數回に及ぶ君は其長男にして侯爵鍋島直映の從弟なり明治十二年四月を以て生れ大正十四年家督を相続し襲爵仰付けらる學習院出身にして主筆官たり家族は尙二女福子(大三、一〇生)あり妹好子(明二九、八生)學習院女學部出身は内山氏を同じ一家を創立し同慶子(同三三、五生)學習院女學部出身は子爵本多忠昭に同親子(同三五、八生)出身校同上)は男爵毛利元良に嫁し弟直顯(同三四、一〇生)は同妻治代(同四〇、一〇生)東京、高木正秋長女)と共に分家せり(東京、牛込、市谷砂土原町三一、一八電牛込一五九九)

參照 侯爵鍋島直映、侯爵松平康莊、伯爵南部利淳、子爵本多忠昭、男爵毛利元良、公卿三條公輝、侯爵德川義親、子爵加藤泰通、子爵竹屋泰光、子爵戸田康保、子爵南部利克、子爵南部信孝、子爵藤波茂時、子爵松平慶民、子爵毛利元秀、男爵鍋島津久厚、男爵德川喜壽、男爵三井八郎右衛門の項

**鍋島 直映** 正三位、侯爵、貴族院議員、東京府多額納稅者、舊佐賀藩

**妻** 榮子 明四一、一〇生、伯爵堀田長成妹  
**男** 直泰 明四一、一〇生

當家は左大臣藤原魚名の末葉太宰少貳教訓の三男直の後なり其孫茂尚に至り鍋島と稱す茂尚の孫清房初めて龍造寺氏に仕へ其子加賀守直茂に至り主筆信を輔けて創業の功多く其死後遂に龍造寺氏に代つて佐賀三十五萬石を領す其子信濃守勝茂より傳して正位直正に至る直正閑聖と號し公武の間に周旋し大政奉還の爲に盡す所多からず先代一位勳一等直大は其二男にして夙に英國に留學し歸朝後外務省御用掛御駐劄特命全權公使元老院議員式部長官貴族院議員官中顧問官等に歴任し幾多公共事業に盡す明治十七年侯爵を授けらる君は其長男にして子爵鍋島直和の從兄なり明治五年七月を以て生れ大正十年家督を相続し襲爵仰付けらる學習院に學び後英國に留學し歸朝後貴族院議員たり家族は尙養子邦子(大七、四生)男爵鍋島直定養妹あり妹伊都子(明一五、二生)は梨本宮守正王の妃となりせられ姉御子(同三三、六生)は侯爵前田利爲先代利嗣に妹信子(同二九、七生)は陸軍大佐松平恒雄に同親子(同二二、七生)は伯爵松平頼善弟許に叔母篤子(慶應三、七生)は伯爵阿部正直先代正恒に嫁し弟直繩(明二二、五生)は故子爵鍋島直彬に同信孝(同二二、九生)は故子爵南部信方に各養子となり其家督を相続し叔父直虎(安政三、一〇生)は故子爵鍋島直亮の後を継ぎ其子直庸當主にして弟貞次郎(同二〇、四生)は分家して男爵を授けられ養子直定當主たり(東京市外港谷町松濤二六電青山三〇九)

參照 梨本宮家、侯爵堀田長成、侯爵前田利爲、伯爵阿部正直、伯爵廣橋實光、伯爵松平頼善、伯爵鍋島保惠、子爵鍋島直彬、子爵鍋島直庸、子爵鍋島直和、男爵鍋島直定、子爵南部信孝、松平恒雄、侯爵松平康莊、子爵堀田長成、男爵鍋島直映、佐賀百六銀行、戸上電機製作所各

**鍋島 直三郎** 高知縣多額納稅者、農業

**妻** 繁尾 明一〇、五生、高知、士、錦織重長女  
**男** 俊男 明三三、七生  
**男** 美鶴子 村上清二女

君は高知縣人鍋島金三郎の長男にして明治三年五月を以て生れ同三十一年家督を相続し後改名して前名芳馬を改む農を業として現に縣下の多額納稅者たり家族は尙孫和夫(大一一、四生)長男俊男(同二二、三三)同二女あり(東京、神田、今川小路一ノ六電九段一二一)

**鍋島 彦七郎** 石村商

**妻** 津屋 明二六、四生  
**男** 盛太郎 明三五、七生、長男盛太郎妻、東京、小林新長女  
**男** 加壽 明三五、七生、長男盛太郎妻、東京、小林新長女

君は鹿兒島縣人吉田吉兵衛の弟にして文夕三年六月を以て生れ後ち鍋島由兵衛の養子となり明治二十六年家督を相続す石村商を營み知らるる家族は尙孫昭子(大一一、二生)長男盛太郎(同二二、三三)同二女あり(東京、神田、今川小路一ノ六電九段一二一)

**鍋島 陸郎** 從四位勳六等、男爵、陸軍砲兵大尉、式部官兼主筆官、東京府華族

**妻** 定子 明二九、五生、愛知、神野金之助妹  
**男** 幹一郎 大四、三三

參照 安部磯雄の項











士族江口又一郎弟成護に嫁せり(大分、速見、日出町)
※印 宇美常吉の項

成毛英之助

わかやなぎ、福イラス本舗、薬品製造業、東京府在籍
妻 明八、三三、新井兼次郎女
男 源次郎 明三四、一〇生
女 安子 明四〇、六生、二男源次郎妻、東

成毛金次郎

東洋商會(資)代表社員、貿易商
妻 明九、一〇生、北海道、西村續妹
男 實 明三三、三三、長男實妻、高知、

成毛基雄

正五位勳四等、内閣拓殖局長
妻 明二六、六生、宮崎、長坂研介長
男 基彦 大一、二生

成澤玄吉

山形縣多額納税者、農業
妻 明二二、三三、山形、今野七兵衛孫
男 威 明四二、一〇生、日向鐵次

成澤伍一郎

上田商工會議所會頭、中信銀行、
妻 明二一、一〇生、養父伍一郎長女
男 省 明二二、四生

成澤忠兵衛

長野縣多額納税者、中信銀行、上
妻 明一七、四生、長野、井出多六姉
男 菊 明四三、五生

成島治平

甲府市長
妻 明三、九生、東京、山内市兵衛二女

成瀨初太郎

明治時計製造(資)業務執行社員
妻 明三〇、三三、岐阜、高木武郎姉
男 春 明三七、九生、第一高等女學校出身

成瀨正忠

白山水力社長
妻 明二二、八生、故貴族院議員平井
男 宗 明二六、一〇生

成瀨治兵衛

染物業
妻 明二二、七生、愛知、遠山芳藏姉
男 一雄 明四四、七生

科大學農學乙科を卒業し次で東京専門學校英語政治科
及和佛法律學校法科を卒業し同三十八年文官高等

成子善太郎

尾崎銀行(株)頭取
妻 明一五、四生、長女トキ夫、大阪、
男 善七 明一九、九生、養子善七妻

成瀨清治

横濱正金銀行(株)頭取信用係長
妻 明一九、二生、香川、長谷川輔五
男 治 明二五、二生

成瀨正雄

正三位、子爵、同券合々長
妻 明一七、八生、子爵太田養業妹
男 倉 明三九、二生、從五位

成瀨正雄

正三位、子爵、同券合々長
妻 明一七、八生、子爵太田養業妹
男 倉 明三九、二生、從五位

成瀨正雄

正三位、子爵、同券合々長
妻 明一七、八生、子爵太田養業妹
男 倉 明三九、二生、從五位

成瀨正雄

正三位、子爵、同券合々長
妻 明一七、八生、子爵太田養業妹
男 倉 明三九、二生、從五位

成瀨正雄

正三位、子爵、同券合々長
妻 明一七、八生、子爵太田養業妹
男 倉 明三九、二生、從五位

成瀨正雄

正三位、子爵、同券合々長
妻 明一七、八生、子爵太田養業妹
男 倉 明三九、二生、從五位

成瀨正雄

正三位、子爵、同券合々長
妻 明一七、八生、子爵太田養業妹
男 倉 明三九、二生、從五位

成瀨正雄

正三位、子爵、同券合々長
妻 明一七、八生、子爵太田養業妹
男 倉 明三九、二生、從五位











南郷 三郎
大阪莫大小紡織、神戸機織、尼ヶ...

南郷 宗兵衛
宮崎縣多額納稅者、農業...

南條 金雄
三井物産(株)常務取締役、大正海...

南日恒太郎
從四位勳四等、富山高専學校校長...

南波 禮吉
東京帝國銀行(株)頭取、中央證券...

南波 庄兵衛
共同商社(株)社員...

南波 次郎
正四位勳一等功四等、工學博士...

南波 修三
日本セメント、南部興業各(株)取...

南波 辰丙
從三位勳一等功二級、陸軍中將...

南日 喜助
大阪府在籍...

南部 金夫
從五位勳五等、檢事、京都地方裁...

南部 喜助
大阪府在籍...

南部 辰丙
從三位勳一等功二級、陸軍中將...

南部 修三
日本セメント、南部興業各(株)取...

南部 辰丙
從三位勳一等功二級、陸軍中將...

南部 辰丙
從三位勳一等功二級、陸軍中將...

南日恒太郎
從四位勳四等、富山高専學校校長...

南波 禮吉
東京帝國銀行(株)頭取、中央證券...

南波 庄兵衛
共同商社(株)社員...

南波 次郎
正四位勳一等功四等、工學博士...

南波 修三
日本セメント、南部興業各(株)取...

南波 辰丙
從三位勳一等功二級、陸軍中將...

南日 喜助
大阪府在籍...

南部 金夫
從五位勳五等、檢事、京都地方裁...

南部 喜助
大阪府在籍...

南部 辰丙
從三位勳一等功二級、陸軍中將...

南部 修三
日本セメント、南部興業各(株)取...

南部 辰丙
從三位勳一等功二級、陸軍中將...

南部 修三
日本セメント、南部興業各(株)取...

南部 辰丙
從三位勳一等功二級、陸軍中將...

南部 修三
日本セメント、南部興業各(株)取...

南部 辰丙
從三位勳一等功二級、陸軍中將...

南波 禮吉
東京帝國銀行(株)頭取、中央證券...

南波 庄兵衛
共同商社(株)社員...

南波 次郎
正四位勳一等功四等、工學博士...

南波 修三
日本セメント、南部興業各(株)取...

南波 辰丙
從三位勳一等功二級、陸軍中將...

南日 喜助
大阪府在籍...

南部 金夫
從五位勳五等、檢事、京都地方裁...

南部 喜助
大阪府在籍...

南部 辰丙
從三位勳一等功二級、陸軍中將...

南部 修三
日本セメント、南部興業各(株)取...

南部 辰丙
從三位勳一等功二級、陸軍中將...

南部 修三
日本セメント、南部興業各(株)取...

南部 辰丙
從三位勳一等功二級、陸軍中將...

南部 修三
日本セメント、南部興業各(株)取...

南部 辰丙
從三位勳一等功二級、陸軍中將...

南部 修三
日本セメント、南部興業各(株)取...











に法主を退隠す依て其後を享く君は明治十二年十二月を以て生れ同二十四年九月得度東都に遊學し又學師に就きて教學其他の學を修む同四十五年四月誠照寺派管長となる家族は尙三男輝廣(大九)四女美子(同一二)五男靖廣(同一四)六男邦廣(昭二)二弟源通(明三)九生、誠照寺連枝(勇留廣(大三五)五生)あり姉隆子(明一〇)六生(京都府土族田中俊清に嫁し弟喜久廣(同一九)三生)は大坂府人亡期并榮一郎に同禮廣(同一二)一生(奈良縣人西尾小五郎)に各養子となり(福井、今立、鯖江町下深江電二三九)參照 伯爵大谷光暢、田中俊清、西尾小五郎、二條正廣、九條實隆、伯爵正親町公和、男爵二條正廣、和久左衛門の項

**二條 正廣** 正四位勳三等、男爵、貴族院議員  
妻 鶴子 明一、八生、伯爵酒井忠克姉  
男 豐基 明四、三三

當家は二條公爵家の別家にして公爵家は藤原鎌足十七世關白忠通四世の孫關白良實の後なり世々五攝家の一として二十一世を経て齊敬に至る君は齊敬の四男にして故公爵二條厚基の養叔父男爵四條隆英の兄に當り明治五年一月を以て生れ同三十五年分れて一家を創立し特旨を以て華族に列し男爵を授けらる同三十二年東京帝國大學法科大學法科を卒業し同三十八年貴族院議員に當選し現に在り統攝を好み射撃に巧なり家族は尙三男錫基(明四三)六生(庶子博基(大九)九生)同文子(同九)一〇生)あり二女康子(明三六)一生)は故公爵二條厚基先代基弘の養子となり醫康と改名す(東京市外戸塚町源兵衛五十四電二三四六〇)參照 伯爵酒井忠克、男爵四條隆英、侯爵山階芳麿、男爵錫基直明、小津友右衛門、二條秀曉の項

**二瓶 泰吉** 宮城縣多額納稅者、金融業  
妻 もん 宮城、齋藤信太郎三女  
男 泰次郎 明二〇、一〇生  
男 哲治 明三三、四生、法學士

君は宮城縣人二瓶康吉の長男にして慶應元年三月を以て生れ明治四十年家督を相続す金融業を營み宮城縣多額納稅者たり家族は尙孫泰助(大二)一生、長男泰次郎(長男)同博(同一四)八生、同三男あり二男敬治郎(明二五)九生)は宮城縣人佐藤じつ子の入夫となり(宮城、伊具、丸森町)參照 佐藤敬治郎の項

**二瓶 兵二** 正五位勳五等、大使館一等書記官  
妻 婦美子 明二八、八生、東京、木村仙吉長女  
男 慶一 大七、一一生

君は福島縣人二瓶和吉の二男にして明治十六年三月を以て生れ大正二年分家して一家を創立す明治四十一年東京帝國大學法科大學英法科を卒業し外交官及領事官試験に合格同四十二年領事官補に任ぜられ浦潮に在勤す爾來副領事官公使館二等書記官同一等書記官總領事官外務書記官歐米局長に歴任し支那露國瑞典波蘭等に在勤す現時大使館一等書記官として土耳其國に在勤す家族は尙長女和(大四)四生(二女光(同五)九生)二男雅男(同一〇)一一生)あり(在土耳其國日本大使館内)

**二宮 喜助** 唐府控商  
妻 はな 安政四、四生、大阪、宮垣由兵衛  
男 喜三 明三四、一〇生、大阪、西出三郎

君は大阪府人宮垣由兵衛の養子にして明治二十五年十一月を以て生れ先代喜助の養子となり大正十一年家督を相続し前名直次郎を改め賜名す義に金融業を營みしが現時唐府控商として知らるる家族は尙養妹タミ(明四〇)九生)あり(大阪、南、内安堂寺町一ノ三二九電南三三七〇)參照 宮垣由兵衛の項

**二宮 健市** 從五位勳三等功四級、陸軍憲兵大  
妻 ツネ 明二五、一一生、廣島、岡盛信衛  
男 健一 明二五、一一生

君は廣島縣人藤田權之助の二男にして明治十年五月を以て生れ二宮家の養子となり同三十九年分家して一家を創立す同三十六年陸軍士官學校を卒業し歩兵少尉に任じ同四十二年歩兵大尉に進み同四十五年憲兵科に轉科す大正十一年憲兵中佐に任じ久留米憲兵隊長に補し同十四年八月憲兵大佐に累進し現時東京憲兵隊長の職に在り家族は尙三男隆夫(明四三)七生)四男正明(大二)一生)長女光子(同三)一一生)五男光信(同七)七生)二女清子(同八)一一生)あり(東京、麴町、大手町一ノ一官舎電九之内一七一)

**二宮 國晏** 鹿兒島縣多額納稅者、出水製水  
妻 アサ 鹿兒島、鹿兒島、榎木吉次  
男 豐 明一三、三三

君は鹿兒島縣土族二宮武助の長男にして嘉永元年十月を以て生れ大正十四年家督を相続す農業を營み傍ら出水製水會社取締役にして鹿兒島縣多額納稅者たり長女タマ(明九)一一生)は鹿兒島縣人知識誠介に二女フチ(同一五)三生)は同縣人野間口兼一長男兼才に三女タセリ(鹿兒島、出水、出水町)

**二宮 純一** 東洋林業、株、取締役代表、興運汽  
妻 文久三、一〇生、現戸主  
父 純 文久三、一〇生、現戸主  
母 文久三、一〇生、現戸主

君は愛媛縣人二宮純の長男にして明治十八年八月を以て生れ海運業を營み現時前記會社の重役たり家族は尙長女攝子(大四)三生)二男運次(同八)四生)二女慶子(同一〇)一一生)あり弟泰三(明二一)一一生)は分家し同部の介(同二五)二生)は分家祖母ミチの家籍に入れ

り(兵庫、武庫、住吉村宮守堂五六六電御影四五六)參照 志賀直温、矢島富造の項

**二宮 漸** 梅本商店(株)取締役  
妻 マス 明二二、二生、兵庫、米澤悅藏妹  
男 正 大二、三三

君は愛媛縣人二宮義治郎の長男にして明治十八年一月を以て生れ大正十二年家督を相続す現に梅本商店取締役たり家族は前記の外弟榮(明二二)一一生)同妻菊英(同二八)一一生、大阪、吉村慶吉(五女)及其四女あり(大阪、東、南本町四)

**二宮 孝順** 新潟縣多額納稅者、農業  
妻 ハナ 元治元、一〇生、新潟、本間新作  
男 孝 明四二、二生

當家は元加賀より出て中世越後に移り新發田藩領内紫雲寺湯開發の時機に際し祖先九兵衛聖籠村に居をたして専ら農業に従事し偶々豪農自勢家の知遇を得て數十年前迄同地に於ける自勢家の土地管理を托せられ代々勤儉貯蓄を以て漸次産を興せり君は先代孝順の長男にして明治十九年四月を以て生れ大正六年家督相続と共に襲名して前名孝徳を改む夙に慶應義塾に學ぶ縣下の大地主にして多額納稅者として知らるる公共の事に盡し義に紺綬褒章を賜はるる家族は尙二男孝順(明四四)六生)三女トミ(大三)八生)五女あい(同八)一一生)三男孝弘(同一二)四生)四男孝安(同一四)一一生)五男孝榮(同一五)一一生)妹イト(明三三)五生)あり姉イタ(同一七)一一生)は同縣人山崎牛造に妹ヨシ(同二二)一七生)は東京府人淺田吉太郎長男玄太郎に同イツ(同一二)一七生)は東京府人京極高敏に同コウ(同二八)七生)は新潟縣人山田辰治長男隆治に同トキ(同三〇)九生)は同縣人平田豐次郎三男次六に嫁し同ラク(同三四)七生)は北海道人相馬哲平三男元治の未亡人にして弟

孝誠(同二七)三生)は同妻チヨ(同三六)一一生)新潟、吉田右衛門(株)と共に分家し伯母マサノ(安政二)四生)は同縣人二宮貞太郎の母たり(新潟、北蒲原、聖籠村、電新發田三四五)參照 國井伴之丞、相馬哲平、二宮貞太郎、平田豐次郎、本間新作、山崎牛造、山田辰治、吉田吉右衛門、國井元三郎、國井和郎、三郎、丹、吳康平、林信寬、肥田野才之丈、樋口正平、本間謙郎の項

**二宮 貞** ナニハヒルテング(株)取締役、大  
妻 静 明三九、六生  
男 康 明三九、六生

君は愛媛縣人先代中意の長男にして明治十一年九月を以て生れ大正十年家督を相続す夙に東京に遊學し會計検査院に職を奉じて屬となりしが同四十二年是を辭し大日本製糖會社に轉ず爾來累進して大阪工場主事となり現在に至る傍ら前記會社の重役を兼ねる家族は尙五女清(大七)四生)七女ヒサ(同一二)一一生)八女節子(同一四)七生)の外弟利彌(明一五)五生)同妻テル(同一九)二生)愛媛、弘岡道明(妹)及び其一子並に妹壽美(同三三)九生)弟廣意(同三九)一一生)男武(同四三)四生)あり長女モト(同三六)五生)金關會高等女學校出身)は愛媛縣人栗田眞三に嫁し弟眞實(同一六)一一生)は分家せり(大阪、東成、友淵町二一五電東七六五)參照 津田太郎の項

**二宮 貞太郎** 二葉社、齋南農林各株、取締役  
妻 マサノ 安政二、四生、新潟、士、二宮孝順伯母  
男 博 明四〇、一一生

君は新潟縣人二宮喜作の長男にして明治七年十月を以て生れ同四十四年家督を相続す同二十九年慶應義塾高等科を卒業し現時前記會社の重役たり家族は尙三男茂(明四三)一一生)長女喜久江(大六)一〇生)繼子佐喜

子(同六)二生)あり弟榮(同一六)三三)は新潟縣人岩淵トシメ婚姻し同正秀(同一七)九生)は同妻ユキ(同二八)九生)新潟、相馬杏平(長女)を伴ひ分家し同忠直(同一九)五生)は新潟縣人會田徳平の養子となり妹とし(同一四)一〇生)は同縣人岩淵岩太に同子人(同二〇)九生)は同縣人内藤權兵衛に嫁せり(新潟、中蒲原、新津町)參照 二宮孝順、平田豐次郎、山田辰治、山崎牛造の項

**二宮 傳右衛門** 新潟縣多額納稅者、柏崎瓦斯(株)  
妻 ミタ 弘化四、五生  
男 信 明七、一〇生、新潟、牧口義順姉  
男 秀 明二四、五生  
男 芳 明二四、五生  
男 雄 明三九、一一生  
女 綾子 明四一、七生

君は新潟縣人先代傳右衛門の長男にして明治四年十一月を以て生れ同二十八年家督を相続し前名直助を改む夙に東京高等商業學校を卒業し美服商を營み現時柏崎瓦斯會社社長柏崎銀行事務取締役の外前記銀行會社の重役たり家族は尙孫喜久(大七)一〇生)長男信芳(長女)同信(同一九)一一生)同長男(同一四)一一生)二生)同二男)あり二男芳正(明三〇)四生)弟直次郎(同九)一〇生)は各分家し同爲三郎(同一三)八生)同妻須磨(同一七)四生)新潟、牧口義順(妹)も亦其一子並に分家し二女セイ(同二八)一一生)は新潟縣人久津傳十郎長男傳昌に三女静江(同三八)五生)は同縣人吉田安四郎に嫁し三男正秀(同三三)三生)は同縣人久須美作之助の養子となり(新潟、刈羽、柏崎町)參照 大瀧傳十郎、島田桂藏、吉田安四郎、高田龜太郎、宮川謙治、齋山政次郎の項

**二宮 治重** 正五位勳三等功四級、陸軍少將、  
妻 貞女 明一八、七生、原田與三郎長女











**仁田 直** 從四位勳三等、獸醫學博士、東京帝國大學教授、農林技術師  
 妻 直子 明三三、一〇生、醫學博士三宅秀三  
 男 明三三、一〇生、醫學博士  
 女 明三三、一〇生、醫學博士

**仁田 利助** 臺灣農業(株)取締役兼支配人  
 妻 嘉永元、一〇生、兵庫、谷口鹿藏  
 男 慶應三、九生、兵庫、士、深津龍二  
 女 慶應三、九生、兵庫、士、深津龍二

**仁禮 景嘉** 子爵  
 妻 嘉子 明一八、六生、京都、中井三郎兵衛二女  
 男 明一八、六生、京都、中井三郎兵衛

**仁田 直** 從四位勳三等、獸醫學博士、東京帝國大學教授、農林技術師  
 妻 直子 明三三、一〇生、醫學博士三宅秀三  
 男 明三三、一〇生、醫學博士  
 女 明三三、一〇生、醫學博士

**仁禮 景嘉** 子爵  
 妻 嘉子 明一八、六生、京都、中井三郎兵衛二女  
 男 明一八、六生、京都、中井三郎兵衛

**仁禮 景嘉** 子爵  
 妻 嘉子 明一八、六生、京都、中井三郎兵衛二女  
 男 明一八、六生、京都、中井三郎兵衛

**仁田 直** 從四位勳三等、獸醫學博士、東京帝國大學教授、農林技術師  
 妻 直子 明三三、一〇生、醫學博士三宅秀三  
 男 明三三、一〇生、醫學博士  
 女 明三三、一〇生、醫學博士

**仁禮 景嘉** 子爵  
 妻 嘉子 明一八、六生、京都、中井三郎兵衛二女  
 男 明一八、六生、京都、中井三郎兵衛

**仁禮 景嘉** 子爵  
 妻 嘉子 明一八、六生、京都、中井三郎兵衛二女  
 男 明一八、六生、京都、中井三郎兵衛

**新居田直太郎** ラサ島嶼(株)監査役、新居田商店、大阪府在籍  
 妻 ミツエ 明五、七生、愛媛、西田佐市郎長女  
 男 文雄 明二九、六生  
 女 シゲノ 明三三、二生、長男文雄妻、兵庫岡本忠吉二女  
 男 武雄 明三五、一〇生  
 女 忠雄 明四一、三生、早稻田大學高等學院校文科在籍  
 男 花子 明四七、九生、聖高等女學校在籍  
 君は愛媛縣新居田常七の長男にして明治二年一月を以て生れ同二十八年家督を相続す農産を營み傍ら製糖並に製菓に從事し新居田商店主にしてラサ島嶼聯合社の重役たり兼に大阪製糖會社社長に擧げらるる團圓及團圓に趣味を有す家族は尙四男孝祐(明四三、一)あり弟孫四郎(同九、二)生(は分家せり)大阪、東、北濱四ノ三三電局本局(二二七四)

**新澤 順吉** 宮城縣多額納稅者、酒類商  
 妻 徳吉 明二九、一〇生、宮城、高山善右衛門三女  
 男 徳吉 明二九、一〇生、宮城、高山善右衛門三女  
 女 徳吉 明二九、一〇生、宮城、高山善右衛門三女

**新島 善直** 正四位勳二等、農林部勤務  
 妻 榮子 明一五、一〇生、獨逸國人フランツ  
 男 正之 大二、八生

**新垣 照茂** 沖繩縣多額納稅者、農業  
 妻 カメ 明五、八生、沖繩、仲里高長女  
 男 照光 明二四、一〇生  
 女 新里武一長女、沖繩明三二、九生

**新島 宗三郎** 日本擬革(株)取締役、金原銀行  
 妻 弘化元、八生、東京、小林利八長女  
 男 津奈 慶應三、一〇生、千葉、高橋彦四郎  
 女 静 明三三、八生、二男惣治郎妻、東京鈴木萬之助長女  
 男 明三三、八生、二男惣治郎妻、東京鈴木萬之助長女  
 女 明三三、八生、二男惣治郎妻、東京鈴木萬之助長女

**新田 芳** 從五位、姫路高等學校教授、生徒監、富山縣在籍  
 妻 秀雄 明二二、九生、富山、松永球界五女  
 男 明二二、九生、富山、松永球界五

**新倉 高藏** 東京府會議員、升本屋、酒類商  
 妻 ノブ 明一二、九生、神奈川、岸實吉姉  
 男 敬介 明四三、九生  
 女 幹子 大二、一〇生

**新島 宗三郎** 日本擬革(株)取締役、金原銀行  
 妻 弘化元、八生、東京、小林利八長女  
 男 津奈 慶應三、一〇生、千葉、高橋彦四郎  
 女 静 明三三、八生、二男惣治郎妻、東京鈴木萬之助長女  
 男 明三三、八生、二男惣治郎妻、東京鈴木萬之助長女  
 女 明三三、八生、二男惣治郎妻、東京鈴木萬之助長女

**新田 芳** 從五位、姫路高等學校教授、生徒監、富山縣在籍  
 妻 秀雄 明二二、九生、富山、松永球界五女  
 男 明二二、九生、富山、松永球界五



**新田定五郎** 今町銀行株頭取、中野殖産、中野興業各株監査役、新潟縣在籍  
 母 キセ 野長女  
 妻 タケ 明二〇、八生、新潟、中野忠太郎  
 養子 直養 明二七、七生、長女フサ夫、秋田地主  
 女 フサ 明三三、四生、養子直養妻  
 君は新潟縣人新田團治の長男にして明治五年二月を以て生れ同十四年家督を相続す同三十六年慶應義塾別科を卒業し現時前記銀行會社の重役たり家族は高田孫助(大一四、八生、養子直養長女)姉フシ(明元、八生、弟亥八(同八、八生)あり二女フタハ(同三四、七生)は長野縣人増澤茂樹に四女ヨシエ(同三七、四生)は埼玉縣人小島顯男に嫁し弟十三(同三一、二生)は新潟縣土族大窪俊典の養子となり(東京、牛込、納戸町一九電牛込四八五)  
 參照 中野忠太郎野誠齋中野信吾の項

**新田昌次**

新田帶革製造所(資)社員  
 妻 壽 明三〇、一一生、滋賀、矢野平四郎四女  
 男 昌 彌 大六、五生  
 君は大阪府人新田長次郎の四男にして同長三の弟同仲太郎の從弟なり明治二十三年十月を以て生れ大正十年分家して一家を創立す現時新田帶革製造所出資社員たり家族は尚長女けけ子(大八、六生)あり(大阪、浪速、蕨原町一三三六電櫻川一〇九五)  
 參照 新田長次郎、新田長三、新田仲太郎伊地知光朝木子七郎の項

**新田純孝**

從五位勳五等、資産家  
 東京府土族  
 男 純 興 明三〇、一一生、工學士、三三三三  
 女 純 興 明三〇、一一生、工學士、三三三三  
 新田家は南朝の忠臣新田義貞の後裔にして男爵新田忠純家の分家なり先代を純崎と云ひ君は其長男なり嘉永四年九月を以て生れ明治二十一年家督を相続す風に備

者芳野金陵に就き漢學を修め後司法省出仕となり同省法學校に學ぶ當時法曹界に知られたるホアソナードの薫陶を受け判事補より判事に進み後檢事に任ぜられ南館横濱弘前名古屋各地方裁判所檢事控訴院檢事に應補し明治三十七年職を退き目下閑日を樂しむ家族は尚孫鹿子(大一一、二生、二男純興長女)あり長女壽明(二五、一一生、跡見女學校出身)は東京府人跡見花露養子(子)の養子となり三女正子(同三三、一〇生、出身校同上)は外川昇に嫁し四女隆子(同三九、五生、出身校同上)は五女(同四二、一〇生、出身校同上)は共に分家亡兄成丸の家督に入り庶子逸郎(同二六、一一生)は其生母青森縣土族植木やさ兄卯太郎の家督に入れり(東京、神田、中猿樂町二〇)  
 參照 新田忠純の項

なり義純徳川氏に仕へ上州新田百二十石を領す相傳へて先代俊純に至り維新の際王事に盡く功あり明治十六年特旨を以て華族に列し同十七年男爵を授けらる君は其二男にして安政三年十一月を以て生れ明治二十七年露督仰付けらる風に佛國に留學し兵學を修め曩に外務省公信局御用掛たり同三十年以來貴族院議員に當選すこと四回に及べり家族は尚孫裕子(大一一、一一生、庶子義郎長女)同義忠(同一一、九生、同長男)あり長女さし(明一八、二二生)は東京府人今村繁三に二女てい(同二〇、九生)は公爵桂廣太郎と交與し嫁し四女幸子(同二四、一一生)も亦公爵桂廣太郎の養子となり更に子爵松平慶民に嫁せり(東京、麻布、仲ノ町二電青山五七四六)  
 參照 公爵桂廣太郎、侯爵井上勝之助、子爵松平慶民、男爵武井守成、今村繁三、小幡西吉、新田純孝、新田長三郎の項

**新田喬雄**

從六位勳六等、神學生系(株)支配人、岡山縣土族  
 妻 理 興 明二二、一一生、岡山、岡本文二郎  
 男 成 章 明三三、二二生  
 女 好 子 明四〇、七生  
 君は岡山縣土族新田平二の二男にして明治八年一月を以て生る曾て郡長及兵庫縣理事官等を歴任す退官後實業界に入り現に神學生系會社支配人たり家族は尚四女和子(大九、二生)五女道子(同一一、一〇生)六女香代子(同二四、九生)の外姉子春(明六、四生)弟陽三郎(同二二、一一生、現戸主)同妻あり(同二二、一一生、兵庫、山田芳松長女)其二女中一あり長女千代子(同三八、一一生)は和歌山縣人田中勝之丞二男正苗に嫁し(同四、九生)は長野縣人高木千守に嫁せり(神戸、楠谷町二電元町一八七八)

**新田長次郎**

正六位、新田帶革製造所、新田(ニ)製造所各(資)代表社員  
 大阪府在籍  
 妻 ツル 元治元、一一生、大阪、井上儀助  
 男 利 一 明一七、一一生、新田帶革製造所社員  
 孫 利 國 明四〇、三三生、長男利一男  
 君は愛媛縣人新田喜次郎の二男にして同仲太郎の叔父なり安政四年五月を以て明治十五年分家して大阪に一家を創立す風に藤田製革所に入り獨人に就きて製革術を學び同十八年獨立して工場を設け各地に支店代理店を置き同二十六年米國シカゴ大博覽會に出品して賞牌を受く歐米に遊びて新業の視察を遂ぐる、こと二回歸朝後益々發展して國內一流の製革事業者として知らるに至る日露戰役中鐵條網切斷器を案出して軍隊に供給し又製革用タンニンエキスの製法を研究し十勝國止給に同製造工場を設け同三十五年多斯年斯業に貢獻せるを以て勅定の綠綬褒章を賜はり大正十三年重んじて綠綬褒章版を下賜せらる同三年即位大禮に際し正六位に叙せらる二男宗一(明一九、八生)は分家し三男長三(同二二、九生)四男昌次(同二三、一〇生)は各其妻子を伴ひ五男愛祐(同二五、八生)は同妻孝(同三〇、一

一生、三重、河村清兵衛二女)及其一男を伴ひ夫々分家し長女カツ(同二七、一一生)は東京府土族木子幸三郎弟同七郎に三女貞子(同三三、九生)は同府土族早田喜松に嫁せり(大阪、浪速、蕨原町一三三六電櫻川一〇九五)  
 參照 河村清兵衛、木子七郎、新田昌次、新田長三、新田仲太郎西井久兵衛今井九左衛門門澤竹内善兵衛の項

**新田長三**

新田帶革製造所、新田(ニ)製造所各(資)社員、大阪府在籍  
 妻 キメ 明二九、四生、東京、土、早田喜松妹  
 男 長 夫 大三、二二生  
 君は大阪府人新田長次郎の三男にして同昌次の兄同仲太郎の從弟なり明治二十一年九月を以て生れ大正十年分家して一家を創立す現に前記各會社の出資社員にして資産家を以て知らる(大阪、浪速、蕨原町一三三六電櫻川一〇九五)  
 參照 新田昌次、新田長次郎、新田仲太郎木子七郎の項

**新田仲太郎**

新田(汽船、内外汽船各株)代表取締役、船業、愛媛縣在籍  
 父 利 平 嘉永六、二二生  
 母 ウメ 萬延元、八生、愛媛、竹内孫衛三女  
 妻 ヨシ 明一三、七生、愛媛、森松平長女  
 男 長 稔 明三四、三三生  
 君は愛媛縣人新田利平の長男にして同長次郎の甥同長三同昌次の從兄なり明治十二年六月を以て生れ同三十一年家督を相続す船業を營み現に前記各會社の代表取締役たり家族は尚二男仲三(大七、一一生)二女芳榮(同九、二生)孫行雄(同五、九生、離縁養子弘之長男)同久榮(同八、一一生、同長女)あり長女タマエ(明三三、一一生)は分家し弟源一(同二七、五生)同妻ユタカ(同二九、一一生)愛媛、梶川清姉)も共に分家し妹クラ(同二七、一一生)は愛媛縣土族澤田安藏三男角次郎に同トクエ(同二二、一一生)は同縣人澤田政義に嫁せり(神戸、北長狭通五ノ一〇)  
 參照 新田昌次、新田長次郎、新田長三、木子七郎

**新田茂兵衛**

兵庫倉庫(株)社長、日本米穀(株)取締役、兵庫縣在籍  
 男 茂 助 明三〇、八生  
 女 重 子 明三四、九生、長男茂助妻、大阪泉谷竹之助五女  
 君は兵庫縣人新田彌介の長男にして安政二年二月を以て生れ後家督を相続す現時兵庫倉庫會社長の外前記會社の重役たり家族は尚孫茂男(大一一、一一生、長男茂助長男)同房子(同一一、五生、同長女)あり長女まさ(明二二、七生)は其夫慶藏(同二二、一一生、廣島、土、永江龜太郎弟)及其の子女と共に分家し三女も(同二八、一一生)養子とめ(同二二、一〇生、兵庫、柳田卯之助四女)も亦各分家せり(神戸、宮内町五二電兵庫二六)  
 參照 泉谷竹之助の項

**新田與一**

富山電氣、北陸共同電氣、鳳至電氣各株取締役、石川縣在籍  
 妻 きみ 明三二、一一生、石川、石井忠治姉  
 男 忠 三 明四二、七生  
 君は石川縣人大岡與三の二男にして明治十八年八月を以て生れ後新田家を相続す嘗て縣會議員輪島漆器組合長等たり現時前記各會社の重役たり家族は尚二男孝一(明四四、九生)三男晴雄(大九、九生)四男七郎(同九、五生)二女寛子(同一一、九生)五男武(同一一、二生)六男建(同一一、一〇生)三女安子(同一一、一一生)あり(石川、鳳至、輪島町)

**新田隣平**

從五位、朝鮮總督府專賣局事務官、平壤專賣支局長、長野縣在籍  
 父 應 平 文久元、三三生、長野、林惣右衛門  
 妻 ふみ 明三〇、七生、長野、柿崎小太郎  
 男 權 大八、一一生

部長成鏡南道平安北道各財務部長に歴任し同十五年朝鮮總督府稅關長に任じ仁川稅關長となり次で昭和二年同府專賣局事務官に轉じ現職平壤專賣支局長に補せらる家族は尚長女公子(大一一、〇三生)の外甥櫻枝(同七、一〇生、亡弟權長男)從弟賢造(明二四、七生)叔父龜次(二男)あり亡弟權妻むつ(同二六、二二生)同三三深淵太郎(は長野縣人黒澤武雄に從妹、子(同三三)三男、叔父龜次長女)は同縣人石井榮一に嫁し從弟耕助(同二〇、七生、同長男)は其妻の(同一九、六生、長野、井深國吉長女)を伴ひ分家し同守人(同二九、三三生、同四男)も亦分家せり(朝鮮、平壤專賣局官舎)

**新津恒吉**

新潟縣多額納稅者、中央商會、石油共同販賣所、中野殖産興業各株、製油業、新潟縣在籍  
 君は新潟縣人新津與三郎の甥にして明治三年四月を以て生れ同十六年家督を相続す製油業を營み新潟縣多額納稅者にして現時前記諸會社の重役たり(新潟、三島、出雲町)

**新津隼人**

山梨縣多額納稅者、農業  
 妻 さだ 明三、四生、山梨、井上傳藏二女  
 男 隼 太 明二一、四生  
 女 きみ 明二九、一一生、長男隼太妻、山梨、長谷川源之丞二女  
 男 乾 一 明三二、九生  
 女 百合乃 明三三、八生、四男乾一妻、山梨三神俊藏三女  
 男 千之 明三五、五生  
 男 千里 明四一、一一生  
 君は山梨縣人新津又兵衛の二男にして慶應元年二月を以て生れ明治二十三年家督を相続す農業を營み山梨縣多額納稅者たり家族は尚孫千歳(大五、四生、長男隼太長男)同千章(同九、六生、同二男)同千丈(同二二、二生、同三男)同百重(同二四、八生、同長女)同千尋(昭二、九生、同四男)同昭(同二、九生、四男乾一長男)あり長女千重(明二八、一〇生)は山梨縣人淺川敏晴長男端一に姉つな(嘉永六、一〇生)は同縣人落合周平に嫁せり(山梨、中巨摩、落合村)







萬佐子(同一五、二生、生母同上)あり、京都、上京、室町通丸太町南入ル電上(三三三)

新村爲一郎

新村銀行(株)頭取、東築電氣、筑摩電氣鐵道各(株)取締役、長野縣在籍、明九、一〇生、長野、中原忠太長

新山莊輔

從三位勳二等、宮中顧問官、山口縣土族、弘化四、一一生、養祖父彦五郎長

新山平四郎

正五位勳四等、文部技師、大臣官房建築課勤務、茨城縣在籍、明九、一〇生、茨城、土、淺田重

新山敏介

前田鐵業、小坂鐵道各(株)取締役、山口縣土族、安政三、五生、現戸主

新山平四郎

正五位勳四等、文部技師、大臣官房建築課勤務、茨城縣在籍、明九、一〇生、茨城、土、淺田重

新山敏介

前田鐵業、小坂鐵道各(株)取締役、山口縣土族、安政三、五生、現戸主

新山敏介

前田鐵業、小坂鐵道各(株)取締役、山口縣土族、安政三、五生、現戸主

縣士族工學士小川敬次郎に四女榮子(同一三、九生、出身校同上)は同縣人藤井與一郎長男直一に五女順子(同一三八、二生)は廣島縣土族佐々木虎太郎に嫁せり(東京市外入新井町新井山王二八二五電大森一五三)

新山敏介

前田鐵業、小坂鐵道各(株)取締役、山口縣土族、安政三、五生、現戸主

新山平四郎

正五位勳四等、文部技師、大臣官房建築課勤務、茨城縣在籍、明九、一〇生、茨城、土、淺田重

新山敏介

前田鐵業、小坂鐵道各(株)取締役、山口縣土族、安政三、五生、現戸主

新山平四郎

正五位勳四等、文部技師、大臣官房建築課勤務、茨城縣在籍、明九、一〇生、茨城、土、淺田重

新山敏介

前田鐵業、小坂鐵道各(株)取締役、山口縣土族、安政三、五生、現戸主

新山平四郎

正五位勳四等、文部技師、大臣官房建築課勤務、茨城縣在籍、明九、一〇生、茨城、土、淺田重

新山敏介

前田鐵業、小坂鐵道各(株)取締役、山口縣土族、安政三、五生、現戸主

君は鹿兒島縣土族新納久の二男にして明治十四年一月を以て生れ大正十年家督を相続す明治四十一年京都帝國大學法科大學法律科を卒業し同四十四年檢事に任じ爾來大分地方同區富山區同地方濱松區同地方東京區同地方札幌區同地方大阪區同地方各裁判所檢事長崎控訴院檢事に歷補じ大正十五年現職長崎地方裁判所檢事兼同區裁判所檢事に轉ず家族は尙二男久男(大五、一一生)三男富夫(同八、三生)四男裕一(同一〇、一〇生)あり(長崎地方裁判所官舎)

饒村克治

新潟縣多額納稅者、新井銀行、百三十九銀行、頸城鐵道各(株)取締役、農業、新潟縣在籍、明一、一二生、新潟、水野達彦

贊田政雄

小川商店、靴用附屬品並雜貨商、東京府在籍、明六、八生、埼玉、桑島忠太郎長

西喜之助

正五位勳四等、檢事、津山區裁判所檢事兼岡山地方裁判所津山支部檢事、島根縣在籍、明一〇、一一生、佐賀、土、田澤義

西圭二郎

新宮商行、樺太木材紙料各(株)取締役、和歌山縣在籍、明二七、四生、北海道、大坂谷吉

西孝太郎

石川縣多額納稅者、農業、石川縣在籍、明一二、八生、石川、林宅次郎姉

西英太郎

勳四等、衆議院議員(佐賀縣選出)佐賀毎日新聞社(株)社長、唐津製鋼所(株)監査役、佐賀縣土族、眞長女、明六、一一生、佐賀、土、瀬戸口贊



西 濟

王子製紙(株)十條工場長  
長崎縣士族  
明一、二、三、宮崎、土、庄司直  
男 美哉 大七、六生  
女 初子 明四、八生  
安子 大七、七生

西 貞雄

從五位勳五等、判事、竹田區裁判  
所判事兼大分地方裁判所竹田支部  
判事、熊本縣士族  
妻 ヒサ 明一、一、生、熊本、土、岩吉滿  
太郎長女  
養子 經子 明四、三、一、生、佐賀、山村直太  
明四、三、一、生、佐賀、山村直太  
明四、三、一、生、佐賀、山村直太

西 貞吉

從五位勳六等、税關監査官兼大藏  
技師、神戸税關檢査課長  
東京府士族  
妻 アキ 明三、六、二、生、北海道、赤木顯次  
妹 明三、六、二、生、北海道、赤木顯次

西 霜一郎

島商店、島貿易、三同各(株)取締  
役、大阪府在籍  
妻 慶子 明二、八、一、生、養父宗左衛門長女  
明二、八、一、生、養父宗左衛門長女  
明二、八、一、生、養父宗左衛門長女  
明二、八、一、生、養父宗左衛門長女

西 紳六郎

正三位勳二等、男爵、海軍中將、  
貴族院議員、宮中顧問官  
東京府華族  
妻 きよこ 明元、三、生、山口、土、岡守節三女  
明元、三、生、山口、土、岡守節三女

西 直忠

正五位勳三等功四級、後備陸軍一  
等軍醫正、朝鮮總督府道立醫院醫  
官、晋州醫院長、長崎縣士族  
妻 梅古 明六、四、生、荒木清兵衛姉  
君は長崎縣士族西直方の長男にして明治五年三月を以  
て生れ同二十九年家督を相続す同三十六年東京帝國大  
學醫科大學を卒業し翌年陸軍二等軍醫に任じ累進して  
大正十二年同一年一等軍醫に陞る其間久留米衛戍病院長  
獨立第十八師團第二野戰病院長和歌山衛戍病院長等  
各職を歴任し朝鮮總督府道立醫院院長に轉じ海州光州普州  
に於て功四級金鷄勳章を賜ふ現時後備役に於て  
朝鮮總督府道立醫院醫官晋州醫院長たり勳任官を以て  
待遇せらる(朝鮮、慶尚南道、晋州内城洞官舎)

西 久和

石川縣多額納稅者、農業  
妻 やい 嘉永六、一、二、生、石川、加藤又八  
明二、九、三、生、富山、平尾喜四吾  
長女  
母 明二、九、三、生、富山、平尾喜四吾  
妻 久明 明四、五、五、生  
君は石川縣人西豐吉郎の二男同久光の兄にして明治十  
八年一月を以て生れ大正十年家督を相続す農業を營み  
石川縣多額納稅者たり家族は尙二男外居(大、二、一、二  
生)長女芳子(同五、八、生)三男三夫(同八、一、生)三女  
秋子(同二〇、一、一、生)五女外志子(同四、一、一、生)あ  
り(石川、羽咋、粟ノ保村)

西 義克

正五位勳三等功五級、海軍少將、  
佐世保海軍軍需部長、東京府士族  
妻 マス 安政六、正、生、西支理長女

西 義

正五位勳三等功五級、海軍少將、  
佐世保海軍軍需部長、東京府士族  
妻 マス 安政六、正、生、西支理長女

を以て生れ大正二年先代京の入夫となり家督を相続す  
現時前掲各會社の重役たり家族は尙長女崇子(大五、  
一、二、生)二男謙次(同二、一、一、生)あり 東京、本郷、  
本郷五ノ三五電小石川六五七七)

西 正次郎

當島ベルデン、黒石嶺黒鉛、橋  
本汽船、佐世保汽船、橋本證券各  
(株)取締役、東京府在籍  
父 金次郎 安政六、一、二、生、愛知、加藤庄兵  
衛三男、現戸主  
母 ノフ 慶應三、五、生、祖父伊七長女  
妻 キミ 明三、二、六、生、東京、橋本喜造長女  
男 正喜智 大、一、四、九、生

西 晋一郎

從四位勳三等、文學博士、廣島高  
等師範學校教授、鳥取縣士族  
妻 ひさ 明一、八、九、生、鳥取、田中專三郎  
長女  
女 マツ 明四、四、一、生  
女 マツ 明四、四、一、生

西 成甫

正五位勳四等、醫學博士、東京帝國  
大學教授、醫學部勤務、東京府士族  
母 むめ 文久二、〇、生、東京、福地信世姉  
妻 すま 明二、二、八、生、長野、土、片山芳  
林三女  
男 眞楠 大、一、〇、四、生

西 竹一

從五位、男爵、陸軍騎兵少尉  
東京府華族  
妻 武 明三、八、一、生、伯耆川村織太郎四女  
明三、八、一、生、伯耆川村織太郎四女

西 久光

正五位勳四等、九州帝國大學教授、  
工學部勤務、石川縣在籍  
妻 君子 明三、一、四、生、岐阜、宮田第二五  
明三、一、四、生、岐阜、宮田第二五

西 廣吉

兵庫縣立神戸病院長  
妻 さく 安政元、二、生、兵庫、正木卯之介  
妹 明七、四、生、兵庫、横田彦平三女  
女 ミチ 明三、三、一、生、神戸高等女學校出  
身  
女 中 明四、一、六、生  
女 諏訪 大元、九、生

西 義

正五位勳三等功五級、海軍少將、  
佐世保海軍軍需部長、東京府士族  
妻 マス 安政六、正、生、西支理長女

西 義

正五位勳三等功五級、海軍少將、  
佐世保海軍軍需部長、東京府士族  
妻 マス 安政六、正、生、西支理長女

當家は先代周より顯る周は舊石州津和野藩士にして後  
幕臣に列じ文久二年和蘭に留學す歸朝後開成所教授陸  
軍學校頭取等を経て元老院議官貴族院議員等に歴任し  
明治三十年特旨を以て華族に列じ男爵を授けらる君實  
は舊幕臣林洞海の六男にして伯耆林雅之助の叔父なり  
萬延元年九月を以て生れ先代周の養子となり明治三十  
年家督を相続し慶應義塾に海軍兵學校を卒業し同十八  
年海軍少尉に任じ海軍中將に累進す其間海軍大學校を  
卒業し米國公使館附武官侍從武官兼公要港部司令官等  
に歴任し豫備役に任じ有栖川宮宮務監督官に任じ  
貴族院議員に擧げらる、こゝ三回現に其任に在り尙  
宮中顧問官を兼ね(東京市外入新井町新井宿二七二四  
電大森九)

西 成甫

伯耆林雅之助、男爵赤松範一、高久繁泰井出  
勝伊地知季彦、津田勢吉、津田益孝の項

西 竹一

從五位、男爵、陸軍騎兵少尉  
東京府華族  
妻 武 明三、八、一、生、伯耆川村織太郎四女  
明三、八、一、生、伯耆川村織太郎四女

西 久光

正五位勳四等、九州帝國大學教授、  
工學部勤務、石川縣在籍  
妻 君子 明三、一、四、生、岐阜、宮田第二五  
明三、一、四、生、岐阜、宮田第二五

西 廣吉

兵庫縣立神戸病院長  
妻 さく 安政元、二、生、兵庫、正木卯之介  
妹 明七、四、生、兵庫、横田彦平三女  
女 ミチ 明三、三、一、生、神戸高等女學校出  
身  
女 中 明四、一、六、生  
女 諏訪 大元、九、生

西 義

正五位勳三等功五級、海軍少將、  
佐世保海軍軍需部長、東京府士族  
妻 マス 安政六、正、生、西支理長女

西 義

正五位勳三等功五級、海軍少將、  
佐世保海軍軍需部長、東京府士族  
妻 マス 安政六、正、生、西支理長女

西 義

正五位勳三等功五級、海軍少將、  
佐世保海軍軍需部長、東京府士族  
妻 マス 安政六、正、生、西支理長女

西 義

正五位勳三等功五級、海軍少將、  
佐世保海軍軍需部長、東京府士族  
妻 マス 安政六、正、生、西支理長女

當家は先代徳二郎より家名を掲ぐ徳二郎は舊鹿兒島藩  
士にして戊辰の役奥羽の野に轉戦し後露國に留學し法  
政學を修む大政官權大書記官駐露特命全權公使外務大  
臣駐清特命全權公使樞密顧問官等に歴任し明治二十九  
年華族に列じ男爵を授けらる君は其長男にして明治三  
十五年七月を以て生れ同四十五年襲爵仰付けらる陸軍  
士官學校を卒業して大正十三年陸軍騎兵少尉に任じ現  
時騎兵第一聯隊附たり家族は尙長女淑子(大、一、四、一、  
一、生)あり姉フク(明三、二、八、生)は退任陸軍少將田坂  
虎之助長男龍雄に嫁せり(東京、麻布、筈町二電青山  
五九三九)

西 霜一郎

島商店、島貿易、三同各(株)取締  
役、大阪府在籍  
妻 慶子 明二、八、一、生、養父宗左衛門長女  
明二、八、一、生、養父宗左衛門長女  
明二、八、一、生、養父宗左衛門長女  
明二、八、一、生、養父宗左衛門長女

西 紳六郎

正三位勳二等、男爵、海軍中將、  
貴族院議員、宮中顧問官  
東京府華族  
妻 きよこ 明元、三、生、山口、土、岡守節三女  
明元、三、生、山口、土、岡守節三女

西 直忠

正五位勳三等功四級、後備陸軍一  
等軍醫正、朝鮮總督府道立醫院醫  
官、晋州醫院長、長崎縣士族  
妻 梅古 明六、四、生、荒木清兵衛姉  
君は長崎縣士族西直方の長男にして明治五年三月を以  
て生れ同二十九年家督を相続す同三十六年東京帝國大  
學醫科大學を卒業し翌年陸軍二等軍醫に任じ累進して  
大正十二年同一年一等軍醫に陞る其間久留米衛戍病院長  
獨立第十八師團第二野戰病院長和歌山衛戍病院長等  
各職を歴任し朝鮮總督府道立醫院院長に轉じ海州光州普州  
に於て功四級金鷄勳章を賜ふ現時後備役に於て  
朝鮮總督府道立醫院醫官晋州醫院長たり勳任官を以て  
待遇せらる(朝鮮、慶尚南道、晋州内城洞官舎)

西 久和

石川縣多額納稅者、農業  
妻 やい 嘉永六、一、二、生、石川、加藤又八  
明二、九、三、生、富山、平尾喜四吾  
長女  
母 明二、九、三、生、富山、平尾喜四吾  
妻 久明 明四、五、五、生  
君は石川縣人西豐吉郎の二男同久光の兄にして明治十  
八年一月を以て生れ大正十年家督を相続す農業を營み  
石川縣多額納稅者たり家族は尙二男外居(大、二、一、二  
生)長女芳子(同五、八、生)三男三夫(同八、一、生)三女  
秋子(同二〇、一、一、生)五女外志子(同四、一、一、生)あ  
り(石川、羽咋、粟ノ保村)

西 義克

正五位勳三等功五級、海軍少將、  
佐世保海軍軍需部長、東京府士族  
妻 マス 安政六、正、生、西支理長女

西 義

正五位勳三等功五級、海軍少將、  
佐世保海軍軍需部長、東京府士族  
妻 マス 安政六、正、生、西支理長女

西 義

正五位勳三等功五級、海軍少將、  
佐世保海軍軍需部長、東京府士族  
妻 マス 安政六、正、生、西支理長女

西 義

正五位勳三等功五級、海軍少將、  
佐世保海軍軍需部長、東京府士族  
妻 マス 安政六、正、生、西支理長女



